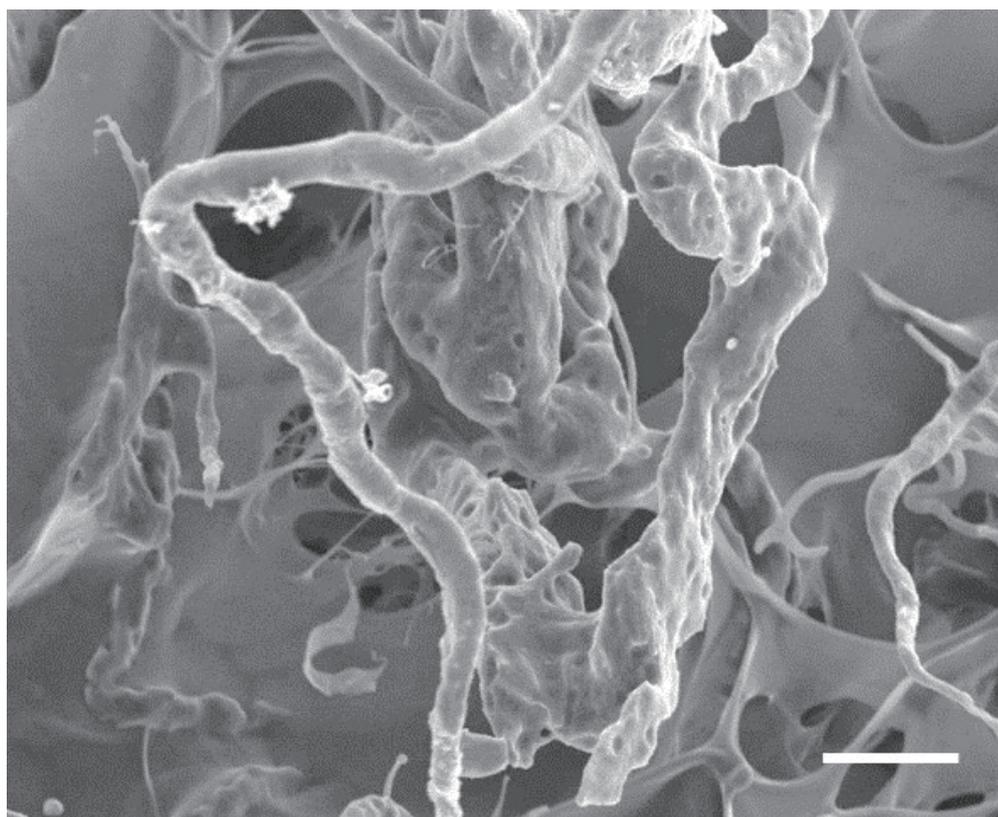


業績集

<https://kdulib.net/>

2022.4—2023.3



学校法人 神奈川歯科大学

2022年度の「業績集」編纂にあたって

この業績集は、学校法人神奈川歯科大学における2022年(令和4年)4月1日から2023年(令和5年)3月31日までの以下の項目について収録しました。

1 所属員名簿

所属する教授、准教授、講師、助教、助手、大学院生、特別研究員、医員、研究生、名誉教授、客員教授、特任教授、特任准教授、特任講師、臨床教授、非常勤講師、客員研究員、臨床専攻生名等を掲載しました。

2 2022年度の活動内容

教育、研究、臨床、社会活動などを掲載しました。

3 研究業績

著書、原著論文、総説、症例報告、プロシーディング、まとめ論文、テーシス、解説、翻訳成書、翻訳論文、随筆、その他で、別刷(コピー)等が提出されたものです。

4 その他の業績・活動

学会発表：特別講演、シンポジウム講演、一般発表(国際学会、国内学会)、講演会・セミナーなど。

業務報告：文部科学省、厚生労働省、受託研究等の研究報告書、特許出願・取得など。

活動：社会活動、座談会、報道・記事、学会記、治療指針、問題集の解説、グラフィック、テレビ・ラジオ出演などに類するもの。

◆ 分類等の最終判断は業績編纂委員会で決定させていただきました。

学校法人 神奈川歯科大学業績編纂委員会

—表紙図—

脳および歯周組織における血管鋳型標本所見(b 歯周組織)

(東雅啓：エイジングに伴う循環障害が脳および口腔に与える影響—微小循環的手法を用いた形態学的解析—。神奈川歯学, 57(1), 67-70, 2022. より転載)

神奈川歯科大学

| | | |
|-------------|------------------|-----------|
| 教育企画部 | 加藤 浩一 | 4 |
| 教養・教育学系 | | |
| 総合歯学教育学講座 | 教養教育学分野 | 林田 丞太 11 |
| | 歯学教育学分野 | 菅谷 彰 15 |
| 基礎歯科学系 | | |
| 解剖学講座 | 解剖学分野 | 天野カオリ 18 |
| | 口腔解剖学分野 | 松尾 雅斗 19 |
| 病理・組織形態学講座 | 分子口腔組織発生学分野 | 槻木 恵一 22 |
| | 環境病理学分野 | 槻木 恵一 23 |
| 生体機能学講座 | 口腔生理学分野 | 高橋 聡子 30 |
| | 歯科薬理学分野 | 高橋 俊介 31 |
| 分子生物学講座 | 口腔細菌学分野 | 浜田 信城 33 |
| | 口腔生化学分野 | 半田 慶介 36 |
| 社会歯科学系 | | |
| 健康科学講座 | 社会歯科学分野 | 山本 龍生 39 |
| | 口腔保健学分野 | 木本 一成 43 |
| | 災害歯科学分野 | 李 昌一 46 |
| 法医学講座 | 法医学分野 | 長谷川 巖 49 |
| | 歯科法医学分野 | 山田 良広 52 |
| 臨床科学系 | | |
| 医科学講座 | 画像診断学分野 | 池上 匡 56 |
| | 糖尿病・内分泌内科学分野 | 青木 一孝 56 |
| | 認知症・高齢者総合内科学分野 | 眞鍋 雄太 57 |
| | 高血圧症・腎臓内科学分野 | 橋本 達夫 62 |
| | 総合内科学分野 | 栗橋 健夫 63 |
| | 眼科学分野 | 市邊 義章 66 |
| | 薬剤学分野 | 山崎 勇輝 70 |
| | 臨床検査学分野 | 岩宮万里子 71 |
| 歯科保存学講座 | 保存修復学分野 | 向井 義晴 72 |
| | 歯内療法学分野 | 石井 信之 76 |
| | 歯周病学分野 | 小牧 基浩 80 |
| 歯科補綴学講座 | クラウンブリッジ補綴学分野 | 木本 克彦 85 |
| | 有床義歯補綴学分野 | 井野 智 90 |
| 口腔外科学講座 | 口腔外科学分野 | 小林 優 93 |
| | 高度先進口腔外科学分野 | 中村 篤 96 |
| 歯科矯正学講座 | 歯科矯正学分野 | 山口徹太郎 99 |
| | 高度先進歯科矯正学分野 | 不島 健持 102 |
| 歯科インプラント学講座 | 顎・口腔インプラント学分野 | 河奈 裕正 106 |
| | 高度先進インプラント歯周病学分野 | 児玉 利朗 109 |
| 小児歯科学講座 | 小児歯科学分野 | 木本 茂成 112 |

| | | | |
|-----------|-------------------|-------|-----|
| 画像診断学講座 | 画像診断学分野 | 櫻井 孝 | 117 |
| 麻酔科学講座 | 歯科麻酔学分野 | 讃岐 拓郎 | 119 |
| | 高度先進麻酔科学分野 | 有坂 博史 | 123 |
| 全身管理歯科学講座 | 高齢者歯科学分野 | 森本 佳成 | 125 |
| | 障害者歯科学分野 | 小松 知子 | 127 |
| 総合歯科学講座 | 顎咬合機能回復学分野 | 玉置 勝司 | 135 |
| | 高度先進成人歯科学分野 | 大石ゆかり | 140 |
| | 国際歯科医療学分野 | 植田真美子 | 142 |
| 歯科診療支援学講座 | 病理診断学分野 | 窪田 展久 | 143 |
| | クリニカル・バイオマテリアル学分野 | 二瓶智太郎 | 144 |
| | 歯科技工学分野 | 清宮 一秀 | 148 |
| | 歯科メンテナンス学分野 | 辻上 博美 | 150 |
| | 高度先進歯科メンテナンス学分野 | 山川 理代 | 153 |
| その他 | | | 155 |

短期大学部

| | | |
|--------|-------|-----|
| 歯科衛生学科 | 角田 晃 | 158 |
| 看護学科 | 棚橋 泰之 | 162 |
| 索引 | | 166 |

| | | | |
|------|--------------------------------------|---|---------------------------------|
| (略号) | | | |
| K | Kanagawa Dental University (神奈川歯科大学) | | |
| J | Junior College (短期大学部) | | |
| B&C | Book & Chapter (著書) | : | T Thesis (テーシス) |
| OP | Original Paper (原著論文) | : | Ex Exposition (解説) |
| R | Review (総説) | : | TB Translation / Book (翻訳成書) |
| CR | Case Report (症例報告) | : | TA Translation / Article (翻訳論文) |
| P | Proceeding (プロシーディング) | : | Es Essay (随筆) |
| CW | Collected Work (まとめ論文) | : | O Others (その他) |

神奈川歯科大学

教育企画部

代表者：加藤浩一

1 | 教員・大学院生・他

教 授：加藤浩一，星憲幸，猿田樹理，香西雄介
准 教 授：沢井奈津子，淵田慎也

2 | 2022年度の活動内容

教育：教育企画部は本学における教育に係る戦略的な意思決定を行うため、講座とは別に、特別な任務を行う組織として2021年4月4日に新編された。構成員の主配置は本組織であるが、それぞれが副配置として臨床、研究、教育分野で活動している。組織全体としては、①全学年の新カリキュラムを策定、②2023年度版履修ガイド1～4年生版 改訂、③2023年度版履修ガイド5年生版 新編、④2023年度版履修ガイド6年生版 新編を実施した。

歯学部における個人の活動は以下のとおりである。

1年生の災害歯科学及びチーム医療概論の講義を分担した。振り返り学修Iでは科目担当責任者を担当した。(加藤)

歯学部では、1年生の災害医療学の講義、3年生のクラウンブリッジ補綴学分野並びにインプラント学のモジュール責任者、4年生の総合歯科学でクラウンブリッジ補綴学分野とインプラント学並びに臨床歯科材料の講義、6年生の総合歯科学IIでクラウンブリッジ補綴学とインプラント学の講義と担任を担当した。また、5、6年生の臨床実習と歯科衛生士の学生の臨床実習の責任者・ユニット責任者を務めた。さらに、最終試験委員会の副委員長、Post-CC PXの責任者としても業務を行った。大学院としては、大学院生の指導を行い学位取得2名に携わり、3名の学位審査の副査を担当した。また、講義を担当し学位取得の論文と共通科目の補綴学について担当した。(星)

病理学・口腔病理学の基本的概念の系統的理解と応用力の養成を主眼とした教育を行った。1年生において第IIステージでは、神奈川歯科大学固有科目系(KPS)キャリアデザインおよびチーム医療概論のユニット担当者として、第IVステージでは、生命科学口腔病態系(LOM)形態学概論のユニット担当者として分担した。2年生において第IIステージでは、科目担当責任者として生命科学口腔病態系(LOM)発生と発育、第Vステージにおいて、ユニット担当者として生命科学口腔病態系(LOM)病因・病態と生体の回復促進II・同実習を担当した。3年生において第Iステージでは、科目担当責任者として歯科咬合医療系(ORD)歯と歯周組織の病態・同実習を行い、生命科学口腔病態系(LOM)病因・病態と生体の回復促進IV(唾液腺)を行った。また、4年生総合歯科学(組織・発生学)および6年生臨床実習II(組織学)をユニット担当者として分担した。その他、6年生クラス担任を務めた。(猿田)

5年の臨床座学(放射線)、臨床実習II(放射線)すべてを担当した。また、1年生のキャリアデザインのモジュール責任者を務めた。(香西)

歯学部1年生の科目「臨床医科歯科概論」を新設し科目担当責任者を務めた。歯学部1年生の「チーム医療概論」、歯学部4年生の「総合歯科学」の講義および実習、5年生の「臨床実習I」の講義を担当した。歯科医療体験・見学実習(メディカルコンソーシアム見学)の協力者を務めた。

また、5、6年生の日々の臨床実習において指導医を務めると同時に、臨床実習連絡委員として口腔外科の臨床実習のとりまとめを行った。客観的臨床能力試験(OSCE)では外部評価者、内部評価者をつとめ、歯学系臨床能力試験(Post-CC PX)では課題責任者および内部評価者を務めた。歯科医師臨床研修指導歯科医として研修医の指導を行った。(沢井)

コース責任者として社会系(SSD)を担当し、科目担当責任者として第1学年の「医療経営学」(新設)、ユニット責任者として第5学年の「臨床実習I」と第6学年の「臨床実習II」の知識評価部門を担当した。加えて、第3学年の「社会と歯科医療・福祉」、第4学年の「医療コミュニケーション」・「総合歯科学」を分担した。また、大学院の授業科目として1年次の「医学統計演習」を分担した。その他、臨床実習委員会の副委員長、最終試験委員会の副委員長、公募問題作成・プール問題ブラッシュアップ委員会の副委員長等、国家試験対応を中心に教育関連の各種委員会や共用試験に参画した。(淵田)

研究：臨床研究、基礎研究、並びに社会科学研究を中心に勢力的に実施した。

産学連携としては、新規歯科材料の開発と歯科応用についての研究を行った。また、学外との連携による研究としては、認知症と唾液の関連性、口腔カンジダ症と唾液との関連性、補綴治療と唾液との関連性を研究しており、学会発表や論文発表を行い、大学院の学位論文を作成した。義歯裏層による影響の検討を8大学連携にて研究を行っている(科研費Cによる)。(星)

臨床：神奈川歯科大学附属病院の副院長として業務についた。診療としては、デジタル歯科臨床科でデジタル技術を用いた歯科補綴治療を行い、後進育成にも携わった。(星)

社会活動：日本補綴歯科学会の広報委員や西関東支部の支部長および西関東支部学術大会の大会長として本部並びに支部の運営に尽力した。日本義歯ケア学会では、理事として認定精度・認定検討委員、情報発信ワーキンググループ委員として業務を担当した。認知症と口腔機能研究会では第3回学術集会の準備委員長並びに一般口演の座長として運営に尽力した。日本口腔診断学会では、理事として「新口腔診断学」の教科書作成委員として業務を担当した。(星)

その他：共用試験実施評価機構の業務を行った。(星)

3 | 研究業績

【著書】

- K22/B&C/001 木本克彦, 星憲幸：歯科国試パーフェクトマスター クラウンブリッジ補綴学. 第2版, 医歯薬出版, 東京, 2022.
- K22/B&C/002 星憲幸：第1章.LV.1-1. 患者を理解するために必要な情報収集. pp.10-13. 亀田行雄, 前畑香編集委員：パーシャルデンチャーの“LEVEL UP”トレーニング. デンタルダイヤモンド社, 東京, 2022.
- K22/B&C/003 淵田慎也, 持田悠貴：2.2-4. 某職域における口腔機能に関連する要因について：横断研究. pp.61-68. 公益財団法人8020推進財団2022(令和4)年度調査研究事業 職域で活用するための歯科口腔保健推進の手引き. 2022年度版, 8020推進財団, 東京, 2023.

【原著論文】

- K22/OP/001 Hirota M, Hori N, Sugita Y, Ikeda T, Park W, Saruta J, Ogawa T : A Novel Cell Delivery System Exploiting Synergy between Fresh Titanium and Fibronectin. Cells, 11, 2158, 2022. doi: 10.3390/cells11142158
- K22/OP/002 Ueda H, Aoyama N, Fuchida S, Mochida Y, Minabe M, Yamamoto T : Development of a Japanese Version of the Formula for Calculating Periodontal Inflamed Surface Area: A simulation Study. International Journal of Environmental Research and Public Health, 19, 9937, 2022. doi: 10.3390/ijerph19169937

- K22/OP/003 Ohara K, Isshiki Y, Hoshi N, Ohno A, Kawanishi N, Nagashima S, Inoue M, Kubo D, Yamaya K, Inoue E, Kimoto K : Patient satisfaction with conventional dentures vs. digital dentures fabricated using 3D-printing: A randomized crossover trial. *Journal of Prosthodontic Research*, 66(4), 623-629, 2022.
- K22/OP/004 Adachi T, Kawanishi N, Ichigaya N, Sugimoto M, Hoshi N, Kimoto K : A Preliminary Pilot Study: Metabolomic Analysis of Saliva in Oral Candidiasis. *Metabolites*, 12, 1294, 2022. doi: 10.3390/metabo12121294
- K22/OP/005 Tsukinoki K, Yamamoto T, Saito J, Sakaguchi W, Iguchi K, Inoue Y, Ishii S, Sato C, Yokoyama M, Shiraishi Y, Kato N, Shimada H, Makabe A, Saito A, Tanji M, Nagaoka I, Saruta J, Yamaguchi T, Kimoto S, Yamaguchi H : Prevalence of saliva immunoglobulin A antibodies reactive with severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 among Japanese people unexposed to the virus. *Microbiology and Immunology*, 66, 403-410, 2022.
- K22/OP/006 Iwabuchi H, Sawai YN, Imai Y, Shirakawa M, Nakao H, Imai H : Frequency of hemorrhage after tooth extraction in patients treated with a direct oral anticoagulant: A multicenter cross-sectional study. *PLOS ONE*, 17(4), e026011, 2022. doi: 10.1371/journal.pone.0266011
- K22/OP/007 Kimoto K, Kimoto S, Hoshi N, Sato Y, Yoneyama Y, Takebe J, Ichikawa T, Murata H, Nishimura M, Minakuchi S, Kawai Y : Clinical efficacy of mandibular complete dentures with a resilient liner: study protocol for a multicenter randomized controlled trial. *Trials*, 23, 738, 2022. doi: 10.1186/s13063-022-06657-3
- K22/OP/008 Kanamori K, Ozawa S, Iwabuchi H, Ikoma T, Suzuki K, Tanaka K, Yoshimura Sawai N, Abe T, Kato Y, Hata RI, Kobayashi M : GPRC5B (G protein-coupled receptor class C group 5 member B) suppresses glucose starvation-induced apoptosis in head-and-neck squamous cell carcinoma. *Biomedical Research*, 44(1), 1-7, 2023.
- K22/OP/009 Nagata K, Muromachi K, Kouzai Y, Inaba K, Inoue E, Fuchigami K, Nihei T, Atsumi M, Kimoto K, Kawana H : Fit accuracy of resin crown on a dental model fabricated using fused deposition modeling 3D printing and a polylactic acid filament. *Journal of Prosthodontic Research*, 67(1), 144-149, 2023.
- K22/OP/010 杉原俊太郎, 両角俊哉, 淵田慎也, 清水統太, 井上允, 琢磨遼, 門田大地, 櫻井孝, 小牧基浩 : 歯周基本治療手技の動画教材を用いた教授法がもたらす教育効果. *日本歯科保存学雑誌*, 66(1), 26-34, 2023.

【総説】

- K22/R/001 猿田樹理 : 唾液・唾液腺とbrain-derived neurotrophic factor (BDNF)の新たな機能の発見. *日本唾液ケア学会誌*, 1, 1-4, 2022.

【症例報告】

- K22/CR/001 池中僚亮, 小泉創, 沢井奈津子, 山口徹太郎 : 思春期に発症したエナメル上皮腫を有する第二大臼歯の矯正歯科治療の予後. *Hospital Dentistry & Oral-Maxillofacial Surgery*, 34(1), 41-45, 2022.
- K22/CR/002 谷口紀江, 泉雅浩, 香西雄介, 櫻井孝 : 未成年女子に発生した舌扁平上皮癌の1例. *歯科放射線*, 62(2), 94-98, 2022.

【解説】

- K22/Ex/001 大橋桂, 星憲幸, 木本克彦: マイ・カタログ2021 for Digital Age 第12回 装着材料(接着レジンセメント)/前処理材編(中編). QDT, 47, 0534-0539, 2022.
- K22/Ex/002 大橋桂, 星憲幸, 木本克彦: マイ・カタログ2021 for Digital Age 第13回 装着材料(接着レジンセメント)/前処理材編(後編). QDT, 47, 0674-0681, 2022.
- K22/Ex/003 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦: マイ・カタログ2021 for Digital Age 第14回 研磨用材料(バフ、シリコンポイント/ペースト類)〔前編〕. QDT, 47, 0830-0836, 2022.
- K22/Ex/004 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦: マイ・カタログ2021 for Digital Age 第15回 研磨用材料(バフ、シリコンポイント/ペースト類)〔中編〕. QDT, 47, 0976-0982, 2022.
- K22/Ex/005 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦: マイ・カタログ2021 for Digital Age 第16回 研磨用材料(バフ、シリコンポイント/ペースト類)〔後編〕. QDT, 47, 1120-1125, 2022.
- K22/Ex/006 星憲幸, 鈴木美南子, 藤崎みのり, 渡邊真由美, 木本克彦: マイ・カタログ2021 for Digital Age 第17回 メンテナンス用材料(ペースト類)、ブラシ/機器編(前編). QDT, 47, 1260-1266, 2022.
- K22/Ex/007 星憲幸, 鈴木美南子, 藤崎みのり, 渡邊真由美, 木本克彦: マイ・カタログ2021 for Digital Age 第18回 メンテナンス用材料(ペースト類)、ブラシ/機器編(中編). QDT, 47, 1384-1389, 2022.
- K22/Ex/008 星憲幸, 鈴木美南子, 藤崎みのり, 渡邊真由美, 木本克彦: マイ・カタログ2021 for Digital Age 第19回 メンテナンス用材料(ペースト類)、ブラシ/機器編(後編). QDT, 47, 1516-1521, 2022.
- K22/Ex/009 星憲幸, 木本克彦: マイ・カタログ2021 for Digital Age 第20回 拡大鏡編(前編). QDT, 47, 1638-1643, 2022.
- K22/Ex/010 星憲幸, 木本克彦: マイ・カタログ2021 for Digital Age 第21回 拡大鏡編(後編). QDT, 48, 0152-0157, 2023.
- K22/Ex/011 星憲幸: マイ・カタログ2021 for Digital Age 第22回(最終回) 連載を振り返って. QDT, 48, 0300-0304, 2023.

【その他】

- K22/O/001 加藤浩一: 神奈川歯科大学教育企画部の紹介 愛の教育を羅針盤として. 神奈川歯学, 57(1), 85-86, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 永田紘大, 淵上慧, 井上絵理香, 鈴木美南子, 星憲幸, 二瓶智太郎, 木本克彦, 渥美美穂子: 熱溶解積層型3DプリンターとPoly-Lactic Acid(PLA)フィラメントを用いた歯科模型の適合精度の検証. 日本デジタル歯科学会第13回学術大会, 東京, 2022.4.23-24.
- 井上絵理香, 清宮一秀, 古川辰之, 中静利文, 熊坂知就, 川西範繁, 一色ゆかり, 永田紘大, 井上

- 允, 大橋桂, 星憲幸, 二瓶智太郎, 木本克彦: 神奈川歯科大学附属病院における歯冠補綴装置の使用材料の推移(第二報). 日本デジタル歯科学会第13回学術大会, 東京, 2022.4.23-24.
- 川西範繁, 足立拓也, 長島信太郎, 熊坂知就, 井上絵理香, 中静利文, 清宮一秀, 星憲幸, 木本克彦: 新規口腔内スキャナーの臨床的精度の検証. 日本デジタル歯科学会第13回学術大会, 東京, 2022.4.23-24.
 - 持田悠貴, 淵田慎也, 山本龍生: 事業所従業員における集団歯科健診の受診状況と医療費の関係:縦断研究. 第71回日本口腔衛生学会・総会, Web開催, 2022.5.13-27.
 - 泉雅浩, Jung E, 谷口紀江, 大道紳太郎, 香西雄介, 櫻井孝: CT画像の補間方法がサイズ測定におよぼす影響—最近傍補間(ニアレストネイバー)と線形補間(バイリニア)の画質の違い—. 日本歯科放射線学会第62回学術大会・第18回定例総会および第13回アジア口腔顎顔面放射線学会, Web開催, 2022.6.3-4.
 - 上田晴香, 淵田慎也, 持田悠貴, 三辺正人, 山本龍生: 日本版の歯周炎症表面積(PISA)計算式の開発と従来版との比較. 第65回春季日本歯周病学会学術大会, 東京, 2022.6.3-4.
 - 山本裕子, 猿田樹理, 坂口和歌子, 窪田展久, 東雅啓, 清水智子, 両角俊哉, 高橋徹, 高垣裕子, 槻木恵一: 糖尿病モデルラットにおける顎下腺組織IgA濃度とpIgR発現量の解析. 第76回日本栄養・食糧学会大会, 兵庫, 2022.6.10-12.
 - 本間優太, 大野晃教, 熊坂知就, 堀紀雄, 星憲幸, 木本克彦: 咬合挙上が前頭前野の血流に及ぼす影響. 日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信), 2022.7.15-17.
 - 両角俊哉, 淵田慎也, 櫻井孝: 歯周基本治療手技における動画教材の有効性検討. 第41回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, Web開催(ライブ配信+オンデマンド配信), 2022.7.23-8.20.
 - 谷口紀江, 泉雅浩, 一木俊吾, 大道紳太郎, 香西雄介, 櫻井孝: 若年者に発生した舌癌の1例—画像所見と文献的考察—. 日本歯科放射線学会第234回関東地方会・第41回北日本地方会・第29回合同地方会, 松本, 2022.8.27.
 - 坂口和歌子, 猿田樹理, 山本裕子, 浜田信城, 槻木恵一: 新型コロナウイルス感染症における舌粘膜の解析. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
 - 山本裕子, 猿田樹理, 坂口和歌子, 東雅啓, 槻木恵一: 米摂取がラット盲腸短鎖脂肪酸濃度と唾液中IgAレベルに与える影響の解析. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
 - 山本裕子, 井出桃, 両角俊哉, 猿田樹理, 坂口和歌子, 東雅啓, 清水智子, 槻木恵一: ラード摂取量の違いがラット唾液中IgAレベルに与える影響の検討. 日本歯科衛生学会第17回学術大会, Web開催, 2022.9.18-10.31.
 - 足立拓也, 川西範繁, 市ヶ谷成美, 淵田慎也, 谷口紀江, 星憲幸: 口腔カンジダ症における唾液メタボローム解析. 第32回日本口腔内科学会・第33回日本臨床口腔病理学会・第35回日本口腔診断学会合同学術大会, 札幌, 2022.9.23-24.
 - 迫田貴熙, 泉雅浩, 一木俊吾, 谷口紀江, 香西雄介, 櫻井孝: Dual Energy CTの仮想単色線画像による歯科用インプラントの金属アーチファクト低減効果についての検討. 日本歯科放射

線学会第3回秋季学術大会, Web開催, 2022.10.7-9.

- 足立拓也, 川西範繁, 市ヶ谷成美, 杉本昌弘, 星憲幸, 木本克彦: 唾液メタボローム解析を用いた口腔カンジダ症の代謝プロファイル解析. 神奈川歯科大学学会第169回例会, オンライン開催, 2022.10.13.
- 市ヶ谷成美, 川西範繁, 杉本昌弘, 星憲幸, 木本克彦: 義歯治療による唾液代謝物質への影響. 神奈川歯科大学学会第169回例会, オンライン開催, 2022.10.13.
- 沢井奈津子, 岩淵博史: 下顎エナメル上皮腫摘出・掻爬術後に病変部の永久歯の矯正歯科治療を行った1例. 第34回日本小児口腔外科学会総会・学術大会, ハイブリッド開催(東京, Web), 2022.10.21-22.
- 板井俊介, 沢井奈津子, 生駒丈晴, 窪田展久, 泉雅浩, 高才東, 星和人, 安部貴大, 小林優: 下顎骨内に生じた平滑筋腫の一例. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉+On demand, 2022.11.4-6.
- 角井早紀, 片山裕太, 熊坂知就, 大橋桂, 星憲幸, 木本克彦, 二瓶智太郎: ジルコニアに対する接着強度に関する研究. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 中村圭佑, 片山裕太, 井上絵理香, 清宮一秀, 大橋桂, 星憲幸, 木本克彦, 二瓶智太郎: CAD/CAMシステムによる歯冠修復処置に関する臨床調査研究(その3)ー小白歯部冠用レジックブロックの臨床データについてー. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 井上絵理香, 清宮一秀, 中村圭佑, 片山裕太, 大橋桂, 星憲幸, 木本克彦, 二瓶智太郎: 神奈川歯科大学附属病院における歯冠補綴装置の使用材料の推移(第二報). 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 入江浩一郎, 持田悠貴, 淵田慎也, 山本龍生: 腸内細菌が口腔粘膜免疫に及ぼす影響について. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 星憲幸, 足立拓也, 川西範繁, 市ヶ谷成美, 杉本昌弘, 木本克彦: 口腔カンジダ症と唾液との関連性. 第1回日本唾液ケア研究会学術集会, ハイブリッド開催(横浜, オンライン), 2022.11.27.
- 坂口和歌子, 猿田樹理, 槻木恵一: 近赤外線口腔内照射による大脳皮質賦活化の検討ー唾液分泌量との関連ー. 第1回日本唾液ケア研究会学術集会, ハイブリッド開催(横浜, オンライン), 2022.11.27.
- 市ヶ谷成美, 川西範繁, 足立拓也, 星憲幸, 木本克彦: 義歯治療による唾液代謝物質への変化. 第15回日本義歯ケア学会学術大会, オンライン開催, 2023.1.22.
- 小松紀子, 黒田実可子, 高才東, 沢井奈津子, 窪田展久, 安部貴大: 下顎歯肉孔道癌の1例. 第41回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, Web開催(Live and On-demand), 2023.1.26-2.28.
- 毛内伸威, 桑原淳之, 小澤僚太郎, 川西範繁, 田中欽也, 星憲幸, 木本克彦: HA/TiO2コーティングインプラントのUV光機能化による効果. 神奈川歯科大学学会第170回例会, ハイブリッド開催(横浜, Zoom), 2023.2.18.
- 澤田しのぶ, 沢井奈津子, 岩淵博史: 歯科衛生士による継続的口腔管理が症状改善に寄与し

たと思われた粘膜類天疱瘡の1例. 第32回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 軽井沢町(長野県), 2023.3.18-19.

〔講演会・セミナー等〕

- 猿田樹理：唾液による健康効果の最前線～実はすごい“唾液”のチカラ～. 愛知県豊田加茂歯科医師会学校歯科保健講習会, オンデマンド配信, 2022.8月.
- 沢井奈津子：医療安全. 2022年度歯科衛生士専任教員講習会II. 一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会, 横須賀, 2022.8.1. / 当院の院内感染対策について. JICA草の根技術協力事業 神奈川歯科医師会日本研修, 横須賀, 2023.3.7.
- 松本ひろみ, 沢井奈津子：手指衛生. 2022年度第1回神奈川歯科大学附属病院院内感染対策講習会, 横須賀(オンデマンド配信), 2022.9～10月.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 木本克彦(代表), 西村正宏(分担), 河相安彦(分担), 木本統(分担), 佐藤佑介(分担), 星憲幸(分担), 村田比呂司(分担), 米山喜一(分担), 武部純(分担), 市川哲雄(分担)：下顎無歯顎に応用する軟質リライン材の臨床効果－多施設ランダム化比較試験－. 基盤研究(C), 20K10062, 2020～2022年度.
- 瀧田慎也(代表), 伊藤奏(分担)：口腔保健における根拠に基づく政策立案(EBPM)推進に向けた人材育成の基盤的研究. 基盤研究(C), 20K10302, 2020～2022年度.
- 河田亮(代表), 猿田樹理(分担), 杉本昌弘(分担)：COVID-19の味覚障害発生機序の解明：ACE2-BDNF連関からのアプローチ. 基盤研究(C), 21K09847, 2021～2023年度.
- 猿田樹理(代表), 槻木恵一(分担), 杉本昌弘(分担), 山本利春(分担), 坂口和歌子(分担)：BDNFを介した唾液腺－脳ネットワークによる精神障害の病態発症メカニズムの解明. 基盤研究(C), 22K09935, 2022～2024年度.
- 沢井奈津子(代表), 安部貴大(分担), 小澤重幸(分担), 岩淵博史(分担)：頭頸部がんグルコース飢餓時のオートファジーによるエネルギー補填メカニズムの解明. 基盤研究(C), 22K10135, 2022～2024年度.

〔報道・記事〕

- 沢井奈津子：コロナ禍におけるICTの活動を通してみえてくるもの. 日本口腔感染症学会 News Letter, 33, 3, 2022.12.15.

〔その他〕

- 星憲幸：神奈川歯科大学2022年度大学院プロジェクト研究.

総合歯学教育学講座

▶ 教養教育学分野

代表者：林田丞太

1 | 教員・大学院生・他

| | |
|---|-----------------|
| 教 | 授：林田丞太，板宮朋基 |
| 准 | 授：渡辺清子，川上正人，李正姫 |
| 講 | 師：出野由紀子，中野亜希人 |
| 助 | 教：栗本勇輝 |

2 | 2022年度の活動内容

教育：コース責任者として社会歯科医療系を担当。科目担当責任者として第1学年「法学」，第4学年「医療安全と危機管理」を担当した。いずれの科目においても教養としての法律，法制度と医療との隣接領域を教授し，卒業後の生活や仕事に生かせることを念頭に活動を行った。（林田）

本学独自の講義オンデマンド配信・ライブ配信システム(オンライン講義用LMS)を改良した。各学生のオンデマンド受講視聴ログを取得・分析し，教育効果を測定した。科目担当責任者として，1年生の「歯学のための物理・数学」(2ステージ)と「数理・データサイエンス・AI」(2ステージ)を担当した。中野講師担当の「情報リテラシー」(2ステージ)の講義・実習を支援した。2年生の「咬合回復に必要な形態」(2ステージ)において，VR/AR/空間再現技術の解剖学教育への応用についての講義を行った。2年生の「人体の構造実習I」(3ステージ)にて，天野准教授の指導の元に作成したVR解剖実習支援コンテンツを用いた解説を担当した。2年生の「人体の構造実習II(顎顔面)」(4ステージ)において，空間再現ディスプレイを活用した解剖学教育を行った。大学院「医学統計演習」の「エクセルによる2群比較，3群以上の比較」を担当した。（板宮）

歯学部教育では，1年生科目である「基礎生物学」および2年生科目である「病因・病態と生体の回復促進I(感染と免疫)」の講義を担当した。また，1年生科目である「PBL演習」に参加した。（渡辺）

1年生の「スポーツ」を担当した。授業はST1およびST2は，対面で実技種目を実施した。ST3およびST4は，オンラインの講義形式で実施した。運動処方，噛み合わせと身体バランス，メンタルヘルスとメンタルトレーニング，ほか，応急処置とテーピング技法など，歯科医療現場でも応用できるよう講義を行った。（川上）

科目担当責任者として，第1学年の「歯学のための日本語」・「異文化コミュニケーション」[韓国語・中国語入門][医療心理学]を担当した。また，第4学年の「医療安全と危機管理」，短期大学部歯科衛生学科第2学年の「医療コミュニケーション」，東京歯科衛生専門学校(TDH)第2学年の「心理学」の講義を担当した。正規授業以外に，次年度新生を対象に，入学前日本語教育を日本語の非常勤講師を通して週3回実施した。（李）

科目担当者として，第1学年のST1に「基礎科学(物理・化学・数学)」，ST2に「情報リテラシー」と「歯学のための物理・数学」を担当した。ST3では「PBL演習」に参加した。また，教育学部と連携し，オープンキャンパスや入試資料請求などのフォームを作成し，運用した。（中野）

科目担当責任者として，第1学年の「歯学のための化学」・「基礎科学(物理・化学・数学)」，科目担当者として第1学年の「PBL演習」・「総合歯科学I(1年振り返り)」，第2学年の「咬合回復に

必要な機能]など年間66コマを担当した。(栗本)

研究：入学前教育の方法と効果，オンライン講義に対する学生評価等。(林田)

AR(拡張現実)防災教育アプリを開発し成果を学会発表すると共に，横浜市公式アプリ「横浜市避難ナビ」の改良を行った。空間再現ディスプレイ向け医歯学教育アプリを開発し，学会発表を行った。解説論文1本が出版され，1冊の分担執筆書籍が出版された。令和4年度文部科学省公募事業「医学部等教育・働き方改革支援事業」に応募した。窪田光慶准教授，東雅啓准教授と密接に連携し主導して申請書作成を行い，採択された(交付額9,381千円)。(板宮)

植物由来成分(生薬・ポリフェノール類)の歯周炎予防薬および治療薬としての応用を研究テーマとして，歯周炎における破骨細胞分化誘導抑制作用に関する研究を行った。また，大学院生の研究指導において，ヒト骨芽細胞の石灰化におけるTGF- β 1の作用について研究・指導を行った。(渡辺)

高齢者の足趾把持力を測定し，土踏まずの形成と転倒予防の関係性について講演会を開催した。(川上)

Journal of International Dental and Medical ResearchとJournal of Advanced Pharmacy Education & Researchに，「原著」として掲載された。(李)

空間再現ディスプレイを用いた医歯学教育研究の一環として，遠隔歯科症例検討システムを開発し，学会発表を行った。(中野)

入学前教育の実施と効果，およびコロナ禍における学修成績の変化などの教育に関する研究を行った。(栗本)

社会活動：東京消防庁「総合防災教育で活用できるVR映像コンテンツの制作委託」の審査委員を拝命し，東京都内の東京消防庁関連施設における審査会に参加した。文部科学省令和4年度「学校安全総合支援事業」推進委員を拝命し，委員会に4回参加した。文部科学省スーパーサイエンスハイスクール事業(SSH)の一環として，県立横須賀高校の生徒8名に対してVR制作の指導を7回行った。(板宮)

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/004 Itamiya T, Kanbara S, Yamaguchi M : Chapter 8. XR and Implications to DRR: Challenges and Prospects. pp.105-121. Sakiko Kanbara ... [et al.], editors : Society 5.0, Digital Transformation and Disasters : Past, Present and Future. Springer, Singapore, 2022.

【原著論文】

K22/OP/011 Lee J-H : Factors affecting the academic performance of low-and high-performing dental students: evidence from Japan. Journal of Advanced Pharmacy Education & Research, 12(3), 82-86, 2022.

K22/OP/012 Haraga H, Sato T, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N : Effect of the Progression of *Fusobacterium nucleatum*-induced Apical Periodontitis on the Gut Microbiota. Journal of Endodontics, 48(8), 1038-1045, 2022.

K22/OP/013 Lee J-H : Promoting and Impeding Factors Associated with Academic Performance of Japanese Dental Students. Journal of International Dental and Medical Research, 15(3), 1149-1153, 2022.

K22/OP/014 Toyama T, Fujioka J, Watanabe K, Yoshida A, Sakuma T, Inaba K, Imai T, Nakajima T, Tsukiyama K, Hamada N, Yoshino F: Investigation of bactericidal effect of a mid-infrared free electron laser on *Escherichia coli*. Scientific Reports, 12, 18111, 2022. doi: 10.1038/s41598-022-22949-9

K22/OP/015 栗本勇輝, 小口岳史, 林田丞太, 菅谷彰, 二瓶智太郎: ハイブリッド型授業と客観式試験による学力の検証. 神奈川歯学, 57(1), 39-45, 2022.

K22/OP/016 窪田光慶, 吉田彩佳, 藤田紗英子, 居作和人, 浅里仁, 栗本勇輝, 花岡孝治, 菅谷彰: 同期型双方向オンラインPBLと対面型PBLの実践と比較検討. 神奈川歯学, 57(2), 104-114, 2022.

【解説】

K22/Ex/012 板宮朋基: 歯科におけるVR・AR・空間再現技術の応用. 日本歯科理工学会誌, 41(2), 115-118, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 板宮朋基: 高精細裸眼立体視ディスプレイの医歯学教育への実用. 第65回日本形成外科学会総会・学術集会, 大阪, 2022.4.20-22.
- 板宮朋基: 拡張現実AR/バーチャルリアリティ VRの学校防災教育への活用と効果. 土木学会第14回土木と学校教育フォーラム, 東京+リアルタイム配信, 2022.9.4.
- Itamiya T: XR and disaster risk reduction. Dialogue on Role of Disruptive Technologies in Disaster Risk Reduction, Tokyo, Japan, 2022.12.1.
- Itamiya T: A New Dental Education Method Using a Spatial Reality Display Capable of Stereoscopic Viewing with the Naked Eye without HMD. 2nd International Workshop for Young Maxillofacial Prosthetic Educators (yMPE), Tokyo, Japan, 2023.3.9.

〔一般発表・国際学会〕

- Wang TH, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N: Cytotoxic evaluation for cementoblasts of dentin adhesive material with resin monomers. International Dental Materials Congress 2022 (IDMC2022), Taipei, Taiwan, 2022.11.4-5.
- Wang TH, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N: Analysis of TGF- β signaling in osteoblast mineralization. 2023 AADOCR/CADR Annual Meeting & Exhibition, Portland, OR, USA, 2023.3.15-18.

〔一般発表・国内学会〕

- 久保大二郎, 板宮朋基, 木本克彦: 口腔内STLデータから得られた断面画像の比較による歯科身元確認手法の検討. 日本デジタル歯科学会第13回学術大会, 東京, 2022.4.23-24.
- 富山潔, 渡辺清子, 浜田信城, 向井義晴: 銀ナノ粒子含有洗口剤の多菌種バイオフィルムに対する齲蝕原性抑制効果. 日本歯科保存学会2022年度春季学術大会(第156回), Web開催, 2022.6.16-7.6.
- 栗本勇輝, 林田丞太, 菅谷彰, 二瓶智太郎: テキストとWebテストを組み合わせた入学前教育プログラムの導入. 第41回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, Web開催(ライブ配信+オンデマンド配信), 2022.7.23-8.20.
- 板宮朋基, 高詰佳史, 今西宣晶, 東雅啓, 松尾雅斗: 高精細裸眼立体視ディスプレイを用いた解剖学教育アプリの開発と実用. 第54回日本医学教育学会大会, 高崎, 2022.8.5-6.

- 高詰佳史, 今西宣晶, 東雅啓, 松尾雅斗, 板宮朋基: 自由視点の実写レイヤー解剖教材の作成と利用. 第54回日本医学教育学会大会, 高崎, 2022.8.5-6.
- 板宮朋基, 中野亜希人, 有輪政尊, 小泉創, 山口徹太郎: 単眼カメラ映像のリアルタイム裸眼立体視化システムの構築. 第27回日本バーチャルリアリティ学会大会, 札幌, 2022.9.12-14.
- 中野亜希人, 板宮朋基, 有輪政尊, 小泉創, 山口徹太郎: 裸眼立体視ディスプレイを用いた遠隔歯科症例検討システムの開発. 第27回日本バーチャルリアリティ学会大会, 札幌, 2022.9.12-14.
- Wang TH, 渡辺清子, 浜田信城, 石井信之: 骨芽細胞分化におけるTGF- β /MAPKシグナルの解析. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- 王珽萱, 渡邊清子, 浜田信城, 石井信之: 骨芽細胞の石灰化におけるTGF- β /MAPKシグナルの解析. 日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)・第24回日韓歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022.11.10-11.
- 富山潔, 小浦裕菜, 渡辺清子, 浜田信城, 向井義晴: 銀ナノ粒子含有洗口剤の多菌種バイオフィルムに対する糖代謝抑制効果. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 板宮朋基: 裸眼立体視ディスプレイと触覚再現デバイスを用いた遠隔手技実習システムの開発. 第32回日本シミュレーション外科学会, 西宮, 2022.12.10.
- 王珽萱, 渡邊清子, 浜田信城, 石井信之: TGF- β によるヒト骨芽細胞様細胞の石灰化機序の解析—MAPKシグナル伝達系の役割—. 神奈川歯科大学学会第170回例会, ハイブリッド開催(横浜, Zoom), 2023.2.18.

〔講演会・セミナー等〕

- 林田丞太: 医療トラブルの対応. 神奈川県保険医協会, 横浜, 2022.6.23. / 大学におけるパワハラ防止. 神奈川歯科大学第8回FD・SD講演会, 横須賀, 2022.12.10. / 最新の医療訴訟、医療トラブルについて. 東京歯科保険医協会, 東京, 2023.3.2.
- 板宮朋基: 拡張現実AR・バーチャルリアリティ VRの防災教育への応用と効果. 横須賀市教育委員会主催防災教育研究講座, 横須賀, 2022.8.25. / 拡張現実AR/バーチャルリアリティ VRの防災教育への活用と効果. 横須賀市消防協力隊研修会, 横須賀, 2022.11.11.
- 川上正人: 健康セミナー「噛み合わせと健康」. 横浜市西金沢地域ケアプラザ, 横浜, 2023.3.29.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 荒川俊也(代表), 小林一信(分担), 鈴木高宏(分担), 尾林史章(分担), 板宮朋基(分担), 宇野新太郎(分担), 山邊茂之(分担): 津波避難時の危険予知意識向上と避難手法の選択に資するKYTシート・アプリの開発. 基盤研究(B), 19H01723, 2019~2022年度.
- 平嶺浩子(代表), 浜田信城(分担), 渡辺清子(分担), 児玉利朗(分担), 小牧基浩(分担), 山海直(分担): 歯周炎発症カニクイザルを用いた病原細菌の特定と細菌伝播経路の解明. 基盤研究(C), 19K10455, 2019~2022年度.
- 李正姫(代表): 教育的介入を取り入れた歯学部生における学業成功のカリキュラムの開発. 若手研究, 19K14272, 2019~2022年度.

- 渡辺清子(代表), 平嶺浩子(分担), 佐藤武則(分担), 高橋俊介(分担): カテキン類の生体内代謝産物による歯周炎抑制機序の解明. 基盤研究(C), 20K10281, 2020~2022年度.
- 田中共子(代表), 李正姫(分担), 迫こゆり(分担), 奥西有理(分担), 高浜愛(分担), 趙師哲(分担), 中野祥子(分担), 畠中香織(分担): グローバル人材の異文化間ソーシャルスキルフロンティア留学の適応支援へ向けて. 基盤研究(C), 21K02963, 2021~2025年度.
- 板宮朋基(代表), 木本克彦(分担), 中野亜希人(分担): 裸眼立体視と触覚再現を両立させた歯科補綴学遠隔実習システムの開発. 基盤研究(C), 22K10065, 2022~2024年度.

〔広報活動〕

- 板宮朋基: テレビ番組・新聞においてAR/VR防災アプリが紹介された。(朝日新聞朝刊, 2022.4.6. / 神奈川新聞朝刊, 2022.4.11. / 住宅新報, 2022.4.12. / NHK名古屋放送局, ニュース, 2022.6.2. / NHK名古屋放送局, ニュース, 2022.6.9. / NHK札幌放送局, ニュース, 2022.6.9. / 東京新聞朝刊, 2022.6.15. / NHK名古屋放送局, ニュース, 2022.6.16. / 近代消防, No.740, 2022年7月号. / NHK札幌放送局, ニュース, 2022.7.30. / NHK熊本放送局, ニュース, 2022.8.28. / 日本テレビ, 世界一受けたい授業, 2022.9.3. / NHK熊本放送局, ニュース, 2022.9.4. / 東京新聞朝刊, 2022.9.8. / テレビ東京, 探求の階段, 2022.11.10. / NHK岡山放送局, ニュース, 2022.12.5. / NHK高松放送局, ニュース, 2022.12.9. / 苫小牧民報, 2022.12.12. / 朝日新聞朝刊(全国), 2023.1.30. / 朝日新聞朝刊(東海版), 2023.1.31. / JCOM, 「ジモト応援!東京つながるNews」, 2023.3.7. / 中日新聞朝刊, 2023.3.11. / 東京新聞朝刊, 2023.3.11. / フジテレビ, 震災特番「わ・す・れ・な・い」, 2023.3.11.)
- 板宮朋基: 新聞においてAR/VR歯科医学教育アプリが紹介された。(日本歯科新聞, 2023.1.24.)

〔その他〕

- 川上正人: コラム 健康経営への第1歩「足趾把持力と健康」. YOKOSUKA NEWS & REPORT, 545, 2022.7.10.

▶ 歯学教育学分野

代表者: 菅谷彰

1 | 教員・大学院生・他

教 授: 菅谷彰, 花岡孝治
准 教 授: 窪田光慶, 吉田彩佳

2 | 2022年度の活動内容

教育: ユニットとして1年「PBL演習」「歯科美学」, 3年「病因・病態と生体の回復促進III(薬物と回復促進)」を担当した。オンライン講義用LMSおよびハイブリッド講義の維持運営を行った。(吉田)

責任者として, 1年「PBL演習」, 3年「総合歯科学」を担当した。2年「咬合回復に必要な形態」, 3年「歯と歯周組織の検査」, 4年「総合歯科学の歯科矯正学」, 5年「臨床実習I歯科矯正学」, 6年「臨床実習II歯科矯正学」を担当した。歯科矯正学の卒業試験問題の作成を行った。Best Teacher賞を受賞した。(窪田)

総合試験委員会委員会として、総合試験の準備・実施を行った。(花岡)

3年「歯と歯周組織の検査」の責任者として講義と評価を行った。同じく3年「歯科疾患の予防と管理」の一部講義を担当した。(菅谷)

研究：光化学・生物学をベースとし、光増感剤および青色光を用い、微生物に対する新たな抗菌光線力学療法の研究を行った。(吉田)

同期型双方向オンラインPBLと対面型PBLの実践と比較検討を行った。また可動式アクチバートル模型の学修効果についての事前・事後試験とアンケート調査を実施した。(窪田)

臨床：本講座は教育を中心に活動する部署であるが、3名の臨床歯科医が在籍しており、矯正科、保存科、歯周病科において各々専門的な診療を週に数日行っている。

社会活動：入試広報活動の一環として、東京を中心に高校訪問を行い、日本の歯科事情、歯学部部の現状などを説明し、歯科、歯学部への啓発活動を行った。また歯学部におけるオープンキャンパスの企画、実施に参画し、歯科、歯学部への啓発活動を行った。

その他：OSCE実施委員会委員長としてOSCEの準備、運営を行った。FD・SD委員会委員長として年間12回の講演会、ワークショップの計画と実施を行った。大阪大学「授業づくりワークショップ」に参加した。(窪田)

講座内での業務内容の確認と調整を行った。(菅谷)

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/005 菅谷彰：第3章.3. 課外活動 4. 全日本歯科学学生総合体育大会(オールデンタル). pp.21-24. 日本歯科医学教育学会白書作成部会編集：歯科医学教育白書 2021年版(2018～2021年). 日本歯科医学教育学会, 東京, 2023.

【原著論文】

K22/OP/014 Toyama T, Fujioka J, Watanabe K, Yoshida A, Sakuma T, Inaba K, Imai T, Nakajima T, Tsukiyama K, Hamada N, Yoshino F : Investigation of bactericidal effect of a mid-infrared free electron laser on *Escherichia coli*. Scientific Reports, 12, 18111, 2022. doi: 10.1038/s41598-022-22949-9

K22/OP/015 栗本勇輝, 小口岳史, 林田丞太, 菅谷彰, 二瓶智太郎：ハイブリッド型授業と客観式試験による学力の検証. 神奈川歯学, 57(1), 39-45, 2022.

K22/OP/016 窪田光慶, 吉田彩佳, 藤田紗英子, 居作和人, 浅里仁, 栗本勇輝, 花岡孝治, 菅谷彰：同期型双方向オンラインPBLと対面型PBLの実践と比較検討. 神奈川歯学, 57(2), 104-114, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

[一般発表・国内学会]

●黒田英孝, 吉田彩佳, 吉野文彦：リドカイン塩酸塩水和物における抗酸化作用の検討. 第64回 歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.

●武村幸彦, 向井義晴, 川股亮太, 花岡孝治：窩洞形態の違いによるレジンの重合収縮挙動—円筒型窩洞と十字形箱型窩洞の比較—. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 高橋聡子(代表), 吉田彩佳(分担), 浜田信城(分担), 松尾雅斗(分担), 高橋俊介(分担) : 循環器疾患を有する患者の歯周病治療戦略—抗酸化物質クルクミンの効果の基礎的解析. 基盤研究(C), 18K09610, 2018~2022年度.
- 吉野文彦(代表), 吉田彩佳(分担), 居作和人(分担) : 青色光を応用した光線力学療法による新規口腔癌治療法の検討. 基盤研究(C), 20K10127, 2020~2022年度.
- 吉田彩佳(代表), 吉野文彦(分担), 高橋聡子(分担) : 医薬品色素を応用したaPDT—薬剤耐性を考慮した新規カンジダ症治療の基礎的解析— . 基盤研究(C), 21K10241, 2021~2023年度.

解剖学講座

▶ 解剖学分野

代表者：天野カオリ

1 | 教員・大学院生・他

准 教 授：天野カオリ
助 教：小口岳史

2 | 2022年度の活動内容

教育：2022年度は2021年度に引き続きオンラインと登校ハイブリッド形式講義環境において、解剖学分野では特に講義内容の統一化を目指し学生の解剖学知識向上に繋がるような講義様式を目標主軸とし学生教育を改善した。またコロナ下での感染防止対策による短縮型人体解剖実習による学生の知識不足を補う補助教材の開発を目的として、総合歯学教育学講座・板宮朋基教授と2名の歯学部学生と共に課題名「高精細VR立体撮影による系統解剖における剖出手順教材の開発と教育効果測定」教育研究を2022年9月より始動、神奈川歯科大学学生限定で使用できる解剖動画実習教材を作成予定である。

歯学部人体の構造と機能I講義一部担当・人体の構造と機能II講義一部担当・人体の構造と機能I骨学実習担当・人体の構造と機能III全身解剖実習担当・4年総合歯科学講義(全身解剖学)担当 / 2022年度ベストティーチャー賞歯学部第2学年部門受賞 / CBT作問委員。(天野)

歯学部1年基礎生物学：講義一部担当・形態学概論：講義一部担当、2年人体の構造と機能I：組織学実習一部担当・人体の構造と機能II：講義一部担当・骨学実習担当・人体の構造と機能III：組織学実習一部担当・全身解剖学実習：一部担当、短期大学部看護学科1年人体の構造と機能IおよびII：講義一部担当。(小口)

研究：卵巣摘出ラット(OVX)を使用した唾液腺構造研究ならびに、マウスにおけるCXCL-14の海馬・小脳への局在について研究継続している。データ一部は令和4年度歯科基礎医学会と神奈川歯科大学学会にて報告。(天野)

中殿筋の中間部に関して形態をもとに機能について考察を行い、データ一部を論文報告。(小口)

社会活動：高校生夏季体験プログラム：日大豊山高校サイエンス部4名に解剖学講義と資料館案内 / 葉山町教育研修・弁護士会横須賀支部見学研修：資料館見学案内。(天野)

3 | 研究業績

【原著論文】

K22/OP/017 Tsuchida M, Shibata M, Iimura A, Oguchi T, Kim S, Nakao Y, Nakamura H : A macroscopic anatomical study of the appropriate palpation zone of the gluteus medius muscle. Journal of Physical Therapy Science, 34, 554-560, 2022.

K22/OP/015 栗本勇輝, 小口岳史, 林田丞太, 菅谷彰, 二瓶智太郎：ハイブリッド型授業と客観式試験による学力の検証. 神奈川歯学, 57(1), 39-45, 2022.

【症例報告】

K22/CR/003 Matsuyama N, Oguchi T, Amano K, To M, Matsuo M : A Case of Portal System Formation by Direct Joining of the Inferior Mesenteric Vein with the Superior Mesenteric Vein Observed in Anatomy Practice. Biomedical Journal of Scientific & Technical Research, 40(5), 32187-32190, 2022. doi: 10.26717/BJSTR.2022.40.006520

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 天野カオリ, 稲葉啓太郎, 松尾雅斗: 卵巣摘出ラットモデルにおけるエストロゲンレベルと歯周病進行の相関関係について—HSP70の増減について—. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- 天野カオリ, 稲葉啓太郎, 松尾雅斗: 卵巣摘出ラットにおける組織損傷機構—エストロゲンレベル低下によるHSP70タンパクの推移—. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 尾之上さくら, 佐々木康, 河田亮, 小口岳史, 飯村彰, 東一善: 単層形成したCaco-2細胞に対する食品添加物の影響. 第128回日本解剖学会総会・全国学術集会, 仙台, 2023.3.18-20.

【業務・活動報告】

〔その他〕

- 天野カオリ: 日本唾液腺学会評議員.

▶ 口腔解剖学分野

代表者: 松尾雅斗

1 | 教員・大学院生・他

教 授: 松尾雅斗
准 教 授: 東雅啓
大 学 院 生: 松尾まりあ(4年)
名 誉 教 授: 横地千仞
客 員 教 授: 内藤正裕, 中村社綱
特 任 教 授: Chen Yao Su, 飯村彰
特 任 講 師: 奥寺俊允, 桐ヶ谷理, 永井宏人, 松尾智子, 光家由紀子, 財部祐輔
特任講師(無給): 陳建志, 小笠原敬太, 山本麗子

2 | 2022年度の活動内容

教育: 歯学部において口腔解剖学・口腔組織学系の講義・実習を担当している。2年生『歯科咬合医療系モジュール』である, ①歯の形態, ②咬合回復に必要な形態, ③歯と歯周組織の常態, ④人体構造実習IIにおいては歯と顎顔面の構造に関する教育を行っている。『生命科学口腔病態系モジュール』では人体構造実習Iを担当している。4年生総合歯科学, 6年生臨床実習IIは東が担当し, 5年生臨床実習Iは松尾が担っている。年間を通じた教育カリキュラムを教授, 准

教授で分担して行っている。

研究：歯周組織、インプラント周囲組織や歯科再生医療のモデル実験を通して微小循環の立場から歯科医療のコンセプトを提案している。電子顕微鏡観察を中心に隣接分野や医工連携で横断的研究を行っている。

社会活動：白菊会と共に解剖学教室の業務である篤志献体に関する活動を積極的に行っている。神奈川歯科大学資料館における見学実習は、歯科衛生学科、看護学科を中心に複数担当している。

3 | 研究業績

【原著論文】

- K22/OP/018 Takarabe Y, To M, Hoshi N, Hayakawa T, Ohkubo C, Miura H, Kimoto K, Matsuo M : Application of multi-directionally forged high-strength titanium to dental implants in beagle dogs. Dental Materials Journal, 41(3), 459-465, 2022.
- K22/OP/019 Takuma R, Morozumi T, Yamamoto Y, Kobayashi T, Matsui T, Yoneda M, Kessoku T, Nogami A, Tamura M, Kamata Y, Sugihara S, Nomura Y, To M, Minabe M, Mitsudo K, Nakajima A, Komaki M : Association between Non-Alcoholic Steatohepatitis-Related Hepatocellular Carcinoma and Periodontopathic Bacteria: A Cross-Sectional Pilot Study. Applied Sciences, 13, 3893, 2023. doi: 10.3390/app13063893

【症例報告】

- K22/CR/003 Matsuyama N, Oguchi T, Amano K, To M, Matsuo M : A Case of Portal System Formation by Direct Joining of the Inferior Mesenteric Vein with the Superior Mesenteric Vein Observed in Anatomy Practice. Biomedical Journal of Scientific & Technical Research, 40(5), 32187-32190, 2022. doi: 10.26717/BJSTR.2022.40.006520

【解説】

- K22/Ex/013 松尾雅斗, 鍵和田優佳里 : ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか. デンタルハイジーン, 42(7), 726-741, 2022.
- K22/Ex/014 松尾雅斗, 鍵和田優佳里 : ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか 第2回 歯周疾患①～歯肉が赤いのはなぜ～. デンタルハイジーン, 42(8), 826-829, 2022.
- K22/Ex/015 松尾雅斗, 鍵和田優佳里 : ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか 第3回 歯周疾患②～歯肉の炎症防御機構はどこにある?～. デンタルハイジーン, 42(9), 937-941, 2022.
- K22/Ex/016 松尾雅斗, 鍵和田優佳里 : ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか 第4回 歯周疾患③～骨がなくなるってどういうこと?～. デンタルハイジーン, 42(10), 1086-1090, 2022.
- K22/Ex/017 松尾雅斗, 鍵和田優佳里 : ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか 第5回 インプラント①～インプラントと天然歯はどう違う?～. デンタルハイジーン, 42(11), 1163-1168, 2022.
- K22/Ex/018 松尾雅斗, 鍵和田優佳里 : ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか 第6回 インプラント②～インプラント周囲炎はなぜ起きる?～. デンタルハイジーン, 42(12), 1274-1280, 2022.

- K22/Ex/019 松尾雅斗, 鎌和田優佳里: ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか 第7回 移植材による歯槽骨再生療法. デンタルハイジーン, 43(1), 14-20, 2023.
- K22/Ex/020 松尾雅斗, 鎌和田優佳里: ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか 第8回 “矯正治療”～歯が動くってどういうこと?～. デンタルハイジーン, 43(2), 128-133, 2023.
- K22/Ex/021 松尾雅斗, 鎌和田優佳里: ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか 第9回(最終回) オーラルバイオロジーに基づいた歯科衛生士になろう. デンタルハイジーン, 43(3), 236-240, 2023.

【その他】

- K22/O/002 東雅啓: エイジングに伴う循環障害が脳および口腔に与える影響—微小循環的手法を用いた形態学的解析—. 神奈川歯学, 57(1), 67-70, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 東雅啓, 高橋聡子, 高橋俊介, 松尾雅斗: Microcirculation analysis of systemic dysfunction to evaluate the Mibyou in rat models. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- 奥寺俊允, 東雅啓, 松尾雅斗: 多血小板フィブリン(PRF)を用いた硬軟組織再生の基礎研究とその臨床応用. 第52回日本口腔インプラント学会学術大会, 名古屋, 2022.9.23-25.
- 東雅啓, 高橋聡子, 高橋俊介, 松尾雅斗: Platelet-rich fibrin application promotes hard and soft tissue regeneration in periodontal tissue. 第48回日本微小循環学会総会, 大阪, 2023.3.10-11.

〔講演会・セミナー等〕

- 松尾雅斗: 歯周組織に優しい歯科治療とは. 神奈川歯科大学同窓会神奈川県支部セミナー (1), 横須賀+Web, 2022.4.23. / インプラント治療を成功に導くために インプラント周囲炎の発症と防止メカニズム. 神奈川歯科大学同窓会神奈川県支部セミナー (2), 横須賀+Web, 2022.5.14. / インプラントロジストのための臨床解剖学. みなとみらいインプラントアカデミー 日本口腔インプラント学会認定講習会, 横浜, 2022.5.21. / インプラントロジストのための臨床解剖学. 北海道形成歯科研究会 日本口腔インプラント学会認定講習会, 札幌, 2021.6.4. / 失われた骨を再生するには. 神奈川歯科大学同窓会神奈川県支部セミナー (3), 横須賀+Web, 2022.6.11. / 歯周組織のオーラルバイオロジー～目で見えるインプラント・歯周組織再生のメカニズム～. WHITE CROSS Web Semmimar, Web, 2022.12.6-2023.1.31. / インプラントロジストのための臨床解剖学. 東京形成歯科研究会 日本口腔インプラント学会認定講習会, 横須賀, 2022.12.17.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 東雅啓(代表), 松尾雅斗(分担), 高橋俊介(分担): 歯科的アプローチによる健康長寿社会のための未病の予測・管理システムの構築. 基盤研究(C), 22K10320, 2022～2024年度.

病理・組織形態学講座

▶ 分子口腔組織発生学分野

代表者：槻木恵一

1 教員・大学院生・他

教 授：槻木恵一(業績は環境病理学分野に集約)
准 教 授：河田亮
特 任 教 授：東一善
特 任 講 師：脇田一慶

2 2022年度の活動内容

教育：1年生の形態学概論，2年生の人体の構造と機能I，II，III，発生と発育，人体の構造実習II，歯と歯周組織の常態，病因と病態と生体の回復促進II，3年生の歯と歯周組織の病態，4年生の総合歯科学，5年生の臨床実習I，6年生の臨床実習II，湘南短期大学歯科衛生学科1年生の組織発生学などを担当。歯科医，歯科衛生士として身につけなければならないもっとも基本的な歯の構造やその発生，ならびに臨床的事項について理解し，応用できるような教育を行っている。

研究：顎運動や唾液分泌における神経支配について研究を行っている。特に，それらを支配する神経回路網の形成に関し，形態学的な解析を進めている。さらに2021年度からは新しく「COVID-19の味覚障害発生機序の解明：ACE2-BDNF連関からのアプローチ」というテーマで，培養味蕾細胞やACE2KOマウスなどの遺伝子改変動物を材料として研究を進めている。

社会活動：医療系専門学校の学生などを対象に神奈川歯科大学資料館における解剖見学実習を担当している。

3 研究業績

【症例報告】

K22/CR/004 新倉啓太，高野知子，鈴木杏奈，河田亮，妹尾美幾，麻生綾子，小松知子，池田正一：歯根肥大を認めたMowat-Wilson症候群患者の2症例。障害者歯科，43，143-149，2022。

4 その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 石井滋，坂口和歌子，河田亮，鎌田要平，窪田展久，槻木恵一：ウィルス感染に関与するプロテアーゼとインヒビターの唾液中濃度の検討。神奈川歯科大学学会第57回総会，ハイブリッド開催(横須賀，オンライン)，2022.11.26。
- 尾之上さくら，佐々木康，河田亮，小口岳史，飯村彰，東一善：単層形成したCaco-2細胞に対する食品添加物の影響。第128回日本解剖学会総会・全国学術集会，仙台，2023.3.18-20。

【業務・活動報告】

[科学研究費補助金]

- 高垣裕子(代表), 平田岳史(分担), 岩崎香子(分担), 河田亮(分担), 川股亮太(分担), 田中佑樹(分担): 身体不活動が腎疾患に糖尿病を誘発する機序の歩行制限モデルラットにおける解析. 基盤研究(C), 20K11632, 2020~2022年度.
- 河田亮(代表), 猿田樹理(分担), 杉本昌弘(分担): COVID-19の味覚障害発生機序の解明: ACE2-BDNF連関からのアプローチ. 基盤研究(C), 21K09847, 2021~2023年度.

▶ 環境病理学分野

代表者: 槻木恵一

1 | 教員・大学院生・他

教授: 槻木恵一
講師: 坂口和歌子
大学院生: 田宮潤(4年)
客員教授: 齋藤花重, 津浦幸夫, 山野精一, 神部芳則
特任教授: 荒川浩久, 三辺正人
特任講師: 浅井澄人, 近藤裕介, 矢毛石真由美, 長崎真子, 中川裕介, 天野理江, 牧野莉帆
特任講師(無給): 小野澤直子, 安田政実, 佐藤光栄, 高木亮, 久山佳代

2 | 2022年度の活動内容

教育: 歯学部では全ての学年で授業を担当した。大学院では、研究基礎学などの科目を担当した。本年度の大学院修了は1名で、田宮潤が博士号を授与された。

研究: 唾液研究班, 新型コロナウイルス研究班, IgA研究班の3つのチームを編成し、各テーマで研究活動を行い、多数の論文を作成した。

臨床: 槻木教授が横浜クリニックの病理診断を担当した。

社会活動: 槻木教授が神奈川歯科大学学会会長, 特定非営利活動法人日本唾液ケア研究会理事長を務め、学会活動を積極的に行った。また、JSTの公的研究費の審査委員も務めた。さらに、教室としては、県立横須賀高校のスーパーサイエンスハイスクール事業や高知県立高知農業高校の生徒の研究体験指導を行った。

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/006 槻木恵一, 清水智子, 坂口和歌子: 歯科国試パーフェクトマスター 病理学・口腔病理学. 第2版, 医歯薬出版, 東京, 2023.

K22/B&C/007 槻木恵一: IX.2.1).①. 基礎研究から—IL-17と歯科疾患. pp.148-150 / X.3. 歯科領域病変. pp.176-179. 日本脊椎関節炎学会編集: 掌蹠膿疱症性骨関節炎診療の手引き2022. 文光堂, 東京, 2022.

K22/B&C/008 槻木恵一: 第4章.12. 災害時歯科医療教育. pp.75-76. 日本歯科医学教育学会白書作成部会編

集：歯科医学教育白書 2021年版(2018～2021年). 日本歯科医学教育学会, 東京, 2023.

- K22/B&C/009 荒川浩久：第1章.1. 口腔衛生学の意義. pp.1-2 / 第2章.4. 洗口剤. pp.36-37 / 第3章.3. フッ化物によるう蝕予防. pp.55-72. 荒川浩久, 尾崎哲則, 三宅達郎編集：歯科衛生士テキスト 口腔衛生学—口腔保健統計を含む—. 第4版第4刷, 学建書院, 東京, 2023.
- K22/B&C/010 荒川浩久：3. 疫学の方法と実際. pp.25-43. 安井利一, 荒川浩久, 三宅達郎編集：スタンダード衛生・公衆衛生. 第18版, 学建書院, 東京, 2023.
- K22/B&C/011 槻木恵一, 坂口和歌子：2章. 口腔・顎顔面領域の炎症性疾患. pp.9-28. / 槻木恵一：8章.E.1. 歯髓の病変. pp.153-157 / 8章.E.2. 歯髓炎. pp.157-161. 槻木恵一, 岡田康男編集：新スタンダード口腔病理学. 第2版, 学建書院, 東京, 2023.

【原著論文】

- K22/OP/020 Kamata Y, Kessoku T, Shimizu T, Sato S, Kobayashi T, Kurihashi T, Morozumi T, Iwasaki T, Takashiba S, Hatanaka K, Hamada N, Kodama T, Higurashi T, Taguri M, Yoneda M, Usuda H, Wada K, Nakajima A, Minabe M : Periodontal Treatment and Usual Care for Nonalcoholic Fatty Liver Disease: A Multicenter, Randomized Controlled Trial. *Clinical and Translational Gastroenterology*, 13, e00520, 2022. doi: 10.14309/ctg.0000000000000520
- K22/OP/021 Yamashita S, Oe M, Kimura M, Okuyama Y, Seino S, Kajiyama D, Matsuoka R, Masuda Y, Tsukinoki K : Improving Effect of Acetic Acid Bacteria (*Gluconacetobacter hansenii* GK-1) on sIgA and Physical Conditions in Healthy People: Double-Blinded Placebo-Controlled Study. *Food and Nutrition Sciences*, 13, 541-557, 2022.
- K22/OP/022 Motohashi J, Taguchi C, Song W, Kawamura K, Arakawa H, Kawagoe M, Tsurumoto A : Development of small-scale water fluoridation equipment. *Journal of Oral Science*, 64(4), 283-285, 2022.
- K22/OP/023 Ishii S, Sakaguchi W, Sugai M, Nagumo T, Koeda S, Ozawa M, Kitamura T, Yamamura M, Akiyama H, Tsukinoki K, Nakamura A : Analysis of false-negatives in exfoliative cytology in oral potentially malignant disorders: A retrospective cohort study. *Journal of Stomatology, Oral and Maxillofacial Surgery*, 123, e390-e395, 2022. doi: 10.1016/j.jormas.2022.02.001
- K22/OP/005 Tsukinoki K, Yamamoto T, Saito J, Sakaguchi W, Iguchi K, Inoue Y, Ishii S, Sato C, Yokoyama M, Shiraishi Y, Kato N, Shimada H, Makabe A, Saito A, Tanji M, Nagaoka I, Saruta J, Yamaguchi T, Kimoto S, Yamaguchi H : Prevalence of saliva immunoglobulin A antibodies reactive with severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 among Japanese people unexposed to the virus. *Microbiology and Immunology*, 66, 403-410, 2022.
- K22/OP/024 Sato S, Kamata Y, Kessoku T, Shimizu T, Kobayashi T, Kurihashi T, Takashiba S, Hatanaka K, Hamada N, Kodama T, Higurashi T, Taguri M, Yoneda M, Usuda H, Wada K, Nakajima A, Morozumi T, Minabe M : A cross-sectional study assessing the relationship between non-alcoholic fatty liver disease and periodontal disease. *Scientific Reports*, 12, 13621, 2022. doi: 10.1038/s41598-022-17917-2
- K22/OP/025 Tanaka T, Oe M, Yamashita S, Kimura M, Seino S, Kajiyama D, Okuyama Y, Matsuoka R, Morishita R, Tsukinoki K: Immunomodulatory Effect of Acetic Acid Bacteria (*Gluconacetobacter hansenii* GK-1) on Plasmacytoid Dendritic Cells —A Double-blinded Placebo-controlled Study—. *薬理と治療*, 50(12), 2237-2248, 2022.

- K22/OP/026 Oe M, Yamashita S, Tanaka T, Kimura M, Seino S, Kajiyama D, Okuyama Y, Matsuoka R, Morishita R, Tsukinoki K : Effect of Gluconacetobacter hansenii GK-1 on Physical Condition Maintenance by Regulating IFN- α –An Eight-week Double-blinded, Placebo-controlled Study –. 薬理と治療, 50(12), 2249-2256, 2022.
- K22/OP/019 Takuma R, Morozumi T, Yamamoto Y, Kobayashi T, Matsui T, Yoneda M, Kessoku T, Nogami A, Tamura M, Kamata Y, Sugihara S, Nomura Y, To M, Minabe M, Mitsudo K, Nakajima A, Komaki M : Association between Non-Alcoholic Steatohepatitis-Related Hepatocellular Carcinoma and Periodontopathic Bacteria: A Cross-Sectional Pilot Study. Applied Sciences, 13, 3893, 2023. doi: 10.3390/app13063893
- K22/OP/027 Tamiya E, Osaki S, Tsuchihashi T, Ushijima H, Tsukinoki K : Point-of-Care Diagnostic Biosensors to Monitor Anti-SARS-CoV-2 Neutralizing IgG/sIgA Antibodies and Antioxidant Activity in Saliva. Biosensors, 13, 167, 2023. doi: 10.3390/bios13020167

【総説】

- K22/R/002 槻木恵一：唾液で健康をはかる新健康像. FOOD Style 21, 26(7), 34-36, 2022.
- K22/R/003 槻木恵一：唾液・唾液腺研究の最前線 歯科から生まれた記念日「いい唾液の日」=11月28日. 歯界展望, 138(5), 980-986, 2022.
- K22/R/004 槻木恵一：唾液・唾液腺の教育研究の現状と今後. 神奈川歯科大学短期大学部紀要, 10, 1-6, 2023.
- K22/R/005 槻木恵一, 井上和:中和も、味も、免疫も。こんなにスゴイ!唾液 [前編] 水としても当然スゴイ. 歯科衛生士, 47(2), 32-42, 2023.
- K22/R/006 槻木恵一, 井上和:中和も、味も、免疫も。こんなにスゴイ!唾液 [後編] 実は、成分もスゴイ. 歯科衛生士, 47(3), 28-41, 2023.
- K22/R/007 槻木恵一：唾液から考える腸活や全身の健康科学. 食品と開発, 57(9), 22-24, 2023.

【その他】

- K22/O/003 槻木恵一：講座紹介 神奈川歯科大学歯学部病理・組織形態学講座. 神奈川歯学, 57(2), 128-129, 2022.
- K22/O/004 槻木恵一：どうする唾液検査!. 埼玉だより, 585, 14-15, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔特別講演〕

- 槻木恵一：唾液腺と臓器間ネットワークの形成とホメオスタシス. 第66回日本唾液腺学会, 東京, 2022.11.26.
- 槻木恵一：唾液ケア外来の基本コンセプトと認定制度(仮称：唾液検査指導歯科医)の構築に向けてー国民皆歯科検診を見据えてー. 第1回日本唾液ケア研究会学術集会, ハイブリッド開催(横浜, オンライン), 2022.11.27.

[シンポジウム講演]

- 槻木恵一：新型コロナウイルスと歯科. 日本法歯科医学会第16回学術大会, 横浜(Web併用), 2022.5.15.
- 槻木恵一：唾液・唾液腺研究の最前線—唾液検査による疾患探索の最前線. 第32回日本口腔内科学会・第33回日本臨床口腔病理学会・第35回日本口腔診断学会合同学術大会, 札幌, 2022.9.23-24.
- 槻木恵一：ppp/pao診療の手引き2022に取り入れた歯科衣装に関する内容 歯性病巣の種類. 第1回掌蹠膿疱症診療における医科歯科連携研究会キックオフミーティング, 東京, 2022.10.1.

[一般発表・国内学会]

- 山本裕子, 猿田樹理, 坂口和歌子, 窪田展久, 東雅啓, 清水智子, 両角俊哉, 高橋徹, 高垣裕子, 槻木恵一：糖尿病モデルラットにおける顎下腺組織IgA濃度とpIgR発現量の解析. 第76回日本栄養・食糧学会大会, 兵庫, 2022.6.10-12.
- 坂口和歌子, 猿田樹理, 山本裕子, 浜田信城, 槻木恵一：新型コロナウイルス感染症における舌粘膜の解析. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- 山本裕子, 猿田樹理, 坂口和歌子, 東雅啓, 槻木恵一：米摂取がラット盲腸短鎖脂肪酸濃度と唾液中IgAレベルに与える影響の解析. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- 山本裕子, 井出桃, 両角俊哉, 猿田樹理, 坂口和歌子, 東雅啓, 清水智子, 槻木恵一：ラード摂取量の違いがラット唾液中IgAレベルに与える影響の検討. 日本歯科衛生学会第17回学術大会, Web開催, 2022.9.18-10.31.
- 坂口和歌子, 猿田樹理, 槻木恵一：関節リウマチモデルDBAマウスを用いた唾液中からのシトルリン化 α 1-アンチトリプシン(α 1at)の発現. 第32回日本口腔内科学会・第33回日本臨床口腔病理学会・第35回日本口腔診断学会合同学術大会, 札幌, 2022.9.23-24.
- 山本裕子, 槻木恵一：大麦若葉末の摂取がマウス盲腸内容物中短鎖脂肪酸濃度と唾液中IgAレベルに与える効果. 日本食品免疫学会第18回学術大会, 東京, 2022.11.8-11.9.
- 坂口和歌子, 猿田樹理, 槻木恵一：近赤外線口腔内照射による大脳皮質賦活化の検討—唾液分泌量との関連—. 第1回日本唾液ケア研究会学術集会, ハイブリッド開催(横浜, オンライン), 2022.11.27.
- 槻木恵一, 清水智子：Does BNT162b2 inoculation enhance in the oral mucosal immunity?. 第51回日本免疫学会学術集会, 熊本, 2022.12.7-9.

[講演会・セミナー等]

- 槻木恵一：口腔—腸—唾液腺相関が示す新しい健康像の提案と医療連携の必要性. 宮崎市郡歯科医師会, Web開催, 2022.4.20. / 唾液と健康～新時代の口腔ケア産業予想図～. ifia JAPAN 2022, 東京, 2022.5.19. / 基調講演:食と免疫・神奈川歯科大学における研究シーズについて. ifia JAPAN 2022, 東京, 2022.5.20. / 唾液の機能性の基礎と臨床応用のポイント 口腔から全身の健康を目指して. 神奈川歯科大学同窓会, 横須賀, 2022.5.22. / 新型コロナウイルスと歯科. 神奈川歯科大学神奈川県横浜北地区青葉区同窓会, 横浜, 2022.5.28. / 口腔ケア. 横須賀市シルバー人材センター, 横須賀, 2022.6.28. / …も驚く唾液アミラーゼの呪いの解き方～建口未来の扉を開くのは君だ!～. 歯学部を目指す全国の受験生へ 大学進

学フェア, 大阪, 2022.7.9. / 研究の立案から論文作成までの要点. 2022年度歯科衛生士専任教員講習会II, 横須賀, 2022.8.5. / 唾液を見直す時が来た 唾液の機能的意義の再考と健康効果の向上法について. 神奈川歯科大学埼玉県支部同窓会学術講演会, 埼玉, 2022.9.3. / 感染症とともに暮らす時代の健康—マスク・睡眠・唾液—免疫力をあげて感染予防—. 社会福祉法人にいざ市民講演, 埼玉, 2022.9.11. / 舌から始める老化予防—オーラルフレイルを知る—. 東京健康保険組合連合会, オンライン, 2022.9.17-19. / 虫歯を防ぐ、ヨダレの話。—pHを操る者が、カリオロジーを制する。—. 1D歯科セミナー, オンライン, 2022.10.6. / オーラルヘルス イノベーションによる新たな健康戦略. epメディアイトセミナー, 東京, 2022.10.13. / いつまでも笑顔でおいしく食べて健康で!「口腔健康サポーター」市民講座. 一般社団法人人口の健康と食べる力を支える会, 横須賀, 2022.10.20. / お口カラカラは、万病のもと!—口腔機能の維持は唾液のケアから—. 神奈川歯科大学短期大学部アカデミックサポート員会主催生涯学習セミナー, 横須賀, 2022.10.27. / 口腔粘膜免疫による感染防御のメカニズムと食品の効果. 第15回日本食品免疫学会セミナー, 東京, 2022.10.28. / 舌から始める老化予防—オーラルフレイルを知る—. 健康保険組合連合会東京連合会, 東京, 2022.11.17. / 掌蹠膿疱症性骨関節炎の歯性病巣について. 厚生労働省科学研究費難治性疾患政策研究事業令和4年度第二回班会議, 大阪, 2022.11.23. / 唾液の重要性とslgaの関係—特に歯科からの事項を中心として—. 大塚製薬社内セミナー, オンライン, 2023.1.25. / 唾液に含まれる成分の全身移行とその役割—唾液腺-脳臓器間ネットワーク解明への期待—. 第4回active-t定期総会, 京都, 2023.2.4. / 患者さんに伝えたい「唾液のチカラ」向上術(唾液ケア). 株式会社モリタWebセミナー, 東京, 2023.2.21-3.20. / 新たな生活様式における唾液IgAの意義—体内マスクで病原体から体を守る—. 2022年度会員限定教育セミナー—日本唾液ケア研究会, 神戸, 2023.3.26. / 進化する唾液—日本人は唾液アミラーゼ遺伝子のコピー数の多い民族である—. 日本唾液ケア研究会2022年度会員限定教育セミナー, 神戸, 2023.3.26.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 三辺正人(代表), 両角俊哉(分担), 中島淳(分担), 結束貴臣(分担), 宮内睦美(分担), 山本裕子(分担), 鎌田要平(分担): 歯周病と口腔内細菌叢に着目した非アルコール性脂肪性肝炎-肝がん発症予防法の確立. 基盤研究(C), 19K10454, 2019~2022年度.
- 猿田樹理(代表), 槻木恵一(分担), 杉本昌弘(分担), 山本利春(分担), 坂口和歌子(分担): BDNFを介した唾液腺-脳ネットワークによる精神障害の病態発症メカニズムの解明. 基盤研究(C), 22K09935, 2022~2024年度.
- 山本裕子(代表), 槻木恵一(分担), 両角俊哉(分担), 高橋徹(分担): 糖尿病が唾液腺に与える影響の解明: IgAに着目した糖尿病患者の感染症予防対策. 基盤研究(C), 22K10355, 2022~2024年度.
- 坂口和歌子(代表): 口腔と腸管内細菌叢同定の変化による関節リウマチメカニズム解明. 若手研究, 22K17029, 2022~2024年度.

〔受託研究・奨学寄附金等〕

- 槻木恵一: フラクトオリゴ糖のヒトへの有効性に関する研究. 株式会社明治フードマテリア受託研究費, 2022018, 2022.9.30.

〔賞〕

- 坂口和歌子, 大塚剛郎, 瀧田慎也, 猿田樹理, 槻木恵一: 神奈川歯学論文賞: 近赤外線口腔内照射による大脳皮質賦活化の検討—唾液分泌量との関連—. 神奈川歯科大学学会第57回総会. 2022.11.26.

〔報道・記事〕

- 槻木恵一：唾液力upで免疫力up. デイリースポーツ, pp.18, 2022.4.28.
- 槻木恵一：美肌になる!小顔になる!かむ力を高めると脳も体も若返る!. マキノ出版ムック, 2022.6.11.
- 槻木恵一：【識者の眼】オミクロン株と口腔. 日本医事新報, 5121, 60, 2022.6.18.
- 槻木恵一：萬人一語 国民皆歯科検診制度の光と影. 新聞QUINT, 319, 1, 2022.7.10.
- 槻木恵一：新型コロナウイルス感染拡大!. 日刊ゲンダイ, pp.4, 2022.7.29.
- 槻木恵一：【識者の眼】国民皆歯科検診の導入と同時に歯科医療に予防概念の導入が必要だ. 日本医事新報, 5127, 58, 2022.7.30.
- 槻木恵一：脱マスクに向け今こそ免疫力強化!!. デイリースポーツ, pp.19, 2022.7.30.
- 槻木恵一：“唾液力”が上がれば、免疫もストレス耐性もグーンとアップ!キレイと元気が手に入る「アラフォーからのお口ケア」. からだにいいこと, 18(4), 37-43, 2022.8.1.
- 槻木恵一：感染症対策は「口内」から!夏に負けない唾液力の鍛え方. SPA, 71(26), 96-97, 2022.8.9.
- 槻木恵一：医局紹介 研究プロジェクトの精鋭たち. The Quintessence, 41(8), 166, 2022.8.10.
- 槻木恵一：【識者の眼】かかりつけ歯科医機能強化型診療所の今後. 日本医事新報, 5129, 62, 2022.8.13.
- 槻木恵一：新型コロナウイルスの蔓延でも関心が高まる、知られざる唾液の役割・パワーとは!?. Dentalism, 53, 14-17, 2022.9.
- 槻木恵一：口腔ケア. よこすかシルバー, 111, 6, 2022.9.8.
- 槻木恵一：インタビュー 唾液で健康を図る新健康像. 食品化学新聞, 2943, 3, 2022.9.15.
- 槻木恵一：マスク生活で増えたお口トラブルのオーラルケア. pp.228-235. 頼れるドクター千葉. vol.7：2022-2023版, ギミックドクターズ・ファイル編集部, 東京, 2023.9.30.
- 槻木恵一：特集“唾液”は天然の万能薬「唾液力」で健康になれる!. ど〜もど〜も, 175, 3-12, 2022.10.7.
- 槻木恵一：食前もぐもぐグミでお腹ヤセ!代謝も免疫力もup. からだにいいこと, 18(6), 24-25, 2022.10.15.
- 槻木恵一：【識者の眼】歯科技工士を医科からも必要とされる“口腔機能回復士”に. 日本医事新報, 5142, 61, 2022.11.12.
- 槻木恵一：冬を元気に過ごす「唾液力」アップ法. 女性自身, 65(38), 122-123, 2022.11.15.
- 槻木恵一：学術集會に160人 唾液の役割議論. 神奈川新聞, pp.16, 2022.12.6.

- 槻木恵一：「いい唾液の日」に第一回学術集会. 日本歯科新聞, 2230, 3, 2022.12.13.
- 槻木恵一：唾液に関連したテーマで多職種が講演、盛会となる. 新聞QUINT, 325, 3, 2023.1.10.
- 槻木恵一：日本唾液ケア研究会が第一回学術集会を開催. 日本歯科評論, 83(1), 146, 2023.1.11.
- 槻木恵一：【識者の眼】掌蹠膿疱症性診療において歴史的な第1歩を踏み出した2022年. 日本医事新報, 5152, 64, 2023.1.21.
- 坂口和歌子：第1回日本唾液ケア研究会学術集会. 歯界展望, 141(2), 418, 2023.2.15.
- 槻木恵一：着用は原則「個人の判断」…続けられる感染症対策を体内マスクでブロック. サンケイスポーツ, 21419, 20, 2023.3.23.
- 槻木恵一：唾液力を高めて感染予防など多くの作用が!!体内マスクを. 日刊スポーツ, 27574, 6, 2023.3.28.
- 槻木恵一：バリア機能upにつながるオーラルケア。 . an・an, 2348, 61-63, 2023.3.29.

[デジタル記事]

- 槻木恵一：コロナワクチンを打てない小さな子こそ「唾液力」を上げて“第7波”に備えよう. Kodomoe, 2022.4.26. <https://kodomoe.net/health/52085/>

[テレビ出演]

- 槻木恵一：唾をつければケガは治るって本当?を紹介!とれたてリサーチ. すまたん・ZIP, ytv, 2022.11.17.
- 槻木恵一：「神奈川歯科大学からの健康ワンポイントアドバイス」. ニュース火曜日, Jcom live, 2022.12.23.
- 槻木恵一：“粘液”ネバネバは魔法のカクテル. ヒューマニエンス40億年のたくらみ, NHK BS, 2023.2.28.

[公的委員]

- 槻木恵一：JST創発的研究支援事業審査委員. 国立研究開発法人科学技術振興機構, 2022年度.

生体機能学講座

▶ 口腔生理学分野

代表者：高橋聡子

1 教員・大学院生・他

准 教 授：高橋聡子
講 師：水野潤造

2 2022年度の活動内容

教育：歯学部歯学科では1年生「歯学のための生物」「生理学I」、2年生「人体の構造と機能I」「人体の構造と機能II」「人体の構造と機能III」「咬合回復に必要な機能」、3年生「薬物と回復促進」「唾液腺」、4年生「総合歯科学」、5年生「臨床演習I」、6年生「臨床実習II」内の生理学・口腔生理学および薬理学関連のユニットを担当した。生理学は基礎医学の根幹をなしていることから、人の生命活動が分子から個体レベルに亘って、精巧なメカニズムによって営まれていることを理解させることを目標に教育した。とくに4年次以降は、臨床実習にむけて必要となる生理学・口腔生理学の要点について教育した。短期大学部看護学科では生化学および臨床栄養学の講義を担当した。生化学では主に栄養素を中心とした生化学的知識の習得を目標に教育した。臨床栄養学では栄養素の作用や過不足による病態を理解させ、看護師として疾患を栄養状態から眺められ、チーム医療に携われることを目標に教育した。東京歯科衛生専門学校では解剖学と口腔解剖学の講義を担当した。解剖学では歯科衛生士として必要な人体の構造の全体像を理解させることを目標に教育した。口腔解剖学では歯科衛生士にとっての専門領域である口腔付近と歯の詳細な解剖学を学び、臨床へつながる基礎知識を獲得させることを目標に教育した。また、大学院歯学研究科では大学院共通講義内学術発表、演習等を担当した。

研究：レーザードップラー法による口腔、全身の循環機能評価に加え、多数の他分野の研究者と協力し、歯周病モデル動物の循環機能評価や形態学的解析により、歯周病を含めた生活習慣病の進行と全身と口腔循環機能の変化との関連性について積極的に研究を行った。(高橋)
従来より行ってきた口腔ケアによる高齢者の認知機能向上に関わる画像解析に加え、悪い噛み合わせによる不定愁訴の神経科学的解明、さらに記憶形成に関与する海馬CA1ニューロンの膜特性およびシナプス入力の解析をテーマとして研究を進めた。(水野)

社会活動：神奈川歯科大学学会評議員、日本微小循環学会評議員、日本薬理学会評議員として学会活動に積極的に関わった。また、日本抗加齢医学会評議員抗加齢専門医として健康増進活動に関わった。

3 研究業績

【著書】

K22/B&C/012 高橋俊介, 高橋聡子：第II部.11. 呼吸器に作用する薬物. pp.69-71. 大浦清, 戸苅彰史監修；笠原正貴, 兼松隆, 三枝禎, 十川紀夫, 高橋俊介, 八田光世編集委員：ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学. 第3版, 永末書店, 京都, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 東雅啓, 高橋聡子, 高橋俊介, 松尾雅斗: モデルラットを用いた未病における全身機能障害の微小循環解析. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 高橋聡子(代表), 吉田彩佳(分担), 浜田信城(分担), 松尾雅斗(分担), 高橋俊介(分担): 循環器疾患を有する患者の歯周病治療戦略—抗酸化物質クルクミンの効果の基礎的解析. 基盤研究(C), 18K09610, 2018~2022年度.
- 吉田彩佳(代表), 吉野文彦(分担), 高橋聡子(分担): 医薬品色素を応用したaPDT—薬剤耐性を考慮した新規カンジダ症治療の基礎的解析—. 基盤研究(C), 21K10241, 2021~2023年度.

▶ 歯科薬理学分野

代表者: 高橋俊介

1 | 教員・大学院生・他

教 授: 高橋俊介
准 教 授: 吉野文彦

2 | 2022年度の活動内容

教育: 歯学部1年生「PBL演習」, 3年生「薬物と回復促進」, 4年生「総合歯科学」, 5年生「臨床演習I」, 6年生「臨床実習II」内の薬理学関連のユニットを担当した。また大学院教育として, 大学院共通講義内学術発表, 演習や多分野最新研究を担当した。これらの期間を通じて, 口腔生理学など他分野と協力し, 薬理学の基本的な概念をわかりやすくまとめたスライドと配布資料を用いて教授し, それらを統合・整理して, 実際の歯科臨床で応用できるように問題解決型の学修を行った。4年次以降は, より臨床的な場面を想定し, 多様な他科目との関連問題の演習と解説を実施した。

研究: 電子スピン共鳴法, 微弱発光法による抗酸化能評価やレーザードップラー法による口腔, 全身の循環機能評価に加え, 多数の他分野の研究者と協力し, 歯周病モデル動物の循環機能評価や形態学的解析により, 歯周病を含めた生活習慣病の進行と全身と口腔循環機能の変化との関連性について積極的に研究を行った。また, 光化学・生物学をベースとし, キサンテン系光増感剤および青色光を用い, 微生物に対する新たな抗菌光線力学療法の研究, および細胞内で代謝され生じる光感受性物質を用いた新規抗癌治療法に関わる研究を行っている。学外の共同研究としては, 東京理科大学と赤外自由電子レーザーやプラズマ, レーザーを応用し歯周病や感染根管に関わる微生物殺菌法の研究を行った。

社会活動: 神奈川歯科大学学会理事, 学会評議員として, 学会活動に積極的に関わった。また, 歯科基礎医学会代議員, 日本抗加齢医学会評議員抗加齢専門医および評議員として健康増進活動に携わった。

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/012 高橋俊介, 高橋聡子: 第II部.11. 呼吸器に作用する薬物. pp.69-71. 大浦清, 戸苅彰史監修; 笠原正貴, 兼松隆, 三枝禎, 十川紀夫, 高橋俊介, 八田光世編集委員: ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学. 第3版, 永末書店, 京都, 2023.

【原著論文】

K22/OP/014 Toyama T, Fujioka J, Watanabe K, Yoshida A, Sakuma T, Inaba K, Imai T, Nakajima T, Tsukiyama K, Hamada N, Yoshino F: Investigation of bactericidal effect of a mid-infrared free electron laser on *Escherichia coli*. Scientific Reports, 12, 18111, 2022. doi: 10.1038/s41598-022-22949-9

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 黒田英孝, 吉田彩佳, 吉野文彦: リドカイン塩酸塩水和物における抗酸化作用の検討. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- 東雅啓, 高橋聡子, 高橋俊介, 松尾雅斗: モデルラットを用いた未病における全身機能障害の微小循環解析. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 高橋聡子(代表), 吉田彩佳(分担), 浜田信城(分担), 松尾雅斗(分担), 高橋俊介(分担): 循環器疾患を有する患者の歯周病治療戦略—抗酸化物質クルクミンの効果の基礎的解析. 基盤研究(C), 18K09610, 2018~2022年度.
- 吉野文彦(代表), 吉田彩佳(分担), 居作和人(分担): 青色光を応用した光線力学療法による新規口腔癌治療法の検討. 基盤研究(C), 20K10127, 2020~2022年度.
- 渡辺清子(代表), 平嶺浩子(分担), 佐藤武則(分担), 高橋俊介(分担): カテキン類の生体内代謝産物による歯周炎抑制機序の解明. 基盤研究(C), 20K10281, 2020~2022年度.
- 吉田彩佳(代表), 吉野文彦(分担), 高橋聡子(分担): 医薬品色素を応用したaPDT—薬剤耐性を考慮した新規カンジダ症治療の基礎的解析—. 基盤研究(C), 21K10241, 2021~2023年度.
- 東雅啓(代表), 松尾雅斗(分担), 高橋俊介(分担): 歯科的アプローチによる健康長寿社会のための未病の予測・管理システムの構築. 基盤研究(C), 22K10320, 2022~2024年度.
- 遠山歳三(代表), 稲葉啓太郎(分担), 築山光一(分担), 浜田信城(分担), 吉野文彦(分担): 難治性カンジダ症に対する赤外自由電子レーザーを用いた新規治療法の開発. 基盤研究(C), 22K10350, 2022~2025年度.

〔ホームページ〕

- 吉野文彦, 吉田彩佳: <http://www.labs.kdu.ac.jp/pmd/>

分子生物学講座

▶ 口腔細菌学分野

代表者：浜田信城

1 教員・大学院生・他

教 授：浜田信城
講 師：稲葉啓太郎
助 教：倉橋絢子
特任准教授：遠山歳三
特任講師：藤岡隼

2 2022年度の活動内容

教育：歯学部教育では、2年生科目である「病因・病態と生体の回復促進(感染と免疫)」を担当した。また、1年生「PBL演習」、3年生「歯と歯周組織の検査」、4年生「総合歯科学」「医療コミュニケーション」、5年生「臨床実習I」、6年生「臨床実習II」で講義を担当した。短期大学部教育では、看護学科1年生科目である「微生物と人間生活」の講義を担当した。大学院では、「研究基盤学」の講義を担当した。

研究：口腔環境の健全のため、義歯等に酸化亜鉛を特殊加工した材料を添加し、その有効性について検討した。さらに、石けんの天然成分である脂肪酸塩の口腔バイオフィームに対する効果について継続的に検討した。また、これらの研究とともに、歯周病に利用可能な生薬や漢方薬などの天然物質の検討を行い、口腔細菌に対する殺菌効果とともに実験的歯周炎モデルを用いた歯周病の改善効果について結果が得られた。さらに、他研究機関や本学他講座との共同研究により赤外自由電子レーザー照射による口腔細菌に対する抗菌効果の検討および口腔バイオフィーム形成に関する研究を行い、論文発表を行った。

社会活動：公的事業への委員として参画した。また、スタディーグループでのオンライン動画配信を行った。

3 研究業績

【原著論文】

- K22/OP/020 Kamata Y, Kessoku T, Shimizu T, Sato S, Kobayashi T, Kurihashi T, Morozumi T, Iwasaki T, Takashiba S, Hatanaka K, Hamada N, Kodama T, Higurashi T, Taguri M, Yoneda M, Usuda H, Wada K, Nakajima A, Minabe M : Periodontal Treatment and Usual Care for Nonalcoholic Fatty Liver Disease: A Multicenter, Randomized Controlled Trial. *Clinical and Translational Gastroenterology*, 13, e00520, 2022. doi: 10.14309/ctg.0000000000000520
- K22/OP/028 Honma K, Sasaki H, Hamada N, Sharma A : An Extracytoplasmic Function Sigma/Anti-Sigma Factor System Regulates β -Glucanase Expression in *Tannerella forsythia* in Response to *Fusobacterium nucleatum* Sensing. *Journal of Bacteriology*, 204(12), e00313-22, 2022. doi: 10.1128/jb.00313-22
- K22/OP/012 Haraga H, Sato T, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N : Effect of the Progression of *Fusobacterium nucleatum*-induced Apical Periodontitis on the Gut Microbiota. *Journal of Endodontics*, 48(8), 1038-1045, 2022.

- K22/OP/029 Li X, Guo L, Sato F, Kitayama T, Tewari N, Makishima M, Hamada N, Liu Y, Bhawal UK : Dec2 negatively regulates bone resorption in periodontitis. *Journal of Periodontal Research*, 57, 1056-1069, 2022.
- K22/OP/024 Sato S, Kamata Y, Kessoku T, Shimizu T, Kobayashi T, Kurihashi T, Takashiba S, Hatanaka K, Hamada N, Kodama T, Higurashi T, Taguri M, Yoneda M, Usuda H, Wada K, Nakajima A, Morozumi T, Minabe M : A cross-sectional study assessing the relationship between non-alcoholic fatty liver disease and periodontal disease. *Scientific Reports*, 12, 13621, 2022. doi: 10.1038/s41598-022-17917-2
- K22/OP/014 Toyama T, Fujioka J, Watanabe K, Yoshida A, Sakuma T, Inaba K, Imai T, Nakajima T, Tsukiyama K, Hamada N, Yoshino F : Investigation of bactericidal effect of a mid-infrared free electron laser on *Escherichia coli*. *Scientific Reports*, 12, 18111, 2022. doi: 10.1038/s41598-022-22949-9
- K22/OP/009 Nagata K, Muromachi K, Kouzai Y, Inaba K, Inoue E, Fuchigami K, Nihei T, Atsumi M, Kimoto K, Kawana H : Fit accuracy of resin crown on a dental model fabricated using fused deposition modeling 3D printing and a polylactic acid filament. *Journal of Prosthodontic Research*, 67(1), 144-149, 2023.
- K22/OP/030 Nagata K, Inaba K, Kimoto K, Kawana H : Accuracy of Dental Models Fabricated Using Recycled Poly-Lactic Acid. *Materials*, 16, 2620, 2023. doi: 10.3390/ma16072620

【総説】

- K22/R/008 浜田信城, 稲葉啓太郎, 倉橋絢子 : 口腔微生物叢と歯科用アクリルレジンの開発. *神奈川歯学*, 57(1), 71-76, 2022.

【解説】

- K22/Ex/022 浜田信城 : 口腔内感染と免疫機構～口腔内の細菌感染を知る～. *歯科医療*, 36(2), 31-36, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国際学会〕

- Wang TH, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N : Cytotoxic evaluation for cementoblasts of dentin adhesive material with resin monomers. *International Dental Materials Congress 2022 (IDMC2022)*, Taipei, Taiwan, 2022.11.4-5.
- Wang TH, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N: Analysis of TGF- β signaling in osteoblast mineralization, *American Association for Dental, Oral and Craniofacial Research*, Portland, USA, 2023.3.15-18.

〔一般発表・国内学会〕

- 富山潔, 渡辺清子, 浜田信城, 向井義晴 : 銀ナノ粒子含有洗口剤の多菌種バイオフィルムに対する齲蝕原性抑制効果. *日本歯科保存学会2022年度春季学術大会(第156回)*, Web開催, 2022.6.16-7.6.
- 小浦裕菜, 富山潔, 國松雄一, 石澤将人, 浜田信城, 向井義晴 : 多菌種バイオフィルムを用いた象牙質表層下脱灰病巣の再石灰化様相. *日本歯科保存学会2022年度春季学術大会(第156回)*,

Web開催, 2022.6.16-7.6.

- 佐藤武則, 浜田信城, 半田慶介: 酸化チタン光触媒機能を応用した歯ブラシの効果と最適化. 日本歯科保存学会2022年度春季学術大会(第156回), Web開催, 2022.6.16-7.6.
- 坂口和歌子, 猿田樹理, 山本裕子, 浜田信城, 槻木恵一: 新型コロナウイルス感染症における舌粘膜の解析. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- Wang TH, 渡辺清子, 浜田信城, 石井信之: 骨芽細胞分化におけるTGF- β /MAPKシグナルの解析. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- 佐藤武則, 浜田信城, 半田慶介: 抗IL-17抗体による歯槽骨吸収抑制効果. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- 天野カオリ, 稲葉啓太郎, 松尾雅斗: 卵巣摘出ラットモデルにおけるエストロゲンレベルと歯周病進行の相関 関係について—HSP70の増減について—. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- 王琰萱, 渡邊清子, 浜田信城, 石井信之: 骨芽細胞の石灰化におけるTGF- β /MAPKシグナルの解析. 神奈川歯科大学学会第169回例会, オンライン開催, 2022.10.13.
- 小浦裕菜, 富山潔, 國松雄一, 浜田信城, 向井義晴: バイオフィーム環境下で誘導された再石灰化象牙質の細菌叢分析. 日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)・第24回日韓歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022.11.10-11.
- 藤巻龍治, 鈴木二郎, 浜田信城, 石井信之: ヒト根管象牙質を応用した根管洗浄剤の抗菌作用に関する研究. 日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)・第24回日韓歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022.11.10-11.
- 王琰萱, 渡邊清子, 浜田信城, 石井信之: 骨芽細胞の石灰化におけるTGF- β /MAPKシグナルの解析. 日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)・第24回日韓歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022.11.10-11.
- 小浦裕菜, 富山潔, 國松雄一, 浜田信城, 向井義晴: 多菌種バイオフィーム環境下における象牙質表層下脱灰病巣の再石灰化誘導. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 藤巻龍治, 稲葉啓太郎, 鈴木二郎, 浜田信城, 石井信之: ヒト感染根管モデルを応用した多機能性EDTA溶液の抗菌作用に関する研究. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 富山潔, 小浦裕菜, 渡辺清子, 浜田信城, 向井義晴: 銀ナノ粒子含有洗口剤の多菌種バイオフィームに対する糖代謝抑制効果. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 佐藤武則, 浜田信城, 半田慶介: 抗IL-17抗体を用いた歯槽骨吸収抑制効果の基礎的検討. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 西村允貴, 遠山歳三, 稲葉啓太郎, 浜田信城, 小牧基浩, 児玉利朗: 実験的歯周炎と加齢との関連 マウスを用いた基礎的検討. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.

- 天野カオリ, 稲葉啓太郎, 松尾雅斗: 卵巣摘出ラットにおける組織損傷機構—エストロゲンレベル低下によるHSP70タンパクの推移—. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 王琿萱, 渡邊清子, 浜田信城, 石井信之: TGF- β によるヒト骨芽細胞様細胞の石灰化機序の解析—MAPKシグナル伝達系の役割—. 神奈川歯科大学学会第170回例会, ハイブリッド開催(横浜, Zoom), 2023.2.18.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 佐藤武則(代表), 浜田信城(分担), 半田慶介(分担): ニコチアミンを用いた新規歯周治療の提唱. 基盤研究(C), 22K10301, 2022~2024年度.
- 遠山歳三(代表), 稲葉啓太郎(分担), 築山光一(分担), 浜田信城(分担), 吉野文彦(分担): 難治性カンジダ症に対する赤外自由電子レーザーを用いた新規治療法の開発. 基盤研究(C), 22K10350, 2022~2025年度.

〔賞〕

- 藤巻龍治, 稲葉啓太郎: 堀研究奨励賞: 根管治療用シングルソリューション洗浄剤の開発. 神奈川歯科大学学会第57回総会. 2022.11.26.
- 倉橋絢子: 研究努力賞: 脂肪酸塩の口腔内細菌に対する有効性とヒトへの安全性に関する研究. 神奈川歯科大学学会第57回総会. 2022.11.26.

▶ 口腔生化学分野

代表者: 半田慶介

1 | 教員・大学院生・他

教 授: 半田慶介
講 師: 居作和人, 佐藤武則

2 | 2022年度の活動内容

教育: 歯学部1年生「生化学I」(モジュール責任者), 2年生「人体の構造と機能I」(モジュール責任者), 「歯と歯周組織の常態」, 3年生「病因・病態と生体の回復促進IV」, 5年生「臨床実習I」, 6年生「臨床実習II」にて講義を担当した。歯学部2年生学年主任を務めた。(半田)

歯学部1年生「栄養学・食育」の科目担当責任者, 「PBL演習」, 「総合歯科学I」, 2年生「人体の構造と機能I」, 「歯の形態」, 「歯と歯周組織の常態」, 4年生の「総合歯科学」, 「医療コミュニケーション」の講義, 演習, 実習を担当した。(居作)

歯学部1年生「PBL演習」, 「生化学I」, 「総合歯科学I(1年振り返り)」の講義と演習, 2年生「人体の構造と機能I(細胞と組織)」, 「歯と歯周組織の常態」の講義と演習, 3年生「総合試験補講」, 5年生臨床実習Iと6年生臨床実習IIの講義を担当した。また歯学部2年生のクラス担任を務めた。(佐藤)

研究: 歯槽骨の水平的な骨欠損に対する前骨芽細胞を用いた再生療法開発のため, モデル動物を用いた移植実験や足場材の開発を進めた。また根尖性歯周炎モデルを用いて天然成分による歯槽骨再生研究や微小重力環境下における骨芽細胞の分化に関する研究を実施した。また唾液

に含まれるIgAの臨床研究を開始した。(半田)

副作用のない癌の治療法の開発を目的として研究を行い、身体に存在するケモカインCXCL14が癌幹細胞の分化を促進して腫瘍の増殖を抑制する機構を細胞培養法や動物実験モデルを用いて、生化学的検索及び組織学的検索を行った。また、光歯科医学分野との共同研究で、青色光を応用した光線力学療法による新規口腔癌治療法の検討を行った。(居作)

慢性歯周炎の予防法や治療方法の確立を目的に天然由来成分やIL-17特異抗体を用いた動物実験モデルにより解析を進めた。根尖性歯周炎の治療促進効果に関して検討する目的で、天然由来成分を用いた動物実験を行い評価した。太陽電池を接続した酸化チタン半導体の光触媒作用が口腔内細菌や細胞の増殖に与える影響について研究を進めた。さらに抜歯後における歯槽骨の早期回復を目的として骨補填材を用いた動物実験を行い評価した。これらの研究成果に加え、学内の他講座との連携を深めた研究活動を進め、積極的に学会発表や論文報告を行った。(佐藤)

社会活動：主に日本歯科保存学会評議員および日本再生歯科医学会理事として活動し、国内外への歯科における再生療法の普及に尽力した。また横須賀高校、横浜雙葉高校をはじめとした中高7校の連携講義を担当し、神奈川歯科大学の広報およびリクルート活動を行った。(半田)
本学のオープンキャンパスに参加しオンラインで「教員と話そう」を担当し、本学の広報およびリクルート活動に貢献した。(居作)

本学の動物実験倫理委員会の安全主任として学内に向けて随時動物実験に関する情報提供を行うとともに申請された動物実験計画書の審査や施設講習会の運営に携わった。さらに日本再生歯科医学会の評議員として活動し学会の普及に尽力したほか、本学と提携している中高校生対象の大学体験プログラム実習を担当し、本学の広報活動に参加した。(佐藤)

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/013 半田慶介：Chapter 10. 唾液腺と唾液. pp.250-259. 荒川俊哉, 池尾隆, 加藤靖正, 古株彰一郎, 近藤信夫, 自見英治郎, 鈴木直人, 半田慶介, 坂東健二郎, 平塚浩一編集・執筆：スタンダード生化学・口腔生化学. 第4版, 学建書院, 東京, 2023.

【原著論文】

K22/OP/012 Haraga H, Sato T, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N : Effect of the Progression of *Fusobacterium nucleatum*-induced Apical Periodontitis on the Gut Microbiota. Journal of Endodontics, 48(8), 1038-1045, 2022.

K22/OP/031 Suzuki S, Venkataiah VS, Yahata Y, Kitagawa A, Inagaki M, Njuguna MM, Nozawa R, Kakiuchi Y, Nakano M, Handa K, Yamada M, Egusa H, Saito M : Correction of large jawbone defect in the mouse using immature osteoblast-like cells and a 3D polylactic acid scaffold. PNAS Nexus, 1(4), pgac151, 2022. doi: 10.1093/pnasnexus/pgac151

K22/OP/016 窪田光慶, 吉田彩佳, 藤田紗英子, 居作和人, 浅里仁, 栗本勇輝, 花岡孝治, 菅谷彰：同期型双方向オンラインPBLと対面型PBLの実践と比較検討. 神奈川歯学, 57(2), 104-114, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

●佐藤武則, 浜田信城, 半田慶介：酸化チタン光触媒機能を応用した歯ブラシの効果と最適化. 日本歯科保存学会2022年度春季学術大会(第156回), Web開催, 2022.6.16-7.6.

●佐藤武則, 浜田信城, 半田慶介：抗IL-17抗体による歯槽骨吸収抑制効果. 第64回歯科基礎医

学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.

- 佐藤武則, 浜田信城, 半田慶介: 抗IL-17抗体を用いた歯槽骨吸収抑制効果の基礎的検討. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 佐藤武則, 半田慶介: 実験的歯周炎における抗 IL-17抗体の効果. 神奈川歯科大学学会第170回例会, ハイブリッド開催(横浜, Zoom), 2023.2.18.

[講演会・セミナー等]

- 半田慶介: 次世代の歯槽骨再生技術の開発. 神奈川歯科大学同窓会大阪支部セミナー, 大阪, 2022.8.20.

【業務・活動報告】

[科学研究費補助金]

- 八幡祥生(代表), 齋藤正寛(分担), 山田聡(分担), 半田慶介(分担), 野村由一郎(分担): 炎症性腸疾患併発下で難治化する根尖性歯周炎の分子病態解析と新規治療標的の検索. 基盤研究(C), 20K09970, 2020~2022年度.
- 吉野文彦(代表), 吉田彩佳(分担), 居作和人(分担): 青色光を応用した光線力学療法による新規口腔癌治療法の検討. 基盤研究(C), 20K10127, 2020~2022年度.
- 渡辺清子(代表), 平嶺浩子(分担), 佐藤武則(分担), 高橋俊介(分担): カテキン類の生体内代謝産物による歯周炎抑制機序の解明. 基盤研究(C), 20K10281, 2020~2022年度.
- 半田慶介(代表), 齋藤正寛(分担), 二瓶智太郎(分担): 模擬微小重力環境下における前骨芽細胞の未分化性維持のメカニズム解明. 基盤研究(C), 21K09944, 2021~2023年度.
- 佐藤武則(代表), 浜田信城(分担), 半田慶介(分担): ニコチアミンを用いた新規歯周治療の提唱. 基盤研究(C), 22K10301, 2022~2024年度.

健康科学講座

▶ 社会歯科学分野

代表者：山本龍生

1 | 教員・大学院生・他

教授：山本龍生
准教授：入江浩一郎
助教：持田悠貴
大学院生：上田晴香(3年), ALTANBAGANA NANDIN UCHRAL(1年)
名誉教授：平田幸夫
客員教授：赤澤俊一, 瀧口徹, 深井穂博
特任講師(無給)：安藤雄一, 金樹太郎, 増井峰夫
研修員：田中道雄

2 | 2022年度の活動内容

教育：コース責任者として社会系を担当し、科目担当責任者として第1学年の「生命倫理学」、第3学年の「社会と歯科医療・福祉」を担当した。また、第5学年の「臨床実習」を分担した。大学院の授業科目として1年次の「医学統計演習」および「社会歯科学入門」、3年次の「社会的決定要因特論」を担当し、分担科目として1年次の「研究基盤学」、2年次の「多分野最新研究学」、3年次の「社会総合医療科学演習」を担当した。その他、歯学部教学部における職務、歯学部及び大学院の教育関連の各種委員会、そして歯学部の共用試験に参画した。また、学外においては、歯科医師試験委員および厚生労働省医道審議会歯科医師分科会委員、歯科技工士国家試験委員、歯科技工士国家試験出題基準検討委員会委員、神奈川県、横浜市、藤沢市および茅ヶ崎市の歯科保健関係の委員として協力した。

研究：社会に内在する歯科的な課題を解決し、一生自分の歯で食べられる社会を実現するために、政策に直結する研究を目指している。2022年度は、科学研究費助成事業の研究代表者として2課題、研究分担者として2課題を担当した。その他、研究関係の各種委員会に参画するとともに、日本学術振興会科学研究費補助金の審査、国内の学会における理事等の活動、そして国内外の学術雑誌の査読を行った。

社会活動：社会歯科学の特徴といえる社会貢献のうち、公的な貢献として、静岡県歯科医師会や神奈川県下の歯科医師会や自治体が行う地域保健の推進事業や委員会への参画、宮崎県や神奈川県の団体が主催する講演会等に積極的な協力を行った。また、各種団体の発行する広報誌への寄稿等を通じて研究成果の公表や歯科保健に関する情報の普及に努めた。

その他：法人の委員会に参画し、管理運営に協力した。九州大学、大阪大学、岡山大学の歯学部で一部授業を受け持った。

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/014 山本龍生：第3編.第6章. 高齢者の口腔保健. pp.287-295. 安井利一, 山下喜久, 廣瀬公治, 小松

崎明, 山本龍生, 弘中祥司編集：口腔保健・予防歯科学. 第2版, 医歯薬出版, 東京, 2023.

K22/B&C/015 山本龍生：29.8. 歯科口腔外科疾患. pp.501-502. 武藤芳照 [ほか] 編集：転倒予防白書2023. 日本医事新報社, 東京, 2023.

K22/B&C/016 山本龍生：2.2-1. 某職域における口腔疾患に起因する仕事への支障の実態と関連する要因：横断研究. pp.37-44. / 入江浩一郎：2.2-3. 某職域における歯周病に関連する要因について：横断研究. pp.53-60. / 淵田慎也, 持田悠貴：2.2-4. 某職域における口腔機能に関連する要因について：横断研究. pp.61-68. 公益財団法人8020推進財団2022(令和4)年度調査研究事業 職域で活用するための歯科口腔保健推進の手引き. 2022年度版, 8020推進財団, 東京, 2023.

【原著論文】

K22/OP/002 Ueda H, Aoyama N, Fuchida S, Mochida Y, Minabe M, Yamamoto T : Development of a Japanese Version of the Formula for Calculating Periodontal Inflamed Surface Area: A simulation Study. *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 19, 9937, 2022. doi: 10.3390/ijerph19169937

K22/OP/032 Yamamoto T, Tanaka T, Hirano H, Mochida Y, Iijima K : Model to Predict Oral Frailty Based on a Questionnaire: A Cross-Sectional Study. *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 19, 13244, 2022. doi: 10.3390/ijerph192013244

K22/OP/033 Kiuchi S, Kusama T, Sugiyama K, Yamamoto T, Cooray U, Yamamoto T, Kondo K, Osaka K, Aida J : Longitudinal Association Between Oral Status and Cognitive Decline Using Fixed-effects Analysis. *Journal of Epidemiology*, 32(7), 330-336, 2022.

K22/OP/034 Irie K, Yamamoto T, Azuma T, Iwai K, Yonenaga T, Tomofuji T : Association between Periodontal Condition and Fat Distribution in Japanese Adults: A Cross-Sectional Study Using Check-Up Data. *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 20, 1699, 2023. doi: 10.3390/ijerph20031699

K22/OP/035 Nakazawa N, Kusama T, Cooray U, Yamamoto T, Kiuchi S, Abbas H, Yamamoto T, Kondo K, Osaka K, Aida J : Large Contribution of Oral Status for Death Among Modifiable Risk Factors in Older Adults: The Japan Gerontological Evaluation Study (JAGES) Prospective Cohort Study. *Journals of Gerontology. Series A, Biological Sciences and Medical Sciences*, 78(1), 167-173, 2023.

K22/OP/036 中野貴文, 川村和章, 椎谷亨, 山本龍生, 向井義晴：活動性根面齲蝕様病巣に対するジェルタイプ象牙質知覚過敏治療材の進行停止効果. *日本歯科保存学雑誌*, 65(3), 215-220, 2022.

【総説】

K22/R/009 Irie K, Tsuneishi M, Saijo M, Suzuki C, Yamamoto T : Occupational Difference in Oral Health Status and Behaviors in Japanese Workers: A Literature Review. *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 19, 8081, 2022. doi: 10.3390/ijerph19138081

K22/R/010 Tsuneishi M, Yamamoto T, Yamaguchi T, Kodama T, Sato T : Use of the dental formula from the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan. *Japanese Dental Science Review*, 58, 52-58, 2022.

K22/R/011 山本龍生：歯を失わない町を作る－新しい疫学から考える歯の喪失防止の環境要因－. *日本臨床歯周病学会会誌*, 40(2), 48-52, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔特別講演〕

- 山本龍生：歯を失わない町～新しい疫学から考える歯の喪失防止～. 日本臨床歯周病学会40周年記念大会, 横浜, 2022.7.30-31.

〔シンポジウム講演〕

- 山本龍生：高齢者の機能歯増加処置およびオーラルフレイル改善プログラム・栄養指導がフレイル改善に及ぼす可能性の検証. 日本老年歯科医学会神奈川県支部セミナー, 横須賀, 2023.3.26.

〔一般発表・国内学会〕

- 持田悠貴, 澁田慎也, 山本龍生：事業所従業員における集団歯科健診の受診状況と医療費の関係:縦断研究. 第71回日本口腔衛生学会・総会, Web開催, 2022.5.13-27.
- 上田晴香, 澁田慎也, 持田悠貴, 三辺正人, 山本龍生：日本版の歯周炎症表面積(PISA)計算式の開発と従来版との比較. 第65回春季日本歯周病学会学術大会, 東京, 2022.6.3-4.
- 中野貴文, 川村和章, 椎谷亨, 山本龍生, 向井義晴：活動性根面齲蝕様病巣に対するジェルタイプ象牙質知覚過敏治療材の進行停止効果. 神奈川歯科大学学会第168回例会, オンライン開催, 2022.6.9.
- 玉置勝司, 西澤昭人, 田中直人, 飯島勝矢, 平野浩彦, 小原由紀, 遠又靖丈, 山本龍生, 加藤尊巳：高齢者の機能歯増加処置および栄養指導がフレイル改善に及ぼす可能性の検証. 日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信), 2022.7.15-17.
- 藤原基, 玉置勝司, 島田淳, 仲井太心, 渡辺秀司, 片岡加奈子, 山本龍生：咬合違和感症候群患者の症型分類と治療法に関する研究 症型分類と修飾因子. 日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信), 2022.7.15-17.
- 藤原基, 玉置勝司, 島田淳, 仲井太心, 渡辺秀司, 片岡加奈子, 山本龍生：咬合違和感症候群の病態分類とその修飾因子に関する臨床研究. 神奈川歯科大学学会第169回例会, オンライン開催, 2022.10.13.
- 入江浩一郎, 持田悠貴, 澁田慎也, 山本龍生：腸内細菌が口腔粘膜免疫に及ぼす影響について. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 喜田さゆり, 青山典生, 藤井利哉, 谷口健太郎, 矢田朋美, 岩根泰蔵, 山本龍生, 小牧基浩：成人の歯科受診患者における栄養素摂取状況と食べる順番および歯数との関連:横断研究. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 藤原基, 玉置勝司, 島田淳, 仲井太心, 渡辺秀司, 片岡加奈子, 山本龍生：咬合違和感症候群患者の病態分類と修飾因子との関連性について. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 玉置勝司, 西澤昭人, 田中直人, 飯島勝矢, 平野浩彦, 小原由紀, 遠又靖丈, 山本龍生, 加藤尊巳：高齢者の機能歯増加処置および栄養指導がフレイル改善に及ぼす可能性について(中間報告). 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.

- 須藤真行, 西澤昭人, 田中直人, 山本龍生, 遠又靖丈, 玉置勝司: 高齢者の機能歯増加処置および栄養指導がフレイル改善に及ぼす可能性について. 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.

〔講演会・セミナー等〕

- 山本龍生: オーラルフレイル該当者率の地域差と地域差に関連する要因. JAGES研究会, オンライン, 2022.4.15. /口臭について 口臭って治せるの?どんな治療をするの?. 神奈川歯科大学歯学部オープンキャンパス, 横須賀, 2022.5.15. /医療情報 科学的根拠に基づく歯科保健医療情報を提供できる歯科衛生士養成のために. 2022年度歯科衛生士専任教員講習会II, 横須賀, 2022.8.1. /予防歯科から健康長寿への挑戦〜エビデンスに基づいたう蝕・歯周病予防の向こう側〜. 学際企画, 東京, 2022.8.11. /高齢者の機能歯増加処置および栄養指導がフレイル改善に及ぼす可能性の検証(中間報告). 2022 Postgraduate Student Education(PSE)セミナー, 横須賀, 2022.9.8. /オーラルフレイル対策における予防歯科の役割. お口の健康ネットワーク研修会, 岐阜, 2022.10.2. /オーラルフレイルとは〜全身の健康と歯及び口腔の健康づくりの関係について〜. 令和4年度神奈川県オーラルフレイル健口推進員養成研修, 横浜, 2022.10.13. /歯周治療の基本的な流れと進め方. 2022年度神奈川県歯科衛生士会研修会, Web, 2022.10.16. /歯ブラシでできる健康長寿の秘訣!〜歯周病予防とのお口の関係〜. 令和4年度お口の健康づくり講演会, 藤沢, 2022.11.6. /歯と健康長寿のお話. 横浜南ロータリークラブ卓話, 横浜, 2022.11.19. /歯周疾患の予防, 全身疾患との関わり〜国民皆歯科健診から考えるかかりつけの歯科の意義〜. 在宅歯科医療人材育成研修会, 宮崎, 2022.12.18. /歯周疾患の予防, 全身疾患との関わり〜定期的な歯科健診の受診率向上について〜. 令和4年度宮崎県歯科保健指導者研修会, 宮崎, 2022.12.19. /知っておきたい口腔と全身との関係について〜むし歯・歯周病の予防で健康長寿に〜. 千葉県歯科医師会歯科口腔機能管理等研修会, オンデマンド, 2023.2.7-24.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 相田潤(代表), 花里真道(分担), 山本龍生(分担), 近藤克則(分担), 小坂健(分担): 先端の因果推論手法を用いた、ビッグデータからの口腔と全身の健康の関連. 基盤研究(B), 19H03860, 2019〜2022年度.
- 山本龍生(代表), 近藤克則(分担), 相田潤(分担): オーラルフレイルのゼロ次予防の定着に向けたエビデンスの構築. 基盤研究(B), 21H03153, 2021〜2024年度.
- 伊藤奏(代表), 相田潤(分担), 山本龍生(分担): 日本でしか実証できない加熱式タバコと口腔の健康の大規模コホート研究. 基盤研究(C), 22K10285, 2022〜2024年度.
- 持田悠貴(代表): 職域での歯科健診を含む歯科保健対策による医療費抑制効果の10年間の検証. 若手研究, 22K17276, 2022〜2024年度.

〔受託研究・奨学寄附金等〕

- 山本龍生: 歯科口腔保健の推進に関する研究. 静岡県歯科医師会奨学寄付金, 2022年度.
- 山本龍生: 歯科疾患予防に関する教育と研究. 株式会社ピー・エム・ジェー奨学寄附金, 2022年度.

〔報道・記事〕

- 山本龍生: アクセプト論文紹介: Low education is associated with poor periodontal status in patients with type 2 diabetes mellitus: A cross-sectional study. KDU Research Support Center News Letter, 5月号, 2022.

- 山本龍生：認知症特集第1弾 ボケるかどうかは奥歯で決まる!?. 健康100年設計マガジン セルフケア, 10, 2-4, 2022.
- 山本龍生：リーダーストーク No.90 奥歯を失うと認知症・転倒リスクは約2倍 健康長寿のために、働く世代の歯を守ろう. 高齢者雇用の総合誌 エルダー, 11, 1-4, 2022.
- 山本龍生：研修施設の歯科公衆衛生専門医研修プログラムについて. 日本口腔衛生学会 ニュースレター, 8, 1-2, 2022.
- 山本龍生：歯科の常識 vol.02 歯の喪失と認知症の因果関係 認知症予防のカギを握るかかりつけ歯科医院. LION Dent.File, 2022.11.20.
- 山本龍生：歯と健康長寿のお話. 横浜南ロータリークラブ WEEKLY BULLETIN, 2022.11.26.

[その他]

- 山本龍生：2歯科医療機器産業を取り巻く背景 2-4歯科医療技術の進化 (4)ビッグデータと歯科保健医療. pp.25. 歯科医療技術革新推進協議会編：2022年(令和4年)版新歯科医療機器・歯科医療技術産業ビジョン. 日本歯科商工協会, 東京, 2022.
- 山本龍生：エビデンス 歯周病予防・治療に効果的なのは歯間部のブラッシング. 歯科衛生士, 47, 82, 2023.

▶ 口腔保健学分野

代表者：木本一成

1 | 教員・大学院生・他

准 教 授：木本一成
 講 師：川村和章, 宋文群
 客 員 教 授：渡辺孝夫, 古澤利武
 特 任 准 教 授：中嶋恵美子, Ujjal K. Bhawal
 特 任 講 師：岸本朝子, 長谷川拓哉
 特任講師(無給)：荒川勇喜, 市橋透, 木村多恵子, 大野素史, 川田和重, 串田守,
 古谷みゆき, 三畑光代

2 | 2022年度の活動内容

教育：歯学部第1学年にはPBL演習，第2学年には疫学・保健医療統計，健康と環境保健，予防と地域歯科保健，第3学年には歯科疾患の予防と管理，第4学年には総合歯科学，第5学年には臨床実習I・臨床座学の社会保障制度と予防・管理，医療安全と感染防止，衛生学認定試験等の解説講義，第6学年には臨床実習IIの講義(必修・総論：衛生学，(旧)各論：予防歯科学)を担当した。

研究：疫学系の研究としては，幼児から高齢者にわたる各ライフステージに呼応した地域ならびに集団への口腔保健活動の実践のための調査・研究，神奈川県小児在宅歯科医療の現状調査や，フッ化物応用の保健情報と社会経済的評価の研究を行った。実験系の研究としては，齲蝕予防のためのフッ化物応用を基軸とした口腔保健関連の研究，補填材ヒドロキシアパタイトへのフッ化物応用に関する研究，インプラント患者へのメンテナンスに関する研究，コラーゲ

ントリペプチドによる歯肉炎発症抑制・改善に関する研究, スポーツ外傷予防や二酸化塩素洗口液・口腔保湿ジェルに関する基礎研究, ジェルタイプ象牙質知覚過敏治療材が活動性根面齶蝕様病巣に与える影響に関する研究などを行った。また, 本年度は積極的に公的ならびに私的な外部の研究機関と共同研究を行い, 関連学会に種々な研究テーマを発表した。

社会活動: 神奈川県・横浜市・三浦市歯科保健関連などの公的事業への参画, 日本スポーツ協会や神奈川県スポーツ協会への公的事業への参画, Senior Doping Control Officerとしてのドーピングコントロール検査研修など, 最新の保健医療の情報発信基地としての役割ならびに口腔保健に関する普及啓発などを果たした。

その他: 口腔衛生学分野の位置付けは, 社会医歯学系の一分野である。それに関連する学生等の教育と実習, 地域への公衆衛生活動を主体とした研究や口腔保健関連の研究, ならびにフィールド活動・調査研究を行った。

3 | 研究業績

【著書】

- K22/B&C/017 田浦勝彦, 木本一成, 磯崎篤則, 田口千恵子, 小林清吾: 学生版だれにでもできる小さな努力で確かな効果—う蝕予防とフッ化物の応用—. 第4版, 砂書房, 東京, 2022.
- K22/B&C/018 木本一成: 第8章.5.⑧. 地域におけるフッ化物応用. pp.285-287. 松久保隆 [ほか] 監修・執筆: 口腔衛生学2022. 一世出版, 東京, 2022.
- K22/B&C/019 荒川勇喜: 第1章.3. 歯・口腔の発育と変化. pp.8-13 / 第5章.1. 不正咬合の予防. pp.87-90 / 第5章.3. その他の歯科疾患・異常の予防. pp.93-98. / 川村和章: 第7章.4. 学校歯科保健. pp.180-190. / 宋文群: 第7章.6. 成人・高齢者・要介護者・障害者歯科保健. pp.202-209. 荒川浩久, 尾崎哲則, 三宅達郎編集: 歯科衛生士テキスト 口腔衛生学—口腔保健統計を含む—. 第4版第4刷, 学建書院, 東京, 2023.
- K22/B&C/020 宋文群: 5.B.2. 生活環境での影響と対策. pp.90-109. / 川村和章: 12. 産業保健. pp.229-241. 安井利一, 荒川浩久, 三宅達郎編集: スタンダード衛生・公衆衛生. 第18版, 学建書院, 東京, 2023.

【原著論文】

- K22/OP/022 Motohashi J, Taguchi C, Song W, Kawamura K, Arakawa H, Kawagoe M, Tsurumoto A : Development of small-scale water fluoridation equipment. Journal of Oral Science, 64(4), 283-285, 2022.
- K22/OP/037 小松知子, 宋文群, 松澤直子, 萩原大, 永村宗護, 田中直人, 有輪理彦, 大澤智子, 永田康裕, 鎌田有一朗, 横山滉介, 李昌一, 井野智, 櫻井孝: 神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケート—第1報 一次医療機関における調査—. 障害者歯科, 43, 101-108, 2022.
- K22/OP/038 小松知子, 宋文群, 松澤直子, 萩原大, 永村宗護, 田中直人, 有輪理彦, 大澤智子, 永田康裕, 鎌田有一朗, 横山滉介, 李昌一, 井野智, 櫻井孝: 神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケート—第2報 保健所における調査—. 障害者歯科, 43, 109-114, 2022.
- K22/OP/039 小松知子, 宋文群, 松澤直子, 萩原大, 永村宗護, 田中直人, 有輪理彦, 大澤智子, 永田康裕, 鎌田有一朗, 横山滉介, 李昌一, 井野智, 櫻井孝: 神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケート—第3報 障害児発達支援事業所における調査—. 障害者歯科, 43, 115-120, 2022.
- K22/OP/036 中野貴文, 川村和章, 椎谷亨, 山本龍生, 向井義晴: 活動性根面齶蝕様病巣に対するジェルタイ

プ象牙質知覚過敏治療材の進行停止効果. 日本歯科保存学雑誌, 65(3), 215-220, 2022.

【総説】

- K22/R/012 Yasui T, Maeda Y, Clough A, Choy M, Nakajima K, Koushi R, Ikebe K, Picciniinni P, Suzuki H, Matsumura H, Tanaka Y, Yoshida M, Yang T-C, Kumamoto D, Kwon KR, Takeda T, Hayashi K, Goupy S, Ghanem AS, Tsukimura N, Churei H, Tanabe G, Marquardt S, Sungbok RL, Gonda T, Kimoto K, Katsutani N : Statements from the 2019 Second International Workshop on Sports Dentistry in Osaka Japan. International Journal of Sports Dentistry, 15(1), 7-16, 2022.
- K22/R/013 戸田真司, 片岡あい子, 角田晃, 宋文群, 石井信之, 長谷徹 : COVID-19による大学および短期大学における歯科衛生士教育の変化とこれからの授業方針について. 全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌, 12, 7-23, 2023.

【その他】

- K22/O/005 木本一成 : 学会学術大会報告 一般社団法人日本スポーツ歯科医学会第32回総会・学術大会(併催 第24回日本歯科医学会学術大会)を同時開催—スポーツ歯科医学との出会い—. 神奈川歯科大学同窓会会報, 136, 8-11, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔ワークショップ／セミナー実習〕

- 木本一成 : アスリート・サポートスタッフとしての役割と責務—世界アンチ・ドーピング規程(WADC 2021)ならびに第3期スポーツ基本計画を受けて. 第34回日本スポーツ歯科医学会認定研修会, オンデマンド, 2022.8.22-9.5.

〔一般発表・国内学会〕

- 古澤利武, 村上正幸, 穂積洋史, 山田隆信, 伊藤慎一, 山本祥子, 酒井康夫, 木本一成 : プラーク性歯肉炎に対するコラーゲントリペプチドの効果. 口腔インプラント学会第42回東北・北海道支部学術大会, 弘前, 2022.11.12-13.
- 杉山義祥, 山中優, 杉山功佑, 村松仁志, 木本一成 : 睡眠時無呼吸症候群(SAS)口腔内装置としてのスポーツマウスガード応用の試み—健康スポーツ歯科医を目指して—. 日本スポーツ歯科医学会学会第33回総会・学術大会, 東京, 2022.12.3-4.

〔講演会・セミナー等〕

- 木本一成 : COVID-19(SARS-CoV-2)等に対する口腔ケアの効果. 公益社団法人日本口腔インプラント学会認証医申請用認定講習会, 東北口腔インプラント研究会, 東北口腔インプラント研究会事務局, 仙台, 2022.6.16. / 亜塩素酸ナトリウム(二酸化塩素)との関わり. 一般社団法人水成二酸化塩素協議会理事会WEBセミナー(オンライン), 松戸, 2022.10.28. / 歯科医学研究との関わり—とくに亜塩素酸ナトリウム(二酸化塩素)製剤について—. 公益社団法人日本口腔インプラント学会認証医申請用認定講習会, 東北口腔インプラント研究会, 東北口腔インプラント研究会事務局, 仙台, 2022.12.11.

【業務・活動報告】

〔受託研究・奨学寄付金等〕

- 川村和章 : フッ化物含有象牙質知覚過敏治療材塗布による根面齲蝕の予防効果の検討. 神奈川歯科大学同窓会奨学金, 甲78号, 2022年度.

〔活動報告〕

- 村松仁志, 青木章子, 木本一成: スポーツデンタルサポート事業I. NPO法人かながわ健康づくり歯科ネットワーク, 神奈川県立横須賀高等学校ラグビー部, 横須賀, 2022.5.29.
- 村松仁志, 木本一成: スポーツデンタルサポート事業II. NPO法人かながわ健康づくり歯科ネットワーク, 神奈川県立横須賀高等学校ラグビー部, 横須賀, 2022.6.5.

〔その他〕

- 木本一成: 神奈川歯科大学同窓会有功章表彰(第31回).

▶ 災害歯科学分野

代表者: 李昌一

1 | 教員・大学院生・他

教 授: 李昌一
特 任 助 教: 横山史織

2 | 2022年度の活動内容

教育: 歯学部1年生: 「災害歯科学」講義, 実習を担当した。さらに, 学修支援室の運営を「災害歯科学」と並行して行い, 1年生の利用希望者に対し, 初年時教育として歯学部学生としてのモチベーションの維持と勉強の仕方を個別指導した。4年生には主としてCBT対策勉強に対する勉強の仕方の個別指導を行った。6年生には学修支援室で国家試験勉強の自学自習ができる環境を提供するなど, 随時国家試験受験までの学修支援室の利用相談などを指導した。

研究: これまで電子スピン共鳴(ESR)法による生物医学アプリケーションとして薬剤・飲食品の抗酸化能評価と新規抗酸化薬剤・飲食品の開発, 疾患予防診断システムの開発, 歯科材料・歯科臨床法の開発に携わっている。これらESR技術により病的エイジングを防ぎ, とくに「歯の健康」を維持することで未病を実現し, 健康寿命を全うする抗加齢(アンチエイジング)歯科医学を確立してきた。また, このような研究成果を新しい学問である災害歯科医学に展開させ, 災害関連死を防ぎ, 古来日本の伝統食の再評価による地産地消を目指した産学連携と, 国民のQOLの向上と健康増進に役立つ研究を進めている。今年には以下のテーマに関する臨床研究, 基礎研究, 産学連携に取り組み, 並行して次世代の教育・研究者を発掘・育成し, 学会で発表した。その内容はDown症候群患者の歯周病の病態メカニズムの解明および歯周病における抗菌・抗酸化併用療法の研究, 電子スピン共鳴法による口腔および全身機能が唾液中の活性酸素消去能に及ぼす影響の研究, Down症候群の口腔機能と全身機能の評価と機能低下予防に関する研究, 摂食嚥下機能, 摂食嚥下障害に関する研究などである。

社会活動: 災害歯科学分野における教育・研究活動の社会的意義が周知されるために, DRIJ医療部会での活動を続けている。

その他: 日本歯科医学会評議員, 日本歯科薬物療法学会常務理事, 日本酸化ストレス学会関東支部会支部長, 日本酸化ストレス学会理事, 日本NO学会理事, Disaster Recovery Institute: DRI Japan理事, 日本抗加齢医学会評議員, 日本抗加齢歯科医学研究会世話人, 監事, 歯科基礎医学会評議員, 日本薬理学会評議員, 日本障害者歯科学会代議員, 日本ダウン症学会評議員, 高血圧関連疾患モデル学会評議員, 日本結合組織学会評議員として学会活動をしている。

3 | 研究業績

【原著論文】

- K22/OP/037 小松知子, 宋文群, 松澤直子, 萩原大, 永村宗護, 田中直人, 有輪理彦, 大澤智子, 永田康裕, 鎌田有一朗, 横山滉介, 李昌一, 井野智, 櫻井孝: 神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケートー第1報 一次医療機関における調査ー. 障害者歯科, 43, 101-108, 2022.
- K22/OP/038 小松知子, 宋文群, 松澤直子, 萩原大, 永村宗護, 田中直人, 有輪理彦, 大澤智子, 永田康裕, 鎌田有一朗, 横山滉介, 李昌一, 井野智, 櫻井孝: 神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケートー第2報 保健所における調査ー. 障害者歯科, 43, 109-114, 2022.
- K22/OP/039 小松知子, 宋文群, 松澤直子, 萩原大, 永村宗護, 田中直人, 有輪理彦, 大澤智子, 永田康裕, 鎌田有一朗, 横山滉介, 李昌一, 井野智, 櫻井孝: 神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケートー第3報 障害児発達支援事業所における調査ー. 障害者歯科, 43, 115-120, 2022.

【総説】

- K22/R/014 小松知子, 李昌一: アンチエイジング歯科医学に必要なペリオドンタルメディスン(歯周病医学)の新しい展開ー活性酸素による酸化ストレスメカニズムからの唾液歯周病検査の開発ー. 日本アンチエイジング歯科学会誌, 15, 17-21, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔教育講演〕

- 李昌一: 放射線の生物医学応用のための酸化ストレスー医・歯・薬学の基礎. 日本放射線影響学会若手部会第2回若手放射線影響研究会, 相模原, 2023.1.7.

〔シンポジウム講演〕

- 李昌一: 血病態生理学のレドックス制御に関連する ESR エビデンスの展開. レドックス R&D戦略委員会第1回夏のシンポジウム, 盛岡, 2022.8.19.
- 李昌一: 三叉神経障害の薬物療法と神経障害性疼痛薬物療法への新しいアプローチ. 神経障害性疼痛関連歯科学会合同シンポジウム2023, Zoom, 2023.3.12.

〔一般発表・国際学会〕

- 横山滉介, 萩原大, 鎌田有一朗, 原豪志, 高野知子, 李昌一, 小松知子: 歯科受診状況によって残存歯数と口腔衛生状態に差が生じDown症候群患者の2症例. 日本老年歯科医学会第33回学術大会, 新潟, 2022.6.10-12.
- 横山滉介, 萩原大, 鎌田有一朗, 原豪志, 高野知子, 李昌一, 小松知子: Down症候群患者のう蝕・歯周病予防における口腔管理についてー2症例の歯科との関わりにおける検討ー. 日本老年歯科医学会第33回学術大会, 新潟, 2022.6.10-12.
- 中山亮子, 山崎智恵, シャッキャ・スプリヤ, 尾曲大輔, 松本直行, 奴久妻智代子, 小松知子, 李昌一, 井上裕子, 斎藤一郎: 中性重炭酸イオン水の温浴効果. 第22回日本抗加齢医学会総会, ハイブリッド開催(大阪, Web), 2021.6.17-19.
- 小松知子, 宋文群, 永村宗護, 有輪理彦, 大澤智子, 桑名裕一郎, 戸田真司, 松澤直子, 萩原大, 鎌田有一朗, 李昌一, 井野智, 櫻井孝: 小児在宅歯科医療における多職種協働ネットワーク構

築に関する研究—第2報:神奈川県内障害児発達支援事業所における意識調査—。第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 倉敷+一部オンデマンド配信, 2022.11.4-6.

- 萩原大, 小松知子, 横山滉介, 赤坂徹, 並木千鶴, 福富もか, 新倉悠里, 李昌一, 井野智: オンラインを活用した摂食嚥下障害児・者への相談・支援の有用性の検討。第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 倉敷+一部オンデマンド配信, 2022.11.4-6.
- 井上裕之, 長谷則子, 井出桃, 横山滉介, 小松知子, 伊海芳江, 李昌一, 関端麻美, 吉本夢, 角田晃, 宮城敦, 西村康, 長谷徹: 歯科治療時におけるアルコール関連障害群患者の自律神経解析。第6回臨床自律神経機能Forum, ハイブリッド開催(川崎, オンライン), 2022.11.19.
- 井上裕之, 長谷則子, 井出桃, 横山滉介, 小松知子, 伊海芳江, 李昌一, 関端麻美, 吉本夢, 角田晃, 宮城敦, 西村康, 長谷徹: 歯科治療時におけるアルコール関連障害群患者の自律神経解析。神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 岩口真路, 石田瞭, 小松知子, 横山史織, 横山滉介, 青木涼平, 宋文群, 戸田真司, 平山暁, 小澤俊彦, 李昌一: 電子スピン共鳴(ESR)法を用いたオキシトシンの酸化ストレスへの基礎的検討。第35回日本酸化ストレス学会関東支部会, 東京, 2022.12.17.
- 青木涼平, 小松知子, 横山史織, 横山滉介, 宋文群, 戸田真司, 岩口真路, 石田瞭, 平山暁, 小澤俊彦, 李昌一: 電子スピン共鳴(ESR)法を用いたL-アスコルビン酸の酸化ストレスへの基礎的検討。第35回日本酸化ストレス学会関東支部会, 東京, 2022.12.17.
- 小松知子, 萩原大, 横山史織, 李昌一: Down症候群の歯周病増悪に関与する活性酸素種と唾液抗酸化ペプチドの役割の解明。第6回成人期ダウン症研究会, オンライン, 2023.3.26.

【業務・活動報告】

〔受託研究・奨学寄附金等〕

- 李昌一: 電子スピン共鳴(ESR)抗酸化能評価による健康長寿抗酸化素材の探索。公益社団法人小柳財団研究助成金, 2021~2022年度.
- 小松知子(代表), 萩原大(分担), 横山史織(分担), 李昌一(分担): Down症候群の歯周病増悪に関与する活性酸素種と唾液抗酸化ペプチドの役割の解明。公益社団法人日本ダウン症協会・成人期ダウン症研究会プロジェクト研究助成金, 2021~2022年度.
- 三嶋博之(代表), 近藤達郎(分担), 北原鉄朗(分担), 川口靖子(分担), 李昌一(分担), 小松知子(分担): 先天性の障がいを持つ方々のためのことばと身体運動の遠隔トレーニングとAI評価システムの開発。第52回(2021年度)三菱財団社会福祉事業・研究助成, 2021.10~2022.9.
- 近藤達郎(代表), 三嶋博之(分担), 小松知子(分担), 李昌一(分担), 太田亨(分担), 小林健史(分担), 北原鉄朗(分担): Down症候群の構音機能に関連した口腔機能の研究。一般社団法人日本障害者歯科学会宿題委託研究, 22001, 2022.1.1~2023.12.31.

〔賞〕

- 小松知子, 宮崎沙良, 重藤良太, 横山滉介, 大田祥子, 李昌一, 森本佳成: 優秀論文賞: てんかんの既往のある患者の亜酸化窒素吸入鎮静法の臨床使用について (障害者歯科, 42(2), 153-159, 2021). 日本障害者歯科学会. 2022年度.

〔フォーラム参加〕

- 李昌一: 第1回神奈川小児在宅歯科医療フォーラム~神奈川県における小児在宅医療の連携協働を目指して~。神奈川歯科大学全身管理歯科学講座障害者歯科学分野, 横浜(Web併用),

法医学講座

▶ 法医学分野

代表者：長谷川巖

1 | 教員・大学院生・他

教授：長谷川巖
講師：山本伊佐夫
助教：中川貴美子
特任講師(無給)：永井智紀

2 | 2022年度の活動内容

教育：4年生の法医学講義・実習を担当。歯科医師の基礎的な学問として法医学知識を取得し、将来歯科臨床以外の身元確認作業で社会的貢献ができることを目標としている。

研究：個人識別を目的とした、死後CTを用いた死因究明や生前写真とのスーパーインポーズ法の確立、さらに災害被災者や親子鑑定、或は犯罪捜査の異同識別などの識別精度を高めるためのDNA分析や象牙質中アスパラギン酸のラセミ化速度を応用した年齢推定。また、舌癒着症と子ども虐待との関わりや被虐待児の早期発見に対する開業歯科医の役割を歯科医師の立場から研究している。

社会活動：法医解剖による死因究明実務。歯科法医学の草分けとして、教育・研究の他に鑑定実務や警察歯科医および警察鑑識の教育とトレーニングを通して社会や歯科医師会に貢献。2004年1月より厚生労働省の推進する戦没者遺骨のDNA鑑定に対し鑑定機関として協力するとともに鑑定連絡会議等いくつかの関連専門者会議に出席。歯による身元確認・年齢推定・DNA鑑定を医学部法医学教室・裁判所・検察庁・警視庁他各府県警・各科捜研さらに厚生労働省・外務省などから囑託され鑑定を行っている。公判に出廷し、DNA鑑定や子ども虐待の鑑定人として証言。日本歯科医師会主催の全国警察歯科医会、身元確認作業の実施について全国7地区災害コーディネーター(身元確認・災害歯科保健医療)研修会、さらに神奈川県・東京都・静岡県各歯科医師会の定期的な警察歯科医のトレーニング講習会および実習に参加協力。

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/021 長谷川巖(編集協力)：井上大輔編著：必修ラ・スパ2023 看護国試対策. テコム, 東京, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

【特別講演】

●長谷川巖：ISFRI 2022 annual meeting Day 3 Fujifilm session—法医学の画像解析の活用事例—3Dワークステーション SYNAPSE VINCENT. ISFRI 2022, 東京, 2022.5.14.

〔一般発表・国内学会〕

- 齊藤久子, 中久木康一, 秋富慎司, 榎野陽介, 永澤明佳, 中川貴美子, 藤田紗英子, 山本伊佐夫, 大平寛, 岩瀬博太郎, 山田良広, 長谷川巖: 新型コロナウイルス感染症関連死のご遺体におけるエンバーミングがもたらすグリーンケア. 第19回日警察歯科医会全国大会, 大阪, 2022.8.6.
- 藤田紗英子, 山本伊佐夫, 中川貴美子, 大平寛, 水野聡美, 小林漸, 池野正典, 長谷川巖, 齊藤久子, 榎野陽介, 岩瀬博太郎, 山田良広: 感染症まん延期における歯科所見採取時のPPEによる作業効率の調査. 第19回日警察歯科医会全国大会, 大阪, 2022.8.6.
- 齊藤久子, 中久木康一, 飯田哲也, 岡崎雄一郎, 水野聡美, 小林漸, 石井名実子, 奥田勝博, 中川貴美子, 藤田紗英子, 大平寛, 山本伊佐夫, 長谷川巖, 山田良広, 岩瀬博太郎, 清水恵子: 遺体の歯科所見採取における口腔内スキャナーの有用性の検討. 第91回日本法医学会学術関東地方集会, 千葉, 2022.10.8.
- 齊藤久子, 中久木康一, 秋富慎司, 牛渡一帆, 今川縁, 榎野陽介, 永澤明佳, 中川貴美子, 藤田紗英子, 山本伊佐夫, 大平寛, 橋爪謙一郎, 岩瀬博太郎, 山田良広, 長谷川巖: エンバーミング(遺体衛生保全処置)によるグリーンケア-新型コロナウイルス感染症のご遺体において-. 第37回日本催眠学会学術大会, 横浜, 2022.11.13.
- 山田良広, 山本伊佐夫, 大平寛, 藤田紗英子, 鎌倉尚史, 中川貴美子, 長谷川巖: 2021~2022年法医鑑定概要. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 山本伊佐夫: BDORTを用いた歯科治療によるメタルフリー患者の電磁波過敏改善症例. 第31回日本BDORT医学会, Zoom, 2022.11.26.
- 鎌倉尚史, 山本伊佐夫, 藤田紗英子, 大平寛, 山田良広, 長谷川巖: エックス線被曝のない乳幼児の骨折診断を目指した、血液検査による骨形成評価の検討. 第9回小児診療多職種研究会, 大阪, 2023.2.11-12.
- 齊藤久子, 中久木康一, 石井名実子, 中川貴美子, 藤田紗英子, 大平寛, 山本伊佐夫, 長谷川巖, 山田良広, 岩瀬博太郎, 清水恵子: 身元不明遺体における口腔内スキャナーを用いた歯科所見採取の検討. 第28回日本災害医学会総会・学術大会, 盛岡, 2023.3.9-11.
- 藤田紗英子, 山本伊佐夫, 中川貴美子, 大平寛, 池野正典, 長谷川巖, 齊藤久子, 榎野陽介, 岩瀬博太郎, 山田良広: PPEによる作業効率の検討歯科所見採取作業におけるPPE(Personal protective equipment)による作業効率の検討. 第28回日本災害医学会総会・学術大会, 盛岡, 2023.3.9-11.

〔講演会・セミナー等〕

- 長谷川巖: 弁護士会研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2022.4.25. / 警察講義-テーマ医療過誤- 神奈川県警察, 相模原, 2022.11.17. / 死亡時画像診断(Ai)における画像診断③(経時的死後変化). 令和4年度日本医師会画像診断(Ai)研修会, Web配信, 2022.12.12-2023.3.6.
- 山本伊佐夫: 静岡県歯科医師会身元確認研修会. 静岡県歯科医師会館, 静岡, 2022.4.17. / 弁護士会研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2022.4.25. / 講演&交流会. 日本厚生協会, 秋葉原, 2022.5.29. / 電磁波入門講座. 日本厚生協会, 横浜, 2022.6.5. / 舌癒着症講演会. 日本厚生協会, 大和, 2022.7.30. / 舌癒着症講演会. 日本厚生協会, 横浜, 2022.11.19. / 新潟県警察歯科医師会理事会特別講演. ホテルイタリア軒, 新潟, 2022.11.24. / 三重県歯科医師会身元確認研修会. 三重県歯科医師会館, 三重, 2022.11.27. / 電磁波入門講座. 日本厚生協会,

横浜, 2022.12.11. / 警察官のための法医学研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2022.12.14.
/ 藤井佳朗先生セミナー「口から身体の不調を治すホリスティック歯科治療」. 日本厚生協会,
横浜, 2023.1.15. / 鎌倉市学校保健会「子どもを守る! 虐待予防～法医学・歯科からの提言」.
鎌倉生涯学習センター, 2023.1.26. / 山口県歯科医師会身元確認研修会. 山口県歯科医師会
館, 山口, 2023.1.29. / 相模原防災訓練. 相模原市, 相模原, 2023.2.9.

- 中川貴美子: 静岡県歯科医師会身元確認研修会. 静岡県歯科医師会館, 静岡, 2022.4.17. /
弁護士会研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2022.4.25. / 横須賀学院高校実習. 神奈川歯科大
学, 横須賀, 2022.7.8. / 三重県歯科医師会身元確認研修会. 三重県歯科医師会館, 三重,
2022.11.27. / 警察官のための法医学研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2022.12.14.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 山本伊佐夫(代表), 徳野慎一(分担): 子ども虐待予防:舌喉頭矯正術による児の育児困難症状
改善と母親の疲労改善の評価. 基盤研究(C), 19K02626, 2019～2022年度.

〔厚生労働科学研究費補助金〕

- 近藤稔和(代表), 長谷川巖(分担), 山本伊佐夫(協力), 中川貴美子(協力): 新興感染症およびパ
ンデミックに対する検案・剖検体制の確立のための研究. 令和4年度厚生労働行政推進調査
事業費, 2022～2023年度.

〔賞〕

- 長谷川巖: 感謝状: 大磯警察署. 2022.6.18. / 高津警察署. 2022.9.8. / 伊勢佐木警察署.
2022.9.14. / 保土ヶ谷警察署. 2022.12.2. / 大和警察署. 2023.2.16. / 川崎警察署.
2023.2.24. / 横須賀警察署. 2023.3.1. / 三崎警察署. 2023.3.7. / 幸警察署. 2023.3.9. /
秦野警察署. 2022.3.18.

〔鑑定〕

- 歯科検査: 39件
- 2022.4: 川崎警察署・平塚警察署 / 2022.5: 旭警察署・川崎警察署・青葉警察署 /
2022.6: 多摩警察署2・横須賀警察署・鎌倉警察署・三崎警察署・麻生警察署・金沢警察
署・浦賀警察署・港南警察署 / 2022.8: 麻生警察署・大船警察署・中原警察署2・旭警察
署 / 2022.9: 藤沢警察署・緑警察署・大船警察署・旭警察署・川崎警察署・鶴見警察署 /
2022.10: 鎌倉警察署・幸警察署・保土ヶ谷警察署・旭警察署 / 2022.11: 横浜水上警察
署・磯子警察署2・高速隊3 / 2022.12: 川崎警察署 / 2023.1: 港北警察署・浦賀警察署
/ 2023.3: 相模原南警察署
- 法医解剖: 司法解剖171件 / 警察署長権限解剖123件

1 教員・大学院生・他

教授：山田良広
 准教授：大平寛
 助教：藤田紗英子
 特任教授：長谷場健
 特任講師：鎌倉尚史
 特任講師(無給)：宇都宮丈児，丸茂忠英，小島章，横田敏郎，西崎靖仁，小林範彦，埴有華，菅野均，山岸光男，西村和真，大石俊一，飯田淳一，羽鳥孝郎，山口里恵，宮川康一，深瀬寛也，池野正典

2 2022年度の活動内容

教育：歯学部1年生PBL，4年生の法医学講義・実習，5・6年生の卒試・国試対策講義を担当。歯科医師の基礎的な学問として法医学知識を取得し，将来歯科臨床以外の身元確認作業で社会的貢献ができることを目標としている。

研究：個人識別を目的とした，死後CTを用いた死因究明や生前写真とのスーパーインポーズ法の確立，さらに災害被災者や親子鑑定，或は犯罪捜査の異同識別などの識別精度を高めるためのDNA分析や象牙質中アスパラギン酸のラセミ化速度を応用した年齢推定。また，舌癒着症と子ども虐待との関わりや被虐待児の早期発見に対する開業歯科医の役割を歯科医師の立場から研究している。

社会活動：法医解剖による死因究明実務。歯科法医学の草分けとして，教育・研究の他に鑑定実務や警察歯科医および警察鑑識の教育とトレーニングを通して社会や歯科医師会に貢献。2004年1月より厚生労働省の推進する戦没者遺骨のDNA鑑定に対し鑑定機関として協力するとともに鑑定連絡会議等いくつかの関連専門者会議に出席。歯による身元確認・年齢推定・DNA鑑定を医学部法医学教室・裁判所・検察庁・警視庁他各府県警・各科捜研さらに厚生労働省・外務省などから囑託され鑑定を行っている。公判に出廷し，DNA鑑定や子ども虐待の鑑定人として証言。日本歯科医師会主催の全国警察歯科医会，身元確認作業の実施について全国7地区災害コーディネーター(身元確認・災害歯科保健医療)研修会，さらに神奈川県・東京都・静岡県各歯科医師会の定期的な警察歯科医のトレーニング講習会および実習に参加協力。

3 研究業績

【原著論文】

K22/OP/016 窪田光慶，吉田彩佳，藤田紗英子，居作和人，浅里仁，栗本勇輝，花岡孝治，菅谷彰：同期型双方向オンラインPBLと対面型PBLの実践と比較検討。神奈川歯学，57(2)，104-114，2022。

4 その他の業績・活動

【学会発表】

〔基調講演〕

●Yamada Y：Introduction to Japanese Society of Forensic Dental Science. AFOHR Japan Meeting 2022, Tokyo, Japan, 2022.11.13.

[一般発表・国内学会]

- 齊藤久子, 中久木康一, 秋富慎司, 榎野陽介, 永澤明佳, 中川貴美子, 藤田紗英子, 山本伊佐夫, 大平寛, 岩瀬博太郎, 山田良広, 長谷川巖: 新型コロナウイルス感染症関連死のご遺体におけるエンバーミングがもたらすグリーフケア. 第19回日警察歯科医会全国大会, 大阪, 2022.8.6.
- 藤田紗英子, 山本伊佐夫, 中川貴美子, 大平寛, 水野聡美, 小林漸, 池野正典, 長谷川巖, 齊藤久子, 榎野陽介, 岩瀬博太郎, 山田良広: 感染症まん延期における歯科所見採取時のPPEによる作業効率の調査. 第19回日警察歯科医会全国大会, 大阪, 2022.8.6.
- 齊藤久子, 中久木康一, 飯田哲也, 岡崎雄一郎, 水野聡美, 小林漸, 石井名実子, 奥田勝博, 中川貴美子, 藤田紗英子, 大平寛, 山本伊佐夫, 長谷川巖, 山田良広, 岩瀬博太郎, 清水恵子: 遺体の歯科所見採取における口腔内スキャナーの有用性の検討. 第91回日本法医学会学術関東地方集会, 千葉, 2022.10.8.
- 齊藤久子, 中久木康一, 秋富慎司, 牛渡一帆, 今川縁, 榎野陽介, 永澤明佳, 中川貴美子, 藤田紗英子, 山本伊佐夫, 大平寛, 橋爪謙一郎, 岩瀬博太郎, 山田良広, 長谷川巖: エンバーミング(遺体衛生保全処置)によるグリーフケア—新型コロナウイルス感染症のご遺体において—. 第37回日本催眠学会学術大会, 横浜, 2022.11.13
- 山田良広, 山本伊佐夫, 大平寛, 藤田紗英子, 鎌倉尚史, 中川貴美子, 長谷川巖: 2021~2022年法医鑑定概要. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 長谷場健, 勝山碧, 奥田貴久: ADH3はS-nitrosoglutathione reductase(GSNOR)としてAlc性肝障害の発症に寄与する. 第42回アルコール医学生物学研究会学術集会, 東京, 2023.2.3-4.
- 鎌倉尚史, 山本伊佐夫, 藤田紗英子, 大平寛, 山田良広, 長谷川巖: エックス線被曝のない乳幼児の骨折診断を目指した、血液検査による骨形成評価の検討. 第9回小児診療多職種研究会, 大阪, 2023.2.11-12.
- 齊藤久子, 中久木康一, 石井名実子, 中川貴美子, 藤田紗英子, 大平寛, 山本伊佐夫, 長谷川巖, 山田良広, 岩瀬博太郎, 清水恵子: 身元不明遺体における口腔内スキャナーを用いた歯科所見採取の検討. 第28回日本災害医学会総会・学術大会, 盛岡, 2023.3.9-11.
- 藤田紗英子, 山本伊佐夫, 中川貴美子, 大平寛, 池野正典, 長谷川巖, 齊藤久子, 榎野陽介, 岩瀬博太郎, 山田良広: PPEによる作業効率の検討歯科所見採取作業におけるPPE(Personal protective equipment)による作業効率の検討. 第28回日本災害医学会総会・学術大会, 盛岡, 2023.3.9-11.

[講演会・セミナー等]

- 山田良広: 静岡県歯科医師会身元確認研修会. 静岡県歯科医師会館, 静岡, 2022.4.17. / 弁護士会研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2022.4.25. / 横須賀学院高校実習. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2022.7.8. / 神奈川県警察検視専科(特別講義). 神奈川県警察本部, 相模原, 2022.9.29. / 三重県歯科医師会身元確認研修会. 三重県歯科医師会館, 三重, 2022.11.27. / 警察官のための法医学研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2022.12.14.
- 大平寛: 静岡県歯科医師会身元確認研修会. 静岡県歯科医師会館, 静岡, 2022.4.17. / 弁護士会研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2022.4.25. / 横須賀学院高校実習. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2022.7.8. / 三重県歯科医師会身元確認研修会. 三重県歯科医師会館, 三重, 2022.11.27. / 警察官のための法医学研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2022.12.14.

- 藤田紗英子：弁護士会研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2022.4.25. /横須賀学院高校実習. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2022.7.8. /ビックレスキューかながわ(神奈川県・葉山町合同防災訓練). 神奈川県, 葉山, 2022.10.16. /三重県歯科医師会身元確認研修会. 三重県歯科医師会館, 三重, 2022.11.27. /警察官のための法医学研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2022.12.14. /相模原防災訓練. 相模原市, 相模原, 2023.2.9.
- 鎌倉尚史：三重県歯科医師会身元確認研修会. 三重県歯科医師会館, 三重, 2022.11.27. /警察官のための法医学研修会. 神奈川歯科大学, 横須賀, 2022.12.14.

〔研究会報告〕

- 長谷場健, 小原由美子, 福田鈴子, 砂子岳彦, 菊池理夫, 松本孚, 岩田好宏：「公募KW」企画に関する意見交換を通じて. 総合人間学KW(キーワード)公開研究会, Online, 2022.4.1.
- 堀尾輝久, 穴見慎一, 太田明, 長谷場健：「戦争と平和の問題」を総合人間学的に考える. 2021年度総合人間学会第2回研究談話会, Online, 2022.4.9.
- 長谷場健：小原自己家畜化論の特徴と総合人間学. 総合人間学会企画「小原秀雄先生追悼記念—自己家畜化論の継承・発展のために」, Online, 2022.8.28.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 鎌倉尚史(代表), 中川貴美子(分担), 山本伊佐夫(分担), 大平寛(分担)：血液による年齢推定や骨折の診断を可能にするデータベースの構築. 挑戦的研究(萌芽), 21K19678, 2021～2023年度.

〔厚生労働科学研究費補助金〕

- 橋谷田真樹(代表), 山田良広(分担)：戦没者遺骨の身元特定に係るDNA鑑定の精度向上に関する研究. 政策科学推進研究, 21AA2004, 2021～2023年度.

〔横須賀高校SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業〕

- 山田良広：2022年4月～2023年3月：横須賀高校1年生指導(法医学に関する実習).
- 大平寛：2022年4月～2023年3月：横須賀高校1年生指導(法医学に関する実習).
- 藤田紗英子：2022年4月～2023年3月：横須賀高校1年生指導(法医学に関する実習).

〔意見聴取〕

- 長谷場健：千葉県八街市内における児童5名被害に係る危険運転致死傷事件の検挙 (2) 専門家からの聴取. 月間交通, 53(9), 30, 2022.

〔鑑定〕

- DNA鑑定(厚生労働省)：戦没者遺骨112件／遺族58件
- DNA鑑定(警察署(鑑定書))：20件
2022.4：滋賀県守山警察署・相模原南警察署・栃木県宇都宮東警察署 / 2022.6：平塚警察署 / 2022.8：千葉地裁・相模原南警察署3 / 2022.9：平塚警察署・滋賀県近江八幡警察署 / 2022.10：山梨県南アルプス警察署 / 2022.11：神奈川警察署 / 2022.12：平塚警察署 / 2023.1：広島県海田警察署・港南警察署 / 2023.2：千葉県警・保土ヶ谷警察署・高津警察署 / 2023.3：保土ヶ谷警察署・港北警察署

●DNA鑑定(警察署(意見書))：14件

2022.4：警視庁大崎署／2022.5：中原警察署／2022.6：茅ヶ崎警察署・伊勢佐木警察署
／2022.7：横浜地方検察庁小田原支部／2022.8：藤沢警察署・伊勢佐木警察署
2022.9：千葉県千葉中央警察署／2022.10：高津警察署・千葉県松戸警察署・千葉県千葉
中央警察署2／2022.11：千葉県松戸警察署／2022.12：藤沢警察署

●DNA親子鑑定(日本厚生協会)：親子鑑定3件(2022.7：2件, 2022.11：1件)

●アルコール薬物犯罪鑑定：6件

2022.4：警察調書(千葉県警)飲酒運転事故／2022.6：意見書(千葉県警)飲酒運転事故
2022.10：警察調書(千葉県警)飲酒運転事故／2022.12：意見聴取(大阪府警池田署)アルコー
ルの影響による心身喪失状態について・警察調書(千葉県警)飲酒運転事故／2023.2：意見
聴取書(千葉県警)飲酒運転事故

医科学講座

▶ 画像診断学分野

代表者：池上匡

1 | 教員・大学院生・他

診療科教授：池上匡

2 | 2022年度の活動内容

教育：学生の講義は「臨床医科歯科概論」のなかで1回担当している。

研究：女性泌尿器疾患，特に原因不明の下腹部痛疾患を対象に，骨盤うっ滞症候群や尿道狭窄症候群の画像診断基準を考案すること，および骨盤臓器脱の起こる構造的特徴を計測データから検討している。

臨床：附属病院の医科画像診断および歯科の歯・顎以外の画像診断を担当している。また地域のクリニック・米海軍病院からの依頼によるCT・MRI検査を施行し，画像診断報告書を作成している。2022年度の総読影件数は3,685件と2021年度の40%減となったが，附属横浜クリニックの読影業務が終了した影響である。一方で，地域医療機関からの依頼検査数は前年の1,185件から1,499件と26%増加した。

3 | 研究業績

【症例報告】

K22/CR/005 Okui N, Ikegami T, Mikic AN, Okui M, Gaspar A : Long-Term Improvement in Urinary Incontinence in an Elite Female Athlete Through the Laser Treatment: A Case Report. Cureus, 15(3), e36730, 2023. doi: 10.7759/cureus.36730

▶ 糖尿病・内分泌内科学分野

代表者：青木一孝

1 | 教員・大学院生・他

教授：青木一孝

2 | 2022年度の活動内容

総括：糖尿病・内分泌内科学の教育，臨床，研究の全般的な向上と充実を図ることができた。

教育：全身と口腔(3年生対象)，臨床実習・臨床演習(5年生対象)を担当した。

研究：糖尿病・内分泌内科学領域における研究を行った。

臨床：一般内科，糖尿病，内分泌学会内分泌代謝疾患に対する診療を行った。外部医療機関からの紹介および院内歯科からの依頼に基づき，歯科用金属アレルギー診断のためのパッチテストを行った。企業検診，人間ドック，特定健康診査，特定保健指導，市民検診(肺がん検診，胃がんリスク検診，大腸がん検診，前立腺がん検診)を行った。職員や市民に対してインフルエンザワクチンや新型コロナウイルスワクチン接種を行った。

社会活動：横須賀商工会議所でインフルエンザワクチン接種を行った。

3 | 研究業績

4 | その他の業績・活動

【業務・活動報告】

〔報道・記事〕

- 青木一孝：糖尿病の人は癌のリスクが高い 定期的な人間ドックやがん検診を。タウンニュース横須賀版，2023.1.20.

▶ 認知症・高齢者総合内科学分野

代表者：眞鍋雄太

1 | 教員・大学院生・他

診療科教授：眞鍋雄太

2 | 2022年度の活動内容

教育：研究テーマの一つに認知症と口腔機能の相関を掲げていることから，木本克彦教授の教室に所属する大学院生に対する研究指導を今年度も引き続き行った。また，前年度に引き続き，認知症診療における歯科と医科の「共通言語」の創造を目的に，教育および啓発活動に従事。その一環として，日本補綴歯科学会と日本老年精神医学会の連携研究事業「医科歯科連携—認知機能と口腔機能の相関に関する探索的研究プロジェクト(Medical-Dental collaboration: Exploratory research project on the Correlation between Cognitive and Oral function working group：ECCO)」の研究および教育活動を継続した。また，第41回日本認知症学会学術集会シンポジウム27「歯科からみた認知症」において，認知症専門医科よりみた医科歯科連携と題して講演を行った。次年度も，認知症研究に携わる歯科医師への啓発活動に努めてゆきたい。その他，本年度も歯学部3年生に対して，脳神経内科学領域の講義を担当し，新たに1年生に対して医科・歯科連携診療をテーマとした講義を行った。

研究：前述したECCOプロジェクトの一環として行った「医科-歯科における認知症と口腔機能に関する意識調査」に関して，共同著者として結果を学会誌に投稿した。2020年度に完了した特定臨床研究「レビー小体型認知症に伴う認知機能および心理行動障害に対する経頭蓋微弱超音波振動装置の有用性の検討」(虎の門病院認定臨床研究審査会)に関しては，現在，BMC Neurology誌へ投稿中である。2021年に完了した大阪大学大学院医学系研究科精神医学 池田学教授ならびに近畿大学医学部精神医学講座 橋本衛教授，大日本住友製薬株式会社(現住友ファーマ株式会社)メディカルアフェアーズ部 遠矢俊司氏との共同研究「レビー小体型認知症

に関する患者・介護者・医師の治療ニーズに関する研究」に関しては、サブ解析の結果を英国 Newcastleで開催されたInternational Lewy Body Dementia Conference 2022において報告し、共同執筆者として参加した主論文もAlzheimer's Research & Therapy誌にacceptされた。

臨床：診療科開設5年目となった今年度、引き続きCOVID-19感染禍という状況の中にあっても関わらず外来受診者数の落ち込みはなく、新規受診患者も順調な増加をみた。2023年度も横須賀地区における認知症診療の基幹と成るべく、より一層、良質な医療の提供に努めて行きたい。本年度の臨床活動を総括するならば、例年の通り、当科のraison d'êtreの実践、即ち、精緻で質の高い診断及びevidence based medicineに則った治療の提供を通じて当地における認知症診療に貢献した一年であったと自負している。また、出身医局(藤田医科大学救急総合内科)の客員教授として、本年度も藤田医科大学中部国際空港診療所でのプライマリ診療及び旅客医療への従事を継続した。

社会活動：2014年以来顧問医として参加している「レビー小体型認知症サポートネットワーク東京」の活動に、本年度も継続して従事。Web交流会を通じ、患者・家族への疾患啓発に努めた。また、活動制限の緩和を受けて講演の機会も増えたことから、医師、歯科医師のみならず、非医療者を対象とした啓発活動を積極的に行う事が出来た。その他、口腔衛生事業への一助として、日本補綴歯科学会研究企画推進委員 笛木賢治先生(東京医科歯科大学教授)による、自由民主党参議院議員 山田宏先生への咀嚼と認知機能、口腔フレイルと認知機能の関連に関する説明資料作成にも、医科専門医として協力した。

理事長鹿島勇先生が進めてこられた本学の未来化構想。その一つとして、日本橋三越本店新館5階に、2023年度初頭、神奈川歯科大学附属歯科・健脳クリニック日本橋を開院することとなった。その他、本年度も日本認知症学会専門医試験症例報告書審査委員として、専門医試験を受ける医師の症例報告評価を通じて、認知症専門医の育成に取り組んだ。

3 | 研究業績

【原著論文】

- K22/OP/040 Hashimoto M, Manabe Y, Yamaguchi T, Toya S, Ikeda M : Treatment needs of dementia with Lewy bodies according to patients, caregivers, and physicians: a cross-sectional, observational, questionnaire-based study in Japan. Alzheimer's Research & Therapy, 14, 188, 2022. doi: 10.1186/s13195-022-01130-4
- K22/OP/041 Inoue M, Kimoto K, Honma Y, Tomita R, Manabe Y : Oral environment and cerebral blood flow in patients with neurodegenerative dementia: comparison of Alzheimer type dementia and dementia with Lewy bodies. Psychogeriatrics, 23, 23-31, 2023.

【総説】

- K22/R/015 眞鍋雄太：アデュカヌマブ。臨床免疫・アレルギー科, 77(4), 481-485, 2022.
- K22/R/016 笛木賢治, 佐々木啓一, 眞鍋雄太, 木本克彦, 窪木拓男, 上田貴之, 安部友佳, 稲用友佳, 釘宮嘉浩, 白石成, 齋藤壮, 小林琢也, 橋本衛, 石川智久, 内海久美子, 池田学, 馬場一美: 認知機能と口腔機能の相関に関する探索的研究(ECCO)プロジェクト：活動の趣旨と内容。日本補綴歯科学会誌, 15, 72-78, 2023.

【その他】

- K22/O/006 眞鍋雄太：認知症診療における高齢者てんかん。一般社団法人川崎市精神科医会会報誌, 11, 7, 2022.
- K22/O/007 眞鍋雄太：認知症診療における漢方薬の位置付けと可能性～BPSDおよびREM睡眠行動異常症を中心に～。東京こころのクリニック, 21, 101-104, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム・教育講演〕

- 眞鍋雄太：認知症専門医科よりみた医科歯科連携 (シンポジウム27 歯科からみた認知症). 第41回日本認知症学会学術集会/第37回日本老年精神医学会[合同開催], 東京・ライブ配信, 2022.11.25-27.

〔一般発表・国際学会〕

- Manabe Y, Hashimoto M, Yamaguchi T, Toya S, Ikeda M : A prospective observational study using questionnaires on the treatment needs of patients with dementia with Lewy bodies, their caregivers, and their physician in Japan. American Academy of Neurology 2022 Annual Meeting, Seattle, WA, USA, 2022.4.2-7.
- Manabe Y, Hashimoto M, Yamaguchi T, Toya S, Ikeda M : Survey of treatment satisfaction of medication for symptoms of dementia with Lewy bodies among patients, their caregivers and their physicians. International Lewy Body Dementia Conference 2022, Newcastle, UK, 2022.6.15-17.
- Manabe M, Hashimoto M, Yamaguchi T, Toya S, Ikeda M : A cross-sectional survey of medications prescribed by expert physicians in Japan for symptoms of dementia with Lewy bodies. International Lewy Body Dementia Conference 2022, Newcastle, UK, 2022.6.15-17.

〔一般発表・国内学会〕

- 眞鍋雄太, 橋本衛, 山口拓洋, 遠矢俊司, 池田学：レビー小体型認知症の患者・介護者の治療ニーズと医師の理解度に関する前向き観察研究. 第63回日本神経学会学術大会, 東京, 2022.5.18-21.
- 眞鍋雄太, 橋本衛, 山口拓洋, 遠矢俊司, 池田学：レビー小体型認知症患者の日常生活動作に影響を与えている因子の探索. 第16回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres, ハイブリッド開催(東京, ライブ配信), 2022.7.21-23.
- 眞鍋雄太：認知症専門医による医科－歯科連携の必要性. 認知症と口腔機能研究会第3回学術集会, Web開催, 2022.8.6-7.
- 眞鍋雄太：International LBD conference in Newcastle June 2022参加報告. 第16回レビー小体型認知症研究会, オンライン開催, 2022.11.5.
- 眞鍋雄太, 橋本衛, 山口拓洋, 遠矢俊司, 池田学：レビー小体型認知症患者の日常生活動作(ADL)に関わる要因の探索的解析. 第41回日本認知症学会学術集会/第37回日本老年精神医学会[合同開催], 東京・ライブ配信, 2022.11.25-27.
- 眞鍋雄太, 橋本衛, 山口拓洋, 遠矢俊司, 池田学：レビー小体型認知症患者のQOLに影響を及ぼす要因の探索的解析. 第41回日本認知症学会学術集会/第37回日本老年精神医学会[合同開催], 東京・ライブ配信, 2022.11.25-27.
- 眞鍋雄太, 橋本衛, 山口拓洋, 遠矢俊司, 池田学：レビー小体型認知症患者のパーキンソニズムに関する病識と治療ニーズ. 第41回日本認知症学会学術集会/第37回日本老年精神医学会[合同開催], 東京・ライブ配信, 2022.11.25-27.

- 日本歯科放射線学会第235回関東地方会, Web開催, 2023.2.18.

[座長]

- 眞鍋雄太：招待講演2. アルツハイマー病の疾患修飾療法最近の進歩(演者：岩坪威先生). 認知症と口腔機能研究会第3回学術集会, Web開催, 2022.8.6-7.
- 眞鍋雄太：シンポジウム「レビー小体型認知症を様々な視点から再考する」. 講演4 レビー小体型認知症の幻覚(演者：西尾慶之先生) / 講演5 DLBの誤認と妄想(演者：長濱康弘先生). 第16回レビー小体型認知症研究会, オンライン開催, 2022.11.5.
- 眞鍋雄太：シンポジウム27. 歯科からみた認知症歯科・口腔機能の改善は認知症の予防につながるのか? エビデンスと今後の研究展望(演者：笛木賢治先生) / 地域包括ケアにおける医科歯科連携(演者：石川智久先生). 第41回日本認知症学会学術集会/第37回日本老年精神医学会[合同開催], 東京・ライブ配信, 2022.11.25-27.
- 眞鍋雄太：ポスターセッション. 診断-1. 第41回日本認知症学会学術集会/第37回日本老年精神医学会[合同開催], 東京・ライブ配信, 2022.11.25-27.
- 笛木賢治, 眞鍋雄太, 上田貴之, 橋本衛, 釘宮嘉浩, 白石成, 石川智久, 内海久美子, 稲用友佳, 安部友佳, 長島信太郎, 井上允, 窪木拓男, 木本克彦, 佐々木啓一, 池田学, 馬場一美：認知機能と口腔機能の相関に関する医師・歯科医師アンケート ECCOプロジェクト. 日本補綴歯科学会誌, 14(特別号), 348, 2022.

[講演会・セミナー等]

- 眞鍋雄太：誤解だらけの認知症—正しく識り、合理的な対応を—。IMSグループ看護師認知症対応力向上研修, 収録講演, 2022.4.14. / レビー小体病としてのパーキンソン病—治療ストラテジーを中心に—, 脳神経内科Expert Meeting—神経変性疾患のこれからを考える—。エーザイ株式会社, WEB講演, 2022.6.22. / パーキンソン病およびレビー小体型認知症—神経病理でみる症状の多様性とアンメットニーズ—。第37回神経内科認知症研究会, エーザイ株式会社, ハイブリッド講演(愛知, WEB), 2022.6.22. / 座長：眞木二葉「当院におけるPD治療薬—サフィナミドの使用経験を含めて—」, ディスカッション：ウェアリングオフ時の治療について. Parkinson's Disease Web Seminar in Kawasaki, エーザイ株式会社, WEB講演会, 2022.8.19. / 認知症性疾患における便秘—病態生理からみる認知症性疾患との関係—。神奈川県慢性便秘WEBチャンネル, 持田製薬株式会社, WEB講演会, 2022.9.15. / 通院患者における日本語版WOQ-9の実際. Parkinson's Disease Web Seminar, エーザイ株式会社, 2022.9.19. / 高齢者および認知症性疾患における慢性便秘症治療. 地域連携セミナー—便秘治療の実際を考える—, VIATRIS製薬株式会社, WEB講演会, 2022.10.20. / 認知症・変性疾患における脳血流SPCTの有用性. 第51回神奈川IPET/SPECT研究会—脳—, 日本メジフィジックス株式会社, WEB講演会, 2022.12.3. / 実地医科のための見逃してはいけない神経内科領域の疾患とその症状・病態8. 医療技術セミナー“スキルアップ”, WEBセミナー, 2022.12.18. / 認知症600万人時代に意識しておくべきこと-定義から治療まで. 第7回荏田南地区地域福祉フォーラム, 荏田南地区社会福祉協議会, 2023.2.19. / Treatment needs of dementia with Lewy bodies according to patients, caregivers and physicians: a cross-sectional, observational, questionnaire-based study in Japan概要説明—これからの治療strategy構築のために—. 住友ファーマ社内研修会, 神奈川, 2023.3.15. / レビー病理関連疾患の多様性—認知機能と神経病理を中心に—. 第20回和歌山神経心理研究会, エーザイ株式会社, WEB講演会, 2023.3.25.

【業務・活動報告】

〔報道・記事〕

- 眞鍋雄太：「夢の認知症薬」の開発はかくて“夢のまま”に終わった。週刊ポスト, 2022年4月15日号。【取材】
- 眞鍋雄太：「認知症＝もの忘れ」は誤解。タウンニュース横須賀版, 2022年6月24日号。【取材】
- 眞鍋雄太：認知症を考える。広報よこすか, 2022年9月号。
- 眞鍋雄太：アルツハイマー新薬「レカネマブ」徹底検証。週刊文春, 2022年10月13日号。【取材】
- 眞鍋雄太：いい医者だけが知っている「絶対飲んではいけない薬」。週刊ポスト, 2022年11月11日号。【取材】
- 眞鍋雄太：アリセプト、レビー添文改訂を前向きに受け止め DLB研究会の眞鍋氏、「投与上の縛りで適正使用が進む」。日刊薬業, 2022年11月25日号。【取材】
- 眞鍋雄太：コロナ第8波8つの疑問。週刊文春, 2022年12月1日号。【取材】
- 眞鍋雄太：「認知症の理解を」。タウンニュース横浜都筑区版, 2023年3月2日号。【取材】

〔デジタル記事〕

- 眞鍋雄太：私の漢方日誌 No.494 認知症に伴う心理・行動障害：不安・焦燥。漢方スクエア, 19(15)=通巻413号, 2022.8.9. https://www.kampo-s.jp/web_magazine/back_number/413/rensai-413.htm
- 眞鍋雄太：私の漢方日誌 No.496 認知症に伴う心理・行動障害：易刺激性および易怒性の亢進。漢方スクエア, 19(17)=通巻415号, 2022.9.14. https://www.kampo-s.jp/web_magazine/back_number/415/rensai-415.htm
- 眞鍋雄太：私の漢方日誌 No.498 REM睡眠行動障害と抑肝散加陳皮半夏。漢方スクエア, 19(19)=通巻417号, 2022.10.12. https://www.kampo-s.jp/web_magazine/back_number/417/rensai-417.htm
- 眞鍋雄太：私の漢方日誌 No.500 パーキンソン病に伴う食欲低下と人参養栄湯。漢方スクエア, 19(21)=通巻419号, 2022.11.9. https://www.kampo-s.jp/web_magazine/back_number/419/rensai-419.htm
- 眞鍋雄太：私の漢方日誌 No.501 硬膜下血腫に対する保存的治療：柴苓湯。漢方スクエア, 19(23)=通巻421号, 2022.12.14. https://www.kampo-s.jp/web_magazine/back_number/421/rensai-421.htm

〔WEBコンテンツ〕

- 眞鍋雄太：「レビー小体型認知症1」総論－レビー小体病という概念－。メディカルナレッジ薬剤師生涯研修eラーニング講座, 医療教育研究所, 2022。
- 眞鍋雄太：薬剤師生涯研修eラーニング講座「レビー小体型認知症2」症状－多彩な症状を理解する－。メディカルナレッジ薬剤師生涯研修eラーニング講座, 医療教育研究所, 2022。
- 眞鍋雄太：「レビー小体型認知症3」治療－レビー小体型認知症治療のevidenceを識る－。メディカルナレッジ薬剤師生涯研修eラーニング講座, 医療教育研究所, 2022。

〔監修〕

- 小阪憲司, 眞鍋雄太: レビー小体型認知症介護ガイドブック. エーザイ, 2022.
- 眞鍋雄太: レビー小体型認知症患者さんのご家族や介護者の皆様へ. エーザイ, 2022.
- 福井俊哉, 眞鍋雄太, 水上勝義: レビー小体型認知症患者さんのための症状日誌. エーザイ, 2022.

〔その他〕

- 眞鍋雄太: 藤田医科大学医学部客員教授.
- 眞鍋雄太: 日本認知症学会 専門医試験症例報告書審査委員.
- 眞鍋雄太: 日本老年精神医学会専門医制度委員会試験実施部会(試験問題担当)委員.
- 眞鍋雄太: 日本老年精神医学会医科歯科共同研究ワーキンググループ委員.
- 眞鍋雄太: 日本補綴歯科学会研究企画推進委員会委員.
- 眞鍋雄太: レビー小体型認知症研究会 世話人.
- 眞鍋雄太: レビー小体型認知症サポートネットワーク東京 顧問.
- 眞鍋雄太: 認知症と口腔機能研究会誌 認知症と口腔機能(Dementia and Oral Function)編集委員.
- 眞鍋雄太: 横須賀市医師会精神保健委員会委員.

▶ 高血圧症・腎臓内科学分野

代表者: 橋本達夫

1 | 教員・大学院生・他

教 授: 橋本達夫

2 | 2022年度の活動内容

総括: 教育, 臨床, 研究ともに充実を図ることができた.

教育: 全身と口腔(3年生対象), 臨床実習(6年生対象)に加え, 臨床医科歯科概論(1年生対象), 高齢者の歯科治療(4年生対象)の一部「終末期医療」を担当した.

研究: 横浜市立大学医学部薬理学および循環器・腎臓・高血圧内科学の大学院生指導を継続し, その成果を発表した.

臨床: 腎臓学会腎臓専門医, 透析医学会透析専門医による診療を行った. 新型コロナウイルス感染症に対して, 発熱外来を設置し, 青木医師と共に診療を行った. 外部医療機関からの紹介および院内歯科からの依頼に基づき, 歯科用金属アレルギー診断のためのパッチテストを行った. 企業検診, 人間ドック, 特定健康診査, 特定保健指導, 市民検診(肺がん検診, 胃がんリスク検診, 大腸がん検診, 前立腺がん検診)の受け入れを積極的に行った. 大学の保健衛生向上のため,

学生および教職員の予防接種を積極的に行った。職員及び学生、そして一般向けに新型コロナウイルスワクチン接種体制を構築し、接種を行った。昨年度より開始された土曜日午前診療を継続した。特定健診の腎臓専門医療機関として、紹介患者が増えた。

社会活動：横須賀市救急医療センターにおいて内科診療に協力している。

3 | 研究業績

【原著論文】

K22/OP/042 Shibata K, Shinzato T, Toma S, Nakai S, Kobayashi Y, Hashimoto T, Tamura K : Novel Capped-Needle Device: A Novel Safety Feature to Eliminate Air Bubbles in Hemodialysis. Blood Purification, 52, 54-59, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国際学会〕

●Shibata K, Shinzato T, Nakai S, Toma S, Kobayashi Y, Hashimoto T : M0774: Clean Buttonhole Puncture Prevents Infection. Nephrology Dialysis Transplantation, 37(Suppl.3), i559, 2022.

〔講演会・セミナー等〕

●橋本達夫：新領域の性差医学－腎臓内科の最新知見を含めて－。神奈川県保険医協会JOY会第30回研究会，横浜，2022.9.29.

【業務・活動報告】

〔報道・記事〕

●橋本達夫：腎臓病の新薬、患者に福音。タウンニュース横須賀版，2022.8.26.

▶ 総合内科学分野

代表者：栗橋健夫

1 | 教員・大学院生・他

診療科教授：栗橋健夫

特任准教授：米田正人

特任講師：結束貴臣，赤石雄，岡田興造

非常勤内科医師：望月弘美，大久保秀則，岩城慶大，赤見雅代，三澤昇，芦荊圭一，葛西祐樹，酒井英嗣，緒方智樹，桐ヶ谷英邦，中橋秀文，林(宮城島)佑穂，堤勝彦

2 | 2022年度の活動内容

教育：①神奈川歯科大学5年生に対してグループ別にして内科診療の見学実習を行い，全員に内科力チェックシートを配布，解説講義を行った。②神奈川歯科大学附属横浜クリニック歯科研修医に対して，「歯科医師のための内科学」7回コースを2時間ずつ行った。③神奈川歯科大学附属横浜クリニック歯科研修医に対して，内科診療の見学実習を行い，解説講義をした。

臨床：2022年4月より「患者さんにわかりやすい内科診療」をモットーに、慢性疾患には病態生理を平易に説明して、かかりつけ患者さんを増やしていった。さらに、総合診療医として急性期疾患のプライマリーケアと初期診断を行い、二次救急医療機関への迅速な搬送も心掛けた。地域特性を鑑みて、横浜川崎地区に気管支喘息患者および、いわゆる「かくれ喘息」の潜在患者の発掘が患者数アップと定着に有用と考え7年前よりFeNO(呼気一酸化窒素)測定器Niox Veroを地域の基幹病院に先駆けて導入し、気管支喘息かかりつけ患者を新規開拓し続けた。「総合内科医のわかりやすい内科説明」を徹底し、約80%の患者さんがかかりつけ患者で通院継続している状況は昨年同様であった。(喘息患者の呼吸器内科継続率は全国平均で50%前後)

専門外来は、引き続き横浜市立大学肝胆膵消化器病学教室からの消化器内科の一層の強化、神奈川歯科大学附属病院より認知症・高齢者総合内科の眞鍋雄太診療科教授の物忘れ外来を継続し患者数も増加した。さらに、横浜市立大学医学部循環器内科講師 岡田興造先生に火曜日の外来を引き続き担当していただいた。2023年1月より、地域で先駆けてキャノンメディカル社製の320列マルチスライスCTを導入して横浜市職員のがん検診や一次救急医療体制の充実を図った。

社会活動：栗橋健夫が神奈川歯科大学附属横浜クリニック医療安全委員会セミナーにて「新型コロナウイルス最新動向とワクチンについて」を行った。また、ロイヤル警備保障と株式会社いーふらんの産業医としての活動も継続、教育講演を8回実施した。

その他：神奈川歯科大学歯周病学教室、神奈川歯科大学附属横浜クリニック成人歯科と横浜市立大学循環器内科学教室と新たに歯周病と冠動脈疾患との関連を研究するため成人歯科 児玉利朗教授のチームが1か月に2回、横浜市民総合医療センター病院の循環器病棟に訪問して歯科検診を開始した。歯周病菌と唾液と冠動脈疾患との関連のエビデンスを世界に先駆けて構築することを目的にしたYOKOHAMA DENTAL HEART STUDYを開始した。また、今年度も近隣歯科診療所との歯科医科連携を図るため、神奈川歯科大学附属横浜クリニックで「歯科医師のための内科学講座」10回コースを歯科医師生涯学習セミナーで実施した。

3 | 研究業績

【原著論文】

- K22/OP/020 Kamata Y, Kessoku T, Shimizu T, Sato S, Kobayashi T, Kurihashi T, Morozumi T, Iwasaki T, Takashiba S, Hatanaka K, Hamada N, Kodama T, Higurashi T, Taguri M, Yoneda M, Usuda H, Wada K, Nakajima A, Minabe M : Periodontal Treatment and Usual Care for Nonalcoholic Fatty Liver Disease: A Multicenter, Randomized Controlled Trial. *Clinical and Translational Gastroenterology*, 13, e00520, 2022. doi: 10.14309/ctg.0000000000000520
- K22/OP/043 Yamamoto A, Kessoku T, Tanaka K, Takahashi K, Kasai Y, Ozaki A, Iwaki M, Kobayashi T, Yoshihara T, Misawa N, Ohkuma K, Fuyuki A, Higurashi T, Hosono K, Yoneda M, Iwasaki T, Kurihashi T, Nakatogawa M, Suzuki A, Taguri M, Oyamada S, Ariyoshi K, Kobayashi N, Ichikawa Y, Nakajima A : Rationale and design of a multicenter, single-group, open-label trial aiming at investigating the effectiveness of elobixibat for loss of defecation desire in patients with chronic constipation. *Contemporary Clinical Trials Communications*, 28, 100958, 2022. doi: 10.1016/j.conctc.2022.100958
- K22/OP/044 Yoshihara T, Kessoku T, Takatsu T, Misawa N, Ashikari K, Fuyuki A, Ohkubo H, Higurashi T, Iwaki M, Kurihashi T, Nakatogawa M, Yamamoto K, Terada I, Tanaka Y, Nakajima A : Exploratory, multicenter, open-label study to evaluate the effects of linaclotide in patients with chronic constipation with an insufficient response to magnesium oxide: A study protocol. *Contemporary Clinical Trials Communications*, 30, 101019, 2022. doi: 10.1016/j.conctc.2022.101019
- K22/OP/024 Sato S, Kamata Y, Kessoku T, Shimizu T, Kobayashi T, Kurihashi T, Takashiba S, Hatanaka

K, Hamada N, Kodama T, Higurashi T, Taguri M, Yoneda M, Usuda H, Wada K, Nakajima A, Morozumi T, Minabe M : A cross-sectional study assessing the relationship between non-alcoholic fatty liver disease and periodontal disease. Scientific Reports, 12, 13621, 2022. doi: 10.1038/s41598-022-17917-2

【解説】

K22/Ex/023 Tanaka K, Kessoku T, Yamamoto A, Takahashi K, Kasai Y, Ozaki A, Iwaki M, Kobayashi T, Yoshihara T, Misawa N, Kato T, Arimoto J, Fuyuki A, Sakai E, Higurashi T, Chiba H, Hosono K, Yoneda M, Iwasaki T, Kurihashi T, Nakatogawa M, Suzuki A, Taguri M, Oyamada S, Ariyoshi K, Kobayashi N, Ichikawa Y, Nakajima A : Rationale and design of a multicentre, 12-week, randomised, double-blind, placebo-controlled, parallel-group, investigator-initiated trial to investigate the efficacy and safety of elobixibat for chronic constipation. BMJ Open, 12, e060704, 2022. doi: 10.1136/bmjopen-2021-060704

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔講演会・セミナー等〕

- 栗橋健夫：歯科医師のための内科学その1 高血圧～40年ぶりの大改革!. 歯科医師生涯学習セミナー (第1回), 横浜, 2022.4.18. / 歯科医師のための内科学その2 歯科医師のための循環器疾患～ARNIとSGLT2阻害薬. 歯科医師生涯学習セミナー (第2回), 横浜, 2022.6.2. / 心電図の読影その1その2. 鶴見大学歯学部4年生救命救急歯科学授業, 横浜, 2022.6.21. / 歯科医師のための内科学その3 歯科医師のための感染症のまとめ～どうなっていくのか新型コロナウイルス感染症?. 歯科医師生涯学習セミナー (第3回), 横浜, 2021.6.30. / 歯科医師のための内科学その4 消化器疾患～早期がんを予防する. 歯科医師生涯学習セミナー (第4回), 横浜, 2022.7.28. / 歯科医師のための内科学その5 歯科医院での救急対応の確認事項～7モーターを見る前に患者を診る. 歯科医師生涯学習セミナー (第5回), 横浜, 2022.9.29. / 歯科医師のための内科学その6 腎泌尿器科疾患と甲状腺疾患～透析患者の口腔内所見. 歯科医師生涯学習セミナー (第6回), 横浜, 2022.10.13. / 歯科医師のための内科学その7 糖尿病～注射薬7から内服薬へ. 歯科医師生涯学習セミナー (第7回), 横浜, 2022.11.17. / 歯科医師のための内科学その8 神経疾患と周産期～歯科医師に必要なことは. 歯科医師生涯学習セミナー (第8回), 横浜, 2022.12.22. / 歯科医師のための内科学その9 膠原病と精神疾患～ミニマムポイント. 歯科医師生涯学習セミナー (第9回), 横浜, 2023.2.6. / 歯科医師のための内科学その10 呼吸器疾患～感染症か喘息か、どう鑑別する?. 歯科医師生涯学習セミナー (第10回), 横浜, 2023.3.23.
- 赤石雄：運動習慣ありますか? 薬に頼らず健康になる秘訣ーサルコペニアから考える運動習慣の重要性ー. 神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック地域医療連携室市民公開講座, 横浜, 2022.6.4.
- 堤勝彦：知っておきたい不整脈との向かい合い方. 神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック地域医療連携室市民公開講座, 横浜, 2022.10.4-17.(WEB開催).

1 教員・大学院生・他

診療科教授：市邊義章
 診療科准教授：池内梨絵(2022年10月から)
 診療科助教：櫻井藍子(2022年9月まで)
 診療科助手：蒲生真里
 客員教授：新家眞
 特任教授：原直人
 非常勤眼科医師：清水公也，飯田嘉彦，後関利明，河野雄亮，飯島敬，櫻井藍子，笠原正行，辻沢辰彦，富岡敏也，石田暁，早川秀輝，三宅俊之
 視能訓練士：君島真純，安藤友紀
 非常勤視能訓練士：戸塚和子，徳世由梨奈，栗原彩花，大竹裕美(2022年4月まで)

2 2022年度の活動内容

教育：神奈川歯科大学3年生講義「全身と口腔III」「感覚器疾患(眼)」(2022.11.28). 国際医療福祉大学3年生眼科講義(2022.6.3, 10.14, 11.18). 北里大学眼科クルズス「加齢黄斑変性」(2021.6.3). 北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科視覚機能療法学臨床実習3期(2022.5.23-9.22). 国際医療福祉大学視覚機能療法学臨床実習1期(2022.9.26-11.4).

研究：若年者の後天共同性内斜視とデジタルデバイスの使用の関連に関する多施設前向き研究(2022.1.17-継続 研究倫理委員会承認 第820番). (安藤，君島，蒲生，市邊)

Sagging eye syndromeのTV番組視聴後に来院した患者の臨床的特徴についての研究(2022.9.30 研究倫理委員会承認 第878号). (君島，市邊，後関)

神経学的疾患で羞明を来たす疾患に対する遮光効果の実態についての研究(2022.9.30 研究倫理委員会承認 第879号). (君島，市邊，原，蒲生，安藤，栗原)

日本におけるレーベル遺伝性視神経症の患者データベース作成(2021.8.5-継続 研究倫理委員会承認 第781号). (市邊)

臨床：一般眼科診療の他，専門外来として北里大学からの非常勤医師を含め「眼底疾患外来」(市邊)，「斜視・弱視外来(手術)」(後関)，「神経眼科外来」(市邊，原)，「眼瞼けいれん外来」(原)，「白内障外来(手術)」(飯田，飯島，清水)，「緑内障外来」(河野)，「緑内障特殊外来」(新家)を行った。

2022年度の手術件数は以下の通り

- ・白内障：223件(2021年度：203件，2020年度：175件，2019年度：193件)
- ・斜視，その他：58件(2021年度：55件，2020年度：65件，2019年度：51件)
- ・網膜レーザー：11件(2021年度：15件，2020年度：13件，2019年度：15件)
- ・YAGレーザー：135眼(2021年度：157眼，2020年度：123眼，2019年度：103眼)
- ・虹彩レーザー：0件(2021年度：0件，2020年度：1件，2019年度：0件)
- ・隅角レーザー：0件(2021年度：1件，2020年度以前：0件)
- ・硝子体注射：2件(2021年度：7件，2020年度：9件，2019年度：5件)
- ・ボツリヌス治療：眼瞼：194件(2021年度：175件，2020年度：216件，2019年度：168件)
 ／斜視：0件(2021年：1件，2020年度：4件，2019年度：3件)

社会活動：2022年度小笠原(母島，父島)眼科診療(春2022.4.22-5.5 秋10.25-11.5)，日本神経眼科学会評議委員・編集委員，神奈川ロービジョンネットワーク副代表理事，神奈川県眼科DMカンファレンス代表世話人，神奈川黄斑研究会世話人，東海眼科学会世話人，日本視能訓練士協会誌査読委員，神奈川県指定難病審査会委員，小児慢性特定疾病指定医，北里大学医学部非常勤教員，国際医療福祉大学非常勤講師。(市邊)

神奈川歯科大学附属横浜クリニック眼科市民公開講座「サングラスアイ症候群を知っています

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/022 安藤友紀, 後関利明, 君島真純: V.②.私の経験. 自験例から考える!デジタルデバイスによる急性内斜視患者の生活環境と生活指導. pp.194-197. 仁科幸子, 林思音編集:ファーストステップ!子どもの視機能をみる一スクリーニングと外来診療一. 全日本病院出版会, 東京, 2022.

【原著論文】

K22/OP/045 櫻井藍子, 後関利明, 市邊義章, 庄司信行: 間欠性外斜視に対する内直筋plication術の術後屈折変化. 臨床眼科, 76(6), 785-791, 2022.

K22/OP/046 君島真純, 後関利明, 市邊義章: 外斜視術後過矯正に対し, 術後早期にplication縫合糸を抜糸した3症例. 眼科臨床紀要, 16(2), 117-121, 2023.

K22/OP/047 栗原彩花, 市邊義章, 蒲生真里, 君島真純, 安藤友紀, 櫻井藍子: 新型コロナウイルスワクチン接種後に一時的な眼球運動障害を発症した一例. 眼科臨床紀要, 16(3), 184-188, 2023.

【その他】

K22/O/008 市邊義章: 「さがみ糖尿病カンファレンス」100回記念. さがみ糖尿病カンファレンス100回記念誌, pp.14, 2022.

K22/O/009 櫻井藍子, 後関利明: 斜視手術でplication術を使うのはどんなときですか?. 臨床眼科, 76(11), 185-188, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 蒲生真里, 原直人, 君島真純, 安藤友紀, 栗原彩花, 市邊義章: 随意性眼球運動に伴い左眼瞼の痙攣を来す顔面神経麻痺後の1例. 第78回日本弱視斜視学会総会, 宇都宮, 2022.6.17-18.
- 君島真純, 後関利明, 蒲生真里, 安藤友紀, 栗原彩花, 國見敬子, 櫻井藍子, 市邊義章: 外斜視術後過矯正に対し、術後早期にplication縫合糸を抜糸した3症例. 第78回日本弱視斜視学会総会, 宇都宮, 2022.6.17-18.
- 栗原彩花, 市邊義章, 君島真純, 蒲生真里, 安藤友紀, 櫻井藍子: 新型コロナウイルスワクチン接種後に一時的な眼球運動障害を発症した一例. 第78回日本弱視斜視学会総会, 宇都宮, 2022.6.17-18.
- 國見敬子, 後関利明, 戸塚悟, 君島真純, 蒲生真里, 高橋慎也, 塩谷直子: 後天共同性内斜視に対する手術成績に影響を与える因子の検討. 第78回日本弱視斜視学会総会, 宇都宮, 2022.6.17-18.
- 君島真純, 後関利明, 蒲生真里, 市邊義章: Sagging eye syndromeの番組を観て来院した患者の臨床的特徴. 第63回日本視能矯正学会, 大阪, 2022.10.22-23.
- 君島真純, 原直人, 蒲生真里, 安藤友紀, 栗原彩花, 市邊義章: 神経学的疾患で羞明を来たす疾

患に対する遮光効果の実態. 第60回日本神経眼科学会総会, ハイブリッド開催(倉敷, ライブ配信), 2022.11.11-12.

[講演会・セミナー等]

- 君島真純：視機能検査の実際.情報機器作業検査研修会, 東京, 2023.1.27.

【業務・活動報告】

[学会記]

- 安藤友紀：学会印象記 招待講演「医療現場の行動経済学」(大竹文雄先生). J.A.C.O. NEWS, 140, 18-19, 2023.

[問題集の解説]

- 市邊義章：解説書.116A-3. pp.4-5 / 解説書.116F-57. pp.521-523. 医師国家試験問題解説書編集委員会編集：国試116：第116回医師国家試験問題解説書. テコム, 東京, 2022.

[学会・会議・研究会・講習会参加]

- 市邊義章：第126回日本眼科学会総会. 2022.4.14-17. / 第78回日本弱視斜視学会総会. 2022.6.17-18. / フォーサム2022せとうち. 2022.7.8-10. / C眼科臨床フォーラム. 2022.7.14. / Retina Forum. 2022.7.29. / 北里大学眼科同窓会理事会. 2022.9.6. / 市民公開講座. 2022.9.10. / 第16回神奈川黄斑研究会. 2022.9.24. / 興和研修会. 2022.10.9. / 第76回日本臨床眼科学会. 2022.10.13-16. / 第28回日本糖尿病眼科学会総会. 2022.10.21-22. / 第63回視能矯正学会. 2022.10.22-23. / 第60回日本神経眼科学会総会. 2022.11.11-12. / JSCRS 眼科臨床機器研究会. 2022.11.19. / 第10回神奈川小児眼科・神経眼科カンファレンス. 2023.2.2. / 第19回小児眼科診療セミナー. 2023.2.4. / 第71回湘西眼科臨床フォーラム. 2023.3.2. / 第19回神奈川県眼科DMカンファレンス. 2023.3.11. / 第15回神奈川クロスオーバーシンポジウム. 2023.3.18.
- 池内梨絵：第76回日本臨床眼科学会. 2022.10.13-16. / 第15回神奈川県クロスオーバーシンポジウム. 2023.3.18.
- 櫻井藍子：第126回日本眼科学会総会. 2022.4.14-17. / 第76回日本臨床眼科学会. 2022.10.13-16.
- 蒲生真里：臨床医のための小児眼科・斜視診療 第3回「色覚異常」. 2022.4.18. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第4回「プリズム」. 2022.5.9. / 日本視能訓練士協会第37回講演会・第20回研修会. 2022.6.12. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第5回「眼球運動の診察法」. 2022.6.13. / 第78回日本弱視斜視学会総会. 2022.6.17-18. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第6回「小児患者の診察法」. 2022.7.11. / 視能訓練士協会生涯教育専門教育プログラムI. 2022.7.17-18. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第7回「スキアスコピー」. 2022.9.5. / 第18回小児眼科診療セミナー. 2022.10.1. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第8回「後天性斜視」. 2022.10.3. / 第76回日本臨床眼科学会. 2022.10.13-16. / 第76回日本臨床眼科学会視能訓練士プログラム. 2022.10.16. / 第63回日本視能矯正学会オンデマンドセミナー各種. 2022.10.22-23. / 第1回長野県ロービジョンサポート研究会. 2022.11.6. / 第60回日本神経眼科学会総会. 2022.11.11-12. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第9回「間欠性外斜視の手術適応」. 2022.11.14. / 第21回眼科臨床機器研究会. 2022.11.19. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第10回「成人斜視の手術適応」. 2022.12.12. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第11回「弱視の眼鏡処方」. 2023.1.23. / 第10回神奈川小児眼科・神経眼科カンファレンス. 2023.2.2. / 第19回小児眼科診療セミナー. 2023.2.4. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第12回「上下斜視の手術」. 2023.2.13. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第13回「大型弱視鏡」. 2023.3.13.

- 君島真純：臨床医のための小児眼科・斜視診療 第3回「色覚異常」. 2022.4.18. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第4回「プリズム」. 2022.5.9. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第5回「眼球運動の診察法」. 2022.6.13. / 第78回日本弱視斜視学会総会. 2022.6.17-18. / 第11回日本視野画像学会学術集会. 2022.7.2. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第6回「小児患者の診察法」. 2022.7.11. / 第34回近畿神経眼科セミナー. 2022.7.17. / 名古屋眼鏡 トマトグラッシーズzoom勉強会. 2022.8.1. / 第37回真鶴セミナー(神経眼科勉強会). 2022.8.27. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第7回「スキアスコピー」. 2022.9.5. / HOYA 基礎から学ぶ眼鏡レンズセミナー 第1回. 2022.9.30. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第8回「後天性斜視」. 2022.10.3. / 第76回日本臨床眼科学会. 2022.10.13-15. / 第63回日本視能矯正学会. 2022.10.22. / HOYA 基礎から学ぶ眼鏡レンズセミナー 第2回. 2022.10.28. / 第75回日本自律神経学会総会. 2022.10.28. / 眼科ケア雑誌zoomヒアリング. 2022.10.31. / 第60回日本神経眼科学会総会. 2022.11.11. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第9回「間欠性外斜視の手術適応」. 2022.11.14. / 第21回眼科臨床機器研究会. 2022.11.19. / HOYA 基礎から学ぶ眼鏡レンズセミナー 第3回. 2022.11.25. / スタンレー電気株式会社 取材. 2022.12.3. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第10回「成人斜視の手術適応」. 2022.12.12. / HOYA 基礎から学ぶ眼鏡レンズセミナー 第4回. 2022.12.23. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第11回「弱視の眼鏡処方」. 2023.1.23. / HOYA 基礎から学ぶ眼鏡レンズセミナー 第5回. 2023.1.27. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第12回「上下斜視の手術」. 2023.2.13. / 最適な見え方"を追求しよう(WEB講演会). 2023.2.16. / 第20回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー. 2023.2.18. / 第8回視覚生理学基礎セミナー. 2023.2.19. / HOYA 基礎から学ぶ眼鏡レンズセミナー 第6回. 2023.2.22. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第13回「大型弱視鏡」. 2023.3.13. / 第25回iseminar×教育webinar. 2023.3.16. / 第5回日本両眼視矯正研究会. 2023.3.24.

- 安藤友紀：第11回神奈川県視能訓練士の会. 2022.4.13. / 第31回帝京弱視斜視研究会. 2022.5.10. / 第17回浜松医科大学地域連携WEBセミナー. 2022.5.25. / 第78回日本弱視斜視学会総会. 2022.6.17-18. / 第11回日本視野画像学会学術集会. 2022.7.2-3. / NIKON-ESSILOR「第5回みるみるセミナー」. 2022.7.30. / 湘西眼科講習会. 2022.10.1. / 第76回日本臨床眼科学会. 2022.10.13-16. / 神奈川県視能訓練士会第3回勉強会. 2022.10.19. / 第63回日本視能矯正学会. 2022.10.22-23. / 第60回神経眼科学会総会. 2022.11.11-12. / 第50回日本頭痛学会総会. 2022.11.25-26. / 第64回日本産業・労働・交通眼科学会. 2022.12.10. / 全国視能訓練士学校協会 第15回教員研修会. 2023.1.15. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第12回「上下斜視の手術」. 2023.2.13. / 参天製薬「最適な見え方"を追求しよう」. 2023.2.16. / 第4回SENJU Glaucoma Seminar. 2023.2.22. / 第5回日本両眼視矯正研究会JOVS. 2023.3.24.

- 栗原彩花：第11回神奈川県視能訓練士の会講演会. 2022.3.25-4.24. / 第126回日本眼科学会総会. 2022.4.14-17. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第3回「色覚異常」. 2022.4.18. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第5回「眼球運動の診察法」. 2022.6.13. / 第78回日本弱視斜視学会総会. 2022.6.17-18. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第6回「小児眼科の診察法」. 2022.7.11. / Future of Orthoptistナイトセミナー. 2022.7.30. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第7回「スキアスコピー」. 2022.9.5. / 【第1回】HOYAオンラインセミナー基礎から学ぶ眼鏡レンズ「累進屈折力レンズの仕組み」. 2022.9.30. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第8回「内斜視の手術適応」. 2022.10.3. / 第76回日本臨床眼科学会. 2022.10.13-16. / 第63回日本視能矯正学会. 2022.10.22-23. / 第60回日本神経眼科学会総会. 2022.11.11-12. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第9回「間欠性外斜視の手術適応」. 2022.11.14. / 第64回日本産業・労働・交通眼科学会～仕事の加速Work Accelerator～. 2022.12.10. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第10回「成人斜視の手術適応」. 2022.12.12. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第11回「弱視の眼鏡処方」. 2023.1.23. / 臨床医のための小児眼科・斜視診療 第12回「上下斜視の手術」. 2023.2.13.

1 | 教員・大学院生・他

診療科助手：山崎勇輝，光武珠映
薬剤師：田中麗

2 | 2022年度の活動内容

教育：臨床実習に必要な薬学的知識のための実習書を編集し，55回登院生の臨床実習を行った。
研究：歯科医療における外来経口抗菌薬長期投与と抗菌薬適正使用支援チームの抗菌薬使用日数への影響について調査し，抗菌薬適正使用を推進した。
臨床：病院内調剤所として調剤，製剤，管理等，薬剤関連一般業務を行った。病院では合併症のある患者の診療が増加しているため，薬剤併用に関する質問への回答や，入院する外来患者の服用中の持参薬を調査し，診療上の注意点や配薬に寄与することができた。特に医療の安全と薬剤管理指導業務という医療報酬に対しても注力した。医薬品安全管理責任者としての医薬品関連インシデント対策や管理業務を行い，全病院職員を対象に，医薬品安全使用のための講習会を開催した。また，長期抗菌薬投与モニタリングを行い，抗菌薬適正使用にも注力した。
社会活動：全国私立歯科大学附属病院薬剤部長会メーリングリストにて情報交換を行い，各歯科大学附属病院間の病院の業務検討と連携について，および歯科領域で使用する医薬品に関する共同調査について協議した。横須賀・三浦病院薬剤師業務連絡委員会委員として，地域薬剤師の教育研修会等を企画，運営した。
その他：横須賀市薬剤師会や神奈川県病院薬剤師会の各委員会へ委員として，また神奈川県薬物乱用防止指導員として協力した。

3 | 研究業績

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 山崎勇輝：ポリファーマシーの薬剤師の役割 (シンポジウム2). 第31回日本有病者歯科医療学会学術大会, 宜野湾, 2022.4.30-5.1.

〔一般発表・国内学会〕

- 山崎勇輝：地域密着全市民巻き込み型残薬解消を目指したヨコスカネイビーバグプロジェクトの取り組み. 日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会, 横浜, 2022.8.20-21.

〔講演会・セミナー等〕

- 山崎勇輝：歯科医療における抗菌薬使用動向と薬剤耐性対策の現状と課題. 第28回歯科薬剤セミナー, オンライン, 2022.6.5 / 歯周病と全身疾患について 薬と健康の週間2022. 横須賀市薬剤師会, オンライン, 2022.11.1-14.

1 | 教員・大学院生・他

診療科助手：岩宮万里子，山田秀子，市原準平
非常勤臨床検査技師：西澤菜緒
横浜クリニック臨床検査技師：鳥海由紀子，田中由子，馬場真弓

2 | 2022年度の活動内容

教育：登院生(歯学部5年生)の臨床実習，歯学部3年生「歯と歯周組織の検査」の講義を担当。検査の基礎知識や歯科・医科における各種検査の必要性，検査項目の選択，検査データの分析などを解説した。

臨床：附属病院において，各診療科患者の臨床検査を実施した。主に，血液検査，尿検査，心電図検査，呼吸機能検査，PSG(終夜睡眠ポリグラフィ)検査，味覚検査，一部の超音波検査である。新型コロナウイルス検査のためのPCR検査を実施(対象は，入院前患者及び付き添い者，自費による検査希望者，発熱外来患者)。又，企業健診・人間ドックの方の臨床検査を実施した。日本臨床検査技師会の精度管理調査事業に参加し，外部精度管理を実施。

ICTとして病院内ラウンドを実施。定期的に横須賀地区感染防止対策合同カンファレンスに参加し，意見交換を行った。

歯科保存学講座

▶ 保存修復学分野

代表者：向井義晴

1 教員・大学院生・他

教 授：向井義晴
准 教 授：富山潔
講 師：椎谷亨，飯塚純子
助 教：日高恒輝，國松雄一，小倉真奈
診療科助手：乙幡勇介，須藤昌也
大 学 院 生：小浦裕菜(2年)，平岩昂樹(1年)
名 誉 教 授：寺中敏夫
特 任 講 師：青木(三宅)香，荻原崇，亀山祐佳，菅原剛志，武村幸彦，長尾大輔，
和田悠希
特任講師(無給)：田中隆博，海老原敬

2 2022年度の活動内容

教育：担当・分担した学部教育は、1年生の「臨床医科歯科概論」、2年生の「生体材料」「歯と歯周組織の常態」、3年生の「歯と歯周組織の病態」「歯科疾患の予防と管理」「歯と歯周組織の検査」「齲蝕歯髄疾患」、4年生の「総合歯科学」、5年生の「臨床実習I(医療安全と感染防止を含む)」、6年生の「臨床実習II」および臨床研修医のアドバンスコース講義・実習等である。COVID-19感染症を考慮し、多くの授業がハイブリッド形式であったが、齲蝕歯髄疾患Iの実習は実習室を使って全員参加にて実施した。また病院実習においても、感染防止を徹底したうえで自験を主に数多くの症例を臨床実習生に担当させ、疾患の原因、治療術式の習熟とその基となる理論的背景の教育に力を注ぎ、歯科学学生の参加型臨床実習に大きく貢献した。

研究：齲蝕の先進的な治療法と予防法の確立を本年度も主テーマに据え、学内では微生物、組織、クリニカル・バイオマテリアル、学外ではACTAならびに国内多数の企業協力のもと、医局を挙げて積極的に研究に取り組んだ。具体的研究課題は、1) S-PRG溶出液の濃度の違いが多菌種バイオフィルムの代謝および生菌数に与える影響、2) ナノサイズ銀粒子を含む洗口液の多菌種バイオフィルムへの抗菌効果、3) 親水性基材からなるホームブリーチング剤の経時的漂白効果、4) フッ化物含有知覚過敏抑制材の象牙質表層下脱灰病巣に対する再石灰化誘導能、5) レオロジーから見たコンポジットレジンの材料特性、6) 象牙質シングルセクションと多菌種バイオフィルムモデルを用いた表層下脱灰病巣モデルの確立、7) 歯質に対する半導体レーザー照射に関する研究、8) オーラルクロマを使用した口臭測定等であった。COVID-19感染症の影響はまだ残るものの、現地での学会参加や学会発表が行えるようになり、結果を学会において発表したほか、国内外の専門雑誌に掲載を行った。

臨床：成人齲蝕の予防とMinimal Intervention Dentistry (MID)のコンセプトに則った治療の遂行を念頭に置きながら、学生が国家試験出題基準・コアカリキュラムの内容を網羅的に学修できるように総合診療科に多くの人員を配し参加型実習に貢献した。

その他：7月17日(日)のオープンキャンパス体験実習は当分野が担当し「体験してみよう、歯医者さん1：「むし歯ってどうやって治すの!?歯を削って詰める模擬体験!」というテーマで、47組(同伴者含67名)のご参加をいただいた。

3 | 研究業績

【著書】

- K22/B&C/023 向井義晴：第3章.I. 医療面接. pp.49-54 / 第3章.II. 治療計画と評価. pp.54-56 / 第6章.I. 間接修復の合着と接着. pp.181-184 / 第6章.II. 間接修復の合着材, 接着材. pp.184-192 / 第6章.III. レジンコーティング法. pp.192-193. 千田彰, 宮崎真至, 林美加子, 向井義晴, 斎藤隆史編集：保存修復学. 第7版第4刷, 医歯薬出版, 東京, 2023.
- K22/B&C/024 向井義晴：I編.2章. 歯および歯周組織の検査. pp8-13 / II編.1章.③. 保存修復治療の概要. pp29-31. 全国歯科衛生士教育協議会監修；千田彰, 石井信之ほか著：保存修復学・歯内療法学. 医歯薬出版, 東京, 2023.
- K22/B&C/025 向井義晴：119. MTAセメント. pp.11 / 284. クラウンフォーム. pp.26 / 718. タンニン・フッ化物合剤配合ポリカルボキシレートセメント. pp.64 / 1143. リング状リテーナー. pp.103. 日本歯科保存学会編：保存修復学専門用語集. 第3版, 医歯薬出版, 東京, 2023.

【原著論文】

- K22/OP/048 Iizuka J, Kunimatsu Y, Mikuni-Takagaki Y, Mukai Y : Evaluation of the mineral-promoting effects of in-office bleaching on experimental subsurface enamel lesions. Dental Materials Journal, 41(4), 589-594, 2022.
- K22/OP/036 中野貴文, 川村和章, 椎谷亨, 山本龍生, 向井義晴：活動性根面齲蝕様病巣に対するジェルタイプ象牙質知覚過敏治療材の進行停止効果. 日本歯科保存学雑誌, 65(3), 215-220, 2022.

【総説】

- K22/R/017 富山潔, 向井義晴：多菌種バイオフィームモデルを使用した新たな齲蝕研究手法. 象牙質歯髄治療学会雑誌, 3(1), 31-40, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 富山潔, 向井義晴：多菌種バイオフィームモデルを使用した新たな齲蝕研究手法. 第3回象牙質歯髄治療学会学術大会シンポジウム, 札幌, 2022.9.10.

〔一般発表・国内学会〕

- 中島知佳子, 藤田茉衣子, 中村州臣, 日高恒輝, 高垣裕子, 木本茂成：ラット根未完成歯における炎症治癒と根尖閉鎖に関する因子の検証. 第60回日本小児歯科学会大会, ハイブリッド開催(千葉, Web), 2022.5.19-20.
- 富山潔, 渡辺清子, 浜田信城, 向井義晴：銀ナノ粒子含有洗口剤の多菌種バイオフィームに対する齲蝕原性抑制効果. 日本歯科保存学会2022年度春季学術大会(第156回), Web開催, 2022.6.16-7.6.
- 小浦裕菜, 富山潔, 國松雄一, 石澤将人, 浜田信城, 向井義晴：多菌種バイオフィームを用いた象牙質表層下脱灰病巣の再石灰化様相. 日本歯科保存学会2022年度春季学術大会(第156回), Web開催, 2022.6.16-7.6.
- 小浦裕菜, 富山潔, 國松雄一, 浜田信城, 向井義晴：多菌種バイオフィームモデルを用いた象牙質表層下脱灰病巣の再石灰化研究. 第3回象牙質歯髄治療学会学術大会, 札幌, 2022.9.10.

- 武村幸彦, 向井義晴: 静脈内鎮静法を用いた歯周形成手術ならびに口腔機能修復治療を行った長期予後症例. 日本歯科審美学会第33回学術大会, 新潟, 2022.10.15-16.
- 日高恒輝, 向井義晴: ジルコニア接着ブリッジによる低侵襲な欠損補綴を行った2症例. 日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)・第24回日韓歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022.11.10-11.
- 小浦裕菜, 富山潔, 國松雄一, 浜田信城, 向井義晴: バイオフィーム環境下で誘導された再石灰化象牙質の細菌叢分析. 日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)・第24回日韓歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022.11.10-11.
- 平岩昂樹, 椎谷亨, 向井義晴: S-PRGフィラー含有水硬性仮封材による象牙質脱灰抑制能. 日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)・第24回日韓歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022.11.10-11.
- 富山潔, 小浦裕菜, 渡辺清子, 浜田信城, 向井義晴: 銀ナノ粒子含有洗口剤の多菌種バイオフィームに対する糖代謝抑制効果. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 日高恒輝, 向井義晴: ジルコニア接着ブリッジによる低侵襲な欠損補綴を行った2症例:続報. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 小浦裕菜, 富山潔, 國松雄一, 浜田信城, 向井義晴: 多菌種バイオフィーム環境下における象牙質表層下脱灰病巣の再石灰化誘導. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 向井義晴, 小浦裕菜, 小倉真奈: テトラサイクリン変色歯に対してホワイトニングを行った1症例. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 富山潔(代表), 向井義晴(分担): 抗菌剤処理後のう蝕, 歯周病モデルポリマイクロバイアルバイオフィーム群集構造の解析. 基盤研究(C), 17K11721, 2017~2022年度.
- 向井義晴(代表), 石澤将人(分担), 富山潔(分担): 象牙質シングルセクションと多菌種バイオフィームモデルを使用した再石灰化療法の検討. 基盤研究(C), 20K09965, 2020~2022年度.
- 日高恒輝(代表): 非侵襲的な波動刺激に対する生体反応を利用した補助的矯正治療法の研究開発. 若手研究, 20K18584, 2020~2022年度.

〔受託研究・奨学寄附金等〕

- 向井義晴: Amsterdam Active Attachment modelを用いた歯周病モデル菌叢評価系構築及び菌叢制御機能の解析に関する研究. ライオン株式会社共同研究費, 2021017, 2022年度.
- 向井義晴: 保存修復学分野研究助成のため. クラレノリタケデンタル株式会社奨学寄附金, 2022001, 2022年度.
- 向井義晴: S-PRGフィラー含有歯科材料・器材による歯質脱灰抑制能の検討. 株式会社松風受託研究費, 2022005, 2022年度.

[賞]

- 向井義晴：ポスター賞：テトラサイクリン変色歯に対してホワイトニングを行った1症例. 神奈川歯科大学学会. 2022.11.26.
- 武村幸彦：ポスター賞：窩洞形態の違いによるレジンの重合収縮挙動—円筒型窩洞と十字形箱型窩洞の比較—. 神奈川歯科大学学会. 2022.11.26

[報道・記事]

- 向井義晴：マスクを外したら「白い歯」. タウンニュース横須賀版, 2022.11.18.

[学会記]

- 椎谷亨：第157回日本歯科保存学会学術大会に参加して. KDU Research Support Center News Letter, Vol.19, 2023年1月&2月合併号.

[ホームページ]

- 椎谷亨：「神奈川歯科大学歯科保存学講座保存修復学分野」のHPの作成, 定期的な更新.

[その他]

- 飯塚純子：横須賀市立大津中学校職場訪問(インタビュー)受け入れ. 2022.6.10.
- 向井義晴, 小浦裕菜：横浜雙葉高等学校体験実習受け入れ. 2022.7.15. / 相洋高等学校体験実習受け入れ. 2022.8.25.
- 國松雄一：インディアナ大学歯学部Department of Cariology, Operative Dentistry, and Dental Public Health(USA)にInternational visiting scholarとして2022年9月1日～長期留学.
- 向井義晴, 椎谷亨, 小浦裕菜：湘南学園高等学校体験実習受け入れ. 2022.10.7.
- 椎谷亨, 菅谷彰：横須賀市立馬堀中学校体験実習受け入れ. 2022.12.6.
- 向井義晴, 二瓶智太郎, 小浦裕菜：大人むし歯になりやすい口の中, なりにくい口の中の再現実験. 2022年度神奈川県立横須賀高等学校スーパーサイエンススクール(SSH)事業 Principial指導.

1 教員・大学院生・他

教授：石井信之
 准教授：武藤徳子
 講師・診療科准教授：鈴木二郎
 講師：室町幸一郎
 助教：藤巻龍治，村野浩気
 大学院生：林玲緒奈(3年)，山崎詩織(3年)，糸永和広(3年)，王珽萱(2年)，
 附田孝仁(2年)，石井孝幸(1年)，山根雅仁(1年)
 医員：都富友紀，秋葉千晶，石井孝幸，糸永和宏，徐開元
 特任講師：下島かおり，上田剛史，榎本光夫，金子博嗣，小泉忠彦，下出真道，
 長尾大輔，原めぐみ，平嶺倫子，渡部弘隆，斉藤大輔
 特任講師(無給)：清水直美，Lee Sangmin，Kang Pil Seoung
 臨床専攻生：宇都宮舞衣

2 2022年度の活動内容

常勤スタッフは11名，大学院生7名で教育，研究，臨床に精力的に取り組んだ。

教育：歯内療法学分野の教育方針は，一貫して医局スタッフ全員が教育的情熱を持つことと学生に誠実に対応することを掲げた。3年生後期の歯内療法学講義および基礎実習においては治療手技ごとの反復教育を徹底し，4年生後期の総合歯科学講義，5，6年生の臨床実習では，参加型臨床実習の特性を鑑み，コアカリキュラムに則り，水準I，II相当における自験を徹底させると同時に医療従事者としての自覚を養う教育を最重要課題として教育目標を達成した。6年生前期，後期の講義では，国家試験出題基準に完全に準拠させ，臨床実地問題対策に重点を置いたカリキュラム構成に従って講義を実施した。

研究：①自己免疫疾患における歯髄感染過程の病理組織学的研究，②骨芽細胞の石灰化におけるTGF- β /MAPKシグナルの解析，③ヒト歯髄培養細胞におけるMCM2の発現解析，④Ni-Tiファイルの切削効率およびマイクロクラック防止に関する研究，⑤光蛍定量法(QLF)法を応用したう蝕診断精度向上に関する研究，⑥新規カルシウムシリケート系シーラーの硬組織形成能に関する研究，⑥歯科診療支援システムの開発と機能評価を通じ精度の高い歯科医療を確立する臨床研究，⑦*Fusobacterium nucleatum*感染モデルラットの全身への移行・感染経路の網羅的解析を継続した。研究面は大学内および，国内外の研究者および企業との共同研究を遂行した。

臨床：歯内療法成功率を向上させることを目的とし，Ni-Tiロータリーシステム，また加熱垂直加圧根管充填法について基礎および臨床研究を重ね，歯髄生物学分野の治療方針をブラッシュアップし治療を実施すると同時に国内臨床医への啓蒙活動を積極的に行った。顕微鏡下治療についての専門教育を徹底的に行い，精度の高い歯科医療を国民に提供していくことを基本方針としてすべての治療方針を確立し浸透させた。診療に従事する総医局スタッフで新病院システムに対する理解を深め，確実な診療報酬増収および患者総数増加に貢献すべく，診療指導，保険指導，それぞれにおけるフィードバックを行った。

社会活動：日本歯科専門医機構の歯科保存門医制度整備及び運営骨格案を作成し，歯科保存治療の国民への理解を推進した。神奈川県歯科医師会歯科医療事故・医事紛争案件に対して歯内療法専門医としての意見書を提出し，医療事故・医事紛争案件の解決に協力した。

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/026 石井信之：第II部. 第12章. 根管形成. pp.130-144 /コラム. ニッケルチタン(Ni-Ti)製ロータリーファイルの開発動向. pp145. 興地隆史, 石井信之, 小木曾文内編集主幹：エンドドンティクス. 第6版, 永末書店, 京都, 2022.

【原著論文】

K22/OP/012 Haraga H, Sato T, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N : Effect of the Progression of *Fusobacterium nucleatum*-induced Apical Periodontitis on the Gut Microbiota. Journal of Endodontics, 48(8), 1038-1045, 2022.

K22/OP/009 Nagata K, Muromachi K, Kouzai Y, Inaba K, Inoue E, Fuchigami K, Nihei T, Atsumi M, Kimoto K, Kawana H : Fit accuracy of resin crown on a dental model fabricated using fused deposition modeling 3D printing and a polylactic acid filament. Journal of Prosthodontic Research, 67(1), 144-149, 2023.

【総説】

K22/R/018 石井信之：臨床家のための疼痛コントロールCheckPoint 6 各論:歯科保存治療における疼痛コントロール. 歯界展望, 141(3), 530-541, 2023.

K22/R/013 戸田真司, 片岡あい子, 角田晃, 宋文群, 石井信之, 長谷徹：COVID-19による大学および短期大学における歯科衛生士教育の変化とこれからの授業方針について. 全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌, 12, 7-23, 2023.

【症例報告】

K22/CR/006 室町幸一郎, 鈴木二郎, 石井信之：外科的歯内療法によって治癒した下顎第一小臼歯槌状根の症例. 日本歯内療法学会雑誌, 44(1), 36-42, 2023.

【解説】

K22/Ex/024 石井信之：Ni-Tiロータリーファイルを活用した根管形成のポイント. 日本歯科評論, 82(11), 121-126, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 石井信之：“低侵襲歯内療法”行いますか? (シンポジウム“歯内治療の将来性”). 日本歯科保存学会2022年度春季学術大会(第156回), Web開催, 2022.6.16-7.6.

〔一般発表・国際学会〕

- Fujimaki R, Suzuki J, Tani-Ishii N : Applicability of the Root Canal Irrigation with the Prototype EDTA Solution. American Association of Endodontists Annual Meeting 2022, Phoenix, AZ, USA, 2022.4.27-30.
- Wang TH, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N : Cytotoxic evaluation for cementoblasts of dentin adhesive material with resin monomers. International Dental Materials Congress 2022 (IDMC2022), Taipei, Taiwan, 2022.11.4-5.
- Wang TH, Watanabe K, Hamada N, Tani-Ishii N : Analysis of TGF- β signaling in

osteoblast mineralization. 2023 AADOCR/CADR Annual Meeting & Exhibition, Portland, OR, USA, 2023.3.15-18.

[一般発表・国内学会]

- 林玲緒奈, 山崎詩織, 糸永和広, 武藤徳子, 石井信之: IgA腎症モデルマウスにおける歯髄損傷過程の組織学的解析. 日本歯科保存学会2022年度春季学術大会(第156回), Web開催, 2022.6.16-7.6.
- 山崎詩織, 林玲緒奈, 糸永和広, 武藤徳子, 石井信之: 関節リウマチモデルマウスにおける歯髄損傷過程の組織学的解析. 日本歯科保存学会2022年度春季学術大会(第156回), Web開催, 2022.6.16-7.6.
- 室町幸一郎, 鈴木二郎, 石井信之: 根尖部で槌状を呈する下顎第一小臼歯に歯内治療を行った一症例. 第43回日本歯内療法学会学術大会, Web開催(オンデマンド配信), 2022.7.9-25.
- 室町幸一郎, 中野令, 吉垣純子, 杉谷博士, 石井信之: BMP-1-GCaseはヒト歯髄培養細胞においてMCM2の発現を調節し細胞増殖に関与する. 第13回日本CCNファミリー研究会, 第13回CCNファミリー研究会, Web開催, 2022.9.3.
- 林玲緒奈, 石井信之, 武藤徳子, 山崎詩織, 糸永和広: 自己免疫疾患における歯髄感染過程の病理組織学的解析 IgA腎症モデルマウスにおける解析. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- 山崎詩織, 石井信之, 武藤徳子, 林玲緒奈, 糸永和広: 自己免疫疾患における歯髄感染過程の病理組織学的研究—関節リウマチモデルマウスにおける解析—. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- Wang TH, 渡辺清子, 浜田信城, 石井信之: 骨芽細胞分化におけるTGF- β /MAPKシグナルの解析. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- 王珽萱, 渡邊清子, 浜田信城, 石井信之: 骨芽細胞の石灰化におけるTGF- β /MAPKシグナルの解析. 神奈川歯科大学学会第169回例会, オンライン開催, 2022.10.13.
- 武藤徳子, 王珽萱, 徐開元, 藤巻龍治, 室町幸一郎, 鈴木二郎, 石井信之: 光蛍定量法(QLF)法を応用したう蝕診断精度向上に関する研究. 日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)・第24回日韓歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022.11.10-11.
- 鈴木二郎, 藤巻龍治, 石井信之: 新規カルシウムシリケート系シーラーの硬組織形成能に関する研究. 日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)・第24回日韓歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022.11.10-11.
- 室町幸一郎, 山口徹太郎, 細道一善, 石井信之: 家族性に発症したMultiple idiopathic cervical root resorption (MICRR)のゲノム解析. 日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)・第24回日韓歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022.11.10-11.
- 藤巻龍治, 鈴木二郎, 浜田信城, 石井信之: ヒト根管象牙質を応用した根管洗浄剤の抗菌作用に関する研究. 日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)・第24回日韓歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022.11.10-11.
- 林玲緒奈, 山崎詩織, 糸永和広, 武藤徳子, 石井信之: IgA腎症による歯髄及び根尖歯周組織における炎症過程の病態解析. 日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)・第24回日

韓歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022.11.10-11.

- 山崎詩織, 林玲緒奈, 糸永和広, 武藤徳子, 石井信之: 関節リウマチによる歯髄および根尖歯周組織における炎症過程の病態解析. 日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)・第24回日韓歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022.11.10-11.
- 附田孝仁, 板宮朋基, 中野亜希人, 武藤徳子, 石井信之: 裸眼立体視による三次元仮想空間(3DCG)根管形態把握の有用性. 日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)・第24回日韓歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022.11.10-11.
- 王琰萱, 渡邊清子, 浜田信城, 石井信之: 骨芽細胞の石灰化におけるTGF- β /MAPKシグナルの解析. 日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)・第24回日韓歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022.11.10-11.
- 鈴木二郎, 藤巻龍治, 石井信之: 新規Calcium Silicate根管用シーラーの硬組織形成能に関する研究. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 藤巻龍治, 稲葉啓太郎, 鈴木二郎, 浜田信城, 石井信之: ヒト感染根管モデルを応用した多機能性EDTA溶液の抗菌作用に関する研究. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 王琰萱, 渡邊清子, 浜田信城, 石井信之: TGF- β によるヒト骨芽細胞様細胞の石灰化機序の解析—MAPKシグナル伝達系の役割—. 神奈川歯科大学学会第170回例会, ハイブリッド開催(横浜, Zoom), 2023.2.18.

[講演会・セミナー等]

- 石井信之: Do you need “Ninja access” 低侵襲歯内療法の評価. NiTiファイルサミット2022 PERF-JAPAN設立10周年記念講演会, 東京, 2022.7.3.

【業務・活動報告】

[科学研究費補助金]

- 藤巻龍治(代表): 難治性のバイオフィルム感染症に対する多機能性EDTA系根管洗浄剤の開発. 若手研究, 19K19041, 2019~2022年度.
- 室町幸一郎(代表), 石井信之(分担): 歯髄におけるGCCaseの核移行に着目した新規創傷治癒因子の同定. 基盤研究(C), 21K09882, 2021~2023年度.
- 武藤徳子(代表), 石井信之(分担), 大島勇人(分担): 歯髄治癒過程における神経伝達物質と自然免疫制御による象牙質再生機構の解明. 基盤研究(C), 21K09883, 2021~2023年度.

[賞]

- 室町幸一郎: 優秀ポスター賞: BMP-1はヒト歯髄培養細胞においてGCCaseを介してMCM2を調節する. 神奈川歯科大学学会. 2022.11.26.
- 藤巻龍治, 稲葉啓太郎: 堀研究奨励賞: 根管治療用シングルソリューション洗浄剤の開発. 神奈川歯科大学学会. 2022.11.26.
- 王琰萱: Young Investigator Award: 骨芽細胞の石灰化におけるTGF- β /MAPKシグナルの解析. 神奈川歯科大学学会. 2022.11.26.

1 教員・大学院生・他

教授：小牧基浩
 准教授：両角俊哉，青山典生
 助教：杉原俊太郎，平田貴久
 診療科助手：門田大地，鈴木奈穂子，天下井一博，伊郷北斗，川端理仁，藤井利哉
 大学院生：喜田さゆり(4年)，琢磨遼(4年)，藤井利哉(4年)，谷口健太郎(3年)，
 松井嵩昌(3年)，矢田朋美(2年)，張宇安(2年)
 医員：谷口健太郎，西村聡一郎，小島みの李，前川敦俊，李元旻，衣笠航，
 鈴木大樹，鄭家安，真島延行，横井悠，吉田圭佑
 特任教授：田村利之
 特任講師：大室博正，木次大介，伏見肇，茂木信道，加藤雄大，林千絵
 特任講師(無給)：篠木毅，杉山貴志
 臨床専攻生：高瀬雅大，津本茜，吾妻晋太郎
 臨床見学生：伊藤聖，藤谷崇人

2 2022年度の活動内容

教育：1年生「臨床医科歯科概論」，3年生「歯周病学」，4年生「総合歯科学」を担当し，講義および実習を行った。また，5年生「臨床実習I」，6年生「臨床実習II」に関しては，保存系を担当し，臨床実習および講義を行った。大学院教育としては，大学院講義を行うとともに，7名の大学院生の研究指導を行った。

研究：医科歯科連携による生活習慣病スクリーニングの有用性評価に関する研究を進め，研究発表を行った。ペリオドンタルメディシンについての研究を進め，発表を行うとともに原著論文を公表した。

臨床：歯周病診療科において，重度歯周炎患者の診療を中心に，抗菌療法，レーザーを用いた歯周ポケット治療，フルマウスディスインフェクション(FMD)，歯周外科手術，歯周組織再生療法(GTR法，エナメルマトリックスデリバティブ，bFGF)，歯周形成外科手術などの高度な治療を数多く行った。また，医科歯科連携センターにて糖尿病を含む生活習慣病の改善(主に食生活)と歯周病治療を並行して進める治療システムの構築を昨年に引き続き行った。

社会活動：大学内外にて講演を開催し，歯周病を含む生活習慣病への意識改善の必要性を啓蒙した。

3 研究業績

【著書】

K22/B&C/027 両角俊哉：第2章.1. 菌血症防止にも有効なEr:YAG Laser. pp.26-31. 山本敦彦監著：インプラント周囲炎はEr:YAG Laserでこう治す!。クインテッセンス出版，東京，2022.

【原著論文】

K22/OP/049 Morozumi T, Nakayama Y, Shirakawa S, Imamura K, Nohno K, Nagano T, Miyazawa H, Hokari T, Takuma R, Sugihara S, Gomi K, Saito A, Ogata Y, Komaki M : Effect of Locally Delivered Minocycline on the Profile of Subgingival Bacterial Genera in Patients with Periodontitis: A Prospective Pilot Study. Biomolecules, 12, 719, 2022. doi: 10.3390/

- K22/OP/050 Fukushima T, Yonetsu T, **Aoyama N**, Tashiro A, Niida T, Shiheido-Watanabe Y, Maejima Y, Isobe M, Iwata T, Sasano T : Effect of Periodontal Disease on Long-Term Outcomes After Percutaneous Coronary Intervention for De Novo Coronary Lesions in Non-Smokers. *Circulation Journal*, 86, 811-818, 2022.
- K22/OP/020 Kamata Y, Kessoku T, Shimizu T, **Sato S**, Kobayashi T, Kurihashi T, Morozumi T, Iwasaki T, Takashiba S, Hatanaka K, **Hamada N**, Kodama T, Higurashi T, Taguri M, Yoneda M, Usuda H, Wada K, Nakajima A, **Minabe M** : Periodontal Treatment and Usual Care for Nonalcoholic Fatty Liver Disease: A Multicenter, Randomized Controlled Trial. *Clinical and Translational Gastroenterology*, 13, e00520, 2022. doi: 10.14309/ctg.0000000000000520
- K22/OP/002 Ueda H, **Aoyama N**, Fuchida S, Mochida Y, Minabe M, Yamamoto T : Development of a Japanese Version of the Formula for Calculating Periodontal Inflamed Surface Area: A simulation Study. *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 19, 9937, 2022. doi: 10.3390/ijerph19169937
- K22/OP/051 Mikami R, Mizutani K, Matsuyama Y, Gohda T, Gotoh H, **Aoyama N**, Matsuura T, Kido D, Takeda K, Saito N, Fujiwara T, Izumi Y, Iwata T : Association of type 2 diabetes with periodontitis and tooth loss in patients undergoing hemodialysis. *PLOS ONE*, 17(5), e0267494, 2022. doi: 10.1371/journal.pone.0267494
- K22/OP/024 **Sato S**, Kamata Y, Kessoku T, Shimizu T, Kobayashi T, Kurihashi T, Takashiba S, Hatanaka K, **Hamada N**, Kodama T, Higurashi T, Taguri M, Yoneda M, Usuda H, Wada K, Nakajima A, **Morozumi T**, **Minabe M** : A cross-sectional study assessing the relationship between non-alcoholic fatty liver disease and periodontal disease. *Scientific Reports*, 12, 13621, 2022. doi: 10.1038/s41598-022-17917-2
- K22/OP/019 Takuma R, Morozumi T, Yamamoto Y, Kobayashi T, Matsui T, Yoneda M, Kessoku T, Nogami A, Tamura M, Kamata Y, Sugihara S, Nomura Y, To M, **Minabe M**, Mitsudo K, Nakajima A, **Komaki M** : Association between Non-Alcoholic Steatohepatitis-Related Hepatocellular Carcinoma and Periodontopathic Bacteria: A Cross-Sectional Pilot Study. *Applied Sciences*, 13, 3893, 2023. doi: 10.3390/app13063893
- K22/OP/052 Mikami R, Mizutani K, **Aoyama N**, Matsuura T, Suda T, Takeda K, Saito N, Arakawa S, Izumi Y, Iwata T, Aida J : Income-related inequalities in the association of smoking with periodontitis: a cross-sectional analysis in Tokyo Metropolitan Districts. *Clinical Oral Investigations*, 27, 519-528, 2023.
- K22/OP/053 Tashiro A, Yonetsu T, **Aoyama N**, Shiheido-Watanabe Y, Niida T, Miyazaki S, Maejima Y, Goya M, Isobe M, Iwata T, Sasano T : Periodontitis was associated with worse clinical outcomes after catheter ablation for paroxysmal atrial fibrillation. *Frontiers in Cardiovascular Medicine*, 9, 1061243, 2023. doi: 10.3389/fcvm.2022.1061243
- K22/OP/010 杉原俊太郎, 両角俊哉, 淵田慎也, 清水統太, 井上允, 琢磨遼, 門田大地, 櫻井孝, 小牧基浩 : 歯周基本治療手技の動画教材を用いた教授法がもたらす教育効果. *日本歯科保存学雑誌*, 66(1), 26-34, 2023.

【テーシス】

- K22/T/001 琢磨遼 : 非アルコール性脂肪肝炎由来肝細胞がんと歯周病原細菌との関連に関する研究. 2022

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔特別講演〕

- 青山典生：口腔の唾液検査から全身へ. 第1回日本唾液ケア研究会学術集会, ハイブリッド開催(横浜, オンライン), 2022.11.27.

〔一般発表・国際学会〕

- Aoyama N, Kida S, Iwane T, Fujii T, Taniguchi K, Yata T, Komaki M : Food intake order affects nutrients only in people with teeth. 2022 IADR/APR General Session & Exhibition, Virtual, 2022.6.20-25.
- Aoyama N, Yata T, Kida S, Iwane T, Fujii T, Taniguchi K, Komaki M : Impaired oral functions in subjects with insufficient recognition of umami. 108th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology, Phoenix, AZ, USA, 2022.10.27-30.
- Kida S, Aoyama N, Iwane T, Fujii T, Taniguchi K, Yata T, Komaki M : Relationship between Meal Sequence, Nutrients and Number of Teeth. 108th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology, Phoenix, AZ, USA, 2022.10.27-30.

〔一般発表・国内学会〕

- 山本裕子, 猿田樹理, 坂口和歌子, 窪田展久, 東雅啓, 清水智子, 両角俊哉, 高橋徹, 高垣裕子, 槻木恵一：糖尿病モデルラットにおける顎下腺組織IgA濃度とpIgR発現量の解析. 第76回日本栄養・食糧学会大会, 兵庫, 2022.6.10-12.
- 両角俊哉, 淵田慎也, 櫻井孝：歯周基本治療手技における動画教材の有効性検討. 第41回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, Web開催(ライブ配信+オンデマンド配信), 2022.7.23-8.20.
- 松田真司, 菅谷勉, 加藤幸紀, 根本英二, 竹内康雄, 喜田大智, 沼部幸博, 西田哲也, 小方頼昌, 申基喆, 長野孝俊, 両角俊哉, 小松康高, 出分菜々衣, 神谷洋介, 北村正博, 田口洋一郎, 高柴正悟, 湯本浩通, 山下明子, 吉永泰周, 吉村篤利, 河口浩之：全身性疾患への影響を考慮した新たな歯周病重症度検査項目の策定～学会主導型多施設臨床研究～. 第65回秋季日本歯周病学会学術大会, 仙台, 2022.9.2-3.
- 琢磨遼, 両角俊哉, 松井嵩昌, 山本裕子, 結束貴臣, 米田正人, 野上麻子, 小林貴, 杉原俊太郎, 鎌田要平, 田村宗明, 光藤健司, 中島淳, 三邊正人, 小牧基浩：非アルコール性脂肪性肝炎由来肝細胞がんにおける歯周病の関与. 第65回秋季日本歯周病学会学術大会, 仙台, 2022.9.2-3.
- 矢田朋美, 青山典生, 岩根泰蔵, 藤井利哉, 喜田さゆり, 谷口健太郎, 小牧基浩：うま味の感受性と口腔機能との関連. 第65回秋季日本歯周病学会学術大会, 仙台, 2022.9.2-3.
- 杉原俊太郎, 小牧基浩：広汎型侵襲性歯周炎患者(ステージIII, グレードC)に対して歯周組織再生療法を行った1症例. 第65回秋季日本歯周病学会学術大会, 仙台, 2022.9.2-3.
- 山本裕子, 井出桃, 両角俊哉, 猿田樹理, 坂口和歌子, 東雅啓, 清水智子, 槻木恵一：ラード摂取量の違いがラット唾液中IgAレベルに与える影響の検討. 日本歯科衛生学会第17回学術大会, Web開催, 2022.9.18-10.31.

- 矢田朋美, 青山典生, 喜田さゆり, 藤井利哉, 谷口健太郎, 岩根泰蔵, 野澤一郎太, 藤原基, 玉置勝司, 小牧基浩: 味覚感受性の低下と口腔機能. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 喜田さゆり, 青山典生, 藤井利哉, 谷口健太郎, 矢田朋美, 岩根泰蔵, 山本龍生, 小牧基浩: 成人の歯科受診患者における栄養素摂取状況と食べる順番および歯数との関連:横断研究. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 矢田朋美, 青山典生: うま味の認識が低下している者では口腔機能も低下している. 第1回日本唾液ケア研究会学術集会, ハイブリッド開催(横浜, オンライン), 2022.11.27.
- 山本裕子, 高橋徹, 猿田樹理, 坂口和歌子, 両角俊哉, 東雅啓, 槻木恵一: 短鎖脂肪酸経口摂取がラット唾液中IgA分泌速度に与える影響の検討. 第1回日本唾液ケア研究会学術集会, ハイブリッド開催(横浜, オンライン), 2022.11.27.
- 矢田朋美, 青山典生, 藤井利哉, 喜田さゆり, 谷口健太郎, 岩根泰蔵, 小牧基浩: 味覚感受性と口腔機能との関連. 神奈川歯科大学学会第170回例会, ハイブリッド開催(横浜, Zoom), 2023.2.18.

〔講演会・セミナー等〕

- 両角俊哉: 歯周治療における抗菌薬適正使用と光治療の応用. 令和4年度由利本荘歯科医師会主催学術講演会, 由利本荘, 2022.11.12.
- 青山典生: 歯周病と糖尿病・循環器疾患の関連. 令和4年度第7回横浜市薬剤師会学術研修会, 横浜, 2022.11.26. / 歯周病と循環器疾患の関連について. 令和4年度愛媛県歯科衛生士会第7回第5次生涯研修制度専門研修会, オンライン, 2022.12.11.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 両角俊哉(代表), 高橋直紀(分担), 小松康高(分担), 保苺崇大(分担), 宮沢春菜(分担): スケーリング後菌血症に対する高齢者生体応答の解析と光治療による予防法の確立. 基盤研究(C), 17K11984, 2017~2022年度.
- 青山典生(代表): 血管内皮機能を介した歯周病による循環器系への影響の解析. 基盤研究(C), 19K10119, 2019~2022年度.
- 三辺正人(代表), 両角俊哉(分担), 中島淳(分担), 結束貴臣(分担), 宮内睦美(分担), 山本裕子(分担), 鎌田要平(分担): 歯周病と口腔内細菌叢に着目した非アルコール性脂肪性肝炎-肝がん発症予防法の確立. 基盤研究(C), 19K10454, 2019~2022年度.
- 平田貴久(代表): 2型糖尿病が生命・心血管疾患に及ぼす影響-歯周病実態比較調査による解析-. 若手研究, 19K19338, 2019~2022年度.
- 杉原俊太郎(代表): トモシンセシスX線撮影法を用いた硬組織病変に対する臨床診断の確立. 若手研究, 20K18547, 2020~2022年度.
- 両角俊哉(代表), 青木一孝(分担), 山本裕子(分担), 平田貴久(分担), 三辺正人(分担): 歯周病を介した糖尿病性網膜症の発症機序解明-歯科からの新しい予防法の確立-. 基盤研究(C), 21K10222, 2021~2023年度.
- 山本裕子(代表), 槻木恵一(分担), 両角俊哉(分担), 高橋徹(分担): 糖尿病が唾液腺に与える影

響の解明:IgAに着目した糖尿病患者の感染症予防対策. 基盤研究(C), 22K10355, 2022～2024年度.

〔受託研究・奨学寄附金等〕

- 両角俊哉：歯周炎と前糖尿病の関連性および歯周基本治療による前糖尿病の進行阻止効果. アークレイマーケティング株式会社受託研究, 2019～2022年度.

〔賞〕

- 杉原俊太郎, 両角俊哉, 三辺正人：優秀ポスター賞(2021年度春季学術大会(第154回) 研究領域C(カボデンタル優秀ポスター賞))：トモシンセシス法を用いたパノラマX線画像における歯周組織所見の主観的および物理学的画質評価. 日本歯科保存学会. 2022.6.30.
- 青山典生：2022年度日本歯科保存学会学術賞：Association of periodontal status, number of teeth, and obesity: A cross-sectional study in Japan. 他4編. 日本歯科保存学会. 2022.11.11.

〔学会委員会報告〕

- 埴岡隆, 小島美樹, 谷口奈央, 小川祐司, 尾崎哲則, 瀬川洋, 田野ルミ, 花田信弘, 日野出大輔, 細見環, 山中玲子, 山本龍生, 伊藤博夫, 森田学, 稲垣幸司, 王宝禮, 伊藤弘, 両角俊哉, 竹下徹, 重石英生, 杉山勝, 太田耕司, 長尾徹：委員会報告 タバコ使用と口腔微生物の関係 1.歯の周囲およびインプラント周囲の細菌. 口腔衛生学会雑誌, 72, 185-189, 2022.
- 埴岡隆, 小島美樹, 谷口奈央, 花田信弘, 小川祐司, 尾崎哲則, 瀬川洋, 田野ルミ, 日野出大輔, 細見環, 山中玲子, 山本龍生, 伊藤博夫, 重石英生, 杉山勝, 太田耕司, 長尾徹, 森田学, 稲垣幸司, 王宝禮, 伊藤弘, 両角俊哉, 竹下徹：委員会報告 タバコ使用と口腔微生物の関係 2.う蝕, 口腔粘膜異常, 口腔装置と関連する微生物. 口腔衛生学会雑誌, 72, 272-278, 2022.

歯科補綴学講座

▶ クラウンブリッジ補綴学分野

代表者：木本克彦

1 教員・大学院生・他

教授：木本克彦
講師：齋田牧子
助教：熊坂知就，川西範繁，本間優太
診療科助手：白木(山口)麗，桂田祐慎
大学院生：市ヶ谷成美(4年)，井上允(4年)，久保大二郎(4年)，足立拓也(3年)，
角井早紀(3年)，富田凜太郎(2年)
医員：池田紫園，川野謙太郎
研究生：毛内伸威
客員教授：小川勝久，渥美美穂子
特任准教授：丸尾勝一郎，服部慎太郎
特任講師：山田重雄，江田尚弘，大野晃教，柴原淳之，尾崎隆海，鎌田政宣，小林弘明，
中島勝也，伊東佑輔，若菜裕，小田切憲，小澤僚太郎，榊原潤，安斉昌照，
田中淳也
特任講師(無給)：菊田大士，小池軍平，堀口紀雄，千栄寿，長島信太郎

2 2022年度の活動内容

教育：3年生の「齶蝕歯髄疾患III(Cr)」・「咬合回復I(Br)」・「咬合回復II(全部床義歯)」・「咬合回復IV(インプラント)」の講義および実習，4年生の「咬合回復III(部分床義歯)」の実習・「総合歯科学I」講義(Cr-Br・インプラント補綴学)，5年生の臨床実習，臨床座学，6年生の卒業試験対策講義(Cr-Br・インプラント補綴学)を担当した。将来，臨床医として必要な補綴歯科治療の基礎知識，理論的な考え方と技術・態度を習得し，患者の立場にたち，適切な対応，治療を行えるよう今年度はリモート授業を中心に指導を行った。また，卒後臨床医および医員を対象に，デジタル歯科セミナーを開講し，デジタル歯科治療の知識と技術の向上に努めた。

研究：1) Digital Dentistry(口腔内スキャナーの臨床応用・裸眼立体視の歯科治療および教育への応用)，2) 新規歯科材料の開発・評価(レジン・高強度チタン)，3) 咀嚼健康医学(咀嚼と認知症・認知機能，咬合咀嚼刺激の唾液解析)，4) 臨床研究(軟質リライン材の効果，認知症予防における咀嚼の効果)など多岐にわたっており，内外研究機関との共同研究も積極的に行った。

臨床：附属病院のデジタル歯科診療科・総合診療を担当し，補綴歯科治療，歯科インプラント治療を行った。またCAD/CAMシステムを応用し，セラミック材料を中心とした高度先進医療の推進に努めた。

社会活動：学会が主催する各種委員会やセミナーに参画し，啓蒙活動に努めた。

3 研究業績

【著書】

K22/B&C/001 木本克彦，星憲幸：歯科国試パーフェクトマスター クラウンブリッジ補綴学。第2版，医歯薬出版，東京，2022。

【原著論文】

- K22/OP/054 Maruo R, Shimpo H, Kimoto K, Hayakawa T, Miura H, Ohkubo C : Fitness accuracy and retentive forces of milled titanium clasp. *Dental Materials Journal*, 41(3), 414-420, 2022.
- K22/OP/018 Takarabe Y, To M, Hoshi N, Hayakawa T, Ohkubo C, Miura H, Kimoto K, Matsuo M : Application of multi-directionally forged high-strength titanium to dental implants in beagle dogs. *Dental Materials Journal*, 41(3), 459-465, 2022.
- K22/OP/003 Ohara K, Isshiki Y, Hoshi N, Ohno A, Kawanishi N, Nagashima S, Inoue M, Kubo D, Yamaya K, Inoue E, Kimoto K : Patient satisfaction with conventional dentures vs. digital dentures fabricated using 3D-printing: A randomized crossover trial. *Journal of Prosthodontic Research*, 66(4), 623-629, 2022.
- K22/OP/004 Adachi T, Kawanishi N, Ichigaya N, Sugimoto M, Hoshi N, Kimoto K : A Preliminary Pilot Study: Metabolomic Analysis of Saliva in Oral Candidiasis. *Metabolites*, 12, 1294, 2022. doi: 10.3390/metabo12121294
- K22/OP/007 Kimoto K, Kimoto S, Hoshi N, Sato Y, Yoneyama Y, Takebe J, Ichikawa T, Murata H, Nishimura M, Minakuchi S, Kawai Y : Clinical efficacy of mandibular complete dentures with a resilient liner: study protocol for a multicenter randomized controlled trial. *Trials*, 23, 738, 2022. doi: 10.1186/s13063-022-06657-3
- K22/OP/009 Nagata K, Muromachi K, Kouzai Y, Inaba K, Inoue E, Fuchigami K, Nihei T, Atsumi M, Kimoto K, Kawana H : Fit accuracy of resin crown on a dental model fabricated using fused deposition modeling 3D printing and a polylactic acid filament. *Journal of Prosthodontic Research*, 67(1), 144-149, 2023.
- K22/OP/030 Nagata K, Inaba K, Kimoto K, Kawana H : Accuracy of Dental Models Fabricated Using Recycled Poly-Lactic Acid. *Materials*, 16, 2620, 2023. doi: 10.3390/ma16072620
- K22/OP/041 Inoue M, Kimoto K, Honma Y, Tomita R, Manabe Y : Oral environment and cerebral blood flow in patients with neurodegenerative dementia: comparison of Alzheimer type dementia and dementia with Lewy bodies. *Psychogeriatrics*, 23, 23-31, 2023.
- K22/OP/055 黒田哲郎, 和田悠希, 片山裕太, 角井早紀, 大橋桂, 木本克彦, 二瓶智太郎 : インジェクションタイプアルジネート印象材の特性. *日本歯科理工学会誌*, 41(2), 156-161, 2022.
- K22/OP/010 杉原俊太郎, 両角俊哉, 淵田慎也, 清水統太, 井上允, 琢磨遼, 門田大地, 櫻井孝, 小牧基浩 : 歯周基本治療手技の動画教材を用いた教授法がもたらす教育効果. *日本歯科保存学雑誌*, 66(1), 26-34, 2023.

【総説】

- K22/R/016 笛木賢治, 佐々木啓一, 眞鍋雄太, 木本克彦, 窪木拓男, 上田貴之, 安部友佳, 稲用友佳, 釘宮嘉浩, 白石成, 齋藤壮, 小林琢也, 橋本衛, 石川智久, 内海久美子, 池田学, 馬場一美: 認知機能と口腔機能の相関に関する探索的研究(ECCO)プロジェクト: 活動の趣旨と内容. *日本補綴歯科学会誌*, 15, 72-78, 2023.

【症例報告】

- K22/CR/007 川西範繁 : すれ違い咬合に対して金属床を用いて咀嚼機能改善を図った一症例. *日本補綴歯科学会誌*, 15, 93-96, 2023.

K22/CR/008 久保大二郎：酸蝕症による審美・咀嚼障害に対して咬合再構成を行い改善した症例. 日本補綴歯科学会誌, 15, 117-120, 2023.

【解説】

K22/Ex/001 大橋柱, 星憲幸, 木本克彦：マイ・カタログ2021 for Digital Age 第12回 装着材料(接着レジンセメント)/前処理材編(中編). QDT, 47, 0534-0539, 2022.

K22/Ex/002 大橋柱, 星憲幸, 木本克彦：マイ・カタログ2021 for Digital Age 第13回 装着材料(接着レジンセメント)/前処理材編(後編). QDT, 47, 0674-0681, 2022.

K22/Ex/003 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦：マイ・カタログ2021 for Digital Age 第14回 研磨用材料(バフ、シリコーンポイント/ペースト類)〔前編〕. QDT, 47, 0830-0836, 2022.

K22/Ex/004 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦：マイ・カタログ2021 for Digital Age 第15回 研磨用材料(バフ、シリコーンポイント/ペースト類)〔中編〕. QDT, 47, 0976-0982, 2022.

K22/Ex/005 川西範繁, 星憲幸, 木本克彦：マイ・カタログ2021 for Digital Age 第16回 研磨用材料(バフ、シリコーンポイント/ペースト類)〔後編〕. QDT, 47, 1120-1125, 2022.

K22/Ex/006 星憲幸, 鈴木美南子, 藤崎みのり, 渡邊真由美, 木本克彦：マイ・カタログ2021 for Digital Age 第17回 メンテナンス用材料(ペースト類)、ブラシ/機器編(前編). QDT, 47, 1260-1266, 2022.

K22/Ex/007 星憲幸, 鈴木美南子, 藤崎みのり, 渡邊真由美, 木本克彦：マイ・カタログ2021 for Digital Age 第18回 メンテナンス用材料(ペースト類)、ブラシ/機器編(中編). QDT, 47, 1384-1389, 2022.

K22/Ex/008 星憲幸, 鈴木美南子, 藤崎みのり, 渡邊真由美, 木本克彦：マイ・カタログ2021 for Digital Age 第19回 メンテナンス用材料(ペースト類)、ブラシ/機器編(後編). QDT, 47, 1516-1521, 2022.

K22/Ex/009 星憲幸, 木本克彦：マイ・カタログ2021 for Digital Age 第20回 拡大鏡編(前編). QDT, 47, 1638-1643, 2022.

K22/Ex/025 木本克彦：認知症と口腔機能～エビデンスと医科歯科連携による新たなアプローチ～. 日本歯科医師会雑誌, 75(8), 601-609, 2022.

K22/Ex/010 星憲幸, 木本克彦：マイ・カタログ2021 for Digital Age 第21回 拡大鏡編(後編). QDT, 48, 0152-0157, 2023.

K22/Ex/026 木本克彦：3Dプリンターの歯科治療への応用. 日本歯科理工学会誌, 42(1), 3-6, 2023.

K22/Ex/027 木本克彦：日本歯科専門医機構の認証を目指し改定された日本補綴歯科学会の専門医制度：ミクロの視点－研修機関の認定基準－. 日本補綴歯科学会誌, 15, 12-18, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 木本克彦：歯科診療における3Dプリンターの可能性を探る!3Dプリンターの歯科治療への応

用. 第79回日本歯科理工学会学術講演会, 盛岡, 2022.5.21-22.

- 木本克彦：令和4年度公益社団法人日本補綴歯科学会第1回専門医研修会「機構・認定に関するQ&Aについて」. 日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信), 2022.7.15-17.

〔一般発表・国際学会〕

- Tsunoi S, Katayama Y, Ohashi K, Hoshi N, Kimoto K, Nihei T : Study on adhesive durability the luting agents to zirconia -Appropriate concentration of acidic monomer-. 41st Annual Meeting of Japan Society for Adhesive Dentistry, International Congress on Adhesive Dentistry, Sapporo, Japan, 2022.6.3-5.

〔一般発表・国内学会〕

- 永田紘大, 淵上慧, 井上絵理香, 鈴木美南子, 星憲幸, 二瓶智太郎, 木本克彦, 渥美美穂子：熱溶解積層型3DプリンターとPoly-Lactic Acid(PLA)フィラメントを用いた歯科模型の適合精度の検証. 日本デジタル歯科学会第13回学術大会, 東京, 2022.4.23-24.
- 久保大二郎, 板宮朋基, 木本克彦：口腔内STLデータから得られた断面画像の比較による歯科身元確認手法の検討. 日本デジタル歯科学会第13回学術大会, 東京, 2022.4.23-24.
- 井上絵理香, 清宮一秀, 古川辰之, 中静利文, 熊坂知就, 川西範繁, 一色ゆかり, 永田紘大, 井上允, 大橋桂, 星憲幸, 二瓶智太郎, 木本克彦：神奈川歯科大学附属病院における歯冠補綴装置の使用材料の推移(第二報). 日本デジタル歯科学会第13回学術大会, 東京, 2022.4.23-24.
- 川西範繁, 足立拓也, 長島信太郎, 熊坂知就, 井上絵理香, 中静利文, 清宮一秀, 星憲幸, 木本克彦：新規口腔内スキャナーの臨床的精度の検証. 日本デジタル歯科学会第13回学術大会, 東京, 2022.4.23-24.
- 角井早紀, 片山裕太, 熊坂知就, 大橋桂, 星憲幸, 木本克彦, 二瓶智太郎：ジルコニアに対する接着耐久性に関する研究－酸性モノマーの適正濃度について－. 第79回日本歯科理工学会学術講演会, 盛岡, 2022.5.21-22.
- 本間優太, 大野晃教, 熊坂知就, 堀紀雄, 星憲幸, 木本克彦：咬合挙上が前頭前野の血流に及ぼす影響. 日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信), 2022.7.15-17.
- 足立拓也, 川西範繁, 市ヶ谷成美, 瀧田慎也, 谷口紀江, 星憲幸：口腔カンジダ症における唾液メタボローム解析. 第32回日本口腔内科学会・第33回日本臨床口腔病理学会・第35回日本口腔診断学会合同学術大会, 札幌, 2022.9.23-24.
- 足立拓也, 川西範繁, 市ヶ谷成美, 杉本昌弘, 星憲幸, 木本克彦：唾液メタボローム解析を用いた口腔カンジダ症の代謝プロファイル解析. 神奈川歯科大学学会第169回例会, オンライン開催, 2022.10.13.
- 白木麗, 熊坂知就, 木本克彦, 片山裕太, 和田悠希, 二瓶智太郎：歯科用コーティング材塗布後の保管状態における接着性への影響. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 角井早紀, 片山裕太, 熊坂知就, 大橋桂, 星憲幸, 木本克彦, 二瓶智太郎：ジルコニアに対する接着強度に関する研究. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.

- 星憲幸, 足立拓也, 川西範繁, 市ヶ谷成美, 杉本昌弘, 木本克彦: 口腔カンジダ症と唾液との関連性. 第1回日本唾液ケア研究会学術集会, ハイブリッド開催(横浜, オンライン), 2022.11.27.
- 足立拓也, 川西範繁, 市ヶ谷成美, 星憲幸, 木本克彦: 口腔カンジダ症患者における唾液バイオマーカーの探索. 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.
- 角井早紀, 熊坂知就, 星憲幸, 木本克彦, 二瓶智太郎: ジルコニアに対する接着強度に関する研究—酸性プライマーの適正濃度について—. 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.
- 井上絵理香, 清宮一秀, 星憲幸, 木本克彦, 二瓶智太郎: 神奈川県歯科大学附属病院における歯冠補綴装置の使用材料の推移(第二報). 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.
- 市ヶ谷成美, 川西範繁, 足立拓也, 星憲幸, 木本克彦: 義歯治療による唾液代謝物質への変化. 第15回日本義歯ケア学会学術大会, オンライン開催, 2023.1.22.
- 毛内伸威, 桑原淳之, 小澤僚太郎, 川西範繁, 田中欽也, 星憲幸, 木本克彦: HA/TiO2コーティングインプラントのUV光機能化による効果. 神奈川県歯科大学学会第170回例会, ハイブリッド開催(横浜, Zoom), 2023.2.18.

〔講演会・セミナー等〕

- 木本克彦: 噛むことと認知症 不思議な関係. 横須賀商工会議所, 2022.6.29. /インプラント治療におけるDX(デジタルトランスフォーメーション). 日本口腔インプラント学会第42回関東・甲信越支部学術大会専門医教育講演, 松本, 2023.2.18.
- 川西範繁: 歯科臨床とDX技術の融合—日常臨床に活かすデジタル診療—. 神奈川県保険医協会歯科臨床研究会, Web, 2022.5.12.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 齋田牧子(代表): 顎骨壊死に対する抗酸化療法の開発. 基盤研究(C), 19K10175, 2019~2022年度.
- 木本克彦(代表), 西村正宏(分担), 河相安彦(分担), 木本統(分担), 佐藤佑介(分担), 星憲幸(分担), 村田比呂司(分担), 米山喜一(分担), 武部純(分担), 市川哲雄(分担): 下顎無歯顎に応用する軟質リライン材の臨床効果—多施設ランダム化比較試験—. 基盤研究(C), 20K10062, 2020~2022年度.
- 川西範繁(代表): 唾液バイオマーカーの新規開発による低侵襲かつ簡便な認知症評価指標の確立. 若手研究, 20K18814, 2020~2022年度.

〔賞〕

- 足立拓也: 一般演題大会大会長賞: 口腔カンジダ症における唾液メタボローム解析. 第32回日本口腔内科学会・第33回日本臨床口腔病理学会・第35回日本口腔診断学会合同学術大会. 2022.9.23-24.

〔報道・記事〕

- 木本克彦: 聞きたい授業!. 神奈川県神歯大同窓会報, 97, 4, 2023.

1 教員・大学院生・他

| | |
|-----------|--------------------------------|
| 教 | 授：井野智 |
| 准 教 | 授：濱野奈穂 |
| 講 | 師：清水統太，岩下英夫 |
| 助 | 教：一色ゆかり，福山卓志 |
| 診療科助 | 手：藺部悠司郎 |
| 大 学 院 生 | ：辻村有哉(4年) |
| 医 | 員：片岡(高瀬)優加，村上詩織，久保敦史，富永順平，中丸亜美 |
| 客 員 教 授 | ：宮本績輔 |
| 特 任 教 授 | ：鈴木敏行 |
| 特 任 講 師 | ：今井崇隆，高橋晃子，柴田武士，加々美太輔，大野浩正 |
| 臨 床 専 攻 生 | ：和泉浄，大川公子，三宅忠隆 |

2 2022年度の活動内容

教育：歯学部においては，3年生「歯と歯周組織の検査」の講義，「咬合回復II(全部床義歯)」の講義および実習，4年生「咬合回復III(部分床義歯)」の講義・実習と「総合歯科学I(全部床義歯・部分床義歯)」の講義・実習，5年生「臨床実習I(全部床義歯・部分床義歯)」の講義および臨床実習，6年生「臨床実習II(全部床義歯・部分床義歯)」の講義を担当した。近年の歯科医師国家試験の出題傾向を分析し，歯科医師として必要な有床義歯に関する知識を習得できるよう努めた。卒業研修歯科医に対しては，初期・中期・後期研修において，歯科補綴学に関する実習・講義の一部を担当した。大学院生の学位論文の執筆，英文誌への投稿に関して指導，教育を行った。

研究：臨床応用のための歯列骨格統合モデルの精度検証に関する研究と親水性コーティング材による義歯床用材料への着色防止効果に関する論文執筆を行った。3Dプリンターで製作したデジタル義歯の臨床エビデンスの構築，既製シート圧接法と3Dプリント造形法によるスポーツマウスガードの臨床的比較のためのデータ収集，発表を行った。

臨床：附属病院・義歯診療科，横浜クリニック・成人歯科・MI補綴療法部門において，主に歯冠修復から欠損補綴(無歯顎)まで，MI(ミニマルインターベンション)概念をベースに，患者さんへの非可逆的侵襲を極力避けた補綴治療を担当した。分野構成員3名が日本補綴歯科学会の専門医ケースプレゼンテーションの申請・発表を行った。日本補綴歯科学会の認定医・専門医・指導医として，紹介患者の治療を積極的に行い，医員・研修歯科医の指導・教育にも努めた。

社会活動：公益社団法人日本補綴歯科学会西関東支部の理事として，支部の組織運営を行った。また，公益社団法人日本補綴歯科学会専門医ケースプレゼンテーションの審査，日本補綴歯科学会認定研修申請機関の現地調査をした。

3 研究業績

【著書】

K22/B&C/028 一色ゆかり：第5章.LV.1. 床の粘膜面の調整. pp.94-97. 亀田行雄，前畑香編集委員：パーシャルデンチャーの“LEVEL UP”トレーニング. デンタルダイヤモンド社，東京，2022.

【原著論文】

- K22/OP/003 Ohara K, Isshiki Y, Hoshi N, Ohno A, Kawanishi N, Nagashima S, Inoue M, Kubo D, Yamaya K, Inoue E, Kimoto K : Patient satisfaction with conventional dentures vs. digital dentures fabricated using 3D-printing: A randomized crossover trial. *Journal of Prosthodontic Research*, 66(4), 623-629, 2022.
- K22/OP/056 Tsujimura Y, Fukuyama T, Hamano N, Iwashita H, Watanabe M, Ino S : The stain resistant effect of an ultraviolet curable coating material on denture base resin. *Dental Materials Journal*, 42(2), 266-272, 2023.
- K22/OP/057 岩下英夫, 濱野奈穂, 清水統太, 一色ゆかり, 福山卓志, 辻村有哉, 菌部悠司郎, 大川公子, 三宅忠隆, 井野智 : 臨床応用のための歯列骨格統合モデルの精度検証. *神奈川歯学*, 57(1), 31-38, 2022.
- K22/OP/037 小松知子, 宋文群, 松澤直子, 萩原大, 永村宗護, 田中直人, 有輪理彦, 大澤智子, 永田康裕, 鎌田有一朗, 横山滉介, 李昌一, 井野智, 櫻井孝 : 神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケートー第1報 一次医療機関における調査ー. *障害者歯科*, 43, 101-108, 2022.
- K22/OP/038 小松知子, 宋文群, 松澤直子, 萩原大, 永村宗護, 田中直人, 有輪理彦, 大澤智子, 永田康裕, 鎌田有一朗, 横山滉介, 李昌一, 井野智, 櫻井孝 : 神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケートー第2報 保健所における調査ー. *障害者歯科*, 43, 109-114, 2022.
- K22/OP/039 小松知子, 宋文群, 松澤直子, 萩原大, 永村宗護, 田中直人, 有輪理彦, 大澤智子, 永田康裕, 鎌田有一朗, 横山滉介, 李昌一, 井野智, 櫻井孝 : 神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケートー第3報 障害児発達支援事業所における調査ー. *障害者歯科*, 43, 115-120, 2022.
- K22/OP/058 前畑香, 小松俊司, 渡辺宣孝, 一色ゆかり, 玉置勝司 : 総義歯製作における人工歯排列の水平的アーチの決定に関する研究. *日本補綴歯科学会誌*, 14, 150-157, 2022.
- K22/OP/010 杉原俊太郎, 両角俊哉, 淵田慎也, 清水統太, 井上允, 琢磨遼, 門田大地, 櫻井孝, 小牧基浩 : 歯周基本治療手技の動画教材を用いた教授法がもたらす教育効果. *日本歯科保存学雑誌*, 66(1), 26-34, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 福山卓志 : 歯列骨格統合モデルを活用して多数歯先天性欠如による審美障害を改善した1症例. *日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信)*, 2022.7.15-17.
- 清宮一秀, 岩下英夫, 山谷勝彦, 菌部悠司郎, 福山卓志, 清水統太, 濱野奈穂, 宮本績輔, 井野智 : 学生模型実習用のフレームワーク製作における3Dプリンターの有用性. *日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信)*, 2022.7.15-17.
- 辻村有哉 : 親水性コーティング材による義歯床用材料への着色防止効果. *神奈川歯科大学・学位論文公聴会, 横須賀*, 2022.8.23.
- 菌部悠司郎, 片山裕太, 清水統太, 大橋桂, 井野智, 二瓶智太郎 : アクリルレジンの強度向上を

目指した研究(その1)―微粒子シリカフィラー添加の機械的強度について―. 神奈川歯科大学
学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.

- 井野智：ハブラシコンセイエの認定と病院職員の意識変化. 令和4年度日本補綴歯科学会西
関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.
- 辻村有哉, 福山卓志, 濱野奈穂, 岩下英夫, 半澤栄一, 小松崎康彦, 入山亮, 梅津健太郎, 一瀬昭
太, 三宅忠隆, 井野智：高機能セルフクリーニングデンチャーの開発 第7報:UV硬化コート材
による改質効果. 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.
- 菌部悠司郎, 福山卓志, 清宮一秀, 中静利文, 一色ゆかり, 井上允, 清水統太, 久保敦史, 中丸亜
美, 片岡優加, 富永順平, 村上詩織, 和泉浄, 大川公子, 岩下英夫, 濱野奈穂, 井野智：既製シー
ト圧接法と3Dプリント造形法によるスポーツマウスガードの臨床的比較. 令和4年度日本補
綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.
- 清水統太：上顎前歯部欠損に対して可撤性義歯によりアンテリアガイダンスを付与した症例.
令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.
- 一色ゆかり：臼歯部欠損による咬合高径低下に対して部分床義歯新製により咀嚼機能改善を
図った一症例. 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 一色ゆかり(代表)：VR技術を用いたデジタル義歯辺縁形態設計システムの開発と臨床効果.
若手研究, 21K17052, 2021～2023年度.

口腔外科学講座

▶ 口腔外科学分野

代表者：小林優

1 | 教員・大学院生・他

教授：小林優，安部貴大
准教授：鈴木健司
講師：田中香衣，小松紀子
助教：生駒丈晴，高才東，金森慶亮
診療科助手：石田孝文，小關理恵子
大学院生：原田隆史(3年)，黒田実可子(1年)
医員：不島瞳，島田陽，森岡宗人
特任教授：岩淵博史，笹倉裕一
特任准教授：土肥雅彦，小澤重幸
特任講師：矢吹雄一郎，妹尾(佐藤)真理子，長田一成
特任講師(無給)：大澤孝行，大塚亨，湯川善弘，小林晋一郎，本間義郎
臨床専攻生：高橋彩子
臨床見学生：角田知生

2 | 2022年度の活動内容

教育：2022年度は3年生及び4年生の顎顔面疾患，総合歯科学モジュールを担当した。さらに5，6年生の臨床座学(講義)，臨床実習も担当した。学部教育においては，Evidence Based Medicine (EBM)に基づいた歯科臨床教育を実践している。臨床実習では，学生が外来の多くの患者に接することができるようにし，学部教育で学んだ基礎歯科医学知識が臨床の現場で役立つように配慮している。特に，近年の超高齢化社会における有病者の観血処置をはじめとする全身管理，口腔と全身疾患，口腔に症状を表す全身疾患についての教育に力を入れている。口腔疾患の予防や治療は単なる口腔機能の回復だけでなく，全身の健康に関わる重要な医療の一つであることを学生に認識させるように教育している。

研究：大学院歯学研究科では，口腔癌・顎変形症・口腔乾燥症・口腔健康管理などをテーマに研究を行っている。特に生化学・分子生物学的手法を用いた口腔癌の発現抑制に関する研究や口腔乾燥症，口腔健康管理については多施設共同研究もっており，その成果は関連学会からも高く評価されている。また，がん化学療法の効果，高齢者の口腔健康管理，抗血栓療法患者の観血処置，BRONJにおいても多施設共同研究に参加している。2017年度からは大講座分野融合型基幹研究，口腔癌におけるPET検査を用いた腫瘍悪性度評価の試みと頸部リンパ節転移に対する正診率向上に関する研究を行っている。

臨床：年間約1,500例の新患症例と約500例の入院手術症例を取り扱っている。

社会活動：大学外の学会役員ならび各種委員会の構成メンバーとして，国民の健康増進に努めた。横須賀市および横須賀歯科医師会と連携し，口腔がん早期発見の啓発活動を行った。地域情報誌を発行し，顎変形症に関する啓発活動を行った。

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/029 安部貴大：第5章.5-2.4. 血液透析療法(hemodialysis:HD). pp.265-267. 山根源之 [ほか] 編集主幹：口腔内科学. 第3版, 永末書店, 京都, 2023.

【原著論文】

K22/OP/006 Iwabuchi H, Sawai YN, Imai Y, Shirakawa M, Nakao H, Imai H : Frequency of hemorrhage after tooth extraction in patients treated with a direct oral anticoagulant: A multicenter cross-sectional study. PLOS ONE, 17(4), e026011, 2022. doi: 10.1371/journal.pone.0266011

K22/OP/059 Miyazaki H, Tanaka K, Takahashi Y, Vaidya A, Ueno K, Tamagawa S, Kono S, Uemura K, Tomioka H, Hotomi M : Reliable and safe salivary duct repositioning technique with partial transection and intraductal stenting: Technical notes. Auris Nasus Larynx, 50, 161-164, 2023.

K22/OP/008 Kanamori K, Ozawa S, Iwabuchi H, Ikoma T, Suzuki K, Tanaka K, Yoshimura Sawai N, Abe T, Kato Y, Hata RI, Kobayashi M : GPRC5B (G protein-coupled receptor class C group 5 member B) suppresses glucose starvation-induced apoptosis in head-and-neck squamous cell carcinoma. Biomedical Research, 44(1), 1-7, 2023.

K22/OP/060 小林大, 小西弘晃, 尾崎博弥, 小林優, 不島健持：歯列模型および頭部X線規格写真から構築した新しい三次元デジタルモデルシステムと臨床評価. 神奈川歯学, 57(1), 5-16, 2022.

【総説】

K22/R/019 不島健持, 小林優：矯正用インプラントの現状と展望. 矯正臨床ジャーナル, 39(1), 11-29, 2023.

【症例報告】

K22/CR/009 Fujihara Y, Mori Y, Saijo H, Abe T, Susami T, Haga N, Hoshi K : Long-term dental outcomes in patients with fibrodysplasia ossificans progressiva : a report of three cases of tooth extraction. Quintessence International, 53(8), 712-720, 2022.

【解説】

K22/Ex/028 田中香衣, 城戸幹太：臨床家のための疼痛コントロールCheckPoint 2 総論:治療中の疼痛コントロールの基本① 局所麻酔編. 歯界展望, 140(5), 914-924, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国際学会〕

- Abe T, Komatsu N, Kosai A, Hamakubo T : New strategy of head and neck squamous cell carcinoma therapy by antibody drug conjugate combined with photochemical internalization: Intelligent Targeted Antibody Phototherapy (iTAP). 15th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgery, Seoul, Korea, 2022.5.26-28.

〔一般発表・国内学会〕

- 原田隆史, 白石晃平, 浅輪幸世, 安部貴大, 古村真, 星和人：骨再生技術開発のためのマウス歯髄細胞に関する基礎的研究. 第76回日本口腔科学会学術集会, 福岡, 2022.4.22-23.
- 小關理恵子, 鈴木健司, 小澤重幸, 生駒丈晴, 金森慶亮, 不島健持, 小林優：CAD/CAMサージ

カルスプリントを用いた上顎骨切り術の正確度. 第32回日本顎変形症学会総会・学術大会, ハイブリッド開催(新潟, Web), 2022.6.9-10.

- 沢井奈津子, 岩淵博史: 下顎エナメル上皮腫摘出・搔爬術後に病変部の永久歯の矯正歯科治療を行った1例. 第34回日本小児口腔外科学会総会・学術大会, ハイブリッド開催(東京, Web), 2022.10.21-22.
- 不島瞳, 鈴木健司, 小關理恵子, 金森慶亮, 生駒丈晴, 窪田展久, 小林優: 骨形成を伴う顎下腺唾石症の1例. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉+On demand, 2022.11.4-6.
- 板井俊介, 沢井奈津子, 生駒丈晴, 窪田展久, 泉雅浩, 高才東, 星和人, 安部貴大, 小林優: 下顎骨内に生じた平滑筋腫の一例. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉+On demand, 2022.11.4-6.
- 小松紀子, 黒田実可子, 高才東, 沢井奈津子, 窪田展久, 安部貴大: 下顎歯肉孔道癌の1例. 第41回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, Web開催(Live and On-demand), 2023.1.26-2.28.
- 平岡慎一郎, 安部貴大, 渡辺昌広, 武田大介, 鶴澤成一, 栗田浩: 口腔癌診療ガイドライン2022年版SR17:免疫賦活栄養剤は、口腔癌で予定手術を受ける成人患者の周術期に使用すべきか?. 第41回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, Web開催(Live and On-demand), 2023.1.26-2.28.
- 澤田しのぶ, 沢井奈津子, 岩淵博史: 歯科衛生士による継続的口腔管理が症状改善に寄与したと思われた粘膜類天疱瘡の1例. 第32回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 軽井沢町(長野県), 2023.3.18-19.

〔講演会・セミナー等〕

- 安部貴大: 歯科医師が行う外科手術についてー口腔外科とはー. 横須賀ロータリークラブ, 横須賀, 2022.6.17. / 改めて考える、口腔潜在的悪性疾患(OPMDs)への対応. 群馬県歯科医師会令和4年度口腔がん対策推進研修会, 前橋, 2022.12.4. / 口腔潜在的悪性疾患(OPMDs)から考える地域連携. 横須賀市歯科医師会令和4年度第1回学術講演会, 横須賀, 2023.2.2.
- 鈴木健司: RAPIDSORB® を用いたLe Fort I型骨切り術における手術正確度と術後安定性. 第32回日本顎変形症学会総会・学術大会ランチョンセミナー, ハイブリッド開催(新潟, Web), 2022.6.9. / お口を見てみよう。これって口腔がん?. 横須賀市健康教育事業「歯と口の健康づくり講座」, 横須賀, 2023.3.14.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 小松紀子(代表): 蛍光標識抗Robo1抗体イムノトキシンの光化学内在化法による頭頸部癌新規治療開発. 若手研究, 19K19154, 2019~2022年度.
- 安部貴大(代表), 阿部雅修(分担), 小松紀子(分担), 太期健二(分担), 岡本晃充(分担), 浜窪隆雄(分担): PCI法を用いた蛍光標識抗体薬物複合体デリバリーによる次世代口腔癌治療法の開発. 基盤研究(C), 20K10091, 2020~2022年度.
- 生駒丈晴(代表), 小澤重幸(分担): 細胞膜エネルギーセンサー GPRC5Bに着目した頭頸部扁平上皮癌へのケトン食の導入. 基盤研究(C), 20K10193, 2020~2022年度.
- 小澤重幸(代表), 畑隆一郎(分担), 安部貴大(分担), 讃岐拓郎(分担): 抗腫瘍性ケモカイン CXCL14C末端ドメインを応用した次世代の癌転移阻害剤の開発. 基盤研究(C), 21K10149,

2021～2023年度.

- 金森慶亮(代表)：癌特異的カベオラ異常を介した予後不良因子GPRC5Bの新たな機能解明. 研究活動スタート支援, 21K21101, 2021～2022年度.
- 田中香衣(代表), 阿部成宏(分担), 古村眞(分担), 安部貴大(分担), 小澤重幸(分担)：口腔組織幹細胞の免疫制御ネットワークにおける骨髄由来抑制細胞との相互作用の解明. 基盤研究(C), 21K10105, 2021～2023年度.
- 沢井奈津子(代表), 安部貴大(分担), 小澤重幸(分担), 岩瀬博史(分担)：頭頸部がんグルコース飢餓時のオートファジーによるエネルギー補填メカニズムの解明. 基盤研究(C), 22K10135, 2022～2024年度.
- 金森慶亮(代表)：癌カベオラ異常がもたらす予後不良因子GPRC5Bを介した増悪メカニズムの解明. 若手研究, 22K17193, 2022～2024年度.

〔研究助成〕

- 小松紀子(代表)：口腔潜在的悪性疾患(Oral potentially malignant disorders: OPMDs)に関する実態調査. 日本口腔外科学会研究助成, 2022.8～2023.8.

〔報道・記事〕

- 鈴木健司：編集後記. Newsletter：日本口腔外科学会広報, 76, 40, 2022.12.15.
- 鈴木健司：保険適応「歯並びの治療」顎変形症に外科矯正. タウンニュース横須賀版/逗子・葉山版/三浦版, 2022.12.16.

〔ホームページ〕

- 鈴木健司：神奈川歯科大学附属病院ホームページ：口腔外科「顎変形症について」. http://www.kdu.ac.jp/hospital/department/dental/oral_surgery/oral_surgery01.html

▶ 高度先進口腔外科学分野

代表者：中村篤

1 | 教員・大学院生・他

診療科教授：中村篤, 西久保周一
診療科准教授：小枝(小栗)聡子
診療科講師：南雲達人
診療科助手：石井滋
医員：小澤真奈美, 北村公, 秋山広希, 山村真紀子, 羅田幹久
臨床教授：代田達夫
非常勤歯科医師：近藤忠稚, 大野康亮

2 | 2022年度の活動内容

教育：横浜研修センター研修医に対し口腔外科講義および臨床研修を指導した。臨床実習学生および短大生に安全な臨床のための指導を行った。

研究：臨床研究として日本人のための外科矯正手術に関する工夫について学会発表した。

臨床：外来新患数は、2019年度2,407例、2020年度2,234例に対し、2021年度2,523例、2022年度2,124例であり、COVID-19の感染による患者様のキャンセルの影響を受けたと考えられた。全身麻酔は2020年度442例であり、2021年度は576例、2022年度は313例でありCOVID-19予防策のための病棟使用制限による影響があったと考えられた。しかしながら外来病棟におけるクラスターは発生せず、安全に医療を行うことができた。

社会活動：COVID-19対策により紹介頂いている歯科医院先生方とメール、Zoomなどで密に連絡をとり、顎変形症、口腔がんなどに対する知識を共有している。さらに講習会および勉強会での講義を行った。

3 | 研究業績

【原著論文】

K22/OP/023 Ishii S, Sakaguchi W, Sugai M, Nagumo T, Koeda S, Ozawa M, Kitamura T, Yamamura M, Akiyama H, Tsukinoki K, Nakamura A : Analysis of false-negatives in exfoliative cytology in oral potentially malignant disorders: A retrospective cohort study. Journal of Stomatology, Oral and Maxillofacial Surgery, 123, e390-e395, 2022. doi: 10.1016/j.jormas.2022.02.001

K22/OP/005 Tsukinoki K, Yamamoto T, Saito J, Sakaguchi W, Iguchi K, Inoue Y, Ishii S, Sato C, Yokoyama M, Shiraiishi Y, Kato N, Shimada H, Makabe A, Saito A, Tanji M, Nagaoka I, Saruta J, Yamaguchi T, Kimoto S, Yamaguchi H : Prevalence of saliva immunoglobulin A antibodies reactive with severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 among Japanese people unexposed to the virus. Microbiology and Immunology, 66, 403-410, 2022.

K22/OP/061 須田悠里, 小枝(小栗)聡子, 南雲達人, 石井滋, 近藤忠稚, 中村篤 : 上顎前歯部に生じた周辺性歯原性線維腫の2例－免疫染色を利用した新規診断法－. 日本口腔外科学会雑誌, 68(7), 294-299, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

●西久保周一：顎関節人工関節全置換術を施行した2例 (シンポジウム10 TMJ replacement関連「日本における全置換型人工顎関節の現状と展望」). 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉+On demand, 2022.11.4-6.

●西久保周一：閉塞性睡眠時無呼吸症における舌の特徴と管理 (ランチョンセミナー 4). 第21回日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 名護, 2022.11.18-20.

〔一般発表・国内学会〕

●山村真紀子, 小枝(小栗)聡子, 石井滋, 北村公, 小澤真奈美, 須貝将舟, 秋山広希, 羅田幹久, 近藤忠稚, 南雲達人, 中村篤 : 診断に苦慮した小児の非細菌性下顎骨髄炎の一例. 第213回日本口腔外科学会関東支部学術集会, Web開催, 2022.5.21.

●山村真紀子, 小枝聡子, 石井滋, 南雲達人, 中村篤 : 中顔面頬部軟組織改善のためのModified Hi-level Le Fort I型骨切り術の試み. 第32回日本顎変形症学会総会・学術大会, ハイブリッド開催(新潟, Web), 2022.6.9-10.

●山村真紀子, 小枝聡子, 小澤真奈美, 中村篤 : 生体内吸収性プレート固定による下顎枝垂直骨

切り術(IVRO)を行った2例. 第56回日本口腔科学会関東地方部会, Web開催, 2022.9.10.

- 小枝(小栗)聡子, 秋山広希, 山村真紀子, 小澤真奈美, 須貝将舟, 北村公, 渡部晴貴, 北村直己, 石井滋, 南雲達人, 中村篤: 中顔面軟組織改善のためのModified high-level Le Fort I型骨切り術. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉+On demand, 2022.11.4-6.
- 山縣加夏子, 篠塚啓二, 荻澤翔平, 中村亮太, 西久保周一, 佐藤貴子, 本田雅彦, 清水治, 田沼唯士, 外木守雄: 顎変形症患者における手術前後の気道動態の変化—流体解析を用いた顎移動量検討について—. 第21回日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 名護, 2022.11.18-20.
- 篠塚啓二, 阿崎宏昭, 青木淳也, 草野明美, 山縣加夏子, 西久保周一, 佐藤貴子, 磯野史朗, 外木守雄: 肥満や顎顔面形態が及ぼす上気道抵抗の変化に関する検討. 第21回日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 名護, 2022.11.18-20.
- 田村英俊, 西久保周一, 外木守雄: 顎矯正手術により顕著に改善した閉塞性睡眠時無呼吸症の2例. 第21回日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 名護, 2022.11.18-20.

歯科矯正学講座

▶ 歯科矯正学分野

代表者：山口徹太郎

1 | 教員・大学院生・他

教 授：山口徹太郎

助教・診療科講師：小泉創

助 教：畠中玲奈

診療科助手：池中僚亮

大 学 院 生：井口恵一郎(4年), 朴熙泰(4年), 有輪政尊(3年), 奥脇都子(3年),
金ウンギョン(3年), 竹田磨言子(3年), 坪井晶裕(2年), 鯨井桂子(2年),
山口周(2年), 高橋宏治(2年), 上田聖士郎(1年), 江頭綾乃(1年),
小池亮太(1年), 中丸正貴(1年), 二階堂修(1年), 能見紘輔(1年),
松本留実(1年), 山口菜奈美(1年)

特 任 講 師：岩田敏男, 三宅真次郎, 大塚剛郎

特任講師(無給)：疋田悠, 降旗(佐々木)真由, 常岡(中島)美里, 渡辺みゆき

非常勤歯科医師：二宮卓也, 薄井崇, 駒形葵, 平野航, 奥村由香

臨 床 専 攻 生：杉之内有希

2 | 2022年度の活動内容

教育：4年時に歯科矯正学の総論と診断学・治療学についての講義と診断に必要な資料の分析、総合診断演習、線屈曲の基本、舌側弧線装置の製作およびマルチブラケット装置による歯の移動の基礎実習を行った。5年臨床実習では様々な症例の臨床見学に加え、種々の症例に対する診断演習とタイポドントを使用した歯の移動の実習も行った。6年臨床実習では様々な症例の臨床見学に加え、学生自身が相互に印象採得を行い研究用模型の作製を行い、模型分析実習を行った。さらに、卒後研修医に対して選択科目として矯正歯科外来見学、補助、歯科矯正治療の指導も行った。

研究：デジタルテクノロジーによる口腔内装置として口腔内を3Dスキャンし、3Dプリンターによる口腔内装置を作製する研究を行っている。また、高機能CTによる信頼性の高い画像情報で、すべての診療を強化する的確な診断分析を行うための基礎的な研究を行っている。さらに、患者様の唾液サンプルより、DNAを採取し、顎顔面形態に関する網羅的ゲノム解析を行っている。

臨床：附属病院の矯正歯科を担当し、地域における矯正治療を担当するとともに様々な難症例に対しても口腔外科、保存科、補綴科と連携し包括的治療を行っている。

社会活動：地域のタウンニュースに歯科矯正治療に関する記事を掲載し、一般の方々にも分かりやすく歯科矯正治療の理解を助ける活動を行った。さらに、地域団体向けに講演会を開催し、歯並びやかみ合わせの視点から歯科矯正治療の重要性を説明した。これらの活動を通じて、一般の方々にも歯科矯正治療の重要性を理解していただくとともに、歯の健康に関心を持ってもらうことを目指している。当薬局では地域の人々の口腔健康増進に貢献するために、積極的に社会活動に取り組んでいる。

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/030 山口徹太郎, 小泉創, 畠中玲奈 : Chapter 2. 成長発育. pp.6-20. 西井康, 新井一仁, 小野卓史, 須田直人, 友成博, 不島健持, 榎宏太郎, 本吉満, 森山啓司, 山口徹太郎編集委員 : 歯科矯正学エッセンシャルテキスト. 永末書店, 京都, 2023.

【原著論文】

K22/OP/062 Park H, Hosomichi K, Kim Y-I, Tajima A, Yamaguchi T : Exploring the Genetic Basis of Dens Evaginatus Using Whole-Exome Sequencing. Applied Sciences, 12, 8962, 2022. doi: 10.3390/app12188962

K22/OP/063 Park H, Hosomichi K, Kim Y-I, Hikita Y, Tajima A, Yamaguchi T : Comprehensive Genetic Exploration of Fused Teeth by Whole Exome Sequencing. Applied Sciences, 12, 11899, 2022. doi: 10.3390/app122311899

K22/OP/064 Okumura Y, Koizumi S, Suginochi Y, Hikita Y, Kim Y-I, Adel M, Nadim M, Yamaguchi T : Chin Morphology in Relation to the Skeletal Pattern, Age, Gender, and Ethnicity. Applied Sciences, 12, 12717, 2022. doi: 10.3390/app122412717

K22/OP/065 Iguchi K, Kim Y-I, Adel M, Nadim M, Hatanaka R, Koizumi S, Yamaguchi T : Association of Mandibular Posterior Anatomic Limit with Skeletal Patterns and Root Morphology Using Three-Dimensional Cone Beam Computed Tomography Comprehensive Analysis. Diagnostics, 12, 3019, 2022. doi: 10.3390/diagnostics12123019

K22/OP/066 Ikenaka R, Koizumi S, Otsuka T, Yamaguchi T : Effects of root contact length on the failure rate of anchor screw. Journal of Oral Science, 64(3), 232-235, 2022.

K22/OP/005 Tsukinoki K, Yamamoto T, Saito J, Sakaguchi W, Iguchi K, Inoue Y, Ishii S, Sato C, Yokoyama M, Shiraiishi Y, Kato N, Shimada H, Makabe A, Saito A, Tanji M, Nagaoka I, Saruta J, Yamaguchi T, Kimoto S, Yamaguchi H : Prevalence of saliva immunoglobulin A antibodies reactive with severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 among Japanese people unexposed to the virus. Microbiology and Immunology, 66, 403-410, 2022.

K22/OP/067 Yuasa K, Otsuka T, Suginochi Y, Adel M, Kim Y-I, Hikita Y, Koizumi S, Hatanaka R, Maki K, Yamaguchi T : Condylar asymmetry in patients with mandibular asymmetry assessed by cone-beam computed tomography. 神奈川歯学, 57(1), 24-30, 2022.

K22/OP/068 Ariwa M, Koizumi S, Yamaguchi T : Factors influencing the differences between three-dimensional measurement with cephalometric analysis and cone-beam computed tomography. 神奈川歯学, 57(2), 98-103, 2022.

K22/OP/069 Nikaido O, Park H, Koizumi S, Yamaguchi T : Factors Affecting Bracket Position in Indirect Bonding Systems. Journal of Digital Dentistry, 12(3), 112-119, 2023.

【総説】

K22/R/020 Yamaguchi T, Hosomichi K, Shirota T, Miyamoto Y, Ono W, Ono N : Primary failure of tooth eruption: Etiology and management. Japanese Dental Science Review, 58, 258-267, 2022.

【症例報告】

K22/CR/001 池中僚亮, 小泉創, 沢井奈津子, 山口徹太郎 : 思春期に発症したエナメル上皮腫を有する第二大

臼歯の矯正歯科治療の予後. Hospital Dentistry & Oral-Maxillofacial Surgery, 34(1), 41-45, 2022.

K22/CR/010 岩田敏男, 小泉創, 山口徹太郎: 下顎右側第二小臼歯の先天性欠如を伴う上顎前突症例の矯正歯科治療例. 神奈川歯学, 57(1), 46-53, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔特別講演〕

- 山口徹太郎: 技術革新がもたらす矯正歯科治療. 第81回東京矯正歯科学会学術大会, ハイブリッド開催(東京, Web), 2022.7.6-7.
- Park H, Hosomichi K, Kim Y-I, Tajima A, Yamaguchi T: Exploring genetic factors of fused teeth by whole exome sequencing. 55th Annual Congress of the Korean Association of Orthodontists (KAO) & 13th Asian Pacific Orthodontic Congress (APOC), Seoul, Korea, 2022.10.28-30.

〔一般発表・国内学会〕

- 朴熙泰, 細道一善, 田嶋敦, 山口徹太郎: 全エクソームシーケンシングを用いた癒合歯の遺伝的原因への探査. 神奈川歯科大学学会第168回例会, オンライン開催, 2022.6.9.
- 朴熙泰, 細道一善, 田嶋敦, 山口徹太郎: 全エクソームシーケンシングによる癒合歯の遺伝因子の探索. 第81回東京矯正歯科学会学術大会, ハイブリッド開催(東京, Web), 2022.7.6-7.
- 板宮朋基, 中野亜希人, 有輪政尊, 小泉創, 山口徹太郎: 単眼カメラ映像のリアルタイム裸眼立体視化システムの構築. 第27回日本バーチャルリアリティ学会大会, 札幌, 2022.9.12-14.
- 中野亜希人, 板宮朋基, 有輪政尊, 小泉創, 山口徹太郎: 裸眼立体視ディスプレイを用いた遠隔歯科症例検討システムの開発. 第27回日本バーチャルリアリティ学会大会, 札幌, 2022.9.12-14.
- 有輪政尊, 板宮朋基, 小泉創, 山口徹太郎: Comparison of the Observation Errors of Augmented and Spatial Reality Systems. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 井口恵一郎, Kim Y-I, Adel M, Nadim M, 畠中玲奈, 小泉創, 山口徹太郎: 歯科用コーンビームCT画像による下顎歯列弓遠心移動限界の包括的三次元解析. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 朴熙泰, 細道一善, Kim Yong-Il, 田嶋敦, 山口徹太郎: 中心結節の形成に関わる原因遺伝子の全エクソームシーケンシングを用いた解析. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 朴熙泰: 韓国歯科業界の現状および研究活動について. 国際歯科学士会(ICD)日本部会2022年度年末集会, 東京, 2022.12.17.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 木村亮介(代表), 佐藤丈寛(分担), 山口徹太郎(分担): 顔面形態関連遺伝子多型の探索および

人類学的応用. 基盤研究(B), 21H02573, 2021～2023年度.

- 山口徹太郎(代表), 高橋正皓(分担): 日本人に多い癒合歯の原因遺伝子を全エクソンシーケンスで網羅的に探索する. 基盤研究(C), 21K10173, 2021～2023年度.
- 疋田悠(代表): コーンビームCT画像から取得した3次元的顎顔面形態と関連する網羅的ヒトゲノム解析. 若手研究, 21K17170, 2021～2023年度.

[賞]

- 朴熙泰: Excellent Posterboard Presentation Award: Exploring genetic factors of fused teeth by whole exome sequencing. Korean Association of Orthodontists and Asian Pacific Orthodontic Society. 2022.10.30.
- 有輪政尊: 優秀論文賞(川村賞): Comparison of the Observation Errors of Augmented and Spatial Reality Systems. 神奈川歯科大学学会. 2022.11.26.
- 朴熙泰: 学長賞: Comprehensive Genetic Exploration of Fused Teeth by Whole Exome Sequencing. 神奈川歯科大学. 2023.3.10.

[報道・記事]

- 朴熙泰: 大学院だより. 神奈川歯科大学新聞, 44, 6, 2022.

▶ 高度先進歯科矯正学分野

代表者: 不島健持

1 | 教員・大学院生・他

教授: 不島健持
准教授: 川合暢彦
講師: 小野崎純
助教: 佐藤允俊, 尾崎博弥, 萩原俊一, 窪田めぐみ
診療科助教: 尾関佑美
診療科助手: 塚田恵造
大学院生: 小山未来(4年), 石井貴和(4年), 松田久(3年), 久保田令絵(2年), 齋藤藍(2年), 林敦(2年)
非常勤歯科医師: 大場純
非常勤講師: 安井正紀, 齋藤伸雄, 水口賢一, 渡邊亨, 野久保浩美, 松成篤
臨床専攻生: 荒井さとみ, 佐藤慎也, 湯川仁子, 児玉恵, 杉原利加

2 | 2022年度の活動内容

教育: 高度先進歯科矯正学分野では学部5年生の当院実習を担当し, 講義および実習を行った。また, 学部4年生の咬合管理矯正学を担当し, 矯正学の総論と診断学・治療学についての講義と診断に必要な資料の分析, 演習, 線屈曲の基本, 舌側弧線装置の製作およびマルチブラケット装置による歯の移動の基礎実習を行った。

研究: 主に, 歯列顎骨の成長発育変化, 歯の移動変化ならびに移動動態の解析, といった臨床

研究を進めており、大学院4年生2名の学位申請を行い、学位論文の作成、学位の取得を行った。大学院2年生は新たな研究テーマを設定し、研究の準備を行った。

臨床：附属横浜クリニックの矯正歯科を担当し、地域からの紹介患者の受け入れを行った。顎変形症、多数歯欠損など難症例が多いため、診断カンファレンスを通し他科と連携した治療計画の立案を行い、高度先進矯正歯科医療を実践した。

社会活動：研究会、セミナー、招待講演、学会発表等により、高度先進歯科矯正学分野の研究活動の周知に努めた。本年度は6回のオープンサテライトセミナーを開催することで、地域医療における大学附属病院として専門性の高い矯正歯科医療を提供することの重要性を、対内的、対外的に理解していただくよう努めた。

その他：地域連携のセミナー、懇親会を通し、横浜クリニックおよび矯正歯科の活動内容を紹介するとともに、不正咬合の予防、治療の重要性の啓蒙に努めた。

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/031 不島健持：Chapter 10. 矯正歯科治療に伴う生体反応. pp.137-143. / 不島健持, 立木千恵, 芳賀秀郷：Chapter 16.II. 顎変形症の矯正歯科治療. pp.234-243. 西井康, 新井一仁, 小野卓史, 須田直人, 友成博, 不島健持, 榎宏太郎, 本吉満, 森山啓司, 山口徹太郎編集委員：歯科矯正学エッセンシャルテキスト. 永末書店, 京都, 2023.

【原著論文】

K22/OP/070 Kawai N, Watanabe M, Shibata M, Horiuchi S, Fushima K, Tanaka E : Treatment decision of camouflage or surgical orthodontic treatment for skeletal Class III patients based on analysis of masticatory function. Journal of Dental Sciences, 17, 822-830, 2022.

K22/OP/071 Watanabe M, Kawai N, Shibata M, Nakaue E, Horiuchi S, Tanaka E : Establishment of a new rehabilitation program using masticatory training food for jaw deformity patients. Journal of Dental Sciences, 17, 1217-1224, 2022.

K22/OP/005 Tsukinoki K, Yamamoto T, Saito J, Sakaguchi W, Iguchi K, Inoue Y, Ishii S, Sato C, Yokoyama M, Shiraiishi Y, Kato N, Shimada H, Makabe A, Saito A, Tanji M, Nagaoka I, Saruta J, Yamaguchi T, Kimoto S, Yamaguchi H : Prevalence of saliva immunoglobulin A antibodies reactive with severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 among Japanese people unexposed to the virus. Microbiology and Immunology, 66, 403-410, 2022.

K22/OP/072 日浅早紀, 川合暢彦, 堀内信也, 田中栄二, 伊賀弘起：小児不正咬合患者の口腔機能異常の特徴. Journal of Oral Health and Biosciences, 35(1), 1-8, 2022.

K22/OP/060 小林大, 小西弘晃, 尾崎博弥, 小林優, 不島健持：歯列模型および頭部X線規格写真から構築した新しい三次元デジタルモデルシステムと臨床評価. 神奈川歯学, 57(1), 5-16, 2022.

【総説】

K22/R/019 不島健持, 小林優：矯正用インプラントの現状と展望. 矯正臨床ジャーナル, 39(1), 11-29, 2023.

【テーシス】

K22/T/002 石井貴和：上顎前歯統合による一塊牽引法についての三次元有限要素解析. 2022年度テーシス.

K22/T/003 小山未来：日本人一般集団における上顎歯列形態および口蓋形態の三次元的成長様相. 2022年度テーシス.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 川合暢彦：顎口腔機能検査の顎変形症患者に対する診断および術後リハビリテーションへの活用. 第32回日本顎変形症学会総会・学術大会, ハイブリッド開催(新潟, Web), 2022.6.9-10.
- 川合暢彦：顎変形症患者の顎口腔機能向上を目指した機能訓練. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉+On demand, 2022.11.4-6.
- 小野崎純：閉塞型睡眠時無呼吸症に対する口腔筋機能療法 (シンポジウム2「～OSA・いびきへの機能的アプローチを考える～」). 第21回日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 名護, 2022.11.18-20.

〔一般発表・国内学会〕

- 尾崎博弥, 小林優, 不島健持：歯科矯正用アンカースクリューの連結による架橋効果の有限要素法解析:スクリュー長が及ぼす影響. 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム, 大阪+Web, 2022.10.5-7.
- 萩原俊一, 久保田令絵, 林敦, 不島健持：口蓋を参照した歯列デジタルモデルの重ね合わせ精度. 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム, 大阪+Web, 2022.10.5-7.
- 尾関佑美, 不島健持：口蓋の歯科矯正用アンカースクリューを利用した埋伏歯の牽引. 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム, 大阪+Web, 2022.10.5-7.
- 萩原めぐみ, 萩原俊一, 尾崎博弥, 小林優, 不島健持：顔面非対称症例における片側SARMEにおける上顎骨の三次元的変化. 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム, 大阪+Web, 2022.10.5-7.
- 塚田恵造, 尾関佑美, 佐藤允俊, 不島健持：成人矯正治療における臨床的歯冠長の変化—非抜歯治療症例—. 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム, 大阪+Web, 2022.10.5-7.
- 小山未来, 不島健持：歯列デジタルモデルを用いた口蓋形態の三次元的評価. 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム, 大阪+Web, 2022.10.5-7.
- 石井貴和, 尾崎博弥, 不島健持：上顎前歯の一塊舌側移動の三次元有限要素解析. 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム, 大阪+Web, 2022.10.5-7.
- 小野崎純, 大塚美沙, 有坂博史, 不島健持：MFTによって被蓋改善を行った1症例—舌圧測定を用いたMFTの客観的評価方法確立の試み—. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.

〔講演会・セミナー等〕

- 不島健持：矯正歯科から考える臨床咬合論. 第45回中日本矯正歯科医会定時総会日本臨床矯正歯科医会東海支部合同学術講演会, Zoom, 2022.6.15. / 矯正力に対する歯周組織の反応. 高度先進口腔医学講座大学院矯正オープンサテライトセミナー, 横浜, 2022.10.27. / 矯正

歯科における咬合再構成. 高度先進口腔医学講座大学院矯正オープンサテライトセミナー, 横浜, 2022.11.10. / 上顎骨の狭窄について. 第37回アレキサンダー研究会例会Hybridセミナー「側方拡大について考える」, 東京, 2022.11.27. / 3D Digital Imageによる矯正診断. 高度先進口腔医学講座大学院矯正オープンサテライトセミナー, 横浜, 2022.12.8. / 成長期における顎整形的アプローチ. 高度先進口腔医学講座大学院矯正オープンサテライトセミナー, 横浜, 2023.1.12. / 矯正用インプラントによる固定源. 高度先進口腔医学講座大学院矯正オープンサテライトセミナー, 横浜, 2023.2.9. / 歯周組織に対する矯正治療特有のJiggling型咬合性外傷の影響. 神奈川歯科大学学会第170回例会・神奈川歯科大学同窓会共催, 横浜, 2023.2.18.

- 川合暢彦：マルチブラケット装置を用いた治療の基本. 神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック主催矯正オープンサテライトセミナー, 横浜, 2022.8.25.

【業務・活動報告】

〔賞〕

- 萩原俊一, 久保田令絵, 林敦, 不島健持：優秀演題賞：口蓋を参照した歯列デジタルモデルの重ね合わせ精度. 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム. 2022.10.5-7.

歯科インプラント学講座

▶ 顎・口腔インプラント学分野

代表者：河奈裕正

1 | 教員・大学院生・他

教 授：河奈裕正
講 師：永田紘大
診 療 科 助 手：奥濱裕里恵，若森可奈
大 学 院 生：権玳賢(1年)
医 員：住友寛和，大久保学，鶴岡隼人
客 員 教 授：小川隆広，岩崎良太郎，渥美美穂子
特 任 准 教 授：淵上慧
特 任 講 師(無給)：金井亨，皆川仁

2 | 2022年度の活動内容

教育：歯学部1年生への講義，3年生への講義と実習，5年生への講義と臨床実習，6年生への臨床実習を行うことで，歯科インプラント学に対する知識と実践とを，入学から卒業に至る学生に満遍なく提供した。臨床研修医に対しては，インプラント治療が口腔外科学，歯科補綴学，歯周病学，歯科矯正学を含む包括的治療の1つであることの理解を促すため，日々の臨床教育，ウェブセミナー，実習を行った。

研究：歯科治療のデジタル化ではその精度が問題点の一つとされるが，歯科模型の新規材料として，熱溶解積層型3Dプリンターの精度を測定し，さらに産業廃棄物軽減のため，PLAフィラメントの再利用についての精度を検証した。また，インプラント安定性を計測する新規の装置を用いて，免荷期間のインプラント安定性を計測し，この装置がインプラントのプロビジョナルレストレーションに応用可能かを追加検証した。ハプティック技術を応用した歯科用，医科用ロボットの開発を継続し，マイクロサージャリー用縫合糸の牽引力を拡大して人の手に伝えるロボットをAMEDで報告した。

臨床：大学附属病院のインプラント部門として，当科を受診された患者へのインプラント治療，他院で行ったトラブル症例のリカバリー，インプラント周囲炎に対する治療，骨造成術などを行い，患者の再建学的歯科医療，健康増進に携わった。

社会活動：病診連携，病病連携を図り，地域医療に貢献した。また，保健所において，歯と口の健康づくりの市民講座を行い，インプラント治療の安全性，先進性について情報提供を行った。同窓会支部での講演を通じて地域社会の歯科医療に貢献した。

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/032 河奈裕正，淵上慧：第13章.5. 口腔インプラント手術. pp.234-240. 池邊哲郎，片岡あい子，里見貴史，長尾徹，百田義弘編集委員：歯科衛生士講座 口腔外科の治療と診療補助. 永末書店，京都，2023.

K22/B&C/033 淵上慧，河奈裕正：第5章.Ⅱ.3.1). インプラント体埋入手術(従来法). pp.154-160. 赤川安正 [ほか] 編集：よくわかる口腔インプラント学. 第4版，医歯薬出版，東京，2023.

【原著論文】

- K22/OP/073 Okuhama Y, Nagata K, Kim H, Tsuruoka H, Atsumi M, Kawana H : Validation of an implant stability measurement device using the percussion response: a clinical research study. BMC Oral Health, 22, 286, 2022. doi: 10.1186/s12903-022-02320-0
- K22/OP/074 Soma T, Iwasaki R, Sato Y, Kobayashi T, Ito E, Matsumoto T, Kimura A, Homma F, Saiki K, Takahashi Y, Miyamoto K, Matsumoto M, Nakamura M, Morita M, Ishii K, Asoda S, Kawana H, Xingyu Z, Aizawa M, Nakagawa T, Miyamoto T : An ionic silver coating prevents implant-associated infection by anaerobic bacteria in vitro and in vivo in mice. Scientific Reports, 12, 18387, 2022. doi: 10.1038/s41598-022-23322-6
- K22/OP/009 Nagata K, Muromachi K, Kouzai Y, Inaba K, Inoue E, Fuchigami K, Nihei T, Atsumi M, Kimoto K, Kawana H : Fit accuracy of resin crown on a dental model fabricated using fused deposition modeling 3D printing and a polylactic acid filament. Journal of Prosthodontic Research, 67(1), 144-149, 2023.
- K22/OP/030 Nagata K, Inaba K, Kimoto K, Kawana H : Accuracy of Dental Models Fabricated Using Recycled Poly-Lactic Acid. Materials, 16, 2620, 2023. doi: 10.3390/ma16072620

【症例報告】

- K22/CR/011 Nagamine H, Yasui T, Kimura M, Karube T, Sato H, Miyashita H, Asoda S, Kogai H, Kawana H, Onizawa K : Large pyogenic granuloma associated with a dental implant: A case report. Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, 34, 315-321, 2022.

【その他】

- K22/O/010 Okuhama Y, Nagata K, Nakashizu T, Wakamori K, Okubo M, Tsuruoka H, Kawana H : Validation of the Implant Stability Test for Implant Provisional Crowns: An In Vitro Study. Applied Sciences, 13, 3947, 2023. doi: 10.3390/app13063947

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 河奈裕正：歯科インプラントにおけるコンピュータガイド手術の利点・欠点に関する文献的レビューと今後の研究開発 今さら聞けない口腔インプラント治療のデジタルワークフロー。日本デジタル歯科学会第13回学術大会，東京，2022.4.23-24.

〔一般発表・国内学会〕

- 永田紘大，淵上慧，井上絵理香，鈴木美南子，星憲幸，二瓶智太郎，木本克彦，渥美美穂子：熱溶解積層型3DプリンターとPoly-Lactic Acid(PLA)フィラメントを用いた歯科模型の適合精度の検証。日本デジタル歯科学会第13回学術大会，東京，2022.4.23-24.
- 臼田頌，村岡渡，筋生田整治，河奈裕正，中川種昭：神経内科と医療連携を行った慢性頭痛患者の臨床的検討 顎関節症に起因する頭痛への対応。第35回日本顎関節学会総会・学術大会，札幌，2022.7.2-3.
- 鶴岡隼人，永田紘大，奥濱裕里恵，若森可奈，住友寛和，大久保学，二瓶智太郎，河奈裕正：ジルコニア製インプラント上部構造体のアクセスホール用仮封材の検討。第52回日本口腔インプラント学会学術大会，名古屋，2022.9.23-25.

- 若森可奈, 永田紘大, 中静利文, 淵上慧, 北見遼二, 渥美美穂子, 河奈裕正: 溶融積層造形法3Dプリンターとポリ乳酸フィラメントを用いたインプラント模型の精度. 第52回日本口腔インプラント学会学術大会, 名古屋, 2022.9.23-25.
- 長嶺宏樹, 臼田慎, 二宮真希, 本間風花, 遠藤友樹, 臼田聡, 軽部健史, 筋生田整治, 河奈裕正, 木津英樹: 立川病院における歯科インプラント治療の動向. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉+On demand, 2022.11.4-6.
- 相馬智也, 森田麻友, 岩崎良太郎, 筋生田整治, 河奈裕正, 中川種昭, 宮本健史: 骨吸収薬剤関連顎骨壊死マウスモデルにおけるビタミンDの抑制効果. 第67回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉+On demand, 2022.11.4-6.
- 下濱啓, 宮下英高, 福田諒, 宗像花楠子, 矢島祥助, 相馬智也, 森田麻友, 山田有佳, 小高利絵, 河奈裕正, 中川種昭, 筋生田整治: 上顎洞底挙上術時の炭酸アパタイトの経時的形態変化に関する3次元画像解析. 第26回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 東京, 2022.11.26-27.
- 奥濱裕里恵, 永田紘大, 若森可奈, 鶴岡隼人, 大久保学, 住友寛和, 河奈裕正: 打診方式を利用したインプラント安定性測定装置の検証. 第26回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 東京, 2022.11.26-27.

〔講演会・セミナー等〕

- 河奈裕正: 歯と口の健康づくり講座 歯科インプラントとは 利点と欠点 持病があってもできるのか. 横須賀市保健所, 横須賀, 2022.5.3. / 口腔外科基本手技実習～基本が織り成す早くて確実な手術を目指して～. 令和4年度日本インプラント臨床研究会公益社団法人日本口腔インプラント学会認定講習会, 東京, 2022.5.21. / 「切る、貼る、縫う」の基本. 東京医科歯科大学歯科同窓会C.D.E. 第59期 Part II, 東京, 2022.6.5. / ランチョンセミナー 9 コラーゲン使用人工骨「ボナーク®」の基礎と臨床 上顎洞底挙上術における評価. 第52回公社日本口腔インプラント学会学術大会, 名古屋, 2022.9.25. / 開業医での手術に役立つ外科基本手技のコツと最近の研究のご紹介. 令和4年度神奈川歯科大学同窓会群馬支部学術講演会, 前橋, 2022.10.1. / 抜歯やインプラント外科における手術併発症の予防と対応. 令和4年度神奈川歯科大学同窓会静岡支部学術講演会, 静岡, 2022.11.13. / インプラント治療における併発症と対処法. 新潟再生歯学研究会講習会公益社団法人日本口腔インプラント学会認定講習会, 三条, 2022.11.20. / 開業医院での手術に役立つ外科基本手技～確実で手際の良い手術を目指して～. 令和4年福島歯科医師会新年学会, 2023.1.13. / インプラント手術に臨む前に会得すべき外科の考え方と基本手技～確実で手際の良い手術を目指して～. 令和4年度東京形成歯科研究会主催・公益社団法人日本口腔インプラント学会認定講習会, 東京, 2023.2.26.

1 | 教員・大学院生・他

| | |
|------------|---|
| 教 | 授：児玉利朗 |
| 講 | 師：鎌田要平 |
| 助 | 教：清水智子，北條彩和子 |
| 診 療 科 助 手： | 小島康佑，佐藤五月，曾根崇晴，小瀬貴之，鈴木聡太，平井早紀，西村允貴，吉野剛史，大井手良光 |
| 大 学 院 生： | 小瀬貴之(4年)，西村允貴(4年)，吉野剛史(4年)，坂田侑季(1年) |
| 医 | 員：高梨裕也，中村里穂，山田太陽，坂田侑季，藤森芙紗 |
| 客 員 教 授： | 豊嶋健史，林正人，上野大輔 |
| 特 任 教 授： | 田村利之，林昌二，金子守男 |
| 非 常 勤 講 師： | 杉山雅一，栗林伸之，富樫敏夫 |
| 非常勤歯科医師： | 志村公治郎，鳥羽山剛，杉山秀太，緑野智康，下村昌豊，河合邦彰，伴場(金子)紀子，中村慧，井上溪太郎 |
| 臨 床 専 攻 生： | 山野悟志，木村哲朗，奥田文俊，金子悠，丸山達也，三邊梓，関口寛人，小出俊，中平賢吾，高柳雅文 |

2 | 2022年度の活動内容

教育：歯科インプラント学講座高度先進インプラント・歯周病学分野大学院として，社会人大学院生4名が在籍している。そのうち3名は本年度学位を取得し卒業した。シラバスは臨床環境や研究状況に応じて毎年改定を実施し，インプラント・歯周病両面の特徴を生かした教育プログラムを作成し，大学院生教育を実施した。臨床教育は，各症例のカンファレンスを実施し診査診断・治療方針の策定の教育を行った。その後，手術現場において実際に技術向上の指導を行った。また，卒後研修生や臨床専攻生への講義や実習では，模型によるインプラント埋入実習，ブタ下顎骨による実習を実施し，同時に医員や大学院生も含めた基礎知識や臨床手技の向上を行った。さらに，基礎教育としては，教授ならびに助手4名が歯科保存学講座歯周病学分野3年生基礎実習に参加した。また，学会活動として日本口腔インプラント学会ケースプレゼンテーション試験に5名が合格した。

研究：研究テーマはインプラント・歯周病に関連する臨床研究として①抜歯後の歯槽堤形態の変化(CADならびにCT画像の分析)，②インプラント周囲炎の実態調査，③インプラント周囲の軟組織の動態，④筑波霊長類医科学研究所との共同研究(カニクイザルの疫学調査)，⑤歯周病と循環器疾患に関する疫学調査(横浜市大循環器科との共同研究)を行い，臨床研究の基礎を構築し実施している。また，基礎研究として動物による抜歯後の歯槽堤形態の変化を実施し，検討中である。さらにインプラント埋入時のトルクとISQについて研究を実施している。新しい研究テーマとしてはIOSによる歯周組織変化やエアアブレーションにおける新規パウダーの検討について開始した。

臨床：高度先進的なインプラント治療を実施するために，残存歯の的確な診断ならびに，一口腔単位での総合的な診断を強化することに努めた。インプラントの埋入においては，インプラント埋入シミュレーションソフトを活用し，診断ならびにガイドサージェリーの精度を向上させてきた。さらに，サイナスリフト，GBR，骨造成等の高度治療や，静脈内鎮静法の併用などを積極的に実施運用した。上部構造作製についてはIOSによるデジタル印象を取り入れ，効率化を図った。オペ室は見学がスムーズにできる設計にしたことにより，院内生や短大実習生の教育効果も向上している。今後地域連携をもとに，さらなる患者数増加を図り，本学医業収入増加に貢献できると考えられる。また，再生医療提供施設の届出ならびに事業を推進し，次

年度よりインプラント(サイナスリフト)歯周病(骨欠損)領域における再生医療を実施する予定である。

社会活動：インプラント科オープンサテライトセミナーを月1回(年11回)開催したが、コロナ感染症拡大によりZoomによるセミナーとした。このことは地域医療における大学病院の専門性としての役割を明確に提示するとともに、地域への周知を徹底してきた。また、コロナ感染症拡大によりZoomによる海外とのウェビナー(台湾、中国)を実施した。

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/006 槻木恵一, 清水智子, 坂口和歌子：歯科国試パーフェクトマスター 病理学・口腔病理学. 第2版, 医歯薬出版, 東京, 2023.

【原著論文】

K22/OP/020 Kamata Y, Kessoku T, Shimizu T, Sato S, Kobayashi T, Kurihashi T, Morozumi T, Iwasaki T, Takashiba S, Hatanaka K, Hamada N, Kodama T, Higurashi T, Taguri M, Yoneda M, Usuda H, Wada K, Nakajima A, Minabe M : Periodontal Treatment and Usual Care for Nonalcoholic Fatty Liver Disease: A Multicenter, Randomized Controlled Trial. *Clinical and Translational Gastroenterology*, 13, e00520, 2022. doi: 10.14309/ctg.0000000000000520

K22/OP/024 Sato S, Kamata Y, Kessoku T, Shimizu T, Kobayashi T, Kurihashi T, Takashiba S, Hatanaka K, Hamada N, Kodama T, Higurashi T, Taguri M, Yoneda M, Usuda H, Wada K, Nakajima A, Morozumi T, Minabe M : A cross-sectional study assessing the relationship between non-alcoholic fatty liver disease and periodontal disease. *Scientific Reports*, 12, 13621, 2022. doi: 10.1038/s41598-022-17917-2

K22/OP/019 Takuma R, Morozumi T, Yamamoto Y, Kobayashi T, Matsui T, Yoneda M, Kessoku T, Nogami A, Tamura M, Kamata Y, Sugihara S, Nomura Y, To M, Minabe M, Mitsudo K, Nakajima A, Komaki M : Association between Non-Alcoholic Steatohepatitis-Related Hepatocellular Carcinoma and Periodontopathic Bacteria: A Cross-Sectional Pilot Study. *Applied Sciences*, 13, 3893, 2023. doi: 10.3390/app13063893

K22/OP/075 北條彩和子, 小島康佑, 児玉利朗：骨膜の有無における各種補填材の抜歯窩治癒過程の検討. *神奈川歯学*, 57(2), 87-97, 2022.

【症例報告】

K22/CR/012 北條彩和子, 曾根崇晴, 小島康佑, 児玉利朗：インプラント周囲炎を非外科治療にて対応した症例. *神奈川歯学*, 57(2), 115-127, 2022.

【テーシス】

K22/T/004 小瀬貴之：頬側骨裂開モデルにおけるアテロコラーゲン製補填材を用いた歯槽堤保存術式の検討. 2022年度テーシス.

K22/T/005 西村允貴：加齢と歯周炎との関連に関するマウス実験的歯周炎を用いた基礎的検討. 2022年度テーシス.

K22/T/006 吉野剛史：ソケットリフト時の残存骨量・インプラント体形状の差異によるインプラント埋入時の初期固定の基礎的検討. 2022年度テーシス.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 児玉利朗：「インプラント周囲炎のクロニクルと現状」ーインプラント周囲炎の治療:主に外科的対応ー (シンポジウムII). 第65回春季日本歯周病学会学術大会, 東京, 2022.6.3-4.
- 小島康佑：抜歯窩における再生環境構築のための臨床上の工夫. 日本口腔インプラント学会 関東・甲越支部第12回学術シンポジウム, オンライン開催, 2022.8.7.

〔一般発表・国内学会〕

- 山本裕子, 猿田樹理, 坂口和歌子, 窪田展久, 東雅啓, 清水智子, 両角俊哉, 高橋徹, 高垣裕子, 槻木恵一：糖尿病モデルラットにおける顎下腺組織IgA濃度とpIgR発現量の解析. 第76回日本栄養・食糧学会大会, 兵庫, 2022.6.10-12.
- 山本裕子, 井出桃, 両角俊哉, 猿田樹理, 坂口和歌子, 東雅啓, 清水智子, 槻木恵一：ラード摂取量の違いがラット唾液中IgAレベルに与える影響の検討. 日本歯科衛生学会第17回学術大会, Web開催, 2022.9.18-10.31.
- 坂田侑季, 小島康佑, 北條彩和子, 藤森美紗, 金子守男, 河合邦彰, 児玉利朗：下顎大臼歯部の抜歯創に対する新形状コラーゲン使用吸収性局所止血材の応用. 第52回日本口腔インプラント学会学術大会, 名古屋, 2022.9.23-25.
- 佐藤五月, 鎌田要平, 結束貴臣, 清水智子, 小林貴, 栗橋健夫, 高柴正悟, 畑中加珠, 浜田信城, 児玉利朗, 日暮琢磨, 田栗正隆, 米田正人, 臼田春樹, 和田孝一郎, 中島淳, 両角俊哉, 三辺正人：A cross-sectional study assessing the relationship between non-alcoholic fatty liver disease and periodontal disease. 神奈川歯科大学学会第169回例会, オンライン開催, 2022.10.13.
- 槻木恵一, 清水智子：Does BNT162b2 inoculation enhance in the oral mucosal immunity?. 第51回日本免疫学会学術集会, 熊本, 2022.12.7-9.

〔講演会・セミナー等〕

- 児玉利朗：「歯周基本治療から再生治療まで」. 横浜市神奈川区歯科医師会講演, 横浜, 2022.6.3. / ソフトティッシュマネージメント. 第4回公益社団法人日本口腔インプラント学会認定講習会, 九州インプラント研究会, 熊本, 2022.7.17. / 歯周病治療におけるティッシュマネージメント. 神奈川歯科大学四国連合同窓会講習会, 四国, 2022.9.10. / ー臼歯部にfitーアテロコラーゲン(テルプラグ)によるソケットマネージメントのポイント. 第52回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会, 名古屋, 2022.9.24. / ソケットブリザベーション. 第7回公益社団法人日本口腔インプラント学会認定講習会, 九州インプラント研究会, 熊本, 2022.10.15. / 歯周病治療における咬合性外傷と再生療法. 神奈川歯科大学九州地区連合同窓会講演会, 九州, 2022.10.22. / 「抜くだけの抜歯? 治すための抜歯!」を考えてみませんか. White Cross, オンライン, 2022.10.31. / ソフトティッシュの視点からソケットマネージメントを再考する To reconsider socket management from the viewpoint of the soft tissue. 第67回公益社団法人日本口腔外科学会総会学術大会, 千葉, 2022.11.5. / 若手歯科医師のためのブタ実習による「歯周病・インプラント治療のティッシュマネージメントの実践」. 神奈川歯科大学同窓会講習会, 横浜, 2022.11.6. / 歯周病・インプラント治療におけるティッシュマネージメント. 杉並区歯科医師会講演会, 東京, 2023.1.25.
- 曾根崇晴：インプラント周囲炎を再考する. ITI Study Club関東合同支部会, 東京, 2023.3.19.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 清水智子(代表)：歯周病におけるSARS-CoV-2感染リスクの検討. 若手研究, 21K17002, 2021~2022年度.

小児歯科学講座

▶ 小児歯科学分野

代表者：木本茂成

1 | 教員・大学院生・他

教 授：木本茂成
講 師：井上吉登, 浅里仁, 横山三菜
助 教：大谷茉衣子, 中村州臣, 永塚(小川)綾野, 山口知子
診 療 科 助 手：黒田梨乃, 坂見嵯由里, 加藤ともみ
大 学 院 生：中島知佳子(3年)
医 員：菅原舞美, 長田奈々子
特 任 講 師：大西武, 大森弘子, 小松太一, 小森令賀, 重根充, 杉村和昭, 竹越史子,
時安喜彦, 檜山雄彦, 祝部竜造, 本間秋彦, 松澤光洋, 松原聡, 室井剛史,
保田将史, 山田直美
特任講師(無給)：大山洋, 進士久明
非常勤歯科医師：坪川茉莉, 中村朋美
臨 床 見 学 生：菊地暁美

2 | 2022年度の活動内容

教育：1年生の第1ステージにおける「臨床医科歯科概論」において小児歯科学の講義を担当した。1年生および2年生の第1ステージにおける「コミュニケーション入門」のユニット責任者として講義を担当した。3年生第4ステージにおける「歯科疾患の予防と管理」ではユニット「小児の齲蝕予防」では講義を担当し、また4年生第3ステージにおける「成長発育と小児の歯科治療」において講義と実習を担当した。さらに4年生第4および第5ステージの「総合歯科学I」, 5年生「臨床実習I」, 6年生「臨床実習II」において小児歯科学の講義と実習・演習ならびに臨床座学を担当した。6年生においては臨床実習終了時の臨床能力試験のうち、臨床実地試験(CPX)の指導系課題を担当し、評価を行った。

研究：新規材料に対するヒト歯髄由来細胞の生物学的応答に関する生化学的研究を進めてきたが、組織学的検索を実施した。また、ラットを用いて歯根未完成歯における実験的外傷時の治療に関する組織学的研究を行っている。一方、臨床においては、1) 小児期の口腔機能の発達と口腔の容積、歯列形態との関連性に関する研究、2) 音波ブラシを用いた口腔清掃方法に関する研究、3) 小児の口腔機能改善に対する口腔筋機能療法(MFT)の効果に関する研究を実施している。2018年度から、卒前教育におけるTBLの効果に関する研究、さらに本学留学生を対象として母国語以外での学びに関する調査研究を開始し、2022年度も継続して実施している。

臨床：低年齢からの口腔機能障害を早期に発見し、これを除去することに努めている。特に口腔周囲の筋機能の不調和に対し、歯科衛生士と歯科医師、さらに保護者が協力してMFTを積極的に導入している。また歯科的不適応を示す患児に対しては極力抑制下での治療を避け、心理的アプローチにより行動変容をはかるように努めている。今年度から全身管理高齢者歯科と

協力して、障害児の外科的処置や齲蝕治療、ならびに不協力児に対する集中的歯科治療を全身麻酔下で実施している。歯科医師と歯科衛生士が協力して、歯科疾患への予防的アプローチを重視した定期管理を行っている。

社会活動：地域保健活動の一環として横須賀北部保健所ならびに横浜市磯子区、港南区の福祉保健センターにおいて乳幼児経過歯科健診を担当し歯科指導を行っている。また、横浜市の妊婦歯科健診実施医療機関研修において講師として、妊婦の口腔ケアに関する指導を行っている。

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/034 木本茂成：第2編.第4章.IV. 口腔機能発達の異常. pp.58-61. 白川哲夫 [ほか] 編集：小児歯科学. 第6版, 医歯薬出版, 東京, 2022.

K22/B&C/035 横山三菜：第5章.1. 歯の萌出. pp.102-103 / 第5章.2. 歯の萌出の異常. pp.104-106 / 第5章.3. 歯の萌出に関連した異常. pp.106-107. / 木本茂成：第5章.4. 歯列・咬合の発育段階. pp.108-109 / 第5章.5. 歯列・咬合の発育. pp.109-122 / 第12章.1. 齲蝕治療の基本. pp.224-226 / 第12章.3. 幼若永久歯の歯冠修復. pp.241-246. / 浅里仁：第5章.6. 歯列・咬合の発育と異常. pp.123-130. / 横山三菜, 木本茂成:第12章.2. 乳歯の歯冠修復. pp.227-240. 新谷誠康編集主幹：小児歯科学ベーシックテキスト. 第3版, 永末書店, 京都, 2023.

K22/B&C/036 木本茂成：第1章.2. ラバーダム. pp.8-11 / 第1章.3.1. 乳前歯隣接面齲蝕に対するコンポジットレジン修復. pp.12-14 / 第1章.3.2. 乳歯コンポジットレジン冠修復. pp.15-17 / 第1章.4. 幼若永久歯の歯冠修復. pp.24-30. / 横山三菜：第1章.3.3. 乳臼歯部隣接面コンポジットレジン修復. pp.18-20 / 第1章.3.4. 乳歯用既製金属冠修復. pp.20-23. 新谷誠康編集主幹：小児歯科学クリニカルテキスト. 第3版, 永末書店, 京都, 2023.

【原著論文】

K22/OP/005 Tsukinoki K, Yamamoto T, Saito J, Sakaguchi W, Iguchi K, Inoue Y, Ishii S, Sato C, Yokoyama M, Shiraishi Y, Kato N, Shimada H, Makabe A, Saito A, Tanji M, Nagaoka I, Saruta J, Yamaguchi T, Kimoto S, Yamaguchi H : Prevalence of saliva immunoglobulin A antibodies reactive with severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 among Japanese people unexposed to the virus. *Microbiology and Immunology*, 66, 403-410, 2022.

K22/OP/076 Ota C, Ishizaki A, Yamaguchi S, Utsumi A, Ikeda R, Kimoto S, Hironaka S, Funatsu T : Predictors of Developmental Insufficiency of Oral Function in children. *Pediatric Dental Journal*, 32, 6-15, 2022.

K22/OP/077 Yoneyama T, Utsumi A, Ishizaki A, Takahashi M, Yamaguchi S, Asami T, Hironaka S : Can dentists contribute to early screening for developmental disorders in five-year-old children during health checkups?. *Pediatric Dental Journal*, 32, 141-150, 2022.

K22/OP/016 窪田光慶, 吉田彩佳, 藤田紗英子, 居作和人, 浅里仁, 栗本勇輝, 花岡孝治, 菅谷彰：同期型双方向オンラインPBLと対面型PBLの実践と比較検討. *神奈川歯学*, 57(2), 104-114, 2022.

K22/OP/078 坂見嵯由里, 大谷茉衣子, 浅里仁, 加藤ともみ, 中村州臣, 木本茂成：過去3年間に当院を受診した小児口腔外傷初診患者の実態調査. *小児歯科学雑誌*, 61(1), 24-34, 2023.

K22/OP/079 加藤ともみ, 浅里仁, 大谷茉衣子, 坂見嵯由里, 木本茂成：小児歯科外来における初診患者の実態調査—2008年と2018年の比較—. *小児歯科学雑誌*, 61(1), 35-43, 2023.

【解説】

K22/Ex/029 木本茂成：舌小帯短縮症による構音機能障害を有する小児への対応 舌小帯切除術の前後に行うトレーニングの実際. The Quintessence, 41(7), 1560-1580, 2022.

【その他】

K22/O/011 木本茂成：チェアサイドQ&A 小児歯科に関する疑問[第8回] “お口ぼかん”は自然治癒するのを知りたいです。 . 歯科衛生士, 46(8), 21, 2022.

K22/O/012 木本茂成：領域別研究協議会 幼稚園・認定こども園・保育所部会 口腔から全身の健康づくりを目指してー未来の生活を支える学校歯科保健ー アドバイザーのまとめ(第86回全国学校歯科保健研究大会事後抄録). 日本学校歯科医会会誌, 133, 4-5, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 木本茂成：小児を対象とした臨床研究に関する倫理審査の概要 (研究倫理審査委員会セミナー). 第60回日本小児歯科学会大会, ハイブリッド開催(千葉, Web), 2022.5.19-20.
- 木本茂成：子どもの口腔機能の発達に基づいた食育の推進 (領域別協議会幼稚園・認定こども園・保育所部会). 第86回全国学校歯科保健研究大会, ハイブリッド開催(甲府, オンライン), 2022.10.20.
- 浅里仁：口腔機能発達不全症の基本的考え方と対応, 口腔機能発達不全症ー各分野における現状ー. 第34回日本小児口腔外科学会総会・学術大会, ハイブリッド開催(東京, Web), 2022.10.21-22.

〔一般発表・国際学会〕

- Nakamura K : Experimental root fractures by improved rat molar luxation device. 10th Conference of Asian International Association of Dental Traumatology, Call for Papers, 2023.2.5.

〔一般発表・国内学会〕

- 中村州臣：根尖未閉鎖中切歯において低位断髄を行った1例ー第2報ー. 第12回日本外傷歯学会東日本地方会総会・学術大会, オンライン, 2022.4.24.
- 井上吉登, 檜山雄彦, 押川弘巳, 小松太一, 松原聡, 黒田梨乃, 木本茂成：給水・吸引機能付き電動歯ブラシを用いた歯面清掃効果について. 第60回日本小児歯科学会大会, ハイブリッド開催(千葉, Web), 2022.5.19-20.
- 中村州臣, 藤田菜衣子, 浅里仁, 小川綾野, 青木嗟由里, 亀倉ともみ, 中島知佳子, 井上吉登, 木本茂成：外傷により脱落した根未完成中切歯にリバスクライゼーションを行った1例ー第2報ー. 第60回日本小児歯科学会大会, ハイブリッド開催(千葉, Web), 2022.5.19-20.
- 中島知佳子, 藤田菜衣子, 中村州臣, 日高恒輝, 高垣裕子, 木本茂成：ラット根未完成歯における炎症治癒と根尖閉鎖に関する因子の検証. 第60回日本小児歯科学会大会, ハイブリッド開催(千葉, Web), 2022.5.19-20.
- 山田直美, 浅里仁, 木本茂成：家庭における未就学児の口腔管理に関する実態調査. 第60回日本小児歯科学会大会, ハイブリッド開催(千葉, Web), 2022.5.19-20.

- 阿部桜子, 志村菜摘, 田中里実, 茂木智子, 藤真紀子, 菅原舞美, 中村州臣, 浅里仁, 木本茂成: 日本語でのコミュニケーションが困難な患児や保護者に対する絵カードを用いた口腔衛生指導の試み. 第60回日本小児歯科学会大会, ハイブリッド開催(千葉, Web), 2022.5.19-20.
- 浅里仁, 長田奈々子, 加藤ともみ, 坂見嵯由里, 黒田梨乃, 永塚綾野, 中村州臣, 大谷茉衣子, 井上吉登, 田中里実, 阿部桜子, 志村菜摘, 茂木智子, 木本茂成: 神奈川歯科大学小児歯科における患者配布資料. 日本小児歯科学会第37回関東地方会大会, 取手, 2022.10.16.
- 熊坂純雄, 横山三菜, 山口知子, 木本茂成: 本学附属クリニック小児歯科外来における初診患者の実態調査. 日本小児歯科学会第37回関東地方会大会, 取手, 2022.10.16.
- 黒田梨乃, 菅原舞美, 坂見嵯由里, 加藤ともみ, 永塚綾野, 大谷茉衣子, 中村州臣, 浅里仁, 井上吉登, 木本茂成: 本学附属病院小児歯科における全身麻酔した歯科治療の実態調査. 日本小児歯科学会第37回関東地方会大会, 取手, 2022.10.16.
- 田中里実, 阿部桜子, 志村菜摘, 永塚綾野, 井上吉登, 浅里仁, 茂木智子, 木本茂成: 当科における嚥下時舌突出癖のある患者に対するMFTについて. 日本小児歯科学会第37回関東地方会大会, 取手, 2022.10.16.
- 井上吉登, 檜山雄彦, 押川弘巳, 小松太一, 松原聡, 黒田梨乃, 木本茂成: 給水・吸引機能付き電動歯ブラシを用いた歯面清掃効果について. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 浅里仁, 木本茂成: OPI評価と医療コミュニケーション能力評価との関連についての検討. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 中村州臣, 藤田茉衣子, 浅里仁, 小川綾野, 青木嵯由里, 亀倉ともみ, 中島知佳子, 井上吉登, 木本茂成: 脱落した根未完成中切歯にリバスクラリゼーションを試みた1例ー第2報ー. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 中島知佳子, 大谷茉衣子, 高垣裕子, 中村州臣, 日高恒輝, 木本茂成: ラット根未完成歯における炎症治癒と根尖閉鎖に関する因子の検証. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.

〔講演会・セミナー等〕

- 木本茂成: 小児の口腔機能の発達と口腔機能発達不全症について. 横浜市緑区歯科医師会学術講演会, 横浜市緑区歯科医師会, ハイブリッド開催(横浜, オンライン), 2022.5.28. / 歯科医師が発見できる全身疾患ー低ホスファターゼ症(HPP)ー. 八南歯科医師会Web研修会, 東京都八南歯科医師会, オンデマンド配信, 2022.11.1-2023.10.31. / コロナ窩におけるマスク生活の功罪〜口腔機能発達不全症〜. 品川区学校保健会研修講演会, 品川区学校保健会, ハイブリッド開催(品川, オンライン), 2022.11.24. / 「小児の口腔機能発達と口腔機能発達不全症」への対応. WHITE CROSSオンラインセミナー, WHITE CROSS, オンライン開催, 2022.12.15. / 小児歯科の最前線 少子化時代の小児歯科ー子どもたちとお口の発達についてー. 日本歯科医学会連合将来構想推進委員会ハピルちゃんプロジェクトチーム主催フォーラム, 日本歯科医学会連合, オンライン開催, 2022.12.18.
- 浅里仁: 妊娠中の口腔内の特徴と口腔ケア. 横浜市妊婦歯科健診実施医療機関研修会, 横浜, 2022.12.8.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 中村州臣(代表)：外傷歯根破折に対する治癒因子の解析と低出力超音波パルスによる新規治療法の確立. 若手研究, 20K18769, 2020～2022年度.
- 大谷茉衣子(代表)：歯根未完成歯における歯根誘導を目的とした低出力超音波パルス照射治療の開発. 若手研究, 21K17193, 2021～2024年度.

〔デジタル記事〕

- 木本茂成：赤ちゃんの乳歯が生える時期と順番とは？虫歯の注意点についても解説！おむつのムーニー公式 ユニチャーム, 2022. <https://jp.moony.com/ja/tips/baby/childcare/development-body/bm0056.html>

〔その他〕

- 木本茂成：公益社団法人日本小児歯科学会常務理事・表彰選考委員会委員長.
- 木本茂成：一般社団法人日本歯科専門医機構業務執行理事(財務担当).
- 木本茂成：一般社団法人日本歯科医学会連合登録商標展開ワーキンググループ委員.
- 木本茂成：公益社団法人日本学校歯科医会口腔機能発達不全症に関する調査研究委員会オブザーバー.
- 木本茂成：日本歯科医学会評議員.
- 木本茂成：日本歯科医学会 専門・認定分科会資格審査委員会委員.
- 木本茂成：日本歯科医学会「口腔健康管理」及び「オーラルフレイル」の定義定着に関する協議会委員.
- 井上吉登：公益社団法人日本小児歯科学会関東地方会モニター委員会委員.
- 浅里仁：公益社団法人日本小児歯科学会評議員.
- 大谷茉衣子：令和4年度横須賀市北部保健所幼児歯科健康診査(1歳6か月, 3歳児)
- 横山三菜, 永塚綾野：公益社団法人日本小児歯科学会 女性小児歯科医・男女共同参画委員会 小児歯科医連携協力ネットワーク委員.

画像診断学講座

▶ 画像診断学分野

代表者：櫻井孝

1 | 教員・大学院生・他

教授：櫻井孝
准教授・診療科教授：泉雅浩
講師：谷口紀江
診療科助教：一木俊吾
大学院生：北見遼二(4年)，大道紳太郎(1年)，迫田貴熙(1年)
名誉教授：鹿島勇
特任教授：若尾博美
特任講師：印南永
特任講師(無給)：皆謙介，小菅栄子，小山敦，嶋本道晴，對馬壽夫，西村光輔，沼山助直，
古屋延明，三宅正泰，三宅忠隆，吉田元

2 | 2022年度の活動内容

教育：歯科医療入門(1年)，歯科放射線の基礎(2年)，歯と歯周組織の検査(3年)，口腔・顎顔面領域の疾患I(3年)，医療コミュニケーション(4年)，口腔・顎顔面領域の疾患II(4年)，口腔・顎顔面領域の疾患III(4年)，総合歯科学(4年)，臨床実習I・II(5，6年)，歯科放射線学(歯科衛生学科2年)等の教育を担当した。近年の歯科医師国家試験の出題傾向を分析し，さらに診療参加型臨床実習に配慮して，臨床実習における教育内容を強化した。思考力および問題解決能力を涵養するため，全学年に一貫した教育カリキュラムを実践した。

研究：MRI装置による磁性アタッチメント義歯におよぼす影響について，咀嚼不全がヒト海馬へ及ぼす影響についてMRI分析，CTによるエックス線高吸収体の実長計測に関する検討，歯科用チタン製インプラントとジルコニア製上部構造体のCTアーチファクトに関するファントム研究などをテーマとする研究を行った。

臨床：院内他科からの依頼に基づき，画像検査ならびに検査報告書の作成を行った。また，外部医療機関から依頼された歯科用CBCT検査，セファロ検査などを行い，病診連携を重視した地域医療活動を行った。

社会活動：日本私立歯科大学協会や関連学会の理事，委員会委員等を通じた社会活動に従事した。また，高大接続事業の一環として，高校生への体験学習プログラムの提供などを通じ地域の青少年教育に貢献した。

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/037 泉雅浩，櫻井孝：III章.1. 口内法エックス線撮影法. pp.32-39. 金田隆 [ほか] 編著：必携視覚で学ぶ歯科放射線学. 砂書房，東京，2022.

【原著論文】

K22/OP/037 小松知子，宋文群，松澤直子，萩原大，永村宗護，田中直人，有輪理彦，大澤智子，永田康裕，鎌田有一朗，横山滉介，李昌一，井野智，櫻井孝：神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケートー第1報 一次医療機関における調査ー. 障害者歯科，43，101-108，2022.

K22/OP/038 小松知子, 宋文群, 松澤直子, 萩原大, 永村宗護, 田中直人, 有輪理彦, 大澤智子, 永田康裕, 鎌田有一朗, 横山滉介, 李昌一, 井野智, 櫻井孝: 神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケートー第2報 保健所における調査ー. 障害者歯科, 43, 109-114, 2022.

K22/OP/039 小松知子, 宋文群, 松澤直子, 萩原大, 永村宗護, 田中直人, 有輪理彦, 大澤智子, 永田康裕, 鎌田有一朗, 横山滉介, 李昌一, 井野智, 櫻井孝: 神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケートー第3報 障害児発達支援事業所における調査ー. 障害者歯科, 43, 115-120, 2022.

K22/OP/010 杉原俊太郎, 両角俊哉, 瀧田慎也, 清水統太, 井上允, 琢磨遼, 門田大地, 櫻井孝, 小牧基浩: 歯周基本治療手技の動画教材を用いた教授法がもたらす教育効果. 日本歯科保存学雑誌, 66(1), 26-34, 2023.

【症例報告】

K22/CR/002 谷口紀江, 泉雅浩, 香西雄介, 櫻井孝: 未成年女子に発生した舌扁平上皮癌の1例. 歯科放射線, 62(2), 94-98, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 泉雅浩, Jung E, 谷口紀江, 大道紳太郎, 香西雄介, 櫻井孝: CT画像の補間方法がサイズ測定におよぼす影響ー最近傍補間(ニアレストネイバー)と線形補間(バイリニア)の画質の違いー. 日本歯科放射線学会第62回学術大会・第18回定例総会および第13回アジア口腔顎顔面放射線学会, Web開催, 2022.6.3-4.
- 谷口紀江, 泉雅浩, 一木俊吾, 大道紳太郎, 香西雄介, 櫻井孝: 若年者に発生した舌癌の1例ー画像所見と文献的考察ー. 日本歯科放射線学会第234回関東地方会・第41回北日本地方会・第29回合同地方会, 松本, 2022.8.27.
- 足立拓也, 川西範繁, 市ヶ谷成美, 瀧田慎也, 谷口紀江, 星憲幸: 口腔カンジダ症における唾液メタボローム解析. 第32回日本口腔内科学会・第33回日本臨床口腔病理学会・第35回日本口腔診断学会合同学術大会, 札幌, 2022.9.23-24.
- 迫田貴熙, 泉雅浩, 一木俊吾, 谷口紀江, 香西雄介, 櫻井孝: Dual Energy CTの仮想単色線画像による歯科用インプラントの金属アーチファクト低減効果についての検討. 日本歯科放射線学会第3回秋季学術大会, Web開催, 2022.10.7-9.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 谷口紀江(代表): 咀嚼不全がヒト海馬へ及ぼす影響についてMRI分析. 若手研究, 18K15648, 2018~2022年度.

麻酔科学講座

▶ 歯科麻酔学分野

代表者：讃岐拓郎

1 教員・大学院生・他

教授：讃岐拓郎
准教授：城戸幹太(2022年12月まで)
講師・診療科准教授：今泉うの
講師：黒田英孝
助教：片桐法香
大学院生：大中茉莉(1年)
客員教授：別部智司
特任講師：水谷文子
特任講師(無給)：松田佳子，大塚喜彦，孫弘樹，田中富貴子，諏訪一郎，油井仁，杉岡伸悟，
香川恵太
臨床専攻生：伊村美希，金子大

2 2022年度の活動内容

教育：学部教育では，1年生の「歯科医師入門」，「臨床基礎概論」，4年生の「全身管理と麻酔」，「総合歯科学」，5年生の「臨床実習I」，6年生の「臨床実習II」を担当した。臨床実習では，全身麻酔の見学やバイタルサイン測定の自験を行った。短大ではバイタルサイン，救急蘇生の講義・実習を担当した。

研究：術後痛のメカニズム解明や三叉神経におけるATPを介した疼痛に関する研究を行った。

臨床：主に口腔外科，インプラント科にて全身麻酔および精神鎮静法等の診療業務を行った。口腔領域の痛みやしびれを訴えている患者さんを対象にした「口腔顔面痛みしびれ外来」にて慢性疼痛等の治療を行った。また，病院内において容体が急変した患者さんの初期対応，医科病院への転送判断等を行った。

社会活動：附属病院において歯科麻酔セミナーとして医療安全，救急蘇生法等の講習会を行った。またインプラント関連の講習会の一環として医療安全，救急蘇生法に関する講演を行った。

3 研究業績

【著書】

K22/B&C/038 片桐法香，杉野繁一：第9章.9. 口腔内の術後出血. pp.302-305. 中山禎人編著：麻酔における気道管理の手技と知識を知る. 日本医事新報社，東京，2022.

K22/B&C/039 讃岐拓郎：Chapter 6.①. おもな救急薬品. pp.340-341. / 別部智司：Chapter 9. 漢方薬. pp.408-420. 金子明寛 [ほか] 編集委員：歯科におけるくすりの使い方 2023-2026. デンタルダイヤモンド社，東京，2022.

【原著論文】

K22/OP/080 Yazaki T, Kuroda H, Kimura M, Ohyama S, Ichinohe T, Shibukawa Y : Direct Mechanical Stimulation Mediates Cell-to-Cell Interactions in Cultured Trigeminal Ganglion Cells. Bulletin of

Tokyo Dental College, 63(3), 109-117, 2022.

- K22/OP/081 Konno D, Sugino S, Shibata TF, Misawa K, Imamura-Kawasawa Y, Suzuki J, Kido K, Nagasaki M, Yamauchi M : Antiemetic effects of baclofen in a shrew model of postoperative nausea and vomiting: Whole-transcriptome analysis in the nucleus of the solitary tract. *CNS Neuroscience & Therapeutics*, 28, 922-931, 2022.
- K22/OP/082 Ohyama S, Ouchi T, Kimura M, Kurashima R, Yasumatsu K, Nishida D, Hitomi S, Ubaidus S, Kuroda H, Ito S, Takano M, Ono K, Mizoguchi T, Katakura A, Shibukawa Y : Piezo1-pannexin-1-P2X3 axis in odontoblasts and neurons mediates sensory transduction in dentinal sensitivity. *Frontiers in Physiology*, 13, 891759, 2022. doi: 10.3389/fphys.2022.891759
- K22/OP/083 Ishikawa N, Nakamura Y, Kitamura K, Kuroda H, Ono K, Hashimoto M : A method for estimating time since death through analysis of substances deposited on the surface of dental enamel in a body immersed in freshwater. *Journal of Forensic and Legal Medicine*, 92, 102447, 2022. doi: 10.1016/j.jflm.2022.102447
- K22/OP/084 Kagawa K, Kuroda H, Kaneko D, Imura M, Imaizumi U, Kido K, Tsukimoto S, Kurata S, Kishimoto N, Sanuki T : Safety of COVID-19 vaccine delivery by dentists: An observational cohort study. *Journal of Dental Sciences*, 18(2), 613-617, 2023.

【総説】

- K22/R/021 Kurata S, Sanuki T, Higuchi H, Miyawaki T, Watanabe S, Maeda S, Sato S, Pinkham M, Tatkov S, Ayuse T : The clinical advantage of nasal high-flow in respiratory management during procedural sedation: A scoping review on the application of nasal high-flow during dental procedures with sedation. *Japanese Dental Science Review*, 58, 179-182, 2022.
- K22/R/022 黒田英孝 : 歯科における星状神経節ブロックのトレンド : 基礎, 臨床効果, 手技. *日本歯科麻酔学会雑誌*, 50(2), 100-105, 2022.
- K22/R/023 讃岐拓郎 : 歯科医院における全身的偶発症の対応. *東住吉区歯科医師会雑誌*, 43, 23-26, 2022.

【症例報告】

- K22/CR/013 Kido K, Sato T, Miyashita H : Nasotracheal Intubation After Transsphenoidal Surgery: A Case Report. *Cureus*, 14(4), e24171, 2022. doi: 10.7759/cureus.24171
- K22/CR/014 Imaizumi U, Beppu S, Sanuki T : Treatment of unexplained facial numbness with stellate ganglion blockade: A case report. *Clinical Case Reports*, 11, e6871, 2023. doi: 10.1002/ccr3.6871
- K22/CR/015 今泉うの, 別部智司 : 頬骨骨折後の顔面の痛みに漢方薬が奏功した1症例. *痛みと漢方*, 31, 55-59, 2022.
- K22/CR/016 別部智司, 今泉うの, 安田美智子, 黒田英孝, 城戸幹太 : 医療連携病院の依頼により日帰り全身麻酔下で緊急脱臼歯整復固定術を行った自閉スペクトラム症の一例. *障害者歯科*, 43, 150-154, 2022.
- K22/CR/017 今泉うの, 別部智司 : 口腔内の痛みに傾聴と減薬で改善が認められた一例. *慢性疼痛*, 41(1), 170-173, 2022.

【テーシス】

K22/T/007 片桐法香：肥満による術後痛増強メカニズムの解明. 2022年度テーシス.

【解説】

K22/Ex/028 田中香衣, 城戸幹太：臨床家のための疼痛コントロールCheckPoint 2 総論:治療中の疼痛コントロールの基本① 局所麻酔編. 歯界展望, 140(5), 914-924, 2022.

K22/Ex/030 讃岐拓郎：臨床家のための疼痛コントロールCheckPoint 3 総論:治療中の疼痛コントロールの基本② 鎮静法/全身麻酔編. 歯界展望, 140(6), 1134-1144, 2022.

K22/Ex/031 黒田英孝：優しく寄り添いたい お口の痛み(第3回) 局所麻酔薬の選び方, 使い方. デンタルハイジーン, 42(8), 888-895, 2022.

K22/Ex/032 別部智司, 今泉うの, 讃岐拓郎：がん疼痛治療～up to date～:アーカイブス 2) 緩和ケアにおける口腔ケア. ペインクリニック, 43(臨時増刊号), S143-S159, 2022.

【その他】

K22/O/013 黒田英孝, 讃岐拓郎：文献抄訳「Efficacy and tolerability in patients with chronic facial pain of two consecutive treatment periods of rTMS applied over the facial motor cortex, using protocols differing in stimulation frequency, duration, and train pattern」. ペインクリニック, 43(8), 895, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国際学会〕

- Kimura M, Ouchi T, Kurashima R, Kuroda H, Shibukawa Y : Cyclic-AMP signaling activates Zn²⁺/Gd³⁺-sensitive Ca²⁺ channels in odontoblasts. 2023 AADOCR/CADR Annual Meeting & Exhibition, Portland, OR, USA, 2023.3.15-18.
- Shibukawa Y, Kimura M, Ouchi T, Kurashima R, Kuroda H : Plasma membrane Ca²⁺-ATPase in odontoblasts mediates dentinogenesis. 2023 AADOCR/CADR Annual Meeting & Exhibition, Portland, OR, USA, 2023.3.15-18.

〔一般発表・国内学会〕

- 岩崎亮, 黄地健仁, 西山明宏, 木村麻記, 黒田英孝, 澁川義幸, 片倉朗：血管内皮細胞のカルシトニン受容体様受容体を介した細胞内cAMPレベルの活性化と軸索反射メカニズム解明への取り組み. 第313回東京歯科大学学会・例会, Web開催, 2022.6.4.
- 今泉うの, 別部智司：口腔内のしびれと痛み漢方薬が奏効した1症例. 第34回日本疼痛漢方研究会学術集会, 東京, 2022.7.23.
- 黒田英孝, 吉田彩佳, 吉野文彦：リドカイン塩酸塩水和物における抗酸化作用の検討. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- 倉島竜哉, 木村麻記, 黄地健仁, 黒田英孝, 澁川義幸：象牙芽細胞における Piezo1-TRPV1 クロストークの検討. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- 黄地健仁, 倉島竜哉, 木村麻記, 黒田英孝, 溝口利英, 澁川義幸：歯の発生期と象牙芽細胞再生時におけるNG2陽性細胞の挙動. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.

- 木村麻記, 黄地健仁, 倉島竜哉, 黒田英孝, 安藤正之, 河野恭佑, 野村幸恵, 澁川義幸: 象牙芽細胞のアデニル酸シクラーゼ活性化はZn²⁺感受性Ca²⁺チャンネルを介したCa²⁺流入を誘発する. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- 岩崎亮, 黄地健仁, 西山明宏, 木村麻記, 黒田英孝, 澁川義幸, 片倉朗: 血管内皮細胞におけるCGRP受容体の発現と受容体活性化による細胞内cAMPレベルの動態解析. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- 今泉うの, 別部智司: 「愛育茶譚」における歯科口腔領域の記述の検討. 第50回日本歯科医史学会総会・学術大会, 東京, 2022.10.1.
- 別部智司, 今泉うの: 歯科治療が起因した慢性疼痛のSalutogenesis(健康創成論)を応用した治療の1症例. 第27回日本口腔顔面痛学会学術大会, ハイブリッド開催(松戸, ライブ配信), 2022.10.9-10.
- 黒田英孝, 片桐法香, 今泉うの, 城戸幹太, 讃岐拓郎: リドカイン塩酸塩水和物は活性酸素を消去する. 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 東京, 2022.10.27-29.
- 香川恵太, 黒田英孝, 今泉うの, 城戸幹太, 月本翔太, 岸本直隆, 讃岐拓郎: 歯科医師による新型コロナウイルスワクチン接種の安全性の検証. 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 東京, 2022.10.27-29.
- 伊村美希, 黒田英孝, 今泉うの, 讃岐拓郎, 片桐法香, 水谷文子, 城戸幹太: 多発性筋炎患者の全身麻酔経験. 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 東京, 2022.10.27-29.
- 金子大, 黒田英孝, 大中茉莉, 香川恵太, 今泉うの, 讃岐拓郎: アミトリプチリン塩酸塩とアルコール性肝炎により女性化乳房を来した1例. 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 東京, 2022.10.27-29.
- 石橋肇, 卯田昭夫, 下坂典立, 鈴木正敏, 竹森真実, 別部智司, 山口秀紀, 渋谷鑛: 歯科麻酔懇談会発足(1966年)の以前の歯科麻酔関連の業績について. 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 東京, 2022.10.27-29.
- 横山滉介, 福富もか, 黒田英孝, 森本佳成: 異常絞扼反射を有する患者に対して術前に口腔衛生指導を行った1症例. 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 東京, 2022.10.27-29.
- 金子瑠実, 黒田由紀子, 黒田真右, 佐々木陽子, 黒田英孝: 体温調節障害を合併したApert症候群患者に対する全身麻酔経験. 第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 倉敷+一部オンデマンド配信, 2022.11.4-6.
- 横山滉介, 黒田英孝, 宮本晴美, 福富もか, 森本佳成, 小松知子: 静脈内鎮静法術前に口腔衛生指導ならびに食生活指導を行った異常絞扼反射を有する患者の1症例. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 東雅啓, 生駒丈晴, 今泉うの, 窪田光慶: 歯学部4年生における基本的臨床技能向上のための学修サポート. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 横山滉介, 赤坂徹, 宮本晴美, 福富もか, 西山和彦, 川邊裕美, 黒田英孝, 森本佳成, 小松知子: 歯科に対する限局性恐怖症患者に対して静脈内鎮静法術前に口腔衛生指導を行った1症例. 令和4年度神奈川県地域歯科医療研修会, 横浜, 2023.2.26.

〔講演会・セミナー等〕

- 今泉うの：歯科衛生士業務における医療事故防止－歯科訪問診療における留意点、災害時(火災・地震)の対応－. 2022年度神奈川県歯科衛生士会第4回研修会, 横浜(Web開催), 2022.11.20.
- 別部智司：口腔顔面痛の漢方治療(ランチョン・セミナー). 第34回日本疼痛漢方研究会学術集会, 東京, 2022.7.23. / 歯科保険診療で処方できる漢方薬. 神奈川県保険医協会歯科臨床研究会, 横浜+Web配信, 2022.8.4. / 1.舌診 全身状態への応用, 2.歯科医師のための最新一次救命処置AHAガイドライン2020準拠BLS. 埼玉歯科医師会医療管理部救急蘇生講習会, 春日部, 2022.11.6.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 武村幸彦(代表), 向井義晴(分担), 讃岐拓郎(分担), 城戸幹太(分担)：歯科におけるストレス評価. 基盤研究(C), 22K10351, 2022～2024年度.

〔受託研究・奨学寄附金等〕

- 黒田英孝(代表), 讃岐拓郎(分担)：歯科用局所麻酔薬における抗炎症作用に関する研究. NDA 歯科医療研究助成制度, 2022年度.

▶ 高度先進麻酔科学分野

代表者：有坂博史

1 | 教員・大学院生・他

教授：有坂博史
講師：杉田武士
診療科助手：妹尾美幾, 阿部陽子, 山中美由紀, 吉田優子
大学院生：妹尾美幾(4年)
非常勤講師：豊里晃, 望月亮, 買原玲子, 買原一郎, 福間健史
非常勤麻酔科医師：三笠裕美, 岩本津和
非常勤歯科医師：松本安紀子, 古屋宗孝

2 | 2022年度の活動内容

教育：5年生への臨床実習, 6年生の卒業対策及び国家試験対策講義, 臨床研修医・歯科衛生士への救急対応実習・講義を実施した。また, 他科の麻酔科研修により全身管理に対する研修を行った。

研究：睡眠時無呼吸症候群に対する筋機能療法(MFT)の応用, 睡眠時無呼吸症候群と上顎拡大装置の影響についての研究, イメージング法を用いた大脳皮質体性感覚野の研究, 呼吸ニューロンと神経ペプチドに関する研究, 全身麻酔と静脈内鎮静時の睡眠評価法に関する研究などを行った。

臨床：口腔外科, 小児障害者歯科, インプラント科の全身麻酔および静脈内鎮静法の業務を行った。また, 横浜クリニック内において容体急変時への初期対応を行った。神奈川県歯科大学附属病院(横須賀)のいびきと睡眠時無呼吸外来(有坂担当)で, 毎月定期的に120名前後の再来患者, 3～6名の新患者および3名の入院検査患者を診察している。

社会活動：歯科医師国家試験出題委員を務めた。(有坂博史)

その他：日本麻酔科学会，日本歯科麻酔学会，日本臨床麻酔学会などの学会に参加し，発表を行った。

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/040 有坂博史：第3章.9-3. 血液ガス分析. pp.102-103. 山根源之 [ほか] 編集主幹：口腔内科学. 第3版, 永末書店, 京都, 2023.

【原著論文】

K22/OP/085 Senoo M, Sugita T, Iwamoto T, Fukushi I, Maeda H, Arisaka H, Kuwana S-I : Anesthetic Effects of Sevoflurane on the Mouse Somatosensory Cortex: A Flavoprotein Fluorescence Imaging Study. Open Pain Journal, 16, e187638632301261, 2023. doi: 10.2174/18763863-v16-e230202-2022-17

【症例報告】

K22/CR/018 Sugita T, Kawai T, Arisaka H : Emergency Airway Management for Life-threatening Airway Obstruction during Dental Implant Surgery. 日本外傷歯学会雑誌, 18(1), 83-84, 2022.

K22/CR/004 新倉啓太, 高野知子, 鈴木杏奈, 河田亮, 妹尾美幾, 麻生綾子, 小松知子, 池田正一：歯根肥大を認めたMowat-Wilson症候群患者の2症例. 障害者歯科, 43, 143-149, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 妹尾美幾, 有坂博史, 杉田武士, 桑名俊一：セボフルランの濃度変化によるマウス大脳皮質体性感覚野への影響:フラビタンパク蛍光イメージング法(第二報). 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第62回合同学術集会, Web開催, 2022.9.2-10.3.
- 妹尾美幾, 有坂博史, 吉田優子, 阿部陽子, 山中美由紀, 杉田武士：フラビン蛋白蛍光イメージング法を用いたマウス大脳皮質体性感覚野へのセボフルランの影響. 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 東京, 2022.10.27-29.
- 杉山郁子, 有坂博史, 高瀬幸子, 麻生綾子, 植松里奈, 齋田菜緒子, 杉田武士, 高野知子：当科における歯科衛生士による麻酔予約管理の取り組み. 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 東京, 2022.10.27-29.
- 杉田武士, 有坂博史, 高瀬幸子, 杉山郁子, 高野知子：日本歯科麻酔学会認定歯科衛生士取得による効果麻酔科業務とチーム医療の重要性. 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 東京, 2022.10.27-29.
- 小野崎純, 大塚美沙, 有坂博史, 不島健持：MFTによって被蓋改善を行った1症例－舌圧測定を用いたMFTの客観的評価方法確立の試み－. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.

〔講演会・セミナー等〕

- 有坂博史：歯科治療中のLife-Threatening events－実際の症例と基本的な対処方法－. 第22回一般社団法人日本外傷歯学会・総会・学術大会(特別講演), 横浜, 2022.7.16.

- 杉田武士：歯科診療所での緊急時対応—適切な装置・器具の使用法—。港区麻布赤坂歯科医師会・ポリクリ研修会, Web開催, 2023.1.18, 2.1.

【業務・活動報告】

〔賞〕

- 妹尾美幾, 有坂博史, 杉田武士, 桑名俊一：優秀講演賞：セボフルランの濃度変化によるマウス大脳皮質体性感覚野への影響:フラビンタンパク蛍光イメージング法(第二報). 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部. 2022.9.3.

全身管理歯科学講座

▶ 高齢者歯科学分野

代表者：森本佳成

1 | 教員・大学院生・他

教授：森本佳成
講師：林恵美
助教：美久月瑠宇
助教：田中洋平(2022年11月から)
大学院生：辰野雄一(4年)
医員：八尾有紀(2022年12月まで)
特任助教：西崎仁美
非常勤講師：磯崎哲男

2 | 2022年度の活動内容

教育：当分野では歯学部1, 4, 5, 6年生に対し、高齢者歯科学、全身管理歯科学に関する講義を行った。昨年行った5年生臨床実習におけるローテーション実習は2022年度も引き続き行い、マネキン実習、相互実習を基本とした口腔ケアシミュレーション実習を行った。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者施設での学外実習の中止・再開などはあったが実施することができた。

研究：高齢者歯科学分野を中心に臨床研究を行い、関連学会や神奈川歯科大学学会総会で発表を行った。当分野で指導した大学院生1名の学位論文が完成し、博士号を取得した。

臨床：在宅を中心としてきた訪問診療であるが、老健施設・病院での定期的な訪問先ができたことにより、多人数で訪問診療する機会が増え、臨床教育としての質が向上した。認知症等の入院治療の対応も行った。また、一般社団法人日本有病者歯科医療学会認定医を1名、一般社団法人摂食嚥下リハビリテーション学会認定士を1名が取得した。

社会活動：歯科医師会や近隣の病院、施設などで認知症患者への対応などの講演会を昨年に引き続き行った。

その他：年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響により教育・臨床・研究活動の大幅な制限を余儀なくされた。

3 | 研究業績

【原著論文】

- K22/OP/086 Nishizaki H, Iida T, Tanaka Y, Morimoto Y, Hayashi M, Mikuzuki L, Yao Y, Tatsuno Y : Effect of masticatory training using confectioneries on oral function in elderly patients - A randomized controlled trial. Journal of Dental Sciences, 17, 1480-1486, 2022.
- K22/OP/087 Morimoto Y, Hayashi M, Yao Y, Nishizaki H, Ishii H, Mikuzuki L, Hara K : Comparison of intravenous sedation using midazolam versus dexmedetomidine in elderly patients with dementia: a randomized cross-over trial. Scientific Reports, 12, 6293, 2022. doi: 10.1038/s41598-022-10167-2 (Erratum in: Scientific Reports, 12, 8853, 2022. doi: 10.1038/s41598-022-12641-3)
- K22/OP/088 Tanaka Y, Iida T, Morimoto Y, Hayashi M, Mikuzuki L, Yao Y : Relationship between pharyngeal crossing of the nasogastric tube and the side of nasal insertion. 神奈川歯学, 57(1), 17-23, 2022.
- K22/OP/089 Katagiri A, Tsubota K, Mikuzuki L, Nakamura S, Toyofuku A, Kato T, Bereiter DA, Iwata K : Diquafosol sodium reduces neuronal activity in trigeminal subnucleus caudalis in a rat model of chronic dry eye disease. Neuroscience Letters, 792, 136939, 2023. doi: 10.1016/j.neulet.2022.136939

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 林恵美：特別な配慮を必要とする有病者の訪問歯科診療 神経難病，認知症患者の訪問歯科診療. 第31回日本有病者歯科医療学会学術大会，ハイブリッド開催(宜野湾，オンライン)，2022.4.30-5.1.

〔教育講演〕

- 森本佳成：「訪問歯科診療－歯科医師のためのリスク評価実践ガイド」について. 第31回日本有病者歯科医療学会学術大会，ハイブリッド開催(宜野湾，オンライン)，2022.4.30-5.1.
- 森本佳成：公開討論2:Pros & Cons <全麻か 鎮静か>「症例2:成人障がい者(Fontan 術後)」全身麻酔を選択する立場から. 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会，東京，2022.10.27-29.

〔一般発表・国内学会〕

- 美久月瑠宇，豊福明：歯科インプラント部の非定型歯痛を併発した高齢舌痛症患者の1治療経験例. 第37回日本歯科心身医学会総会・学術大会，Web開催，2022.7.9-10.
- 森本佳成，小松知子，赤坂徹，林恵美，萩原大，宮本晴美，横山滉介，多田千晶，飯田恵理，高野宏二：重度循環器疾患を有する知的能力障害者の歯科治療時の周術期管理経験. 第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会，倉敷+一部オンデマンド配信，2022.11.4-6.
- 森本佳成，林恵美，田中洋平，美久月瑠宇，西崎仁美：認知症高齢者の静脈内鎮静による脳波の変化－第1報.ミダゾラム投与による波形パターンの変化について. 第32回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会，軽井沢町(長野県)，2023.3.18-19.

〔講演会・セミナー等〕

- 森本佳成：訪問歯科診療－在宅等での基礎疾患患者への対応－. 日本有病者歯科医療学会第12回学術教育WEBセミナー, 東京, 2022.10.2. / 森本佳成：認知症と口腔のケア. 横須賀市歯と口の健康づくり講座, 横須賀, 2022.10.17.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 森本佳成(代表)：重度認知症高齢者における静脈内鎮静法が脳細胞の活動および認知機能に及ぼす影響. 基盤研究(C), 20K10061, 2020～2024年度.

〔賞〕

- 森本佳成：優秀発表賞：認知症高齢者の静脈内鎮静による脳波の変化－第1報.ミダゾラム投与による波形パターンの変化について. 第32回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会. 2023.3.18-19.

▶ 障害者歯科学分野

代表者：小松知子

1 | 教員・大学院生・他

教授：小松知子
診療科准教授：原豪志(2022年12月まで)
助教・診療科講師：赤坂徹, 高野知子
診療科助手：鈴木杏奈
大学院生：萩原大(2年)
客員教授：池田正一
特任准教授：西山和彦
特任講師：松澤直子, 川邊裕美
特任講師(無給)：岩崎克夫, 井上裕之
非常勤講師：宮崎敬子, グリーナンせつる, 勝畑妙江子, 川瀬清美, 佐藤美緒
非常勤歯科医師：宮城敦, 新倉啓太
臨床専攻生：鎌田有一朗, 野口萌
臨床見学生：三國文, 岡部愛子, 出井鮎美, 渡辺匡, 刀祢順子

2 | 2022年度の活動内容

教育：歯学部1年生：「臨床基礎概論」講義, 3年生：「歯と歯周組織の検査」, 4年生：「障害者の歯科治療」, 「総合歯科学」, 5年生：「臨床実習I」(施設見学を含む), 「臨床演習I」, 6年生：「臨床実習II」を担当した。短期大学部歯科衛生学科2年生：「障害者歯科学」講義, 3年生：「介護技術実習」講義・実習を担当した。歯科医師臨床研修医に対しては研修と講義を行った。

研究：以下のテーマに関する臨床研究, 基礎研究に取り組み, その成果を学会で発表した。Down症候群患者の歯周病の病態メカニズムの解明および歯周病における抗菌・抗酸化併用療法の研究, 電子スピン共鳴法による口腔および全身機能が唾液中の活性酸素消去能に及ぼす影響の研究, Down症候群の口腔機能と全身機能の評価と機能低下予防に関する研究, 小児在宅歯科医療連携に関する調査研究, 障害児者の歯科医療・摂食嚥下機能療法におけるオンラインの活用に関する検討, 障害者の口腔ケアに関する研究, 歯科疾患の予防的研究, ケモカイン

CXCL14の腫瘍抑制についての研究, 摂食嚥下機能, 摂食嚥下障害に関する研究.

臨床: 神奈川県障害者歯科医療3次医療機関として, 積極的に障害者・高齢者の歯科診療を他科の協力の下に実施した. 患者数は本院約20名/日, 横浜クリニック約30名/日である. 他医療機関などからの紹介を受け, 知的障害, 自閉症, 脳性麻痺, 内部疾患, 脳血管障害後遺症, 認知症, パーキンソン病, 精神疾患など, 様々な障害や疾患のある患者の歯科疾患および摂食嚥下障害に対応した. 必要に応じて, 行動変容法, 全身麻酔, 静脈麻酔, 静脈内鎮静法, 笑気吸入鎮静法などの行動調整を用いて診療を行った. 横浜クリニックでは全身麻酔下治療は約250例/年間, 静脈内鎮静法下治療は約190例/年間行った. 日本障害者歯科学会, 日本老年歯科医学会, および県歯科医師会障害者歯科の研修機関の指定を受け, 研修の歯科医師・歯科衛生士を多数受け入れ, 専門医, 認定医および一次医療担当医の育成に寄与した.

社会活動: 神奈川県と静岡県の歯科医師会設置の障害者歯科医療機関, 障害者の施設に歯科診療の指導, 歯科診療, および摂食指導のために赴いた(伊豆医療福祉センター, 神奈川県立精神医療センター, 横浜市南部地域療育センター, 横須賀市療育相談センター, ライフゆう, 小さき花の園, 太陽の門, 鎌倉市歯科医師会(障害者歯科診療), 捜真小学校, 訪問の家 朋診療所, キャラードみどりの家 診療所). また, 神奈川県口腔保健人材育成事業において摂食相談を実施した.

その他: 日本障害者歯科学会の理事会および代議員会, 学術大会プログラム委員会, 倫理委員会, 利益相反委員会, 専門医委員会, ガイドラインおよび編集委員会で積極的な活動を行った. また, 関東障害者歯科臨床研究会幹事会, 日本老年歯科医学会代議員会および専門医試験問題作成委員会, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会代議員会, 日本抗加齢医学学会評議員会, 日本ダウン症学会理事会, 小児在宅歯科医療研究会世話人会, 健康寿命延伸のための人材育成事業検討委員(神奈川県歯科医師会)で活動した. 神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会の世話人会で活動した. その他, 下記フォーラムを主催した.

- ・第1回神奈川小児在宅歯科医療フォーラム～神奈川県における小児在宅医療の連携協働を目指して～. 神奈川県歯科医師会館・Web併用, 2022.5.15.(共催: 公益社団法人神奈川県歯科医師会/社団法人横浜市歯科医師会)
- ・第4回ダウン症候群口腔ケア・フォーラム in 神奈川. オンライン, 2022.7.3.(共催: 一般社団法人ヨコハマプロジェクト/一般社団法人IKKA, 後援: 公益財団法人日本ダウン症協会/公益財団法人日本ダウン症学会)

3 | 研究業績

【著書】

- K22/B&C/041 小松知子: 第2章.12. 脂質異常症患者. pp.120-121 / 第2章.13. 向精神薬服用患者. pp.122-123. 日本歯科薬物療法学会編: 日本歯科用薬品集 改訂第5版 必携! 歯科の処方に役立つ本. 永末書店, 京都, 2022.
- K22/B&C/042 小松知子: 総論1章.3.2). 老年症候群・フレイル. pp.5-8. 佐藤裕二 [ほか] 編集主幹: よくわかる高齢者歯科学. 第2版. 永末書店, 京都, 2023.
- K22/B&C/043 小松知子: 医療的ケア児. pp.30 / てんかん. pp.284 / 読唇. pp.291 / 特別支援教育. pp.292 / 喃語. pp.299 / 難聴. pp.299 / 日常身辺介護. pp.302 / 乳児嚥下. pp.304 / 認知機能障害. pp.305 / 脳損傷. pp.310 / 能力不全. pp.311 / ノーマライゼーション. pp.311 / 発達検査. pp.319 / 発達障害. pp.319 / バビンスキー反射. pp.321 / バリアフリー. pp.322 / 反響言語. pp.323 / 反射抑制姿勢. pp.323-324 / 晩熟児. pp.324 / 微細脳障害症候群. pp.329 / 非社会的行動. pp.329. 全国歯科衛生士教育協議会監修: 歯科衛生学辞典. 第2刷. 永末書店, 京都, 2023.

【原著論文】

- K22/OP/090 Tamai T, Hara K, Nakagawa K, Namiki C, Yamaguchi K, Yoshimi K, Yanagida R, Hasegawa S, Nakane A, Okumura T, Ishii M, Tohara H: Strength and morphology of a suprahyoid

muscle and their relationship to forward head posture in healthy older adults. *Geriatrics & Gerontology International*, 22, 779-784, 2022.

K22/OP/091 Namiki C, Hara K, Yanagida R, Nakagawa K, Yamaguchi K, Okumura T, Tamai T, Kurosawa Y, Komatsu T, Tohara H : Association between Tongue Pressure and Jaw-Opening Force in Older Adults. *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 19, 9825, 2022. doi: 10.3390/ijerph19169825

K22/OP/037 小松知子, 宋文群, 松澤直子, 萩原大, 永村宗護, 田中直人, 有輪理彦, 大澤智子, 永田康裕, 鎌田有一朗, 横山滉介, 李昌一, 井野智, 櫻井孝: 神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケートー第1報 一次医療機関における調査ー. *障害者歯科*, 43, 101-108, 2022.

K22/OP/038 小松知子, 宋文群, 松澤直子, 萩原大, 永村宗護, 田中直人, 有輪理彦, 大澤智子, 永田康裕, 鎌田有一朗, 横山滉介, 李昌一, 井野智, 櫻井孝: 神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケートー第2報 保健所における調査ー. *障害者歯科*, 43, 109-114, 2022.

K22/OP/039 小松知子, 宋文群, 松澤直子, 萩原大, 永村宗護, 田中直人, 有輪理彦, 大澤智子, 永田康裕, 鎌田有一朗, 横山滉介, 李昌一, 井野智, 櫻井孝: 神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケートー第3報 障害児発達支援事業所における調査ー. *障害者歯科*, 43, 115-120, 2022.

【総説】

K22/R/014 小松知子, 李昌一: アンチエイジング歯科医学に必要なペリオドンタルメディスン(歯周病医学)の新しい展開ー活性酸素による酸化ストレスメカニズムからの唾液歯周病検査の開発ー. *日本アンチエイジング歯科学会誌*, 15, 17-21, 2022.

【症例報告】

K22/CR/004 新倉啓太, 高野知子, 鈴木杏奈, 河田亮, 妹尾美幾, 麻生綾子, 小松知子, 池田正一: 歯根肥大を認めたMowat-Wilson症候群患者の2症例. *障害者歯科*, 43, 143-149, 2022.

K22/CR/019 高野知子, 鈴木杏奈, 新倉啓太, 高瀬幸子, 植松里奈, 小松知子, 池田正一: 顎骨骨髓炎を発症した先天性無痛無汗症患者の姉弟症例. *障害者歯科*, 43, 202-209, 2022.

【解説】

K22/Ex/033 診療ガイドライン作成委員会: 田村文誉, 村上旬平, 内海明美, 江草正彦, 遠藤眞美, 小笠原正, 小方清和, 加藤篤, 小松知子, 関野仁, 高井理人, 山田裕之, 八若保孝: Down症候群の歯科診療における診断と処置方法ガイドライン. 2022, 日本障害者歯科学会, 2022.

K22/Ex/034 小松知子: 「Down症候群の歯科診療における診断と処置方法ガイドライン2022」を知る 歯周疾患(歯周病)管理のCQと解説についての読み方と活用法. *小児歯科臨床*, 28(3), 46-56, 2023.

【翻訳】

K22/TB/001 日本ダウン症学会ダウン症成人診療ガイドライン翻訳プロジェクト: 竹内千仙, 井手友美, 植田紀美子, 大石智, 北島康司, 黒柳裕一, 小松知子, 玉井浩, 外木秀文, 橋本洋之/ Global Down Syndrome Foundation: グローバルダウン症財団 ダウン症候群のある成人のための診療ガイドライン. 日本語版, 日本ダウン症学会, 2022. <https://japandownsyndromeassociation.org/adult-ds-guideline/>

【その他】

K22/O/014 Yanagida R, Hara K, Namiki C, Okumura T, Saiki A, Nakagawa K, Yamaguchi K, Yoshimi K, Nakane A, Maclaure JM, Tohara H: Effects of tongue right positioner use on tongue pressure:

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 小松知子：今、岐路に立つ地域の障害者歯科医療—地域で活躍する口腔保健センターの現状と課題、そして未来—。第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会，倉敷+一部オンデマンド配信，2022.11.4-6.

〔一般発表・国際学会〕

- Noda K, Hanaoka S, Kubota K, Watanabe M, Yamauchi K, Kobayashi K, Harasawa H, Ikeda M, Mukai Y, Hironaka S : The eruption status of deciduous tooth in Down syndrome : Comparison with the 2016 Survey of Dental Diseases in Japan. 2nd Congress of Asia Association for Disability and Oral Health, Kurashiki, Japan, 2022.11.5.

〔一般発表・国内学会〕

- 横山滉介, 萩原大, 鎌田有一朗, 原豪志, 高野知子, 李昌一, 小松知子：歯科受診状況によって残存歯数と口腔衛生状態に差が生じDown症候群患者の2症例. 日本老年歯科医学会第33回学術大会, 新潟, 2022.6.10-12.
- 中山亮子, 山崎智恵, シャッキャ・スプリヤ, 尾曲大輔, 松本直行, 奴久妻智代子, 小松知子, 李昌一, 井上裕子, 斎藤一郎：中性重炭酸イオン水の温浴効果. 第22回日本抗加齢医学会総会, ハイブリッド開催(大阪, Web), 2021.6.17-19.
- 横山滉介, 小松知子, 宮本晴美, 福富もか, 辻上博美, 松本文恵, 児玉利朗, 井野智：大学附属病院における歯科衛生士の業務実態と多職種連携に関する意識調査. 日本歯科衛生学会第17回学術大会, Web開催, 2022.9.18-10.31.
- 並木千鶴, 原豪志, 小松知子, 赤坂徹, 萩原大, 黒澤友紀子, 戸原玄：嚥下造影検査による咀嚼動態評価と口腔機能および嚥下機能との関連性. 第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 千葉, 2022.9.23-24.
- 原豪志, 西山耕一郎, 並木千鶴, 小松知子：健常高齢者における安静時咽頭腔面積に関連する因子の検討. 第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 千葉, 2022.9.23-24.
- 金井枝美, 小松知子, 木村麻美子, 鈴木絵美：横須賀三浦地区における市民公開講座ミニ講話オンデマンド配信の試み. 第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 千葉, 2022.9.23-24.
- 原豪志, 小林健一郎, 並木千鶴, 日野多加美, 石橋尚基, 大島晶子, 戸原玄：唾液誤嚥を減少させる簡易な口腔内装置の開発. 第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 千葉, 2022.9.23-24.
- 池田正一, 小林文隆, 金子雅一, 小林香, 西原英志, 西村正美, 酒井秀夫：早産児・低出生体重児にみられる口腔所見. 第15回中野医学会, 東京, 2022.10.23.
- 杉田武士, 有坂博史, 高瀬幸子, 杉山郁子, 高野知子：日本歯科麻酔学会認定歯科衛生士取得による効果—麻酔科業務とチーム医療の重要性—. 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 東京, 2022.10.27-29.

- 杉山郁子, 有坂博史, 高瀬幸子, 麻生綾子, 植松里奈, 齋田菜緒子, 杉田武士, 高野知子: 当科における歯科衛生士による麻酔予約管理の取り組み. 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 東京, 2022.10.27-29.
- 鈴木杏奈, 高野知子, 勝畑妙江子, 佐藤美緒, 杉山郁子, 望月美穂, 野口萌, 川瀬清美, 杉田武士, 宮城敦, 小松知子, 池田正一: 当科における全身麻酔下集中歯科治療の実態調査—申請から実施までの待機期間の検討—. 第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 倉敷+一部オンデマンド配信, 2022.11.4-6.
- 三澤寛晃, 渡辺伸也, 伊藤香織, 藤倉国尚, 蓮池祥江, 三浦雅明, 三輪全三, 池田正一: 病院歯科における全身麻酔下歯科治療の実態調査. 第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 倉敷+一部オンデマンド配信, 2022.11.4-6.
- 赤坂徹, 小松知子, 森本佳成, 買原一郎, 買原玲子: 免疫機構にかかわるケモカインCXCL14の解析についての検討. 第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 倉敷+一部オンデマンド配信, 2022.11.4-6.
- 高野知子, 新倉啓太, 高瀬幸子, 山田千恵, 植松里奈, 宮崎敬子, グリーナンせつゑ, 小松知子, 池田正一: Freeman-Sheldon症候群の成人患者の一例. 第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 倉敷+一部オンデマンド配信, 2022.11.4-6.
- 小林文隆, 花岡新八, 下重千恵子, 西村正美, 金子雅一, 林明彦, 土生健史, 大久保和久, 大崎住江, 大槻祐子, 岩崎慎, 野本麻里子, 久保寺友子, 池田正一, 向井美恵: 地域障害者歯科診療所における摂食嚥下指導患者の実態について. 第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 倉敷+一部オンデマンド配信, 2022.11.4-6.
- 有輪理彦, 西山和彦, 阿部英子, 松本好史, 宮城敦: 薬物的行動療法を用いた歯科治療に関する2次医療担当医の意識調査. 第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 倉敷+一部オンデマンド配信, 2022.11.4-6.
- 鈴木信治, 池田正一, 池野良, 柿沼章子, 泉福英信, 高橋滋樹, 中野よう子: JICA草の根支援事業としての神奈川県歯科医師会のホーチミン市におけるHIV/AIDS歯科診療体制構築事業について(第二報). 第36回日本エイズ学会学術集会・総会, 浜松, 2022.11.18-20.
- 井上裕之, 長谷則子, 井出桃, 横山滉介, 小松知子, 伊海芳江, 李昌一, 関端麻美, 吉本夢, 角田晃, 宮城敦, 西村康, 長谷徹: 歯科治療時におけるアルコール関連障害群患者の自律神経解析. 第6回臨床自律神経機能Forum, ハイブリッド開催(川崎, オンライン), 2022.11.19.
- 横山滉介, 黒田英孝, 宮本晴美, 福富もか, 小松知子, 森本佳成: 静脈内鎮静法術前に口腔衛生指導ならびに食生活指導を行った異常絞扼反射を有する患者の1症例. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 横山滉介, 小松知子, 宮本晴美, 福富もか, 辻上博美, 松本文恵, 児玉利朗, 井野智: 本学附属病院および附属横浜クリニックにおける歯科衛生士の業務実態と多職種連携に関する意識調査. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 井上裕之, 長谷則子, 井出桃, 横山滉介, 小松知子, 伊海芳江, 李昌一, 関端麻美, 吉本夢, 角田晃, 宮城敦, 西村康, 長谷徹: 歯科治療時におけるアルコール関連障害群患者の自律神経解析. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 岩口真路, 石田瞭, 小松知子, 横山史織, 横山滉介, 青木涼平, 宋文群, 戸田真司, 平山暁, 小澤

俊彦, 李昌一: 電子スピン共鳴(ESR)法を用いたオキシトシンの酸化ストレスへの基礎的検討. 第35回日本酸化ストレス学会関東支部会, 東京, 2022.12.17.

- 青木涼平, 小松知子, 横山史織, 横山滉介, 宋文群, 戸田真司, 岩口真路, 石田瞭, 平山暁, 小澤俊彦, 李昌一: 電子スピン共鳴(ESR)法を用いたL-アスコルビン酸の酸化ストレスへの基礎的検討. 第35回日本酸化ストレス学会関東支部会, 東京, 2022.12.17.
- 高野知子, 新倉啓太, 鈴木杏奈, 高瀬幸子, 杉山郁子, 山田千恵, 望月美穂, 植松里奈, 小松知子, 池田正一: 成人のFreeman-Sheldon症候群患者の歯科治療経験. 令和4年度神奈川県地域歯科医療研修会, 横浜, 2023.2.26.
- 西山和彦, 有輪理彦, 中村哲弥, 原崇, 舛田明德, 花岡透, 西崎靖仁, 井上宜生, 宮田茂, 宮田利郎, 平嶺倫子, 阿部英子, 半澤栄一, 松本好史, 宮城敦: 二次障害者歯科診療所移転後の受診者の適応行動に関する調査. 令和4年度神奈川県地域歯科医療研修会, 横浜, 2023.2.26.
- 平嶺倫子, 有輪理彦, 中村哲弥, 原崇, 舛田明德, 花岡透, 西崎靖仁, 井上宜生, 宮田茂, 宮田利郎, 阿部英子, 半澤栄一, 松本好史, 宮城敦: 当診療所の新型コロナウイルス感染症(COVIDO-19)の感染予防対策及び患者数の変化の検討. 令和4年度神奈川県地域歯科医療研修会, 横浜, 2023.2.26.
- 小松知子, 萩原大, 横山史織, 李昌一: Down症候群の歯周病増悪に関与する活性酸素種と唾液抗酸化ペプチドの役割の解明. 第6回成人期ダウン症研究会, オンライン, 2023.3.26.

[講演会・セミナー等]

- 小松知子: 身体障害の分類と特徴について・バイラフリーについて. 令和3・4年度神奈川県障害者歯科医療担当者研修会, 横浜, 2022.4.14. / 実技研修会. 令和3・4年度神奈川県障害者歯科医療担当者研修会, 横須賀, 2022.5.11, 7.1, 7.27. / 神奈川県における小児在宅歯科医療の連携協働を目指して. 第1回神奈川小児在宅歯科医療フォーラム, 横浜, 2022.5.15. / ダウン症のある方の口腔の健康維持に関する調査ー将来を見据えた歯科医療との関わり方についてー調査から見えてきたこと. 第4回ダウン症候群口腔ケア・フォーラム in 神奈川, オンライン, 2022.7.3. / 健康寿命延伸を目指した口腔健康管理摂食嚥下障害と口腔ケアへの理解と対処. 衣笠病院第11回リーダー育成塾, 横須賀, 2022.9.3. / 医療的ケア児の歯科診療ー外来及び在宅での対応ー. 横浜市金沢区歯科医師会, 横浜, 2022.10.12. / 必要とされる地域における障害者歯科診療ー診療の実践と地域連携の未来への展望ー. 東京都港区麻布赤坂・芝歯科医師会合同障害者歯科研修会, オンライン, 2022.10.19. / ダウン症等の児の全身の発達に合わせた食べる機能を育むー乳幼児期からの支援ー. 令和4年度第2回ダウン症等の児の親子の会, 鎌倉保健福祉事務所, オンライン開催, 2022.10.24. / 令和4年度健康寿命延伸のための口腔保健人材育成事業相談会. 神奈川県歯科医師会, 横須賀, 2023.2.8. / 食べることの発達を促すために大切なこと(発達支援事業所WiSH) 令和4年度健康寿命延伸のための口腔保健人材育成事業相談会. 神奈川県歯科医師会, 横須賀, 2023.2.9. / 令和4年度健康寿命延伸のための口腔保健人材育成事業相談会. 神奈川県歯科医師会, 藤沢, 2023.2.14, 2.28. / 令和4年度健康寿命延伸のための口腔保健人材育成事業相談会. 神奈川県歯科医師会, 厚木, 2022.3.9. / 障害者歯科診療における薬物学的行動調整について. 横須賀市歯科医師会, 横須賀, 2023.3.29.
- 池田正一: 患者に見える院内感染予防に取り組もう・歯科診療における院内感染防止①新型コロナウイルス感染とマスク着用・手指消毒・ゴーグルの意義・必要性. 中野区歯科医師会スマイル歯科診療所医局員研修会, 東京, 2022.4.3. / 患者に見える院内感染予防に取り組もう・歯科診療における院内感染防止②歯科用ユニットのウォーターラインの水質・安全性. 中野区歯科医師会スマイル歯科診療所医局員研修会, 東京, 2022.5.8. / Epidemiological features of HIV/AIDS in Japan and Oral health care to HIV positive children. The 3rd workshop

under the JICA Partnership Program: Providing Oral health care to People living with HIV. Ho Chi Minh City Odonto-Stomatological Association, Ho Chi Minh City, 2022.5.22. /患者に見える院内感染予防に取り組もう・歯科診療における院内感染防止③歯内療法における無菌操作, 歯科における院内感染予防の目的は歯科診療内容の向上である. 中野区歯科医師会スマイル歯科診療所医局員研修会, 東京, 2022.6.5. /歯科診療における院内感染予防15項目. 東京都中野区歯科医師会学術講演会, 東京, 2022.6.20. /患者に見える院内感染予防に取り組もう・歯科診療における院内感染防止④飛沫対策とエアゾル対策は本質的に違う・COVID-19対策における適切な「換気」飛沫対策. 中野区歯科医師会スマイル歯科診療所医局員研修会, 東京, 2022.7.3. /患者に見える院内感染予防に取り組もう・歯科診療における院内感染防止⑤スタンダードプリコーション・B型肝炎、C型肝炎治療の進歩と対応. 中野区歯科医師会スマイル歯科診療所医局員研修会, 東京, 2022.8.6. /障碍の種類、疾患特性と固体特性について. 令和4年度横浜市歯科医師会心身障害児者歯科診療事業協力歯科医療機関認定研修会, 横浜, 2022.9.1. /患者に見える院内感染予防に取り組もう・歯科診療における院内感染防止⑥HIV/AIDS最新情報・U=Uと歯科診療・内服薬から注射療法へ. 中野区歯科医師会スマイル歯科診療所医局員研修会, 東京, 2022.9.4. /血友病の歯科治療. はばたき福祉事業団, Web開催, 2022.11.2. /患者に見える院内感染予防に取り組もう・歯科診療における院内感染防止⑦スタンダードプリコーションと院内感染対策. 中野区歯科医師会スマイル歯科診療所医局員研修会, 東京, 2022.12.4. /日本障害者歯科学会の歩みと、これからに期待する. 中野区歯科医師会スマイル歯科診療所医局員研修会, 東京, 2023.1.15. /障害者が身近なところで受けられる歯科医療をめざして. 令和4年度横浜市歯科医師会・心身障害児者歯科診療事業継続研修, 横浜, 2023.3.2. /障害者が身近なところで受けられる歯科医療を目指して. 令和4年度静岡市障害者歯科保健センター・静岡市障害者歯科登録医研修会, 静岡, 2023.3.18.

- 萩原大：ダウン症のある方の口腔の健康維持に関する調査ー将来を見据えた歯科医療との関わり方について調査報告. 第4回ダウン症候群口腔ケア・フォーラム in 神奈川, オンライン, 2022.7.3.
- 松澤直子：地域での小児在宅歯科医療. 第1回神奈川小児在宅歯科医療フォーラム, 横浜, 2022.5.15. /摂食嚥下機能の基礎知識～食事介助の考察～. 社会福祉法人育桜福祉会いぬくら, 川崎, 2021.5.24. /摂食指導としての給食で大切にしていきたいこと. 横須賀市立養護学校, 横須賀, 2022.6.30. /食べる機能の発達と食事の配慮. 横浜市南部地域療育センター, 横浜, 2022.6.14-15. /摂食嚥下機能の基礎知識～食べる機能と安全な食事支援～. 社会福祉法人ル・プリくるみの森, 横浜, 2022.7.4. /摂食嚥下機能の基礎知識. 社会福祉法人偕惠園障害者支援施設偕惠, 横浜, 2022.7.29. /知的障がい児の摂食指導. 横浜市特別支援教育総合センター教職員研修(知的障害部門研修), 横浜, 2022.9.6. /教育現場における摂食嚥下指導. 横浜市立若葉台特別支援学校, 横浜, 2022.9.7, 11.2. /横浜市特別支援教育総合センター教職員研修(肢体不自由部門研修), 横浜市特別支援教育総合センター, 横浜, 2022.9.21. /将来像を踏まえた摂食指導. 神奈川県立金沢養護学校, 横浜, 2022.10.27. /摂食研修～摂食の基礎を学ぶ～. 都筑区自立支援協議会第1回重心ネットワーク部会, 横浜, 2022.11.4. /食べる機能の発達と摂食嚥下指導. 横浜市立北綱島特別支援学校, 横浜, 2023.1.27.
- 宮城敦：食べる機能の発達について. 2022年度横須賀市歯科医師会障害者歯科担当医研修, 横須賀, 2022.7.27. /口腔機能低下症について. 2022年度横須賀市歯科医師会障害者歯科担当医研修, 横須賀, 2023.1.27.

【業務・活動報告】

〔受託研究・奨学寄附金等〕

- 小松知子(代表), 萩原大(分担), 横山史織(分担), 李昌一(分担)：Down症候群の歯周病増悪に関与する活性酸素種と唾液抗酸化ペプチドの役割の解明. 公益社団法人日本ダウン症協会・成

人期ダウン症研究会プロジェクト研究助成金, 2021~2022年度.

- 三嶋博之(代表), 近藤達郎(分担), 北原鉄朗(分担), 川口靖子(分担), 李昌一(分担), 小松知子(分担): 先天性の障がいを持つ方々のためのことばと身体運動の遠隔トレーニングとAI評価システムの開発. 第52回(2021年度)三菱財団社会福祉事業・研究助成, 2021.10~2022.9.
- 近藤達郎(代表), 三嶋博之(分担), 小松知子(分担), 李昌一(分担), 太田亨(分担), 小林健史(分担), 北原鉄朗(分担): Down症候群の構音機能に関連した口腔機能の研究. 一般社団法人日本障害者歯科学会宿題委託研究, 22001, 2022.1.1~2023.12.31.

[賞]

- 小松知子, 宮崎沙良, 重藤良太, 横山滉介, 大田祥子, 李昌一, 森本佳成: 優秀論文賞: てんかんの既往のある患者の亜酸化窒素吸入鎮静法の臨床使用について (障害者歯科, 42(2), 153-159, 2021). 日本障害者歯科学会. 2022年度.

[デジタル記事]

- 小松知子: 子どもの滑舌の悪さが気になったら。先天性疾患や知的障害がある? 相談先、家庭でできるトレーニング方法も【専門家監修】. LITALICO発達ナビ, 2022.7.6. <https://h-navi.jp/column/article/35028801>
- 小松知子: 発達障害や基礎疾患がある子の虫歯「6つの原因」と「歯磨き・虫歯予防のポイント」を解説【専門家監修】. LITALICO発達ナビ, 2022.7.26. <https://h-navi.jp/column/article/35028805>
- 井上裕之: 左党の一分 お酒をよく飲む人は歯が抜けやすい? アルコールと口内環境の関係. 日経Gooday, 2022.8.9. <https://gooday.nikkei.co.jp/atcl/report/14/091100015/080100099/>
- 井上裕之: 左党の一分 一生健康で酒を飲むために気をつけたい、「爪楊枝」の使い方. 日経Gooday, 2022.9.7. <https://gooday.nikkei.co.jp/atcl/report/14/091100015/082900100/>
- 小松知子: ダウン症がある子ども「食べ物を丸のみ」していない? 摂食・咀嚼・嚥下機能が弱い理由やデメリット、トレーニング方法も解説【医師監修】. LITALICO発達ナビ, 2022.9.30. <https://h-navi.jp/column/article/35028912>

1 教員・大学院生・他

教授：玉置勝司
大学院生：須藤真行(4年), 野澤一郎太(4年)
研究生：Bashal Mohammed Abdulmajeed AL-QASSAB, 前畑香,
Audai Mansour Salman Al-Taai
客員教授：和氣裕之
特任教授：島田淳, 渡辺秀司
特任講師：堤一輝, 仲井太心, 平野隆己, 藤原基, 前畑香, 片岡加奈子
研究補助員：櫻井耕平

2 2022年度の活動内容

教育：2年生『咬合回復に必要な機能』の一部を担当し, 1.咬合回復の意義, 2.歯の形態と機能, 3.顎関節と下顎位, 4.中心位と咬頭嵌合位, 咬み合わせのズレはこうして起こる, 5.総義歯の製作, 6.フレイル オーラルフレイルについてWeb講義とWeb演習を行った。

研究：補綴医学分野のメインテーマである『人間咬合歯科医学(Human Occlusion Dentistry;HOD)』を基盤とした研究を継続した。

1.2016年からスタートした“高齢化社会に向けた短期間高精度義歯製作システムの開発”の中で, 前年度の研究成果を基に, 総義歯人工歯の新たな『フルアーチ連結型人工歯排列』の最終段階の人工歯開発が(株)松風の協力により進み, その臨床応用, そして商品化に関する基礎的な研究発表を行った。

2.上記のフルアーチ連結型人工歯と従来の1歯1歯排列する作業時間に関する比較の研究を歯科医師および歯科技工士を対象に行い, フルアーチ連結型人工歯の作業時間短縮が明確に示され, その結果を日本補綴歯科学会において発表した。

3.本教室と(株)松風の協力により, 3Dプリント義歯床用の材料を新たに開発することができ, その結果を日本補綴歯科学会において発表し, 新しい3Dプリント義歯の製作法を社会人大学院生の学位論文として作成中である。

4.“高齢化社会に向けた短期間高精度義歯製作システムの開発”の中の研究テーマとして, “CBCTによる無歯顎顎堤粘膜の三次元構築法の可能性に関する基礎的研究”が進められ, モリタ製作所の協力を受けながら進行し, ドバイからの研究生2名の学位論文(テシス形式)の作成を行い, 学位取得に至った。

5.咬合リエゾン診療科および医科歯科連携センターに登録された咬合違和感を訴える患者を対象に, 咬合違和感症候群(Occlusal discomfort syndrome:ODS)の症型分類を行い, その修飾因子の検討から, 咬合違和感患者の対応及び効果的な治療方法について調査を継続的にを行い, 72名の患者を対象に統計解析を進め, 長年本教室に在籍した特任講師の学位論文(テシス形式)としてまとめ, 学位取得に至った。

6.科学研究費(18K09925 基金 2018年度 基盤研究(C) 生活習慣病およびフレイル予防改善のための口腔内指標の確定に関する臨床研究, 2018~2020)を基に, 研究テーマ“口腔機能低下症と体組成の関連性に関する研究—低栄養を推定する口腔検査項目の確定—”をテーマに, 本科大学院生の論文作成(テシス形式)を行い, 学位取得に至った。

7.歯の欠損を有するオーラルフレイルの高齢者に対する機能歯増加処置および管理計画(口腔機能管理, 栄養指導)が口腔機能およびフレイル改善に及ぼす効果検証(令和2年度 第15回 神

奈川県歯科保健賞研究(特別研究))が2022年12月で終了し、その内容を日本老年歯科医学会に論文投稿し、現在査読結果に対して校正中の状態である。

臨床：臨床については以下の通りである。

- 1.毎月第1木曜日に咬合違和感を主訴とする紹介患者の心身医学的医療面接を行い、咬合違和感症候群(Occlusal discomfort syndrome:ODS)の症型分類および症例の診断と対応を行った。
- 2.咬合違和感症候群(Occlusal discomfort syndrome:ODS)患者の診断、治療を評価する『アセスメント・シート』を島田淳・渡辺秀司(特任教授)、仲井太心(特任講師)、高橋美保教授・和智遥香先生(東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース)らと継続作成中である。

3 | 研究業績

【原著論文】

K22/OP/092 Maekawa K, Ikeuchi T, Shinkai S, Hirano H, Ryu M, Tamaki K, Yatani H, Kuboki T; Kusatsu ISLE Study Working Group Collaborators; Kimura-Ono A, Kikutani T, Saganuma T, Ayukawa Y, Gonda T, Ogawa T, Fujisawa M, Ishigaki S, Watanabe Y, Kitamura A, Taniguchi Y, Fujiwara Y, Edahiro A, Ohara Y, Furuya J, Nakajima J, Umeki K, Igarashi K, Horibe Y, Kugimiya Y, Kawai Y, Matsumura H, Ichikawa T, Ohkawa S, Baba K : Impact of number of functional teeth on independence of Japanese older adults. *Geriatrics & Gerontology International*, 22, 1032-1039, 2022.

K22/OP/058 前畑香, 小松俊司, 渡辺宣孝, 一色ゆかり, 玉置勝司 : 総義歯製作における人工歯排列の水平的アーチの決定に関する研究. *日本補綴歯科学会誌*, 14, 150-157, 2022.

【解説】

K22/Ex/035 玉置勝司 : 匠の技をデジタル総義歯製作へ 総義歯イノベーション 前編 1 Gysi以来100年間の総義歯製作から学んだ匠の技をデジタル義歯へー特集のはじめにー. *歯科技工*, 50(11), 1046-1049, 2022.

K22/Ex/036 玉置勝司 : 匠の技をデジタル総義歯製作へ 総義歯イノベーション 後編 5 超高齢社会におけるデジタル総義歯の必要性和その供給. *歯科技工*, 50(12), 1178-1183, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 和気裕之, 尾口仁志, 杉本是明, 島田淳, 玉置勝司 : 口腔領域で心身医学的な側面から医歯協働を考える. 第63回日本心身医学会総会ならびに学術講演会, 千葉, 2022.6.25-26.
- 島田淳 : 顎関節症における心身医学的問題とその対応 (シンポジウム1). 第37回日本歯科心身医学会総会・学術大会, Web開催, 2022.7.9-10.
- 玉置勝司 : 咬合違和感症候群(Occlusal discomfort syndrome)患者の対応に必要な知識と技術 (シンポジウム1). 第37回日本歯科心身医学会総会・学術大会, Web開催, 2022.7.9-10.
- 玉置勝司 : 咬合違和感患者の診療に必要な知識と技術 (サテライトセミナー 1(臨床)[顎関節症治療の最前線]). 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム, 大阪+Web, 2022.10.5-7.

[教育講演]

- 玉置勝司：咬合違和感の発症契機からの考察—歯科医師は今後どのようにするべきか—(咬合違和感症候群の診療フローチャート(2021)). 第35回日本顎関節学会総会・学術大会, 札幌, 2022.7.2-3.
- 和気裕之：咬合違和感症候群の診療フローチャート解説 (咬合違和感症候群の診療フローチャート(2021)). 第35回日本顎関節学会総会・学術大会, 札幌, 2022.7.2-3.
- 前畑香：一般歯科診療所におけるデジタル全部床義歯治療の現状 (生涯学習公開セミナー). 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.

[一般発表・国内学会]

- 野澤一郎太, 藤原基, 堤一輝, 玉置勝司：口腔機能低下症と体組成の関連に関する臨床的研究. 日本老年歯科医学会第33回学術大会, 新潟, 2022.6.10-12.
- Alqassab B, Al Taai A, Sutou M, Tamaki K : Study on a new impression method of edentulous ridge using dental CBCT. 日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信), 2022.7.15-17.
- Al Taai A, Alqassab B, Sutou M, Tamaki K : Study on a new impression accuracy of edentulous jaw ridge using dental CBCT. 日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信), 2022.7.15-17.
- 生田龍平, 渡辺宣孝, 前畑香, 藤原基, 須藤真行, ゴンインファ, 平澤滋康, 玉置勝司：フルアーチ連結型人工歯を用いた総義歯製作における作業効率について. 日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信), 2022.7.15-17.
- 玉置勝司, 西澤昭人, 田中直人, 飯島勝矢, 平野浩彦, 小原由紀, 遠又靖丈, 山本龍生, 加藤尊巳：高齢者の機能歯増加処置および栄養指導がフレイル改善に及ぼす可能性の検証. 日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信), 2022.7.15-17.
- 仲井太心, 島田淳, 渡辺秀司, 藤原基, 片岡加奈子, 玉置勝司：咬合違和感症候群患者に漢方に対応した1症例—漢方による症状の軽減に関する考察—. 日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信), 2022.7.15-17.
- 野澤一郎太, 藤原基, 平澤滋康, 片岡加奈子, 堤一輝, 葉山莉香, 玉置勝司：口腔機能と身体の健康に関する研究 罹患型別での口腔機能と身体の健康との関連性. 日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信), 2022.7.15-17.
- 藤原基, 玉置勝司, 島田淳, 仲井太心, 渡辺秀司, 片岡加奈子, 山本龍生：咬合違和感症候群患者の症型分類と治療法に関する研究 症型分類と修飾因子. 日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信), 2022.7.15-17.
- 前畑香, 小松俊司, 渡辺宣孝, 一色ゆかり, 玉置勝司：総義歯製作における人工歯排列の水平的アーチの決定に関する研究. 日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信), 2022.7.15-17.
- 前畑香, 須藤真行, 生田龍平, 玉置勝司：フルアーチ連結型人工歯を用いた3Dプリント義歯に関する基礎的研究. 日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信), 2022.7.15-17.

- 和智遥香, 中山奈緒子, 高橋美保, 島田淳, 玉置勝司: 歯科教育に国民は何を求めているのか. 日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信), 2022.7.15-17.
- Al Taai A, Alqassab B, Sutou M, Tamaki K: Study on the accuracy of three-dimensional reconstruction of the edentulous alveolar ridge. 神奈川歯科大学学会第169回例会, オンライン開催, 2022.10.13.
- 野澤一郎太, 藤原基, 玉置勝司: 口腔機能低下症と体組成の関連性に関する研究—低栄養を推定する口腔検査項目の確定—. 神奈川歯科大学学会第169回例会, オンライン開催, 2022.10.13.
- 藤原基, 玉置勝司, 島田淳, 仲井太心, 渡辺秀司, 片岡加奈子, 山本龍生: 咬合違和感症候群の病態分類とその修飾因子に関する臨床研究. 神奈川歯科大学学会第169回例会, オンライン開催, 2022.10.13.
- Al Taai A, Alqassab B, Sutou M, Tamaki K: Study on a new impression accuracy of edentulous jaw ridge using dental CBCT. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 生田龍平, 渡辺宣孝, 前畑香, 藤原基, 須藤真行, ゴンインファ, 平澤滋康, 玉置勝司: 総義歯人工歯排列におけるフルアーチ連結型人工歯の作業時間について. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- ゴンインファ, 櫻井耕平, 片岡加奈子, 生田龍平, 玉置勝司: 自律神経と脳活動の同時計測による心身相関のメカニズム解析の試み. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 須藤真行, 生田龍平, 前畑香, 渡辺宣孝, 玉置勝司: 新規開発した3Dプリント材料における無歯顎義歯床の寸法精度に関する研究. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 玉置勝司, 西澤昭人, 田中直人, 飯島勝矢, 平野浩彦, 小原由紀, 遠又靖丈, 山本龍生, 加藤尊巳: 高齢者の機能歯増加処置および栄養指導がフレイル改善に及ぼす可能性について(中間報告). 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 仲井太心, 島田淳, 渡辺秀司, 片岡加奈子, 藤原基, 玉置勝司: 咬合違和感症候群(ODS)患者に漢方に対応したこれまでの経過—漢方アンケートを活用したケースについて—. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 野澤一郎太, 藤原基, 玉置勝司: 口腔機能低下症と体組成の関連性に関する研究—低栄養を推定する口腔検査項目の確定. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 藤原基, 玉置勝司, 島田淳, 仲井太心, 渡辺秀司, 片岡加奈子, 山本龍生: 咬合違和感症候群患者の病態分類と修飾因子との関連性について. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 前畑香, 小松俊司, 渡辺宣孝, 一色ゆかり, 玉置勝司: 総義歯製作における人工歯排列の水平的アーチの決定に関する研究. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.

賀, オンライン), 2022.11.26.

- 矢田朋美, 青山典生, 喜田さゆり, 藤井利哉, 谷口健太郎, 岩根泰蔵, 野澤一郎太, 藤原基, 玉置勝司, 小牧基浩: 味覚感受性の低下と口腔機能. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 和智遥香, 中山奈緒子, 島田淳, 高橋美保, 玉置勝司: 歯科医療に対する満足度と期待—今後の歯科医療教育に向けて—. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 生田龍平, 渡辺宣孝, 前畑香, 藤原基, 須藤真行, ゴンインファ, 平澤滋康, 玉置勝司: フルアーチ連結型人工歯を用いた総義歯製作における作業時間について. 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.
- 櫻井耕平, ゴンインファ, 片岡加奈子, 生田龍平, 玉置勝司: 自律神経と脳活動の同時計測による心身相関のメカニズム解析の試み. 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.
- 須藤真行, 生田龍平, 前畑香, 渡辺宣孝, 玉置勝司: 新規3Dプリント材料による無歯顎義歯床の造形精度と水中浸漬による影響. 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.
- 須藤真行, 西澤昭人, 田中直人, 山本龍生, 遠又靖丈, 玉置勝司: 高齢者の機能歯増加処置および栄養指導がフレイル改善に及ぼす可能性について. 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.
- 玉置勝司, Alqassab B, Al Taai A: コーンビームCT照射時の歯科材料のX線吸収率. 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.
- 玉置勝司, Al Taai A, Alqassab B: 歯科用CBCTによる無歯顎顎堤の3次元構築の精度. 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.
- 仲井太心, 島田淳, 渡辺秀司, 片岡加奈子, 藤原基, 玉置勝司: 咬合違和感症候群(ODS)患者に漢方を用いたこれまでの経過—漢方アンケートを活用したケースについて—. 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.
- 野澤一郎太, 藤原基, 玉置勝司: 口腔機能低下症と体組成の関連性に関する研究—低栄養と関連する口腔検査項目の確定—. 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.
- 藤原基, 玉置勝司, 島田淳, 仲井太心, 渡辺秀司, 片岡加奈子: 咬合違和感症候群の病態分類とその修飾因子に関する臨床研究. 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.

1 | 教員・大学院生・他

講 師：大石ゆかり，平嶺浩子
 助 教：田口長，市田佳子
 医 員：岸祐矢，山口大樹
 特 任 教 授：廣川晃司
 臨 床 教 授：三橋晃
 非常勤歯科医師：原めぐみ，上田剛史，内藤広太郎
 臨 床 専 攻 生：鈴木彩香，平井佑弥，大原ありさ，馬場陽子

2 | 2022年度の活動内容

教育：歯科医師臨床研修は，単独型研修で一年を通じて横浜クリニック成人歯科をベースとして研修を行った。研修マニュアルを作成，配布し，これに則って臨床研修，講義，実習を伴う実技演習などを実施した。また，年度末には生涯研修への位置付けとして症例発表会を開催した。歯学部歯学科では，5年生の臨床実習教育を実施，3年生歯内療法学基礎実習，2年生微生物学・免疫学講義・実習に教育のため参加した。短期大学部歯科衛生学科，日本体育大学医療専門学校口腔健康学科，新宿医療専門学校では臨床実習教育を実施した。大学院においては研究評価者として学生に対し年2回面談を行った。

研究：横浜クリニック内CBCT撮影患者の統計学的分析。

臨床：横浜クリニック成人歯科・総合歯科医療管理部門では一般的な歯科疾患に対する総合診断から治療，メンテナンスまで，一口腔単位での治療をした。歯内療法部門では他医療機関よりの紹介患者，他部門よりの依頼患者に対し，マイクロスコープ下で診査，診断し歯内療法を行った。放射線科では，横浜クリニック内他科より依頼のレントゲン撮影を行った。訪問歯科診療を希望する患者に対して，担当歯科医師として歯科訪問診療を行った。

社会活動：捜真女学校中学部・高等学部歯科検診を実施した。

3 | 研究業績

【著書】

K22/B&C/044 三橋晃：PartII.4.①. 実は日本人の3割に存在するRadix Entomolarisへの対応. pp114-119. 辻本恭久編著：歯内療法Next Step槌状根とRadix Entomolarisへの対応—日本人に多い解剖学的形態への臨床アプローチ. ヒョーロン・パブリッシャーズ，東京，2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔講演会・セミナー等〕

- 市田佳子：水酸化カルシウム製剤が根尖孔より下顎管へ溢出した一症例. 日本顕微鏡歯科学会第17回シーズズ(サマー)セミナー，東京+WEB Live配信形式，2022.8.7.
- 三橋晃：ファイルメーカーが作った究極のエンドシステム～穿通から拡大まで～. マニー株式会社，大阪，2022.6.19. / ファイルメーカーが作った究極のエンドシステム～穿通から拡大まで～. マニー株式会社，横浜，2022.6.24. / マイクロスコープ100%活用術. モリタマイ

クロスコープハンズオンセミナー，東京，2022.7.3. / 難治性エンド症例に対する攻め方・見かた・治し方. ケーオーデンタル, モリタWEBセミナー，Web配信，2022.7.14. / ファイルメーカーが作った究極のエンドシステム～穿通から拡大まで～. マニー株式会社，名古屋，2022.7.17. / ファイルメーカーが作った究極のエンドシステム～穿通から拡大まで～. マニー株式会社，札幌，2022.9.3. / マイクロスコープ100%活用術. モリタマイクロスコープハンズオンセミナー，東京，2022.9.11. / エンドが変わる!? 90分のクイックガイド. 令和4年度第1回九州歯科大学神奈川県同窓会学術講習会，横浜，2022.10.2. / マニー JIZAIシステムを用いた自由自在な根管へのアプローチ. 日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会(第157回)ランチョンセミナー，岡山，2022.11.11. / 根管治療がうまくなるコツとヒント. 神奈川歯科大学同窓会岡山県支部，岡山，2022.11.12. / 歯科医師の明るい未来のために今できること シンプルエンドマニュアル2022. モリタ，東京，2022.11.20. / 見えちゃう・魅せちゃう MICROENDO. ENの会，大阪，2022.12.14. / NiTiロータリーファイル JIZAIシステムを使った安全で効率の良い根管形成. 第49回横浜デンタルショー，横浜，2023.1.9.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 平嶺浩子(代表)，浜田信城(分担)，渡辺清子(分担)，児玉利朗(分担)，小牧基浩(分担)，山海直(分担)：歯周炎発症カニクイザルを用いた病原細菌の特定と細菌伝播経路の解明. 基盤研究(C)，19K10455，2019～2022年度.
- 渡辺清子(代表)，平嶺浩子(分担)，佐藤武則(分担)，高橋俊介(分担)：カテキン類の生体内代謝産物による歯周炎抑制機序の解明. 基盤研究(C)，20K10281，2020～2022年度.

〔Web出演〕

- 三橋晃：SCOPE(第12回) SCOPEで視界は明瞭、悩みも解消～三橋兄弟がすべて答えます～. ドクターブック，WEB配信，2022.4.21. / SCOPE(第13回) ミラーを用いた遠心の歯冠形成時はどのようにすればよいか. ドクターブック，WEB配信，2022.5.19. / SCOPE(第14回) MTA根充はどんな時にどんな風にやるんかい??. ドクターブック，WEB配信，2022.6.16. / SCOPE(第15回) 純兄さんのBEST BUY!. ドクターブック，WEB配信，2022.7.21. / SCOPE(第16回) アキラ弟のBEST BUY!. ドクターブック，WEB配信，2022.8.18. / SCOPE(第17回) マイクロスコープの動画や静止画をどうやって管理してる?. ドクターブック，WEB配信，2022.9.8. / SCOPE(第18回) 純兄さんがサンディエゴに行ってきました～!. ドクターブック，WEB配信，2022.10.6. / SCOPE(第19回) 効果満点な患者プレゼン～アキラとあきらとAKIRAの根治編. ドクターブック，WEB配信，2022.11.17. / SCOPE(第20回) 効果満点な患者プレゼン～ジュンとじゅんとJUNの修復編～. ドクターブック，WEB配信，2022.12.15. / SCOPE(第21回) SPECIAL LIVE TALK SHOW. ドクターブック，WEB配信，2023.1.19. / SCOPE(第22回) 根管治療の回数や時間と根充時期の目安は?. ドクターブック，WEB配信，2023.2.9. / SCOPE(第23回) マイクロスコープを衛生士さんに使ってもらうには?. ドクターブック，WEB配信，2023.3.16.

1 | 教員・大学院生・他

診療科教授：川股亮太(2022年8月まで)

診療科講師：植田真美子

2 | 2022年度の活動内容

臨床：2021年4月に学校法人神奈川歯科大学羽田空港第1ターミナル歯科が新たに開設され、二院体制での一般歯科診療が開始された。4月15日より5月23日まで、月・金の午後に歯学部1年生の見学実習が行われ、19名の学生が羽田空港第1ターミナル歯科を見学した。9月にOHANA保育園の歯科検診、11月にアンジュ保育園の歯科検診を行った。

3 | 研究業績

4 | その他の業績・活動

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 高垣裕子(代表), 平田岳史(分担), 岩崎香子(分担), 河田亮(分担), 川股亮太(分担), 田中佑樹(分担)：身体不活動が腎疾患に糖尿病を誘発する機序の歩行制限モデルラットにおける解析. 基盤研究(C), 20K11632, 2020～2022年度.

歯科診療支援学講座

▶ 病理診断学分野

代表者：窪田展久

1 教員・大学院生・他

准教授・診療科教授：窪田展久

2 2022年度の活動内容

教育：歯学部においては、2年生L247病因・病態と生体の回復促進II, 3年生O321歯と歯周組織の病態, O322歯と歯周組織の検査, 4年生L441口腔・顎顔面領域の疾患II, K411総合歯科学の講義および実習を担当した。5年生(登院実習)においては病理診断科としての実習を担当した。また、短期大学部看護学科において病理学の講義を行った。

研究：環境病理学分野と連携し、口腔の腫瘍様病変の発生機序の解明や、口腔内環境と感染(特にSARS-CoV-2)に関する研究を行っている。

臨床：附属病院病理診断科として病理診断業務およびマネジメントを行った。

3 研究業績

4 その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 山本裕子, 猿田樹理, 坂口和歌子, 窪田展久, 東雅啓, 清水智子, 両角俊哉, 高橋徹, 高垣裕子, 槻木恵一：糖尿病モデルラットにおける顎下腺組織IgA濃度とpIgR発現量の解析. 第76回日本栄養・食糧学会大会, 兵庫, 2022.6.10-12.
- 石井滋, 坂口和歌子, 河田亮, 鎌田要平, 窪田展久, 槻木恵一：ウィルス感染に関与するプロテアーゼとインヒビターの唾液中濃度の検討. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.

1 | 教員・大学院生・他

教授：二瓶智太郎
 准教授：大橋桂
 助教：片山裕太
 診療科助手：中村圭佑
 大学院生：黒田哲郎(4年)
 研究生：大前太美雄
 特任講師：青木(三宅)香, 押川亮宏, 下山和夫, 関口卓郎, 原健一郎, 緑野智康,
 亀山祐佳, 和田悠希, 江崎良真
 特任講師(無給)：田中のぶ子, 尾本直大, 山口真一郎, 森梨江, 芹田枝里, 山口紘章,
 青木英太郎, 中島信哉, 澤直之

2 | 2022年度の活動内容

教育：学部生に対する2022年度の講義・実習担当は、1年生の歯科医療入門、2年生の生体材料講義・実習、3年生の総合試験、補講、4年生の総合歯科学I、5年生の臨床実習I、6年生の臨床実習IIと全学年にわたり教育・指導を行った。また、大学院歯学研究科では、研究テーマに沿ったトピックスを中心に大学院生の指導を行い、大学院共通科目講義では、「多分野最新研究学」について行った。

研究：材料学における臨床と基礎の懸け橋となるべく研究を行った。研究テーマである「界面の制御」をトピックスに、①歯科疾患(う蝕および歯周疾患)の予防を目的として、プラーク付着を抑制する表面改質剤の開発とその応用、②接着耐久性の向上を目的として、耐水性シランカップリング剤の開発とその評価、セラミックス表面処理の違いによる接着耐久性の評価、耐水性に優れるコンポジットレジンの開発とその評価、③早期の骨再生を目的として、バイオカップリング剤の開発とその評価、④レーザーを用いたセラミック修復法の開発を目的として、歯面改質法の検索、低融点ガラスの開発とその評価、⑤新規のセラミック材料およびハイブリッドセラミック材料の物性に関する研究、⑥各種歯科材料の性能や劣化に関する研究などを進めた。刻々と進化する研究技術に注目し、国内外の大学や研究機関と連携し研究を行ってきた。

臨床：日々進化する歯科材料にあって、患者様や病院さらに臨床教育に貢献できるように、CAD/CAMを使用した歯科治療をはじめ、材料を追究し、附属病院デジタル歯科診療科においてクオリティーの高い診療を行ってきた。また、臨床で使用する材料の長期予後のデータを蓄積し、信頼性の高い歯科材料の推奨とともに、研究においても材料開発を行ってきた。

社会活動：国民への啓蒙のため情報発信を積極的に行った。

3 | 研究業績

【著書】

- K22/B&C/045 二瓶智太郎：II-2. CAD/CAM冠の現状と展望—①材料の観点から. pp.28-39. 高橋英登 [ほか] 編著：保険診療と歯冠修復. ヒョーロン・パブリッシャーズ, 東京, 2022.
- K22/B&C/046 二瓶智太郎：Column 4. 自己接着性直接充填用コンポジットレジンはまだか?!. pp.61 / Chapter 5. コンポジットレジンブロックへの接着. pp.62-73. 新谷明一, 三浦貴子, 小泉寛恭, 二瓶智太郎, 峯篤史編著：オクルーザルベニアレストレーション. 医歯薬出版, 東京, 2022.

【原著論文】

- K22/OP/093 Katayama Y, Ohashi K, Iwasaki T, Kameyama Y, Wada Y, Miyake K, Tanimoto Y, Nihei T : A study on the characteristics of resin composites for provisional restorations. Dental Materials Journal, 41(2), 256-265, 2022.
- K22/OP/009 Nagata K, Muromachi K, Kouzai Y, Inaba K, Inoue E, Fuchigami K, Nihei T, Atsumi M, Kimoto K, Kawana H : Fit accuracy of resin crown on a dental model fabricated using fused deposition modeling 3D printing and a polylactic acid filament. Journal of Prosthodontic Research, 67(1), 144-149, 2023.
- K22/OP/015 栗本勇輝, 小口岳史, 林田丞太, 菅谷彰, 二瓶智太郎 : ハイブリッド型授業と客観式試験による学力の検証. 神奈川歯学, 57(1), 39-45, 2022.
- K22/OP/055 黒田哲郎, 和田悠希, 片山裕太, 角井早紀, 大橋桂, 木本克彦, 二瓶智太郎 : インジェクションタイプアルジネート印象材の特性. 日本歯科理工学会誌, 41(2), 156-161, 2022.

【プロシーディング】

- K22/P/001 二瓶智太郎 : 遠隔教育の課題と可能性を考える 本学の遠隔講義と将来の展望. 日本歯科医学教育学会雑誌, 38(1), 28-30, 2022.

【解説】

- K22/Ex/001 大橋桂, 星憲幸, 木本克彦 : マイ・カタログ2021 for Digital Age 第12回 装着材料(接着レジメンメント)/前処理材編(中編). QDT, 47, 0534-0539, 2022.
- K22/Ex/002 大橋桂, 星憲幸, 木本克彦 : マイ・カタログ2021 for Digital Age 第13回 装着材料(接着レジメンメント)/前処理材編(後編). QDT, 47, 0674-0681, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔シンポジウム講演〕

- 二瓶智太郎 : 「床用レジンを再考する : 補綴臨床はSDGsに貢献できるのか?」セルロースナノファイバーを添加したアクリルレジンの物性. 日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信), 2022.7.15-17.
- 大橋桂 : 「歯冠補綴治療のために必要な令和五年の最新情報」CAD/CAM冠の確認すべき材料学的特性. 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.

〔一般発表・国際学会〕

- Nihei T, Katayama Y, Midono T, Aoki K, Yamaguchi H, Ohashi K : Bond strength of resin composite to novel octyl-type silane coupling agent. 41st Annual Meeting of Japan Society for Adhesive Dentistry, International Congress on Adhesive Dentistry, Sapporo, Japan, 2022.6.3-5.
- Katayama Y, Ohashi K, Midono T, Yamaguchi H, Nagata S, Tanimoto Y, Nihei T : Adhesion and mechanical properties of PEEK block by CAD/CAM system. 41st Annual Meeting of Japan Society for Adhesive Dentistry, International Congress on Adhesive Dentistry, Sapporo, Japan, 2022.6.3-5.
- Tsunoi S, Katayama Y, Ohashi K, Kimoto K, Nihei T : Study on adhesive durability the

luting agents to zirconia -Appropriate concentration of acidic monomer-. 41st Annual Meeting of Japan Society for Adhesive Dentistry, International Congress on Adhesive Dentistry, Sapporo, Japan, 2022.6.3-5.

- Nihei T, Katayama Y, Kuroda T, Nakamura K, Ohashi K : Bond strength of resin composite to novel silane coupling agent. International Dental Materials Congress 2022 (IDMC2022), Taipei, Taiwan, 2022.11.4-5.
- Katayama Y, Ohashi K, Midono T, Aoki K, Nagata S, Tanimoto Y, Nihei T: Adhesion and mechanical properties of PEEK block by CAD/CAM system. International Dental Materials Congress 2022 (IDMC2022), Taipei, Taiwan, 2022.11.4-5.

〔一般発表・国内学会〕

- 永田紘大, 淵上慧, 井上絵理香, 鈴木美南子, 星憲幸, 二瓶智太郎, 木本克彦, 渥美美穂子: 熱溶解積層型3DプリンターとPoly-Lactic Acid(PLA)フィラメントを用いた歯科模型の適合精度の検証. 日本デジタル歯科学会第13回学術大会, 東京, 2022.4.23-24.
- 井上絵理香, 清宮一秀, 古川辰之, 中静利文, 熊坂知就, 川西範繁, 一色ゆかり, 永田紘大, 井上允, 大橋桂, 星憲幸, 二瓶智太郎, 木本克彦: 神奈川歯科大学附属病院における歯冠補綴装置の使用材料の推移(第二報). 日本デジタル歯科学会第13回学術大会, 東京, 2022.4.23-24.
- 黒田哲郎, 片山裕太, 亀山祐佳, 大橋桂, 二瓶智太郎: CAD/CAM用ハイブリッドレジンに関する研究(第11報)ー前歯部用レジンブロックの摩耗性についてー. 第79回日本歯科理工学会学術講演会, 盛岡, 2022.5.21-22.
- 角井早紀, 片山裕太, 熊坂知就, 大橋桂, 星憲幸, 木本克彦, 二瓶智太郎: ジルコニアに対する接着耐久性に関する研究ー酸性モノマーの適正濃度についてー. 第79回日本歯科理工学会学術講演会, 盛岡, 2022.5.21-22.
- 和田悠希, 片山裕太, 大橋桂, 平山聡司, 二瓶智太郎: コーティング処理後のレジンセメントの象牙質接着性(第3報)ー象牙質とCAD/CAMレジンブロックとの接着強さに関してー. 第79回日本歯科理工学会学術講演会, 盛岡, 2022.5.21-22.
- 片山裕太, 大橋桂, 永田俊介, 谷本安浩, 二瓶智太郎: CAD/CAM用PEEKブロックの特性ー機械的性質および接着性についてー. 第79回日本歯科理工学会学術講演会, 盛岡, 2022.5.21-22.
- 鶴岡隼人, 永田紘大, 奥濱裕里恵, 若森可奈, 住友寛和, 大久保学, 二瓶智太郎, 河奈裕正: ジルコニア製インプラント上部構造体のアクセスホール用仮封材の検討. 第52回日本口腔インプラント学会学術大会, 名古屋, 2022.9.23-25.
- 黒田哲郎, 片山裕太, 中村圭佑, 大橋桂, 二瓶智太郎: 新規シランカップリング剤の接着耐水性効果について. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 白木麗, 熊坂知就, 木本克彦, 片山裕太, 和田悠希, 二瓶智太郎: 歯科用コーティング材塗布後の保管状態における接着性への影響. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 藪部悠司郎, 片山裕太, 清水統太, 大橋桂, 井野智, 二瓶智太郎: アクリルレジンの強度向上を目指した研究(その1)ー微粒子シリカフィラー添加の機械的強度についてー. 神奈川歯科大学

学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.

- 角井早紀, 片山裕太, 熊坂知就, 大橋桂, 星憲幸, 木本克彦, 二瓶智太郎: ジルコニアに対する接着強度に関する研究. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 中村圭佑, 片山裕太, 井上絵理香, 清宮一秀, 大橋桂, 星憲幸, 木本克彦, 二瓶智太郎: CAD/CAMシステムによる歯冠修復処置に関する臨床調査研究(その3)ー小臼歯部冠用レジックブロックの臨床データについてー. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 井上絵理香, 清宮一秀, 中村圭佑, 片山裕太, 大橋桂, 星憲幸, 木本克彦, 二瓶智太郎: 神奈川歯科大学附属病院における歯冠補綴装置の使用材料の推移(第二報). 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 角井早紀, 熊坂知就, 星憲幸, 木本克彦, 二瓶智太郎: ジルコニアに対する接着強度に関する研究ー酸性プライマーの適正濃度についてー. 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.
- 二瓶智太郎, 緑野智康, 角井早紀, 熊坂知就, 木本克彦: 新規シランカップリング剤の接着耐水性について. 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.
- 井上絵理香, 清宮一秀, 星憲幸, 木本克彦, 二瓶智太郎: 神奈川歯科大学附属病院における歯冠補綴装置の使用材料の推移(第二報). 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.

[講演会・セミナー等]

- 二瓶智太郎: 第1回「接着ってなに?」. 神奈川歯科大学附属病院接着歯科治療研修会, 横須賀, 2022.5.12. / 第8回「炭酸ガスレーザーを用いた基礎研究と臨床」. オペレーターユーザー会, Web開催, 2022.5.29. / 第4回「接着操作をしてみよう!」. 神奈川歯科大学附属病院接着歯科治療研修会, 横須賀, 2022.6.16. / 近年, 保険収載された歯冠修復材料についてーチタン鑄造冠ならびにその他の材料についてー. Dentist Study Club, 豊橋, 2022.8.24. / Back to BASIC! 臨床に役立つCAD/CAMブロックと接着. GC WebセミナーLIVE, Web開催, 2023.2.22. / 歯科材料と臨床応用へのマッチングー特に接着システムについてー. 神奈川歯科大学同窓会青森県支部会, 青森, 2023.3.4.

[業務・活動報告]

[科学研究費補助金]

- 二瓶智太郎(代表), 大橋桂(分担): 耐水性を有するシランカップリング剤の創製と複合材料への応用. 基盤研究(C), 22K10044, 2022~2024年度.

[受託研究・奨学寄附金等]

- 二瓶智太郎: CAD/CAM用ハイブリッドレジンの接着強さに関する研究. 株式会社ジーシー奨学寄附金, 2022年度.
- 二瓶智太郎: レジンコーティング材の効果. サンメディカル株式会社奨学寄附金, 2022年度.
- 二瓶智太郎: 松風ディスクZRルーセントウルトラの特性評価. 株式会社松風委託研究報告書, 2022年度.

〔賞〕

- 下山和夫：日本歯科理工学会功労賞. 日本歯科理工学会. 2022.5.21.
- 片山裕太：日本歯科理工学会株式会社モリタ賞：CAD/CAM用PEEKブロックの特性—機械的性質および接着性について—. 日本歯科理工学会.2022.5.21.
- 片山裕太, 大橋桂, 二瓶智太郎：2022年度日本接着歯学会論文賞：重合性基含有芳香族系シランカップリング処理を施したフィラーを含有する試作コンポジットレジン[®]の耐水性および摩耗性に関する研究. 日本接着歯学会. 2022.6.18.
- 片山裕太, 大橋桂, 岩崎太郎, 亀山祐佳, 和田悠希, 三宅香, 谷本安浩, 二瓶智太郎：優秀論文賞(檜垣賞)：A study on the characteristics of resin composite for provisional restorations. 神奈川歯科大学学会第57回総会. 2022.11.26.
- 片山裕太：研究努力賞. 神奈川歯科大学学会第57回総会. 2022.11.26.
- 榊原潤, 小澤僚太郎, 大野晃教, 熊坂知就, 清宮一秀, 木本克彦, 二瓶智太郎：神奈川歯学論文賞：セルロースナノファイバーのアクリルレジンへの添加効果について. 神奈川歯科大学学会第57回総会. 2022.11.26.

〔報道・記事〕

- 二瓶智太郎：県立横須賀高校がSSH指定校(II期)に. はまかぜ(横須賀・三浦・湘南版), 2022.11.18.

〔その他〕

- 二瓶智太郎：巻頭言 世界はどこへ?!. 接着歯学, 40(1), 2022.
- 二瓶智太郎：誌上体験・神奈川歯科大学② 教授に聞く 一般教養から臨床実習まで, 歯学部での学びの内容を知っておこう. pp.60-68. 歯科医師の未来を考える会編著：人生を豊かにする選択肢 いま再注目される職業 歯科医師になる!. 日労研, 東京, 2022.

▶ 歯科技工学分野

代表者：(代行)清宮一秀

1 | 教員・大学院生・他

診療科助手：清宮一秀, 澁谷勝男, 山谷勝彦, 中静利文, 古川辰之, 飯塚直人,
井上絵理香, 志村昌俊, 尾辻剛

歯科技工士：佐藤笑華

横浜クリニック歯科技工士：佐藤創

2 | 2022年度の活動内容

教育：3年生の「齶蝕歯髄疾患III(Cr)」「咬合回復(Br)」, 4年生「咬合回復III(部分床義歯)」[総合歯科学I(全部床義歯・部分床義歯)]の実習を担当した。実習内で使用する3Dプリンターで製作したデジタルフレームの教材の手配を行い, 5年生の臨床実習ではデジタル歯科技工の一連の流れを中心に病院技工科実習を行った。また, デジタル技術を用いて製作したマウスガードの研

究を行った。そして矯正歯科大学院生に、従来法の歯科矯正装置の製作とデジタル歯科矯正装置の製作方法の指導を行った。

臨床：附属病院からの補綴装置製作依頼年間30,260ケース全ての受注及び入出庫の管理を行った。そして内部製作においては、インプラント上部構造、ジルコニア、金属床、矯正装置など自費診療における複雑な補綴装置の製作を中心に6,632ケースの内部製作を行い、総依頼ケースに対し21.91%の内部製作を行った。

3 | 研究業績

【原著論文】

K22/OP/003 Ohara K, Isshiki Y, Hoshi N, Ohno A, Kawanishi N, Nagashima S, Inoue M, Kubo D, Yamaya K, Inoue E, Kimoto K : Patient satisfaction with conventional dentures vs. digital dentures fabricated using 3D-printing: A randomized crossover trial. Journal of Prosthodontic Research, 66(4), 623-629, 2022.

K22/OP/009 Nagata K, Muromachi K, Kouzai Y, Inaba K, Inoue E, Fuchigami K, Nihei T, Atsumi M, Kimoto K, Kawana H : Fit accuracy of resin crown on a dental model fabricated using fused deposition modeling 3D printing and a polylactic acid filament. Journal of Prosthodontic Research, 67(1), 144-149, 2023.

【その他】

K22/O/010 Okuhama Y, Nagata K, Nakashizu T, Wakamori K, Okubo M, Tsuruoka H, Kawana H : Validation of the Implant Stability Test for Implant Provisional Crowns: An In Vitro Study. Applied Sciences, 13, 3947, 2023. doi: 10.3390/app13063947

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 永田紘大, 淵上慧, 井上絵理香, 鈴木美南子, 星憲幸, 二瓶智太郎, 木本克彦, 渥美美穂子 : 熱溶解積層型3DプリンターとPoly-Lactic Acid(PLA)フィラメントを用いた歯科模型の適合精度の検証. 日本デジタル歯科学会第13回学術大会, 東京, 2022.4.23-24.
- 井上絵理香, 清宮一秀, 古川辰之, 中静利文, 熊坂知就, 川西範繁, 一色ゆかり, 永田紘大, 井上允, 大橋桂, 星憲幸, 二瓶智太郎, 木本克彦 : 神奈川歯科大学附属病院における歯冠補綴装置の使用材料の推移(第二報). 日本デジタル歯科学会第13回学術大会, 東京, 2022.4.23-24.
- 川西範繁, 足立拓也, 長島信太郎, 熊坂知就, 井上絵理香, 中静利文, 清宮一秀, 星憲幸, 木本克彦 : 新規口腔内スキャナーの臨床的精度の検証. 日本デジタル歯科学会第13回学術大会, 東京, 2022.4.23-24.
- 清宮一秀, 岩下英夫, 山谷勝彦, 菌部悠司郎, 福山卓志, 清水統太, 濱野奈穂, 宮本績輔, 井野智 : 学生模型実習用のフレームワーク製作における3Dプリンターの有用性. 日本補綴歯科学会第131回学術大会, ハイブリッド開催(大阪+一部ライブ配信), 2022.7.15-17.
- 若森可奈, 永田紘大, 中静利文, 淵上慧, 北見遼二, 渥美美穂子, 河奈裕正 : 熔融積層造形法3Dプリンターとポリ乳酸フィラメントを用いたインプラント模型の精度. 第52回日本口腔インプラント学会学術大会, 名古屋, 2022.9.23-25.

- 井上絵理香, 清宮一秀, 星憲幸, 木本克彦, 二瓶智太郎: 神奈川歯科大学附属病院における歯冠補綴装置の使用材料の推移(第二報). 令和4年度日本補綴歯科学会西関東支部学術大会, 横浜, 2023.1.8.

▶ 歯科メンテナンス学分野

代表者: (代行) 辻上博美

1 | 教員・大学院生・他

診療科助手: 辻上博美, 茂木智子, 宮本晴美, 澤田しのぶ, 渡邊真由美, 茂木みく, 佐伯彩, 河内恵美, 莊司琴, 東美咲, 喜多早紀, 小和田雅子, 志村菜摘, 菅原美咲, 中島滯, 村田彩, 太田彩香, 鈴木美南子, 横山滉介, 津ヶ谷りさ
歯科衛生士: 森崎裕美, 赤木奈々, 田中里実, 阿部桜子, 外丸亜寿香, 松永唯奈, 守谷華香, 福富もか, 長谷川昌美, 齊藤尚子, 高橋琴音, 藤崎みのり
非常勤歯科衛生士: 松田啓子, 佐々木小百合, 新倉悠里, 小笠原美保

2 | 2022年度の活動内容

教育: 神奈川歯科大学短期大学部及び横浜歯科医療専門学校の歯科衛生学科の学生に対し, 歯科医師・歯科衛生士指導の下, 診療補助・保健指導・予防処置の臨床実習を行い評価した。また, 歯学部学生の臨床実習や臨床研修歯科医の研修においては, 実習・研修が滞りなく実施されるように協力を行った。

臨床: 医療安全・感染対策を常に意識し, 各専門性に応じた診療補助を行い, ブラッシング指導・口腔筋機能療法等の歯科保健指導およびフッ素塗布等の予防処置など口腔管理も積極的に行った。

その他: 各分野の学会や講習会に出席し, 知識技術の向上に努めた。

社会活動: 国際交流として, 台湾の高雄医学大学生の病院見学の協力を行った。

3 | 研究業績

【原著論文】

- K22/OP/037 小松知子, 宋文群, 松澤直子, 萩原大, 永村宗護, 田中直人, 有輪理彦, 大澤智子, 永田康裕, 鎌田有一朗, 横山滉介, 李昌一, 井野智, 櫻井孝: 神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケートー第1報 一次医療機関における調査ー. 障害者歯科, 43, 101-108, 2022.
- K22/OP/038 小松知子, 宋文群, 松澤直子, 萩原大, 永村宗護, 田中直人, 有輪理彦, 大澤智子, 永田康裕, 鎌田有一朗, 横山滉介, 李昌一, 井野智, 櫻井孝: 神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケートー第2報 保健所における調査ー. 障害者歯科, 43, 109-114, 2022.
- K22/OP/039 小松知子, 宋文群, 松澤直子, 萩原大, 永村宗護, 田中直人, 有輪理彦, 大澤智子, 永田康裕, 鎌田有一朗, 横山滉介, 李昌一, 井野智, 櫻井孝: 神奈川県における小児在宅歯科医療の現状に関するアンケートー第3報 障害児発達支援事業所における調査ー. 障害者歯科, 43, 115-120, 2022.

【解説】

- K22/Ex/006 星憲幸, 鈴木美南子, 藤崎みのり, 渡邊真由美, 木本克彦: マイ・カタログ2021 for Digital Age

第17回 メンテナンス用材料(ペースト類)、ブラシ/機器編(前編). QDT, 47, 1260-1266, 2022.

K22/Ex/007 星憲幸, 鈴木美南子, 藤崎みのり, 渡邊真由美, 木本克彦: マイ・カタログ2021 for Digital Age 第18回 メンテナンス用材料(ペースト類)、ブラシ/機器編(中編). QDT, 47, 1384-1389, 2022.

K22/Ex/008 星憲幸, 鈴木美南子, 藤崎みのり, 渡邊真由美, 木本克彦: マイ・カタログ2021 for Digital Age 第19回 メンテナンス用材料(ペースト類)、ブラシ/機器編(後編). QDT, 47, 1516-1521, 2022.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国際学会〕

- 永田紘大, 淵上慧, 井上絵理香, 鈴木美南子, 星憲幸, 二瓶智太郎, 木本克彦, 渥美美穂子: 熱溶解積層型3DプリンターとPoly-Lactic Acid(PLA)フィラメントを用いた歯科模型の適合精度の検証. 日本デジタル歯科学会第13回学術大会, 東京, 2022.4.23-24.
- 阿部桜子, 志村菜摘, 田中里実, 茂木智子, 藤真紀子, 菅原舞美, 中村州臣, 浅里仁, 木本茂成: 日本語でのコミュニケーションが困難な患児や保護者に対する絵カードを用いた口腔衛生指導の試み. 第60回日本小児歯科学会大会, ハイブリッド開催(千葉, Web), 2022.5.19-20.
- 横山滉介, 萩原大, 鎌田有一朗, 原豪志, 高野知子, 李昌一, 小松知子: Down症候群患者のう蝕・歯周病予防における口腔管理について—2症例の歯科との関わりにおける検討—. 日本老年歯科医学会第33回学術大会, 新潟, 2022.6.10-12.
- 横山滉介, 小松知子, 宮本晴美, 福富もか, 辻上博美, 松本文恵, 児玉利朗, 井野智: 大学附属病院における歯科衛生士の業務実態と多職種連携に関する意識調査. 日本歯科衛生学会第17回学術大会, Web開催, 2022.9.18-10.31.
- 志村菜摘: 自閉スペクトラム症の舌小帯短縮症患児に舌小帯切除術とMFTを併用した症例. 日本小児歯科学会第37回関東地方会大会, 取手, 2022.10.16.
- 田中里実, 阿部桜子, 志村菜摘, 永塚綾野, 井上吉登, 浅里仁, 茂木智子, 木本茂成: 当科における嚥下時舌突出癖のある患者に対するMFTについて. 日本小児歯科学会第37回関東地方会大会, 取手, 2022.10.16.
- 横山滉介, 福富もか, 黒田英孝, 森本佳成: 異常絞扼反射を有する患者に対して術前に口腔衛生指導を行った1症例. 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 東京, 2022.10.27-29.
- 萩原大, 小松知子, 横山滉介, 赤坂徹, 並木千鶴, 福富もか, 新倉悠里, 李昌一, 井野智: オンラインを活用した摂食嚥下障害児・者への相談・支援の有用性の検討. 第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 倉敷+一部オンデマンド配信, 2022.11.4-6.
- 森本佳成, 小松知子, 赤坂徹, 林恵美, 萩原大, 宮本晴美, 横山滉介, 多田千晶, 飯田恵理, 高野宏二: 重度循環器疾患を有する知的能力障害者の歯科治療時の周術期管理経験. 第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 倉敷+一部オンデマンド配信, 2022.11.4-6.
- 横山滉介, 小松知子, 宮本晴美, 福富もか, 辻上博美, 松本文恵, 児玉利朗, 井野智: 本学附属

病院および附属横浜クリニックにおける歯科衛生士の業務実態と多職種連携に関する意識調査. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.

- 横山滉介, 黒田英孝, 宮本晴美, 福富もか, 小松知子, 森本佳成: 静脈内鎮静法術前に口腔衛生指導ならびに食生活指導を行った異常絞扼反射を有する患者の1症例. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 井上裕之, 長谷則子, 井出桃, 横山滉介, 小松知子, 伊海芳江, 李昌一, 関端麻美, 吉本夢, 角田晃, 宮城敦, 西村康, 長谷徹: 歯科治療時におけるアルコール関連障害群患者の自律神経解析. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.
- 岩口真路, 石田瞭, 小松知子, 横山史織, 横山滉介, 青木涼平, 宋文群, 戸田真司, 平山暁, 小澤俊彦, 李昌一: 電子スピン共鳴(ESR)法を用いたオキシトシンの酸化ストレスへの基礎的検討. 第35回日本酸化ストレス学会関東支部会, 東京, 2022.12.17.
- 青木涼平, 小松知子, 横山史織, 横山滉介, 宋文群, 戸田真司, 岩口真路, 石田瞭, 平山暁, 小澤俊彦, 李昌一: 電子スピン共鳴(ESR)法を用いたL-アスコルビン酸の酸化ストレスへの基礎的検討. 第35回日本酸化ストレス学会関東支部会, 東京, 2022.12.17.
- 澤田しのぶ, 沢井奈津子, 岩淵博史: 歯科衛生士による機能的口腔管理が症例改善に寄与したと思われた粘膜類4天疱瘡の1例. 第32回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 軽井沢, 2023.3.18-19.

【講演会・セミナー等】

- 辻上博美: 神奈川県歯科衛生士会受託事業養護学校保健指導. 神奈川県武山養護学校, 横須賀, 2022.5.26, 9.13, 9.22. / 神奈川県歯科衛生士会受託事業養護学校保健指導. 神奈川県立金沢養護学校, 横浜, 2022.6.28. / 神奈川県歯科衛生士会受託事業養護学校保健指導. 神奈川県立岩戸養護学校, 横須賀, 2022.7.4, 10.3.
- 横山滉介: 神奈川県歯科衛生士会受託事業養護学校保健指導. 神奈川県立金沢養護学校, 横浜, 2022.6.28, 12.16, 2023.1.27. / ダウン症のある人のお口の健康～成人期を見据えて今からできること～. 第4回ダウン症口腔ケア・フォーラムin神奈川, Zoom配信, 2022.7.3. / 神奈川県歯科衛生士会受託事業養護学校保健指導. 神奈川県立岩戸養護学校, 横須賀, 2022.7.4, 10.3, 2023.1.20. / しいの実学園歯科検診及びブラッシング指導. 社会福祉法人光友会藤沢市太陽の家, 藤沢, 2022.8.2. / 神奈川県歯科衛生士会受託事業養護学校保健指導. 神奈川県武山養護学校, 横須賀, 2022.9.13, 9.22. / 歯科に対する限局性恐怖症患者に対して静脈内鎮静法術前に口腔衛生指導を行った1症例. 令和4年度神奈川県地域歯科医療研修会, 横浜, 2023.2.26.
- 茂木智子: 歯科衛生士が行う口腔筋機能療法(MFT). 神奈川県歯科衛生士会横須賀支部令和4年度研修会, Web, 2023.2.26.

【業務・活動報告】

【賞】

- 横山滉介, 小松知子, 宮本晴美, 福富もか, 辻上博美, 松本文恵, 児玉利朗, 井野智: 優秀ポスター賞: 本学附属病院および附属横浜クリニックにおける歯科衛生士の業務実態と多職種連携に関する意識調査. 神奈川歯科大学学会第57回総会. 2022.11.26.

【報道・記事】

- 茂木智子: 聞きたい授業!舌小帯異常におけるMFT(口腔筋機能療法). 神奈川県神歯大同窓会報, 95, 4, 2022.

- 横山滉介：あなたも一緒に参加してみませんか?～支援学校～. 神奈川県歯科衛生士会会報, 56, 2022.7.1.

[その他]

- 澤田しのぶ：「ドライマウス研究会口腔機能指導員」, 「日本歯科衛生士会 歯科医療安全管理認定衛生士」取得.
- 茂木みく, 長谷川昌美：「ドライマウス研究会口腔機能指導員」取得.
- 志村菜摘：「日本小児歯科学会認定歯科衛生士」取得.
- 赤木奈々, 阿部桜子, 福富もか：「日本歯科麻酔科学会認定歯科衛生士」取得.
- 阿部桜子, 田中里美, 守谷華香：「BLSプロバイダー」取得.

▶ 高度先進歯科メンテナンス学分野 代表者：(代行)山川理代

1 教員・大学院生・他

診療科助手：鈴木英里菜, 高瀬幸子, 杉山郁子, 古谷田啓子, 井上京子, 上田里佳, 山川理代, 田丸麻衣子, 徳増奈央美, 大塚未紗, 小林香菜子, 畑中歩美
 歯科衛生士：磯優菜, 植松里奈, 奥村冬花, 落合直花, 児玉汐里, 小柳淳子, 坂田日菜子, 杉山和日奈, 高橋三奈, 堤良子, 濱野美紗稀, 保母恭子, 松本文恵, 望月美穂, 八木若葉, 山田千恵, 若林絹香, 井手智子(2022年10月から)
 非常勤歯科衛生士：石黒千紘, 中西美貴

2 2022年度の活動内容

教育：短期大学部歯科衛生学科, 新宿医療専門学校, 日本体育大学医療専門学校の学生に臨床実習の場を提供した。また, 知識と技術の向上が図れるよう歯科医師の協力の下診療補助を中心とした実習を行わせるにあたり, 一昨年から継続してPPEの使用や手指衛生の徹底など感染防止対策の重要性についても指導を行った。歯学部学生の臨床実習, 歯科医師臨床実習において安全かつ充実した実習, 研修が行えるよう協力をした。

研究：「口腔内状態と循環器疾患との関連研究」(横浜市立大学附属心臓血管センター内科と歯周療法部門の共同研究)に参加した。

臨床：今年度は積極的に口腔衛生管理を行い9,774件となり, 昨年度の8,983件を上回るメンテナンス数となった。訪問歯科診療に4名の専任衛生士が従事し歯科医師と共に診療を行った。

社会活動：捜真学院(小学校・中等部・高等学部)の歯科検診, 歯科保健指導を歯科医師と共にを行った。

その他：Web・現地開催の学会, セミナーに各自参加し, 知識の向上に努めた。

3 研究業績

【症例報告】

K22/CR/019 高野知子, 鈴木杏奈, 新倉啓太, 高瀬幸子, 植松里奈, 小松知子, 池田正一：顎骨骨髓炎を発症し

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 鈴木英里菜, 尾崎博弥, 尾関佑美, 不島健持: MFT単独で前歯部開口の改善を認めた2症例. 第20回日本口腔筋機能療法(MFT)学会学術大会(MFT研究会創立20周年記念大会), 東京, 2022.10.26-27.
- 杉山郁子, 有坂博史, 高瀬幸子, 麻生綾子, 植松里奈, 齋田菜緒子, 杉田武士, 高野知子: 当科における歯科衛生士による麻酔予約管理の取り組み. 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 東京, 2022.10.27-29.

〔講演会・セミナー等〕

- 小林香菜子, 畑中歩美: RTDモデレーター: 効果をもたらすMFT～問題解決に取り組む～. 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム, 大阪+Web, 2022.10.5-7.

【業務・活動報告】

〔その他〕

- 植松里奈: 一般社団法人日本歯科麻酔学会認定歯科衛生士取得.
- 鈴木英里菜, 小林香菜子, 畑中歩美, 堤良子: 一般社団法人日本歯科審美学会ホワイトニングコーディネーター取得.

その他

1 教員・大学院生・他

特任教授：高垣裕子

2 2022年度の活動内容

教育：大学院医学英語演習科目を担当した。また大学院では、保存修復学分野の大学院生と小児歯科学分野の大学院生に補助指導教員として研究指導を行った。

研究：学内では、短期大学部山本裕子准教授、環境病理学分野と糖尿病モデルラットにおける顎下腺IgAについて共同研究を行った。学外では、公立千歳科学技術大学応用化学生物学科(木村廣美教授)、および北里大学医学部整形外科(高相晶士教授)と共同研究を行った。

主な研究テーマは

- 1) 低出力超音波パルスによる炎症から硬組織(骨や歯根)形成への移行を促進するメカニズム
- 2) 物理的刺激特に波動刺激による硬組織形成
- 3) 共焦点顕微Raman 分光法による骨質歯質の解析
- 4) 破折歯根や歯根の炎症、特にPg菌LPSによる炎症からの修復などである。

3 研究業績

【原著論文】

K22/OP/048 lizuka J, Kunimatsu Y, Mikuni-Takagaki Y, Mukai Y : Evaluation of the mineral-promoting effects of in-office bleaching on experimental subsurface enamel lesions. Dental Materials Journal, 41(4), 589-594, 2022.

4 その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 中島知佳子, 藤田茉衣子, 中村州臣, 日高恒輝, 高垣裕子, 木本茂成：ラット根未完成歯における炎症治癒と根尖閉鎖に関する因子の検証. 第60回日本小児歯科学会大会, ハイブリッド開催(千葉, Web), 2022.5.19-20.
- 山本裕子, 猿田樹理, 坂口和歌子, 窪田展久, 東雅啓, 清水智子, 両角俊哉, 高橋徹, 高垣裕子, 槻木恵一：糖尿病モデルラットにおける顎下腺組織IgA濃度とpIgR発現量の解析. 第76回日本栄養・食糧学会大会, 兵庫, 2022.6.10-12.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 高垣裕子(代表), 平田岳史(分担), 岩崎香子(分担), 河田亮(分担), 川股亮太(分担), 田中佑樹(分

担)：身体不活動が腎疾患に糖尿病を誘発する機序の歩行制限モデルラットにおける解析. 基盤研究(C), 20K11632, 2020～2022年度.

1 | 教員・大学院生・他

特任教授：畑隆一郎

2 | 2022年度の活動内容

研究：ケモカインCXCL14/BRAKは多機能生体防御分子である

我々はCXCL14が多段階がん抑制作用を示す事をこれまでに報告してきた。我々の身体にはおよそ1日の周期を持つ概日リズム(サーカディアンリズム)が存在し、その中枢は脳内の視床下部の視交叉上核に存在する。我々は皮膚にも概日リズムが存在し、CXCL14遺伝子が時計遺伝子により制御されており、細菌(黄色ブドウ球菌)に対する侵襲に対して防御作用を示すことを今回明らかにした。

我々は生体リズムの皮膚での役割を探るために、皮膚の遺伝子発現の時間変化を網羅的に解析した。すると、ケモカインCXCL14が生体リズムに沿った発現変動を示すことを見出した。

即ち、夜行性マウスでは、CXCL14の発現は、昼は高く、夜は低かったのに対し、ヒトと同じ昼行性の霊長類であるコモンマーモセット(小型のサル)では、昼は低く、夜は高かった。リズムミカルに発現したCXCL14は黄色ブドウ球菌のDNAに強く結合し、Toll-like receptor 9 (TLR9)と呼ばれる細菌DNAのセンサー分子を活性化することで、自然免疫を発動し、病原体の過剰増殖から皮膚を保護した。

我々の作成したCXCL14を高く発現するトランスジェニックマウスは細菌感染に対しても抵抗性を示すことが明らかになった。このように、生体リズムは、細菌などの病原体から身体を守る最初の段階で、自然免疫の発動を駆動させることが解明された。

CXCL14の発現制御機構と、作用機構の研究は生体を癌や感染から守る「分子予防医学」の発展に大いに貢献すると考えられる。

3 | 研究業績

【原著論文】

- K22/OP/094 Tsujihana K, Tanegashima K, Santo Y, Yamada H, Akazawa S, Nakao R, Tominaga K, Saito R, Nishito Y, Hata RI, Nakamura T, Murai I, Kono Y, Sugawa M, Tanioka M, Egawa G, Doi M, Isa T, Kabashima K, Hara T, Okamura H : Circadian protection against bacterial skin infection by epidermal CXCL14-mediated innate immunity. Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America, 119(25), e2116027119, 2022. doi: 10.1073/pnas.2116027119
- K22/OP/008 Kanamori K, Ozawa S, Iwabuchi H, Ikoma T, Suzuki K, Tanaka K, Yoshimura Sawai N, Abe T, Kato Y, Hata RI, Kobayashi M : GPRC5B (G protein-coupled receptor class C group 5 member B) suppresses glucose starvation-induced apoptosis in head-and-neck squamous cell carcinoma. Biomedical Research, 44(1), 1-7, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- Kato I, Hata R, Kurata S : TP63(p63) knockout induces epithelial mesenchymal transition through DNA methylation control in squamous cell carcinoma. 第81回日本癌学会学術総会, 横浜, 2022.9.29-10.1.

【業務・活動報告】

〔科学研究費補助金〕

- 小澤重幸(代表), 畑隆一郎(分担), 安部貴大(分担), 讃岐拓郎(分担) : 抗腫瘍性ケモカイン CXCL14C末端ドメインを応用した次世代の癌転移阻害剤の開発. 基盤研究(C), 21K10149, 2021~2023年度.

短期大学部

歯科衛生学科

代表者：角田晃

1 教員・大学院生・他

教授：山田直樹，角田晃，戸田真司
准教授：中向井政子，片岡あい子，山本裕子，山内雅人
助教：関端麻美，吉本夢，小堀陽子，田島小百合，虎谷斉子
助手：堀江茜，伊郷真由，麻生綾子，長谷川(田中)里果
客員教授：金子博嗣，畑良明，鍵和田優佳里
特任教授：荒川浩久，井出桃，梅本俊夫，鈴木幸江，長谷徹，西村康，東一善，宮城敦
特任准教授：伊ヶ崎理佳
特任講師：河合良明，前田信吾，水谷成孝
特任助教：長谷則子

2 2022年度の活動内容

教育：高い専門的知識と技術を備えた歯科衛生士の養成を目指して，教員が一丸となって講義と実習に臨んだ。臨床における体系の理解と基本的事項の習得を目標とした臨床実習Iでは，神奈川歯科大学附属病院ならびに附属横浜クリニックにて実習を行った。歯科衛生士の三大業務(歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療補助)の習得を目指して，①臨床実習III(附属病院先進歯科医療センターにて歯科衛生学科専任教員の指導のもと模擬患者の清掃指導や口腔内の専門的清掃を行う実習)，②臨地実習I(県内の小学校・幼稚園・保育園にて集団歯科保健指導を行う実習)，③臨地実習II(社会福祉施設・保健所に赴き，地域歯科保健事業の在り方を学ぶ実習)は，可能な限り例年通り行ったが，新型コロナウイルスの感染拡大に伴い，実施が不可能な部分についてはできる限り実習内容の質を担保しつつ，代替の実習をもって対応した。選択必修科目としての「海外事情」は，中華民国とフランス共和国に行き，歴史と風土に触れるほか，病院等の医療施設を見学する予定であったが，新型コロナウイルスの世界的感染拡大により中止となり，学生には他の選択科目を履修してもらうことで対応した。歯科衛生士国家試験対策としては，最終学年に所定の教育科目時間の他にも徹底した指導・対策を行い，その結果，合格率100%(全国平均93.0%)を達成した。

研究：神奈川歯科大学教員との共同研究はもちろんのこと，学外の研究者とも積極的に研究を行い，幅広い視点と深い知識を持つべく研鑽を行った。

3 研究業績

【著書】

J22/B&C/001 小堀陽子，片岡あい子：第12章.2. 歯科臨床における院内感染予防. pp.179-183 / 第20章.1. 周術期の口腔衛生管理. pp.284-286. 池邊哲郎，片岡あい子，里見貴史，長尾徹，百田義弘編集委員：口腔外科の治療と診療補助. 永末書店，京都，2023.

J22/B&C/002 荒川浩久：第1章.1. 口腔衛生学の意義. pp.1-2 / 第2章.4. 洗口剤. pp.36-37 / 第3章.3. フッ化物によるう蝕予防. pp.55-72. / 戸田真司：第3章.2. 予防方法. pp.52-54. 荒川浩久, 尾崎哲則, 三宅達郎編集：歯科衛生士テキスト 口腔衛生学—口腔保健統計を含む—. 第4版第4刷, 学建書院, 東京, 2023.

【原著論文】

J22/OP/001 Takuma R, Morozumi T, Yamamoto Y, Kobayashi T, Matsui T, Yoneda M, Kessoku T, (K22/OP/019) Nogami A, Tamura M, Kamata Y, Sugihara S, Nomura Y, To M, Minabe M, Mitsudo K, Nakajima A, Komaki M : Association between Non-Alcoholic Steatohepatitis-Related Hepatocellular Carcinoma and Periodontopathic Bacteria: A Cross-Sectional Pilot Study. Applied Sciences, 13, 3893, 2023. doi: 10.3390/app13063893

【総説】

J22/R/001 戸田真司, 片岡あい子, 角田晃, 宋文群, 石井信之, 長谷徹：COVID-19による大学および短期大学における歯科衛生士教育の変化とこれからの授業方針について. 全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌, 12, 7-23, 2023.

【症例報告】

J22/CR/001 新倉啓太, 高野知子, 鈴木杏奈, 河田亮, 妹尾美幾, 麻生綾子, 小松知子, 池田正一：歯根肥大を認めたMowat-Wilson症候群患者の2症例. 障害者歯科, 43, 143-149, 2022.

【解説】

J22/Ex/001 松尾雅斗, 鍵和田優佳里：ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか. デンタルハイジーン, 42(7), 726-741, 2022.

J22/Ex/002 松尾雅斗, 鍵和田優佳里：ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか 第2回 歯周疾患①～歯肉が赤いのはなぜ～. デンタルハイジーン, 42(8), 826-829, 2022.

J22/Ex/003 松尾雅斗, 鍵和田優佳里：ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか 第3回 歯周疾患②～歯肉の炎症防御機構はどこにある?～. デンタルハイジーン, 42(9), 937-941, 2022.

J22/Ex/004 松尾雅斗, 鍵和田優佳里：ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか 第4回 歯周疾患③～骨がなくなるってどういうこと?～. デンタルハイジーン, 42(10), 1086-1090, 2022.

J22/Ex/005 松尾雅斗, 鍵和田優佳里：ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか 第5回 インプラント①～インプラントと天然歯はどう違う?～. デンタルハイジーン, 42(11), 1163-1168, 2022.

J22/Ex/006 松尾雅斗, 鍵和田優佳里：ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか 第6回 インプラント②～インプラント周囲炎はなぜ起きる?～. デンタルハイジーン, 42(12), 1274-1280, 2022.

J22/Ex/007 松尾雅斗, 鍵和田優佳里：ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか 第7回 移植材による歯槽骨再生療法. デンタルハイジーン, 43(1), 14-20, 2023.

J22/Ex/008 松尾雅斗, 鍵和田優佳里：ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか 第8回 “矯正治療”～歯が動いてどうということ?～. デンタルハイジーン, 43(2), 128-133, 2023.

J22/Ex/009 松尾雅斗, 鍵和田優佳里: ミクロ研究で紐解く 口腔の“なぜ” そのとき口の中では何が起きているのか 第9回(最終回) オーラルバイオロジーに基づいた歯科衛生士になろう. デンタルハイジーン, 43(3), 236-240, 2023.

【その他】

J22/O/001 山田直樹: 歯科衛生士学生教育用口腔内治具と新しい実習評価法—歯科衛生士教育、学生評価への応用—. 神奈川歯科大学短期大学部紀要, 10, 7-13, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 山本裕子, 猿田樹理, 坂口和歌子, 窪田展久, 東雅啓, 清水智子, 両角俊哉, 高橋徹, 高垣裕子, 槻木恵一: 糖尿病モデルラットにおける顎下腺組織IgA濃度とpIgR発現量の解析. 第76回日本栄養・食糧学会大会, 兵庫, 2022.6.10-12.
- 琢磨遼, 両角俊哉, 松井嵩昌, 山本裕子, 結束貴臣, 米田正人, 野上麻子, 小林貴, 杉原俊太郎, 鎌田要平, 田村宗明, 光藤健司, 中島淳, 三邊正人, 小牧基浩: 非アルコール性脂肪性肝炎由来肝細胞がんにおける歯周病の関与. 第65回秋季日本歯周病学会学術大会, 仙台, 2022.9.2-3.
- 山本裕子, 猿田樹理, 坂口和歌子, 東雅啓, 槻木恵一: 米摂取がラット盲腸短鎖脂肪酸濃度と唾液中IgAレベルに与える影響の解析. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- 坂口和歌子, 猿田樹理, 山本裕子, 浜田信城, 槻木恵一: 新型コロナウイルス感染症における舌粘膜の解析. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17-19.
- 山本裕子, 井出桃, 両角俊哉, 猿田樹理, 坂口和歌子, 東雅啓, 清水智子, 槻木恵一: ラード摂取量の違いがラット唾液中IgAレベルに与える影響の検討. 日本歯科衛生学会第17回学術大会, Web開催, 2022.9.18-10.31.
- 小松知子, 宋文群, 永村宗護, 有輪理彦, 大澤智子, 桑名裕一郎, 戸田真司, 松澤直子, 萩原大, 鎌田有一朗, 李昌一, 井野智, 櫻井孝: 小児在宅歯科医療における多職種協働ネットワーク構築に関する研究—第2報: 神奈川県内障害児発達支援事業所における意識調査—. 第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 倉敷+一部オンデマンド配信, 2022.11.4-6.
- 山本裕子, 槻木恵一: 大麦若葉末の摂取がマウス盲腸内容物中短鎖脂肪酸濃度と唾液中IgAレベルに与える効果. 日本食品免疫学会第18回学術大会, 東京, 2022.11.8-11.9.
- 長谷則子, 畑良明, 長谷徹, 西村康: 小学生におけるう蝕の男女差—札幌市白石区某小学校の健診結果から—. 第12回北海道口腔保健学会総会・学術大会, 札幌, 2022.11.12.
- 井上裕之, 長谷則子, 井出桃, 横山滉介, 小松知子, 伊海芳江, 李昌一, 関端麻美, 吉本夢, 角田晃, 宮城敦, 西村康, 長谷徹: 歯科治療時におけるアルコール関連障害群患者の自律神経解析. 第6回臨床自律神経機能Forum, ハイブリッド開催(川崎, オンライン), 2022.11.19.
- 井上裕之, 長谷則子, 井出桃, 横山滉介, 小松知子, 伊海芳江, 李昌一, 関端麻美, 吉本夢, 角田晃, 宮城敦, 西村康, 長谷徹: 歯科治療時におけるアルコール関連障害群患者の自律神経解析. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.

- 琢磨遼, 両角俊哉, 松井嵩昌, 山本裕子, 小牧基浩: 非アルコール性脂肪性肝炎由来肝細胞がんと歯周病の関連. 神奈川歯科大学学会第57回総会, ハイブリッド開催(横須賀, オンライン), 2022.11.26.

[講演会・セミナー等]

- 戸田真司: 健康社会学・口腔衛生学〈地域歯科保健活動の概要〉. 全国歯科衛生士教育協議会2022年度歯科衛生士専任教員講習会II, 横須賀, 2022.8.3.
- 中向井政子: 歯科衛生士による口腔咽頭吸引実習(神奈川県補助金事業). 神奈川県歯科衛生士会2022年度第7回研修会, 横須賀, 2023.3.19.
- 片岡あい子: 歯科衛生学1~3. 全国歯科衛生士教育協議会2022年度歯科衛生士専任教員講習会II, 横須賀, 2022.8.3-4.
- 山本裕子: 食物因子が腸管と唾液腺に与える影響: 唾液中IgAレベルは腸がつかさどる. 第1回日本唾液ケア研究会学術集会, ハイブリッド開催(横浜, オンライン), 2022.11.27. / 新たな生活様式における唾液IgAの意義—体内マスクで病原体から体を守る—. 日本唾液ケア研究会2022年度教育セミナー, 神戸, 2023.3.26.
- 伊ヶ崎理佳: コミュニケーション論〈アサーティブなコミュニケーション〉. 全国歯科衛生士教育協議会2022年度歯科衛生士専任教員講習会II, 横須賀, 2022.8.5.

【業務・活動報告】

[科学研究費補助金]

- 三辺正人(代表), 両角俊哉(分担), 中島淳(分担), 結束貴臣(分担), 宮内睦美(分担), 山本裕子(分担), 鎌田要平(分担): 歯周病と口腔内細菌叢に着目した非アルコール性脂肪性肝炎-肝がん発症予防法の確立. 基盤研究(C), 19K10454, 2019~2022年度.
- 山本裕子(代表): 大腸の短鎖脂肪酸が唾液腺に与える効果の解明—高齢者の肺炎予防を目指して—. 若手研究, 20K18838, 2020~2022年度.
- 両角俊哉(代表), 青木一孝(分担), 山本裕子(分担), 平田貴久(分担), 三辺正人(分担): 歯周病を介した糖尿病性網膜症の発症機序解明—歯科からの新しい予防法の確立—. 基盤研究(C), 21K10222, 2021~2023年度.
- 高橋徹(代表), 久保金弥(分担), 平野好幸(分担), 安川然太(分担), 山本裕子(分担), 安細敏弘(分担), 長岡花恵(分担), 徳永美希(分担), 小野塚実(分担): 唾液分泌は食後血糖上昇緩和の重要な因子となり得るか?. 基盤研究(C), 22K10321, 2022~2024年度.
- 山本裕子(代表), 槻木恵一(分担), 両角俊哉(分担), 高橋徹(分担): 糖尿病が唾液腺に与える影響の解明: IgAに着目した糖尿病患者の感染症予防対策. 基盤研究(C), 22K10355, 2022~2024年度.

1 | 教員・大学院生・他

| | |
|-------|--|
| 教 | 授：石川徳子，棚橋泰之，恩田清美 |
| 准 教 | 授：中村仁志，吉越洋枝，村井みどり，陣立良太 |
| 講 | 師：佐藤由理子，飯塚雅子，池谷理江，博多祐子 |
| 助 | 教：石川智子，北村容子，横正奈緒美，石井一義，上西由美，久保貴巳子， 吉岡貴代，宮山涼子(2023年2月まで) |
| 助 | 手：三國光代，竹内沙耶花，石井玲子 |
| 特 任 教 | 授：川口雅之 |

2 | 2022年度の活動内容

目標1～5を設定し実施した。

1.確かな専門性と豊かな人間性を兼ね備えた看護師の育成

1)カリキュラム改正に向けての準備

2)主体的に確かな知識，技術，科学的根拠を活用しながらヒューマンケアリングに基づく看護実践能力の育成

3)医療従事者として権利を擁護する倫理的な態度やコミュニケーション能力を培う教育

2.看護師国家試験合格率100%目標

3.学生確保と高校との連携強化

4.就職への支援

5.教員への教育体制

教育：私立大学教員倫理綱領に基づき，また3つのポリシーに準じた看護師の育成，新カリキュラムと旧カリキュラムの同時進行，国家試験全員合格に向け教員一同で尽力した。コロナ禍で例年と同様の教育体制ができない状況は続いたが，万全の感染予防を実施しながら対面での授業を増やしカリキュラム運営を行った。臨地実習は，感染状況と実習先の受け入れ体制に柔軟に対応しながら看護実践能力の向上を目指した。2022年2月実施の第112回看護師国家試験は61名が受験し59名が合格，合格率は96.7%で全国平均を上回った。

研究：教員各自がテーマをもって研究に取り組んでいる。研究成果は，所属学会や本学紀要等に公表している。

社会活動：高校への出前講義や来校する高校生に対するプログラムの開催，大手予備校や高校主催の職業説明会・進路相談など広報活動を積極的に行った。また，看護関連団体の役員や講師として社会貢献活動も継続的に取り組んだ。

3 | 研究業績

【原著論文】

J22/OP/002 吉越洋枝，三島富有：Bluetooth[®]機能を活用した聴診学習システムの開発と有用性の調査。ITヘルスケア，17(Suppl.2)，2-5，2022。

【その他】

J22/O/002 久保貴巳子，二見智枝子，塚田ひとみ，豊泉博美，弘末睦子，吉田とも子：アドバンス助産師の働く環境を産科管理者の視点から探る～神奈川県内に勤務する助産師の労働管理の実態調査より～。神奈川母性衛生学会誌，25，28-36，2022。

- J22/O/003 上西由美, 村井美侑, 久保貴巳子: 新型コロナウイルス感染症拡大下における母性看護学実習～マトリックス方式による文献検討～. 神奈川歯科大学短期大学部紀要, 10, 15-23, 2023.
- J22/O/004 吉越洋枝, 石川智子: シミュレーション演習における学生の思考過程の分析. 神奈川歯科大学短期大学部紀要, 10, 25-32, 2023.
- J22/O/005 恩田清美, 上松恵子, 中垣紀子: 保育所における看護師による医療的ケアの業務分析. 小児保健研究, 82(1), 61-68, 2023.

4 | その他の業績・活動

【学会発表】

〔一般発表・国内学会〕

- 石川由美, 棚橋泰之, 他: 急性期病院入院患者のオーラルフレイルに関する調査. 日本歯科衛生学会第17回学術大会, Web開催, 2022.9.18-10.31.
- 吉越洋枝, 三島富有: Bluetooth® 機能を活用した聴診学習システムの開発とその有用性の調査ーBluetooth® 機能を活用した聴診Web教材作成の報告ー. 神奈川歯科大学学会第169回例会, オンライン開催, 2022.10.13.
- 吉越洋枝, 三島富有: Bluetooth® 機能を活用した聴診学習システムの開発と有用性の調査. ITヘルスケア学会第15回年次学術大会, 千葉, 2022.10.15-16.
- 石川智子, 石川徳子, 村井美侑, 飯塚雅子: シミュレーション教育を用いた「看護技術の統合」演習の評価. 第4回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会, 明石, 2023.2.18.
- 三島富有, 吉越洋枝, 山本龍生: 看護大学生を対象としたオーラルフレイルの認知度および口腔機能との関係調査ーオーラルフレイルスクリーニングの結果に焦点を当てて(中間報告)ー. 東都大学沼津キャンパス第2回学術研究会, 2023.3.22.

〔講演会・セミナー等〕

- 棚橋泰之: POSの基礎と看護診断の活用. 東北公済病院, 仙台, 2022.5.21. / 初年度研修 NANDA-I(基礎編①). 神奈川県立がんセンター, 横浜, 2022.5.30. / 初年度研修NANDA-I(基礎編②). 神奈川県立がんセンター, 横浜, 2022.6.9. / 看護研究とは. 水府病院, 水戸, 2022.6.25. / ケア論. 歯科衛生士専任教員講習会, 横須賀, 2022.8.2. / 看護過程の基礎. 長野県看護協会臨地実習指導者講習会, 松本, 2022.9.26. / 看護過程の展開①. 長野県看護協会臨地実習指導者講習会, 松本, 2022.10.3. / 看護過程の展開②. 長野県看護協会臨地実習指導者講習会, 松本市, 2022.10.12. / 看護部ラダー研修「理論と実践」. 旭川医科大学附属病院, 旭川, 2022.11.5. / 新人看護師研修会 NANDA-I看護診断 基礎編. 東京ベイ市川・浦安医療センター, 市川, 2022.11.26. / 看護研究・事例検討発表会. 東北公済病院, 仙台, 2022.12.3. / 新人看護師研修会 NANDA-I看護診断 実践編. 東京ベイ市川・浦安医療センター, 市川, 2023.1.28. / 看護研究・事例検討発表会. 水府病院, 水戸, 2023.3.25.
- 飯塚雅子: 医療現場における看護の仕事. 緑ヶ丘女子高等学校, 横須賀, 2022.7.27. / 口腔咽頭吸引の実施に関わる基本的知識及び実習. 神奈川県歯科衛生士会, 横須賀, 2023.3.19.
- 北村容子: 口腔咽頭吸引の実施に関わる基本的知識及び実習. 神奈川県歯科衛生士会, 横須賀, 2023.3.19.

- 横正奈緒美：口腔咽頭吸引の実施に関わる基本的知識及び実習. 神奈川県歯科衛生士会, 横須賀, 2023.3.19.

【業務・活動報告】

〔問題集の解説〕

- 博多祐子：別冊.第111回看護師国家試験問題 解答・解説. 一次予防、認知行動療法、就労移行支援. pp.20 / 神経性無食欲症の観察項目・過度な運動をしている患者へのかかわり・家族療法.pp.42-43 / 統合失調症患者の情報収集・家族心理療法・退院に向けた支援精神科デイケア.pp.46-47 / 大量飲酒の振戦せん妄、二重拘束、精神保健福祉法防衛機制、自閉症スペクトラム障害にみられる特徴. pp68-69 / 修正型電気けいれん療法. pp75 / うつ病患者の看護・服薬の重要性・リワーク支援. pp.88-89. メヂカルフレンド社編集部編集：2023年度版看護師国家試験問題解答・解説, メヂカルフレンド社, 東京, 2022.

〔その他〕

- 棚橋泰之：日本私立系看護大学協議会理事.
- 石川徳子:一般社団法人空と花代表理事.
- 石川徳子：天使大学同窓会関東支部役員監査.
- 中村仁志：国立病院機構久里浜医療センター医療観察法病棟外部評価会議委員.
- 中村仁志：神奈川県看護師等養成機関連絡協議会委員.
- 久保貴巳子：公益社団法人日本助産師会安全対策小委員会.
- 久保貴巳子：公益社団法人神奈川県助産師会.

索引

あ

- 青木(三宅)香…………… K22/OP/093(145)
青山典生…………… K22/OP/002(5, 40, 81)
…………… K22/OP/050(81)
…………… K22/OP/051(81)
…………… K22/OP/052(81)
…………… K22/OP/053(81)
秋山広希…………… K22/OP/023(24, 97)
浅里仁…………… K22/B&C/035(113)
…………… K22/OP/016(13, 16, 37, 52, 113)
…………… K22/OP/078(113)
…………… K22/OP/079(113)
麻生綾子… K22/CR/004(22, 124, 129, 159)
…………… J22/CR/001(159)
足立拓也…………… K22/OP/004(6, 86)
渥美美穂子… K22/OP/009(6, 34, 77, 86, 107, 145, 149)
…………… K22/OP/073(107)
安部貴大…………… K22/B&C/029(94)
…………… K22/OP/008(6, 94, 156)
…………… K22/CR/009(94)
天野カオリ…………… K22/CR/003(19, 20)
荒川浩久…………… K22/B&C/009(24)
…………… K22/B&C/010(24)
…………… K22/OP/022(24, 44)
…………… J22/B&C/002(159)
荒川勇喜…………… K22/B&C/019(44)
有坂博史…………… K22/B&C/040(124)
…………… K22/OP/085(124)
…………… K22/CR/018(124)
有輪政尊…………… K22/OP/068(100)
安藤友紀…………… K22/B&C/022(67)
…………… K22/OP/047(67)
- 飯塚純子…………… K22/OP/048(73, 155)
飯村彰…………… K22/OP/017(18)
井口恵一朗… K22/OP/005(6, 24, 97, 100, 103, 113)
…………… K22/OP/065(100)
池上匡…………… K22/CR/005(56)
池田正一… K22/CR/004(22, 124, 129, 159)
…………… K22/CR/019(129, 153)
…………… J22/CR/001(159)
池中僚亮…………… K22/OP/066(100)
…………… K22/CR/001(6, 100)
生駒丈晴…………… K22/OP/008(6, 94, 156)
石井滋… K22/OP/005(6, 24, 97, 100, 103, 113)
…………… K22/OP/023(24, 97)
…………… K22/OP/061(97)
石井信之…………… K22/B&C/026(77)
…………… K22/OP/012(12, 33, 37, 77)
…………… K22/R/013(45, 77, 159)
…………… K22/R/018(77)
…………… K22/CR/006(77)
…………… K22/Ex/024(77)
…………… J22/R/001(159)
石井貴和…………… K22/T/002(103)
石川智子…………… J22/O/004(163)
泉雅浩…………… K22/B&C/037(117)
…………… K22/CR/002(6, 118)
板宮朋基…………… K22/B&C/004(12)
…………… K22/Ex/012(13)
市ヶ谷成美…………… K22/OP/004(6, 86)
市邊義章…………… K22/OP/045(67)
…………… K22/OP/046(67)
…………… K22/OP/047(67)
…………… K22/O/008(67)
居作和人… K22/OP/016(13, 16, 37, 52, 113)
一色ゆかり…………… K22/B&C/028(90)
…………… K22/OP/003(6, 86, 91, 149)
…………… K22/OP/057(91)
…………… K22/OP/058(91, 136)
稲葉啓太郎… K22/OP/009(6, 34, 77, 86, 107, 145, 149)
…………… K22/OP/014(12, 16, 32, 34)
…………… K22/OP/030(34, 86, 107)

い

- 李正姫…………… K22/OP/011(12)
…………… K22/OP/013(12)

..... K22/R/008(34)
 井野智 ... K22/OP/037(44, 47, 91, 117, 129, 150)
 ... K22/OP/038(44, 47, 91, 118, 129, 150)
 ... K22/OP/039(44, 47, 91, 118, 129, 150)
 K22/OP/056(91)
 K22/OP/057(91)
 井上絵理香 ... K22/OP/003(6, 86, 91, 149)
 ... K22/OP/009(6, 34, 77, 86, 107, 145, 149)
 井上允 K22/OP/003(6, 86, 91, 149)
 K22/OP/010(6, 81, 86, 91, 118)
 K22/OP/041(58, 86)
 井上吉登 ... K22/OP/005(6, 24, 97, 100, 103, 113)
 今泉うの K22/OP/084(120)
 K22/CR/014(120)
 K22/CR/015(120)
 K22/CR/016(120)
 K22/CR/017(120)
 K22/Ex/032(121)
 伊村美希 K22/OP/084(120)
 入江浩一郎 K22/B&C/016(40)
 K22/OP/034(40)
 岩城慶大 K22/OP/044(64)
 岩下英夫 K22/OP/056(91)
 K22/OP/057(91)
 岩田敏男 K22/CR/010(101)
 岩淵博史 K22/OP/006(6, 94)
 K22/OP/008(6, 94, 156)
 岩本津和 K22/OP/085(124)

う

上田晴香 K22/OP/002(5, 40, 81)
 植松里奈 K22/CR/019(129, 153)

お

大川公子 K22/OP/057(91)
 大久保学 K22/O/010(107, 149)
 大谷茉衣子 K22/OP/078(113)
 K22/OP/079(113)
 大塚剛郎 K22/OP/066(100)
 K22/OP/067(100)
 大野晃教 K22/OP/003(6, 86, 91, 149)
 大橋桂 K22/OP/055(86, 145)

..... K22/OP/093(145)
 K22/Ex/001(7, 87, 145)
 K22/Ex/002(7, 87, 145)
 小口岳史 K22/OP/015(13, 16, 18, 145)
 K22/OP/017(18)
 K22/CR/003(19, 20)
 奥濱裕里恵 K22/OP/073(107)
 K22/O/010(107, 149)
 奥村由香 K22/OP/064(100)
 尾崎博弥 K22/OP/060(94, 103)
 小澤重幸 K22/OP/008(6, 94, 156)
 小澤真奈美 K22/OP/023(24, 97)
 恩田清美 J22/O/005(163)

か

香川恵太 K22/OP/084(120)
 鍵和田優佳里 K22/Ex/013(20, 159)
 K22/Ex/014(20, 159)
 K22/Ex/015(20, 159)
 K22/Ex/016(20, 159)
 K22/Ex/017(20, 159)
 K22/Ex/018(20, 159)
 K22/Ex/019(21, 159)
 K22/Ex/020(21, 159)
 K22/Ex/021(21, 160)
 J22/Ex/001(159)
 J22/Ex/002(159)
 J22/Ex/003(159)
 J22/Ex/004(159)
 J22/Ex/005(159)
 J22/Ex/006(159)
 J22/Ex/007(159)
 J22/Ex/008(159)
 J22/Ex/009(160)
 片岡あい子 K22/R/013(45, 77, 159)
 J22/B&C/001(158)
 J22/R/001(159)
 片桐法香 K22/B&C/038(119)
 K22/T/007(121)
 片山裕太 K22/OP/055(86, 145)
 K22/OP/093(145)
 加藤ともみ K22/OP/078(113)
 K22/OP/079(113)
 加藤浩一 K22/O/001(7)

金森慶亮 …………… K22/OP/008(6, 94, 156)
 金子大 …………… K22/OP/084(120)
 鎌田要平 …… K22/OP/019(20, 25, 81, 110, 159)
 …………… K22/OP/020(24, 33, 64, 81, 110)
 …………… K22/OP/024(24, 34, 64, 81, 110)
 …………… J22/OP/001(159)
 上西由美 …………… J22/O/003(163)
 亀山祐佳 …………… K22/OP/093(145)
 蒲生真里 …………… K22/OP/047(67)
 川合暢彦 …………… K22/OP/070(103)
 …………… K22/OP/071(103)
 …………… K22/OP/072(103)
 河田亮 …… K22/CR/004(22, 124, 129, 159)
 …………… J22/CR/001(159)
 河奈裕正 …………… K22/B&C/032(106)
 …………… K22/B&C/033(106)
 …… K22/OP/009(6, 34, 77, 86, 107, 145, 149)
 …………… K22/OP/030(34, 86, 107)
 …………… K22/OP/073(107)
 …………… K22/OP/074(107)
 …………… K22/CR/011(107)
 …………… K22/O/010(107, 149)
 川西範繁 …… K22/OP/003(6, 86, 91, 149)
 …………… K22/OP/004(6, 86)
 …………… K22/CR/007(86)
 …………… K22/Ex/003(7, 87)
 …………… K22/Ex/004(7, 87)
 …………… K22/Ex/005(7, 87)
 川村和章 …………… K22/B&C/019(44)
 …………… K22/B&C/020(44)
 …………… K22/OP/022(24, 44)
 …………… K22/OP/036(40, 44, 73)

き

北村公 …………… K22/OP/023(24, 97)
 城戸幹太 …………… K22/OP/081(120)
 …………… K22/OP/084(120)
 …………… K22/CR/013(120)
 …………… K22/CR/016(120)
 …………… K22/Ex/028(94, 121)
 君島真純 …………… K22/B&C/022(67)
 …………… K22/OP/046(67)
 …………… K22/OP/047(67)
 木本一成 …………… K22/B&C/017(44)

…………… K22/B&C/018(44)
 …………… K22/R/012(45)
 …………… K22/O/005(45)
 木本克彦 …………… K22/B&C/001(5, 85)
 …………… K22/OP/003(6, 86, 91, 149)
 …………… K22/OP/004(6, 86)
 …………… K22/OP/007(6, 86)
 …… K22/OP/009(6, 34, 77, 86, 107, 145, 149)
 …………… K22/OP/018(20, 86)
 …………… K22/OP/030(34, 86, 107)
 …………… K22/OP/041(58, 86)
 …………… K22/OP/054(86)
 …………… K22/OP/055(86, 145)
 …………… K22/R/016(58, 86)
 …………… K22/Ex/001(7, 87, 145)
 …………… K22/Ex/002(7, 87, 145)
 …………… K22/Ex/003(7, 87)
 …………… K22/Ex/004(7, 87)
 …………… K22/Ex/005(7, 87)
 …………… K22/Ex/006(7, 87, 150)
 …………… K22/Ex/007(7, 87, 151)
 …………… K22/Ex/008(7, 87, 151)
 …………… K22/Ex/009(7, 87)
 …………… K22/Ex/010(7, 87)
 …………… K22/Ex/025(87)
 …………… K22/Ex/026(87)
 …………… K22/Ex/027(87)
 木本茂成 …………… K22/B&C/034(113)
 …………… K22/B&C/035(113)
 …………… K22/B&C/036(113)
 …… K22/OP/005(6, 24, 97, 100, 103, 113)
 …………… K22/OP/076(113)
 …………… K22/OP/078(113)
 …………… K22/OP/079(113)
 …………… K22/Ex/029(114)
 …………… K22/O/011(114)
 …………… K22/O/012(114)

<

國松雄一 …………… K22/OP/048(73, 155)
 久保貴巳子 …………… J22/O/002(162)
 …………… J22/O/003(163)
 久保大二郎 …… K22/OP/003(6, 86, 91, 149)
 …………… K22/CR/008(87)

窪田光慶 …… K22/OP/016(13, 16, 37, 52, 113)
 倉橋絢子 …… K22/R/008(34)
 栗橋健夫 …… K22/OP/020(24, 33, 64, 81, 110)
 …… K22/OP/024(24, 34, 64, 81, 110)
 …… K22/OP/043(64)
 …… K22/OP/044(64)
 …… K22/Ex/023(65)
 栗原彩花 …… K22/OP/047(67)
 栗本勇輝 …… K22/OP/015(13, 16, 18, 145)
 …… K22/OP/016(13, 16, 37, 52, 113)
 黒田哲郎 …… K22/OP/055(86, 145)
 黒田英孝 …… K22/OP/080(119)
 …… K22/OP/082(120)
 …… K22/OP/083(120)
 …… K22/OP/084(120)
 …… K22/R/022(120)
 …… K22/CR/016(120)
 …… K22/Ex/031(121)
 …… K22/O/013(121)

け

結束貴臣 …… K22/OP/044(64)

こ

小泉創 …… K22/B&C/030(100)
 …… K22/OP/064(100)
 …… K22/OP/065(100)
 …… K22/OP/066(100)
 …… K22/OP/067(100)
 …… K22/OP/068(100)
 …… K22/OP/069(100)
 …… K22/CR/001(6, 100)
 …… K22/CR/010(101)
 香西雄介 …… K22/OP/009(6, 34, 77, 86, 107, 145, 149)
 …… K22/CR/002(6, 118)
 小枝(小栗)聡子 …… K22/OP/061(97) ←
 小島康佑 …… K22/OP/075(110)
 …… K22/CR/012(110)
 小瀬貴之 …… K22/T/004(110)
 後関利明 …… K22/OP/045(67)
 …… K22/OP/046(67)
 児玉利朗 …… K22/OP/020(24, 33, 64, 81, 110)

※追加 …… K22/OP/023(24, 97)

…… K22/OP/024(24, 34, 64, 81, 110, 159)
 …… K22/OP/075(110)
 …… K22/CR/012(110)
 小林優 …… K22/OP/008(6, 94, 156)
 …… K22/OP/060(94, 103)
 …… K22/R/019(94, 103)
 小堀陽子 …… J22/B&C/001(158)
 小牧基浩 …… K22/OP/010(6, 81, 86, 91, 118)
 …… K22/OP/019(20, 25, 81, 110, 159)
 …… K22/OP/049(80)
 …… J22/OP/001(159)
 小松知子 …… K22/B&C/041(128)
 …… K22/B&C/042(128)
 …… K22/B&C/043(128)
 …… K22/OP/037(44, 47, 91, 117, 129, 150)
 …… K22/OP/038(44, 47, 91, 118, 129, 150)
 …… K22/OP/039(44, 47, 91, 118, 129, 150)
 …… K22/OP/091(129)
 …… K22/R/014(47, 129)
 …… K22/CR/004(22, 124, 129, 159)
 …… K22/CR/019(129, 153)
 …… K22/Ex/033(129)
 …… K22/Ex/034(129)
 …… K22/TB/001(129)
 …… J22/CR/001(159)
 小山未来 …… K22/T/003(103)
 近藤忠稚 …… K22/OP/061(97)

さ

坂口和歌子 …… K22/B&C/006(23, 110)
 …… K22/B&C/011(24)
 …… K22/OP/005(6, 24, 97, 100, 103, 113)
 …… K22/OP/023(24, 97)
 坂見嗟由里 …… K22/OP/078(113)
 …… K22/OP/079(113)
 櫻井藍子 …… K22/OP/045(67)
 …… K22/OP/047(67)
 …… K22/O/009(67)
 櫻井孝 …… K22/B&C/037(117)
 …… K22/OP/010(6, 81, 86, 91, 118)
 …… K22/OP/037(44, 47, 91, 117, 129, 150)
 …… K22/OP/038(44, 47, 91, 118, 129, 150)
 …… K22/OP/039(44, 47, 91, 118, 129, 150)
 …… K22/CR/002(6, 118)

佐藤五月 … K22/OP/020(24, 33, 64, 81, 110)
…………… K22/OP/024(24, 34, 64, 81, 110)
佐藤武則 …… K22/OP/012(12, 33, 37, 77)
佐藤允俊 …… K22/OP/005(6, 24, 97, 100, 103, 113)
讚岐拓郎 …… K22/B&C/039(119)
…………… K22/OP/084(120)
…………… K22/R/021(120)
…………… K22/R/023(120)
…………… K22/CR/014(120)
…………… K22/Ex/030(121)
…………… K22/Ex/032(121)
…………… K22/O/013(121)
猿田樹理 …… K22/OP/001(5)
… K22/OP/005(6, 24, 97, 100, 103, 113)
…………… K22/R/001(6)
沢井奈津子 …… K22/OP/006(6, 94)
…………… K22/OP/008(6, 94, 156)
…………… K22/CR/001(6, 100)

し

椎谷亨 …… K22/OP/036(40, 44, 73)
清水統太 …… K22/OP/010(6, 81, 86, 91, 118)
…………… K22/OP/057(91)
清水智子 …… K22/B&C/006(23, 110)
…………… K22/OP/020(24, 33, 64, 81, 110)
…………… K22/OP/024(24, 34, 64, 81, 110)
菅谷彰 …… K22/B&C/005(16)
…………… K22/OP/015(13, 16, 18, 145)
…………… K22/OP/016(13, 16, 37, 52, 113)
杉田武士 …… K22/OP/085(124)
…………… K22/CR/018(124)
杉之内有希 …… K22/OP/064(100)
…………… K22/OP/067(100)
杉原俊太郎 …… K22/OP/010(6, 81, 86, 91, 118)
…………… K22/OP/019(20, 25, 81, 110, 159)
…………… K22/OP/049(80)
…………… J22/OP/001(159)
鈴木杏奈 …… K22/CR/004(22, 124, 129, 159)
…………… K22/CR/019(129, 153)
…………… J22/CR/001(159)
鈴木健司 …… K22/OP/008(6, 94, 156)
鈴木二郎 …… K22/CR/006(77)
鈴木美南子 …… K22/Ex/006(7, 87, 150)
…………… K22/Ex/007(7, 87, 151)

…………… K22/Ex/008(7, 87, 151)
妹尾美幾 …… K22/OP/085(124)
…………… K22/CR/004(22, 124, 129, 159)
…………… J22/CR/001(159)

そ

宋文群 …… K22/B&C/019(44)
…………… K22/B&C/020(44)
…………… K22/OP/022(24, 44)
… K22/OP/037(44, 47, 91, 117, 129, 150)
… K22/OP/038(44, 47, 91, 118, 129, 150)
… K22/OP/039(44, 47, 91, 118, 129, 150)
…………… K22/R/013(45, 77, 159)
…………… J22/R/001(159)
曾根崇晴 …… K22/CR/012(110)
菌部悠司郎 …… K22/OP/057(91)

た

高垣裕子 …… K22/OP/048(73, 155)
高瀬幸子 …… K22/CR/019(129, 153)
高野知子 …… K22/CR/004(22, 124, 129, 159)
…………… K22/CR/019(129, 153)
…………… J22/CR/001(159)
高橋聡子 …… K22/B&C/012(30, 32)
高橋俊介 …… K22/B&C/012(30, 32)
財部祐輔 …… K22/OP/018(20, 86)
琢磨遼 …… K22/OP/010(6, 81, 86, 91, 118)
…………… K22/OP/019(20, 25, 81, 110, 159)
…………… K22/OP/049(80)
…………… K22/T/001(81)
…………… J22/OP/001(159)
辰野雄一 …… K22/OP/086(126)
田中香衣 …… K22/OP/008(6, 94, 156)
…………… K22/OP/059(94)
…………… K22/Ex/028(94, 121)
田中洋平 …… K22/OP/086(126)
…………… K22/OP/088(126)
谷口紀江 …… K22/CR/002(6, 118)
玉置勝司 …… K22/OP/058(91, 136)
…………… K22/OP/092(136)
…………… K22/Ex/035(136)
…………… K22/Ex/036(136)

つ

槻木恵一 …… K22/B&C/006(23, 110)
…………… K22/B&C/007(23)
…………… K22/B&C/008(23)
…………… K22/B&C/011(24)
… K22/OP/005(6, 24, 97, 100, 103, 113)
…………… K22/OP/021(24)
…………… K22/OP/023(24, 97)
…………… K22/OP/025(24)
…………… K22/OP/026(25)
…………… K22/OP/027(25)
…………… K22/R/002(25)
…………… K22/R/003(25)
…………… K22/R/004(25)
…………… K22/R/005(25)
…………… K22/R/006(25)
…………… K22/R/007(25)
…………… K22/O/003(25)
…………… K22/O/004(25)
辻村有哉 …… K22/OP/056(91)
…………… K22/OP/057(91)
角井早紀 …… K22/OP/055(86, 145)
角田晃 …… K22/R/013(45, 77, 159)
…………… J22/R/001(159)
鶴岡隼人 …… K22/OP/073(107)
…………… K22/O/010(107, 149)

と

東雅啓 …… K22/OP/018(20, 86)
…………… K22/OP/019(20, 25, 81, 110, 159)
…………… K22/CR/003(19, 20)
…………… K22/O/002(21)
…………… J22/OP/001(159)
遠山歳三 …… K22/OP/014(12, 16, 32, 34)
戸田真司 …… K22/R/013(45, 77, 159)
…………… J22/B&C/002(159)
…………… J22/R/001(159)
富田凜太郎 …… K22/OP/041(58, 86)
富山潔 …… K22/R/017(73)

な

中静利文 …… K22/O/010(107, 149)
長島信太郎 …… K22/OP/003(6, 86, 91, 149)
永田紘大 …… K22/OP/009(6, 34, 77, 86, 107, 145, 149)
…………… K22/OP/030(34, 86, 107)
…………… K22/OP/073(107)
…………… K22/O/010(107, 149)
長谷徹 …… K22/R/013(45, 77, 159)
…………… J22/R/001(159)
中村篤 …… K22/OP/023(24, 97)
…………… K22/OP/061(97)
中村州臣 …… K22/OP/078(113)
南雲達人 …… K22/OP/023(24, 97)
…………… K22/OP/061(97)

に

新倉啓太 …… K22/CR/004(22, 124, 129, 159)
…………… K22/CR/019(129, 153)
…………… J22/CR/001(159)
二階堂修 …… K22/OP/069(100)
西嶋仁美 …… K22/OP/086(126)
…………… K22/OP/087(126)
西村允貴 …… K22/T/005(110)
二瓶智太郎 …… K22/B&C/045(144)
…………… K22/B&C/046(144)
… K22/OP/009(6, 34, 77, 86, 107, 145, 149)
…………… K22/OP/015(13, 16, 18, 145)
…………… K22/OP/055(86, 145)
…………… K22/OP/093(145)
…………… K22/P/001(145)

は

萩原大 …… K22/OP/037(44, 47, 91, 117, 129, 150)
…………… K22/OP/038(44, 47, 91, 118, 129, 150)
… K22/OP/039(44, 47, 91, 118, 129, 150)
朴熙泰 …… K22/OP/062(100)
…………… K22/OP/063(100)
…………… K22/OP/069(100)
橋本達夫 …… K22/OP/042(63)
長谷川巖 …… K22/B&C/021(49)

畑隆一郎 …………… K22/OP/008(6, 94, 156)
 …………… K22/OP/094(156)
 皇中玲奈 …………… K22/B&C/030(100)
 …………… K22/OP/065(100)
 …………… K22/OP/067(100)
 花岡孝治 …… K22/OP/016(13, 16, 37, 52, 113)
 浜田信城 …… K22/OP/012(12, 33, 37, 77)
 …………… K22/OP/014(12, 16, 32, 34)
 …………… K22/OP/020(24, 33, 64, 81, 110)
 …………… K22/OP/024(24, 34, 64, 81, 110)
 …………… K22/OP/028(33)
 …………… K22/OP/029(34)
 …………… K22/R/008(34)
 …………… K22/Ex/022(34)
 濱野奈穂 …………… K22/OP/056(91)
 …………… K22/OP/057(91)
 林恵美 …………… K22/OP/086(126)
 …………… K22/OP/087(126)
 …………… K22/OP/088(126)
 林田丞太 …… K22/OP/015(13, 16, 18, 145)
 原豪志 …………… K22/OP/090(128)
 …………… K22/OP/091(129)
 …………… K22/O/014(129)
 半田慶介 …………… K22/B&C/013(37)
 …………… K22/OP/031(37)

ひ

疋田悠 …………… K22/OP/063(100)
 …………… K22/OP/064(100)
 …………… K22/OP/067(100)

ふ

福山卓志 …………… K22/OP/056(91)
 …………… K22/OP/057(91)
 藤岡隼 …… K22/OP/014(12, 16, 32, 34)
 藤崎みのり …… K22/Ex/006(7, 87, 150)
 …………… K22/Ex/007(7, 87, 151)
 …………… K22/Ex/008(7, 87, 151)
 藤田紗英子 …… K22/OP/016(13, 16, 37, 52, 113)
 不島健持 …………… K22/B&C/031(103)
 …………… K22/OP/060(94, 103)
 …………… K22/OP/070(103)

…………… K22/R/019(94, 103)
 淵上慧 …………… K22/B&C/032(106)
 …………… K22/B&C/033(106)
 …… K22/OP/009(6, 34, 77, 86, 107, 145, 149)
 瀧田慎也 …………… K22/B&C/003(5)
 …………… K22/B&C/016(40)
 …………… K22/OP/002(5, 40, 81)
 …………… K22/OP/010(6, 81, 86, 91, 118)

へ

別部智司 …………… K22/B&C/039(119)
 …………… K22/CR/014(120)
 …………… K22/CR/015(120)
 …………… K22/CR/016(120)
 …………… K22/CR/017(120)
 …………… K22/Ex/032(121)

ほ

北條彩和子 …………… K22/OP/075(110)
 …………… K22/CR/012(110)
 星憲幸 …………… K22/B&C/001(5, 85)
 …………… K22/B&C/002(5)
 …………… K22/OP/003(6, 86, 91, 149)
 …………… K22/OP/004(6, 86)
 …………… K22/OP/007(6, 86)
 …………… K22/OP/018(20, 86)
 …………… K22/Ex/001(7, 87, 145)
 …………… K22/Ex/002(7, 87, 145)
 …………… K22/Ex/003(7, 87)
 …………… K22/Ex/004(7, 87)
 …………… K22/Ex/005(7, 87)
 …………… K22/Ex/006(7, 87, 150)
 …………… K22/Ex/007(7, 87, 151)
 …………… K22/Ex/008(7, 87, 151)
 …………… K22/Ex/009(7, 87)
 …………… K22/Ex/010(7, 87)
 …………… K22/Ex/011(7)
 本間優太 …………… K22/OP/041(58, 86)

ま

前畑香 …… K22/OP/058(91, 136)
松井嵩昌 …… K22/OP/019(20, 25, 81, 110, 159)
…………… J22/OP/001(159)
松尾雅斗 …… K22/OP/018(20, 86)
…………… K22/CR/003(19, 20)
…………… K22/Ex/013(20, 159)
…………… K22/Ex/014(20, 159)
…………… K22/Ex/015(20, 159)
…………… K22/Ex/016(20, 159)
…………… K22/Ex/017(20, 159)
…………… K22/Ex/018(20, 159)
…………… K22/Ex/019(21, 159)
…………… K22/Ex/020(21, 159)
…………… K22/Ex/021(21, 160)
…………… J22/Ex/001(159)
…………… J22/Ex/002(159)
…………… J22/Ex/003(159)
…………… J22/Ex/004(159)
…………… J22/Ex/005(159)
…………… J22/Ex/006(159)
…………… J22/Ex/007(159)
…………… J22/Ex/008(159)
…………… J22/Ex/009(160)
松澤直子 …… K22/OP/037(44, 47, 91, 117, 129, 150)
…………… K22/OP/038(44, 47, 91, 118, 129, 150)
…………… K22/OP/039(44, 47, 91, 118, 129, 150)
真鍋雄太 …… K22/OP/040(58)
…………… K22/OP/041(58, 86)
…………… K22/R/015(58)
…………… K22/R/016(58, 86)
…………… K22/O/006(58)
…………… K22/O/007(58)

み

美久月瑠宇 …… K22/OP/086(126)
…………… K22/OP/087(126)
…………… K22/OP/088(126)
…………… K22/OP/089(126)
三橋晃 …… K22/B&C/044(140)
三辺正人 …… K22/OP/019(20, 25, 81, 110, 159)
…………… K22/OP/020(24, 33, 64, 81, 110)

…………… K22/OP/024(24, 34, 64, 81, 110)
…………… J22/OP/001(159)
三宅忠隆 …… K22/OP/057(91)

む

向井義晴 …… K22/B&C/023(73)
…………… K22/B&C/024(73)
…………… K22/B&C/025(73)
…………… K22/OP/036(40, 44, 73)
…………… K22/OP/048(73, 155)
…………… K22/R/017(73)
村井みどり(美俘) …… J22/O/003(163)
室町幸一郎 …… K22/OP/009(6, 34, 77, 86, 107, 145, 149)
…………… K22/CR/006(77)

も

持田悠貴 …… K22/B&C/003(5)
…………… K22/B&C/016(40)
…………… K22/OP/002(5, 40, 81)
…………… K22/OP/032(40)
森本佳成 …… K22/OP/086(126)
…………… K22/OP/087(126)
…………… K22/OP/088(126)
両角俊哉 …… K22/B&C/027(80)
…………… K22/OP/010(6, 81, 86, 91, 118)
…………… K22/OP/019(20, 25, 81, 110, 159)
…………… K22/OP/020(24, 33, 64, 81, 110)
…………… K22/OP/024(24, 34, 64, 81, 110)
…………… K22/OP/049(80)
…………… J22/OP/001(159)
門田大地 …… K22/OP/010(6, 81, 86, 91, 118)

や

八尾有紀 …… K22/OP/086(126)
…………… K22/OP/087(126)
…………… K22/OP/088(126)
山口知子 …… K22/OP/076(113)
…………… K22/OP/077(113)
山口徹太郎 …… K22/B&C/030(100)

…… K22/OP/005(6, 24, 97, 100, 103, 113)
 …………… K22/OP/062(100)
 …………… K22/OP/063(100)
 …………… K22/OP/064(100)
 …………… K22/OP/065(100)
 …………… K22/OP/066(100)
 …………… K22/OP/067(100)
 …………… K22/OP/068(100)
 …………… K22/OP/069(100)
 …………… K22/R/020(100)
 …………… K22/CR/001(6, 100)
 …………… K22/CR/010(101)
 山田直樹 …………… J22/O/001(160)
 山村真紀子 …………… K22/OP/023(24, 97)
 山本龍生 …………… K22/B&C/014(39)
 …………… K22/B&C/015(40)
 …………… K22/B&C/016(40)
 …………… K22/OP/002(5, 40, 81)
 …………… K22/OP/032(40)
 …………… K22/OP/033(40)
 …………… K22/OP/034(40)
 …………… K22/OP/035(40)
 …………… K22/OP/036(40, 44, 73)
 …………… K22/R/009(40)
 …………… K22/R/010(40)
 …………… K22/R/011(40)
 山本裕子 …… K22/OP/019(20, 25, 81, 110, 159)
 …………… J22/OP/001(159)
 山谷勝彦 …… K22/OP/003(6, 86, 91, 149)

よ

横山滉介 …… K22/OP/037(44, 47, 91, 117, 129, 150)
 …………… K22/OP/038(44, 47, 91, 118, 129, 150)
 …… K22/OP/039(44, 47, 91, 118, 129, 150)
 横山三菜 …………… K22/B&C/035(113)
 …………… K22/B&C/036(113)
 …… K22/OP/005(6, 24, 97, 100, 103, 113)
 吉越洋枝 …………… J22/OP/002(162)
 …………… J22/O/004(163)
 吉田彩佳 …… K22/OP/014(12, 16, 32, 34)
 …………… K22/OP/016(13, 16, 37, 52, 113)
 吉野剛史 …………… K22/T/006(110)
 吉野文彦 …… K22/OP/014(12, 16, 32, 34)

り

李昌一 …… K22/OP/037(44, 47, 91, 117, 129, 150)
 …………… K22/OP/038(44, 47, 91, 118, 129, 150)
 …… K22/OP/039(44, 47, 91, 118, 129, 150)
 …………… K22/R/014(47, 129)

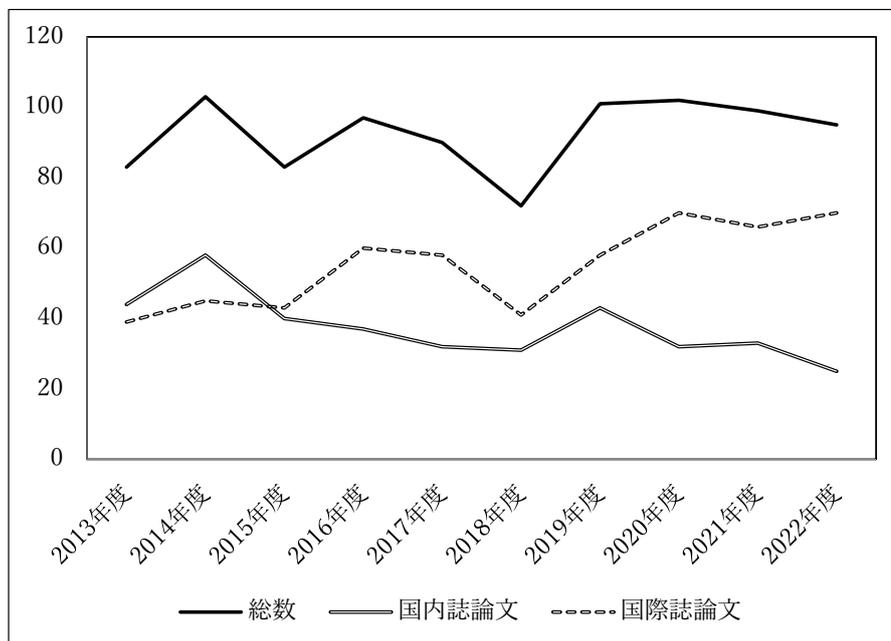
わ

若森可奈 …………… K22/O/010(107, 149)
 和田悠希 …………… K22/OP/055(86, 145)
 …………… K22/OP/093(145)
 渡辺清子 …… K22/OP/012(12, 33, 37, 77)
 …………… K22/OP/014(12, 16, 32, 34)
 渡邊真由美 …… K22/Ex/006(7, 87, 150)
 …………… K22/Ex/007(7, 87, 151)
 …………… K22/Ex/008(7, 87, 151)

編集後記

- 2022年度の業績集ができ上がりました。神奈川歯科大学の1年間の活動の結晶ともいえる業績集ですが、そのあり方は時代の流れの中で変化を求められているのではないかと感じています。何のために業績集を出すのか、誰を対象としているのか、費用対効果に問題は無いのか、など課題は多いと考えております。
- 一方で、今回の業績を通覧してみると、神奈川歯科大学の研究力は落ちていないとも感じる事ができ、業績集の存在意義は失われていないと思えました。原著論文の総数自体はここ数年横ばいですが英語の論文は増加しており、発表の場や対象が国内に留まらないものになっていることがわかります。
- 今後の業績編纂ですが、AIでインターネット上に存在する活動を自動で集め、作成したものを各教員に修正してもらうようにできれば、非常に効率的ではないかと思っています。AIの活用はまだ先の話かもしれませんが、今後の業績編纂について、皆様からも忌憚ないご意見を頂戴できれば幸いです。

原著論文数



2023年9月
業績編纂委員会を代表して
槻木 恵一

<https://kdulib.net/>

業績集 2022.4 — 2023.3

2023年10月31日発行

発行 学校法人 神奈川歯科大学業績編纂委員会
〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町82
電話 / 046-825-1500(代)

編集 槻木 恵一 (委員長)
浅里 仁
板宮 朋基
大平 寛
窪田 展久
鈴木 健司
高橋 聡子
角田 晃
徳竹 峰子
向井 義晴
山本 龍生
渡辺 清子

制作 大和屋合同会社